

# 『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート

## 報 告 書

令和2年3月

横浜市緑区福祉保健課



## 目 次

第1章 調査概要	1
（1）調査目的	1
（2）調査概要	1
（3）回収結果	1
第2章 調査結果のまとめ	2
第3章 単純集計結果	5
（1）回答者属性	5
問1 居住地区	
問2 性別・年齢・世帯構成	
問3 住まいの種類	
問4 仕事の状況	
問5 居住年数	
問6 居住意向	
（2）生活の心配事について	11
問7 困りごとの有無と相談先	
問8 特に気になっていること、困っていること	
問9 地域で困っている方の手助け	
（3）地域でのつながりや活動のための機会・場について	17
問10 近所付き合い	
問11 自治会への加入	
問12 地域の活動への参加状況と今後の参加意向	
問13 地域活動に今後参加したいと思わない理由	
（4）福祉保健に関する情報について	19
問14 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度	
問15 「緑区社会福祉協議会」の認知度	
問16 「緑区内の地域ケアプラザ」の認知度	
問17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知度	
問18 福祉保健に関する情報の入手先	
（5）安全・安心・健康について	22
問19 「災害時に住民が支えあう地域づくり」のために日頃から必要な取組	
問20 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性	
問21 「地域における防犯活動」として重要な取組	
問22 健康のために心がけていること	
問23 健康のために参加したい活動	
問24 人間ドック・特定健診・がん検診等の受診	

(6) 緑区の福祉保健全般について	25
問 25 地域をよくするための意見・次期計画に期待すること	
第4章 クロス集計結果	27
(1) 地区別クロス集計結果	27
問 1 居住地区	
問 2 性別・年齢・世帯構成	
問 3 住まいの種類	
問 5 居住年数	
問 6 居留意向	
問 8 特に気になっていること、困っていること	
問 9 地域で困っている方の手助け	
問 10 近所付き合い	
問 12 地域の活動への参加状況と今後の参加意向	
問 13 地域活動に今後参加したいと思わない理由	
問 19 「災害時に住民が支えあう地域づくり」のために日頃から必要な取組	
問 20 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性	
(2) 性別・年齢別、質問間クロス集計結果	57
<生活の心配事について>	57
問 8 特に気になっていること、困っていること	
問 9 地域で困っている方の手助け	
<地域でのつながりや活動のための機会・場について>	63
問 10 近所付き合い	
問 11 自治会への加入	
問 12 地域の活動への参加状況と今後の参加意向	
問 13 地域活動に今後参加したいと思わない理由	
<福祉保健に関する情報について>	79
問 14 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度	
問 15 「緑区社会福祉協議会」の認知度	
問 16 「緑区内の地域ケアプラザ」の認知度	
問 17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知度	
問 18 福祉保健に関する情報の入手先	
<安全・安心・健康について>	87
問 20 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性	
問 22 健康のために心がけていること	
問 23 健康のために参加したい活動	
問 24 人間ドック・特定健診・がん検診等の受診	
第5章 過去の調査との比較	105
(1) 回答者属性	105

問 1	居住地区	
問 2	性別・年齢・世帯構成	
問 5	住まいの種別	
問 6	仕事の状況	
(2)	地域とのかかわり	108
問 11	自治会への加入	
(3)	福祉保健に関する情報について	109
問 14	「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度	
(4)	安全・安心・健康について	109
問 22	日頃から健康のために心がけていること	
第 6 章	自由記入	110
問 25	地域をよくするための意見・次期計画に期待すること	
資 料	調査票	129



## 第1章 調査概要

### (1) 調査目的

緑区民の福祉保健に関する意識や生活課題を抽出するとともに、緑区の福祉保健施策への要望、新たな課題等について調査を実施し、第3期みどりのわ・ささえ愛プラン（平成28年～令和2年）の振り返りと評価を行う。また、第4期みどりのわ・ささえ愛プラン（令和3年～令和7年）策定に向けた基礎資料として活用する。

### (2) 調査概要

- ①調査地域 横浜市緑区全域
- ②調査対象 緑区在住の20歳以上の男女個人
- ③標本数 4,500人（日本人区民4,405人、外国人区民95人）
- ④抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- ⑤調査方法 対象者への郵送配布・郵送回収及びWEB回答
- ⑥調査時期 令和元年6月22日～7月16日
- ⑦調査機関 山路商事株式会社

### (3) 回収結果

- ①有効回収数 1,305人
- ②回収率 29.0%

## 第2章 調査結果のまとめ

以下、アンケートの構成にそって、回答の特徴的な傾向や、地域福祉保健計画の視点で着目すべき点などをまとめる。

### ① 回答者属性

- ・アンケートでは、各地区、各年齢層からの回答が得られたが、回答者の65歳以上の割合は4割を超えており、シニア世代から積極的な回答があったと考えられる。
- ・地区別にみると、長津田地区・新治中部地区からの回答が多く、この2地区で約4割を占めている。世帯構成は、全地区で「親と子（二世帯）」が多くなっている。また、東本郷地区や新治西部地区、鴨居地区、十日市場団地地区、長津田地区は「ひとり暮らし」の割合が多くなっている。全地区で居住歴が「10年以上」の人が多いが、中でも竹山地区では「10年以上」が88.9%と多くなっている。十日市場団地地区や長津田地区は居住年数10年未満の回答が他地区と比べて多く、居住年数の浅い住民が多くなっている。

### ② 各設問の結果のまとめ

#### 地域との関わり

- ・自治会加入率は、前回調査（81.2%）よりも若干下がった（80.5%）とはいえ、8割以上を維持している。
- ・自治会と近所付き合いの関係でみると、自治会に加入していない（12.6%）より加入している（36.7%）方のほうが近所付き合いは頻繁であることが伺える。また加入していない方で「近所の人とは全く付き合いがない」と回答した方は18.1%となっている。
- ・近所付き合いが頻繁にある方（31.9%）に比べて、近所付き合いが頻繁ではない方（64.0%）が約2倍多くなっており、隣近所という日常生活における身近な関係間の希薄化が進んでいることが分かる。
- ・地域に困っている人がいる場合に、現在手助け、または今後手助けできることは、安否確認の声掛けや話し相手・相談相手が多くなっている。現在よりも今後手助けできるという回答数が多く、意向はあるが実行できていない方が多いことが分かる。

#### 地域活動の場

- ・地域活動への参加意向は、「子どもから高齢者までが集える地域活動」や「花植え・清掃活動」は、現在及び今後も参加者または担い手として参加しやすいことが分かった。また、上記の二つに加えて、「健康づくりの活動」は参加者として、「高齢者を支援する活動」は担い手として今後参加したいと思う回答が多くなっている。
- ・地域活動に参加できない理由として、「仕事や家事などで時間がとれない」は40歳代（40歳～49歳）、「興味・関心がないから」は20歳代（20歳～29歳）の回答が多くなっている。「病状や体力の面で難しい」は75歳以上の回答が多くなっている。

#### 福祉保健に関する情報

- ・地域の福祉保健に関する情報の入手先では、従来からある手段である「回覧板や掲示板」を6割近く（56.8%）の人が回答し、次いで「広報よこはま」（48.7%）、「地域のタウン誌」（20.8%）が多くなっているが、年代により例えば、20歳代は「家族」、30歳代



は「インターネット」の回答が多いことから、世代に馴染んだ福祉保健情報の入手手段の需要はさらに高まることが考えられる。

#### 地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度

- ・「知らなかった」が7割近くを占め、認知度は低い。平成26年度調査から、認知度割合は若干であるが増えている。
- ・みどりのわ・ささえ愛プランや緑区社会福祉協議会、緑区内の地域ケアプラザの認知度を自治会加入状況別にみると、加入者の方が、非加入者に比べ知っているという回答した選択肢が多くなっており、自治会を通して福祉保健の資源と接していることが分かる。
- ・みどりのわ・ささえ愛プランの認知度を年齢別にみると、年齢が上がるにつれて認知している割合が多くなっていることが分かる。

#### 安全安心

- ・災害時に関して必要な取組として、顔の見える関係づくりは「必要」という回答は、8割を超える回答と多くなっている。顔の見える関係づくりのために必要なことは、「近所でのあいさつ・声がけ」(89.3%)や「近所での日頃からの付き合い」(54.8%)、「自治会活動への参加」(43.3%)への回答が多く、身近な環境の方達との日頃からの関係づくりが必要である回答となっている。
- ・防犯に関して必要な取組としては、「防犯パトロールなど身近な犯罪被害の防止のための活動」(68.2%)が最も多く、未然防止活動が必要とされている。次いで、「防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信」(37.8%)と「交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動」(26.5%)となっており、情報の提供や啓発に関わる取組についての回答が多くなっている。

#### 健康

- ・日頃から健康のために心がけていることをみると、「適度な運動をする」(60.4%)をはじめ、「バランスを考えた食事をする」、「適度な休養・睡眠をとる」、「定期的に検診や健康診断を受ける」、「タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)」などの項目で5割以上の回答があり、健康のため多くのことを心がけていることが分かる。また「お酒を飲みすぎない(または飲まない)」や「バランスを考えた食事をする」など男女によって差がある項目があることも分かる。
- ・自身の健康のために参加したいと思う活動を年齢別でみると、20歳代および30歳代は、他の年代に比べて「参加したい活動はない」の回答が多い一方で、65歳以上は、「体力測定・健康チェック」や「健康づくり体操」、「ウォーキングなどの運動や交流イベント」などの回答が多く、高齢者の方は健康への活動への参加に積極的であることが分かる。
- ・人間ドック・特定健診・がん検診等の受診について、年齢が上がるにつれて受診経験が多くなり、「受診したことはない」の割合が少なくなっている。

### ③ 自由回答

自由回答の設問については、2割を超える記述があった。

自由意見をテーマ別に分類したところ、最も多く意見があったのは、「道路・交通・まちづくり」に関連する意見で全体の約 25%を占めている。次いで「地域活動全般」、「行政施策（福祉）」、「生活環境」に関連する意見が多かった。

#### <自由意見をテーマ別に分類した一覧>

- 1 「地域活動全般」に関連する意見
- 2 「自治会活動」に関連する意見
- 3 「活動交流の場」に関連する意見
- 4 「見守り活動」に関連する意見
- 5 「防犯・防災」のまちづくりに関連する意見
- 6 「情報伝達」に関連する意見
- 7 「行政施策全般」に関連する意見
- 8 「行政施策（福祉）」に関連する意見
- 9 「道路・交通・まちづくり」に関連する意見
- 10 「公園・河川」に関連する意見
- 11 「生活環境」に関連する意見
- 12 「その他」

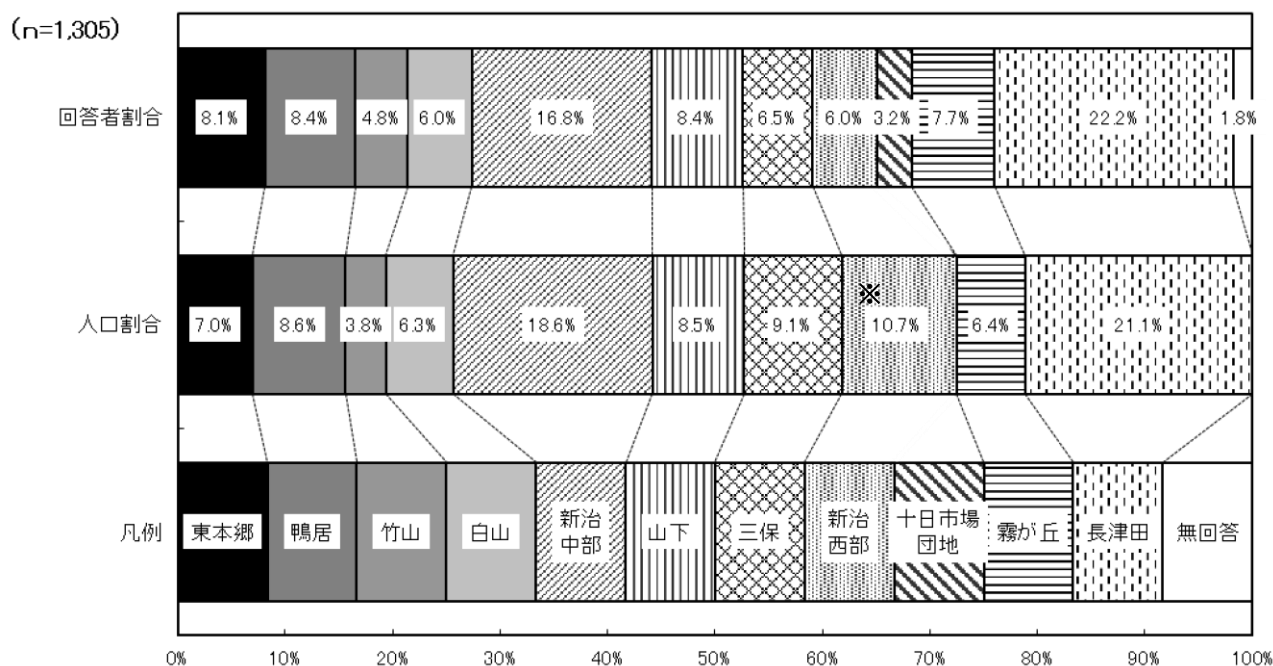
### 第3章 単純集計結果

#### (1) 回答者属性

##### 問1 居住地区

本調査では、「みどりのわ・ささえ愛プラン」の地区別計画と同じく11地区で集計を行った。

図表 問1 あなたのお住まいの町はどちらですか



※人口割合は、新治西部地区と十日市場団地地区を含む。

地区名	回答者 (人)	回答者割合 (%)	人口※ (人)	人口割合 (%)
東本郷地区	106	8.1%	12,600	7.0%
鴨居地区	110	8.4%	15,604	8.6%
竹山地区	63	4.8%	6,798	3.8%
白山地区	78	6.0%	11,352	6.3%
新治中部地区	219	16.8%	33,520	18.6%
三保地区	110	8.4%	15,306	8.5%
山下地区	85	6.5%	16,483	9.1%
新治西部地区	78	6.0%	19,319	10.7%
十日市場団地地区	42	3.2%		
霧が丘地区	101	7.7%	11,538	6.4%
長津田地区	290	22.2%	38,171	21.1%
無回答 (不明含む)	23	1.8%	-	-
全体	1,305	100.0%	180,691	100.0%

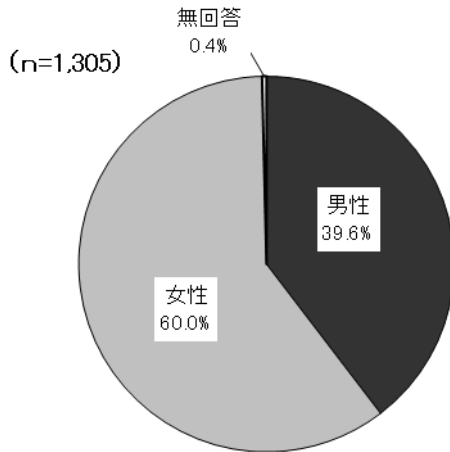
※人口出典は、横浜市統計情報ポータル『年齢・男女別人口-町丁 (平成31年3月31日現在)』

## 問2 性別・年齢・世帯構成

### <性別>

回答者の性別は、女性 60.0%、男性 39.6%で、女性がやや多い。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。  
<性別>(〇は1つ)

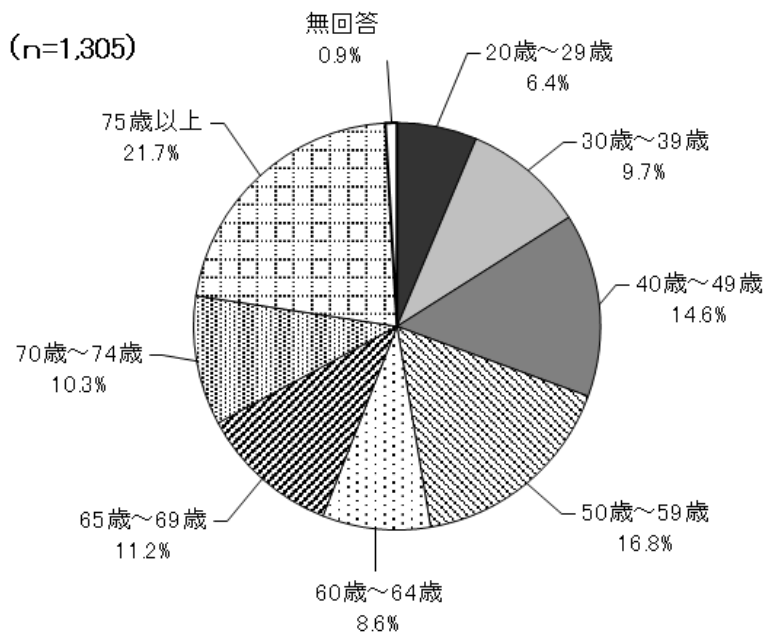


カテゴリー名	n	%
男性	517	39.6%
女性	783	60.0%
無回答	5	0.4%
全体	1305	100.0%

### <年齢>

75歳以上が 21.7%で最も多く、50歳代(50歳～59歳)が 16.8%、40歳代(40歳～49歳)が 14.6%でこれに次いでいる。60歳以上の回答が5割を超えている。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。  
<年齢>(〇は1つ)



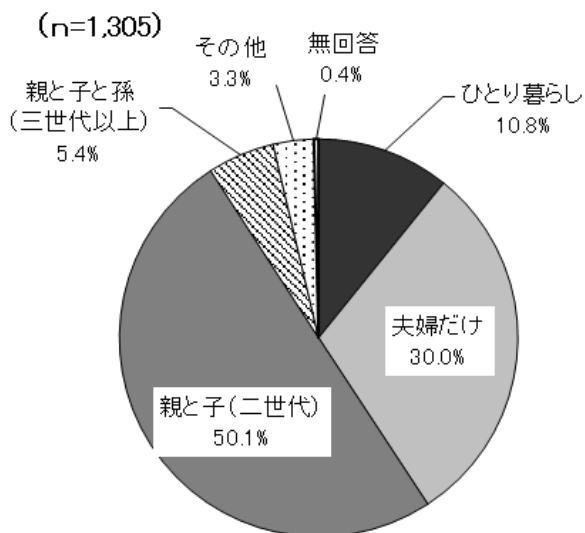
カテゴリー名	n	%
20歳～29歳	83	6.4%
30歳～39歳	126	9.7%
40歳～49歳	190	14.6%
50歳～59歳	219	16.8%
60歳～64歳	112	8.6%
65歳～69歳	146	11.2%
70歳～74歳	134	10.3%
75歳以上	283	21.7%
無回答	12	0.9%
全体	1305	100.0%

## <世帯構成>

一緒に暮らしている家族は、「親と子（二世代）」が 50.1%で最も多く、「夫婦だけ」（30.0%）がそれに次いでいる。「ひとり暮らし」の割合は 10.8%で、前回調査の 8.5%から 2.3 ポイント上昇している。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。

<世帯構成> (〇は1つ)

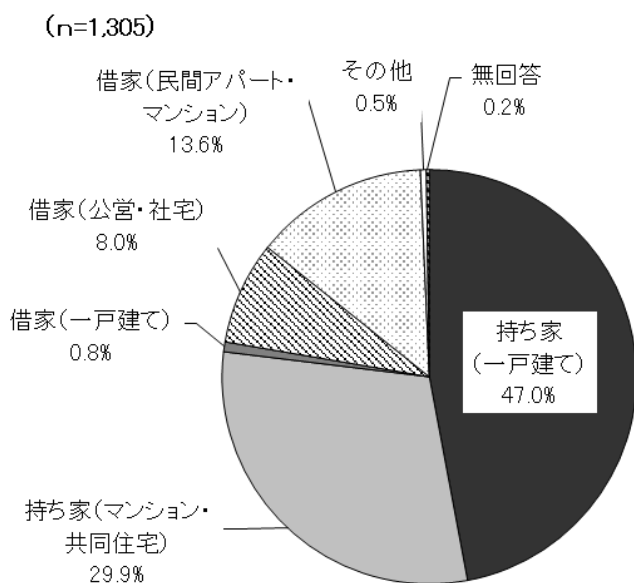


カテゴリー名	n	%
ひとり暮らし	141	10.8%
夫婦だけ	391	30.0%
親と子（二世代）	654	50.1%
親と子と孫（三世代以上）	71	5.4%
その他	43	3.3%
無回答	5	0.4%
全体	1305	100.0%

## 問3 住まいの種類

「持ち家（一戸建て）」が 5 割近く（47.0%）で最も多く、「持ち家（マンション・共同住宅）」（29.9%）がそれに次いでいる。これらを合わせると 76.9%が持ち家に居住している。借家の中では、「借家（民間アパート・民間賃貸マンション）」が約 1 割（13.6%）で最も多い。

図表 あなたの現在暮らしているお住まいはどれに該当しますか。（〇は1つ）



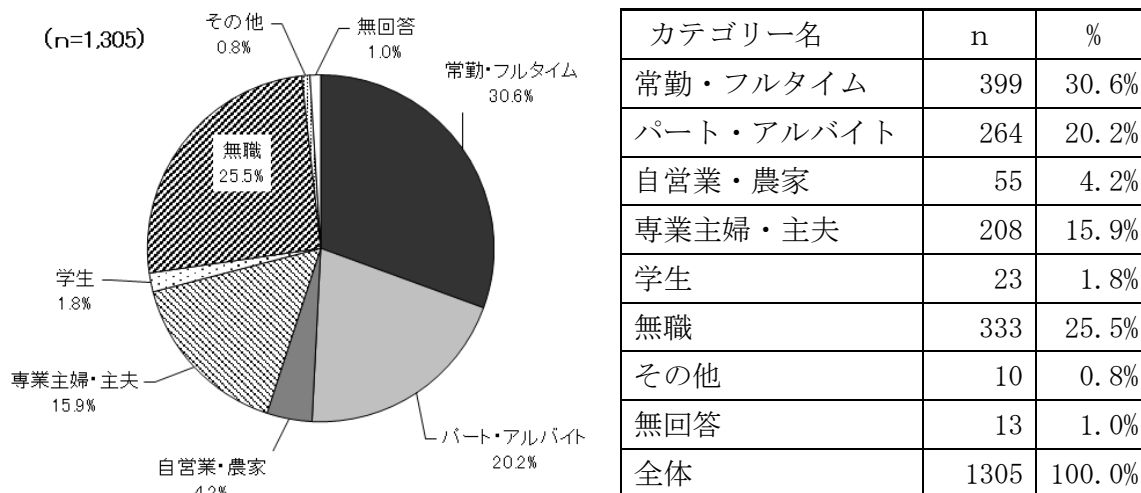
カテゴリー名	n	%
持ち家（一戸建て）	614	47.0%
持ち家（マンション・共同住宅）	390	29.9%
借家（一戸建て）	10	0.8%
借家（公営・社宅）	105	8.0%
借家（民間アパート・マンション）	177	13.6%
その他	6	0.5%
無回答	3	0.2%
全体	1305	100.0%

#### 問4 仕事の状況

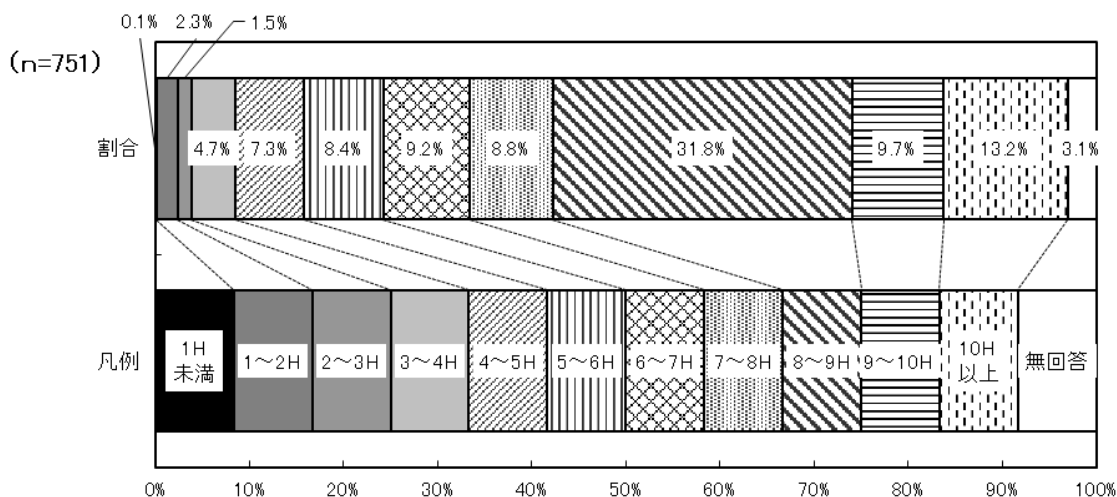
仕事の状況は、「常勤・フルタイム」が30.6%で、「パート・アルバイト」の20.2%と合わせると、約半数の50.8%が仕事についていると回答している。一方、仕事についていない「専業主婦・主夫」は15.9%、「無職」は25.5%であった。

1日あたりのおおよその勤務（在学）時間をみると、8時間以上9時間未満が31.8%と最も多く、10時間以上（13.2%）、9時間以上10時間未満（9.7%）がそれに次いでいる。

図表 問4 あなたのお仕事の状況はどれに該当しますか。（○は1つ）



図表 1日あたりのおおよその勤務（在学）時間をお答えください。

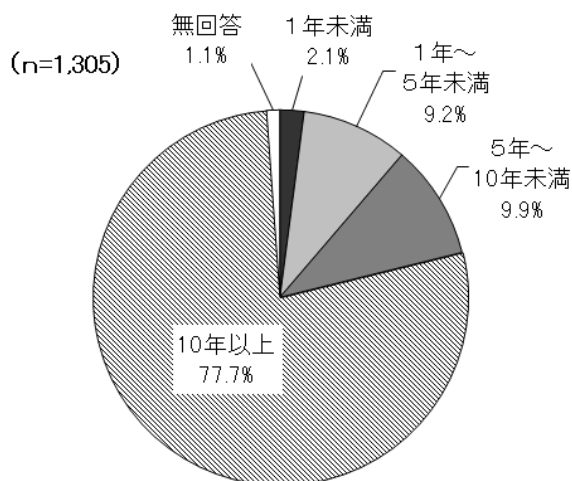


カテゴリー名	n	%	カテゴリー名	n	%
～1時間未満	1	0.1%	6時間以上7時間未満	69	9.2%
1時間以上2時間未満	17	2.3%	7時間以上8時間未満	66	8.8%
2時間以上3時間未満	11	1.5%	8時間以上9時間未満	239	31.8%
3時間以上4時間未満	35	4.7%	9時間以上10時間未満	73	9.7%
4時間以上5時間未満	55	7.3%	10時間以上	99	13.2%
5時間以上6時間未満	63	8.4%	無回答	23	3.1%
			全体	751	100.0%

## 問5 居住年数

居住年数は、「10年以上」が77.7%を占めている。次いで「5年～10年未満」が9.9%、「1年～5年未満」が9.2%となっている。

図表 問5 あなたは緑区にお住まいになって何年になりますか。(〇は1つ)



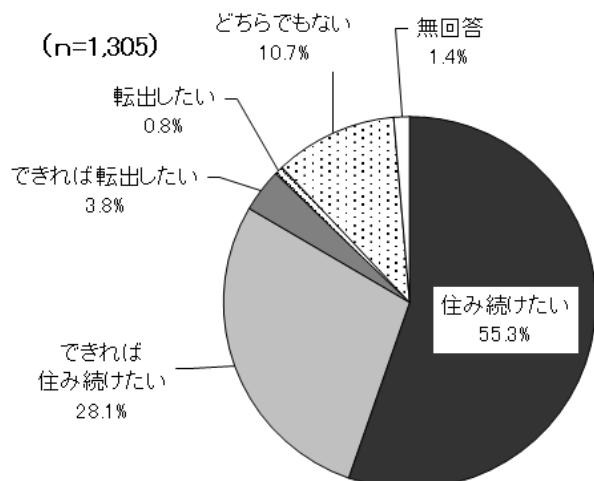
カテゴリー名	n	%
1年未満	27	2.1%
1年～5年未満	120	9.2%
5年～10年未満	129	9.9%
10年以上	1014	77.7%
無回答	15	1.1%
全体	1305	100.0%

## 問6 居留意向

居留意向は、「住み続けたい」が55.3%と最も多く、「できれば住み続けたい」の28.1%と合わせると、83.4%が住み続けたい意向となっている。

「住み続けたい」、「できれば住み続けたい」と答えた方の住み続けたい理由をみると、「住み慣れているから」が80.7%で最も多く、「緑や公園など自然環境に恵まれている」(50.4%)、「交通の利便性が高い」(47.8%)がそれに次いでいる。一方で「転出したい」、「できれば転出したい」と答えた方の住み続けたくない理由をみると、「買い物が不便」(44.1%)や「交通の便が悪い」(33.9%)、「街並みが整っていない」(30.5%)が理由の多くに挙げられている。

図表 問6 あなたはこれからも緑区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

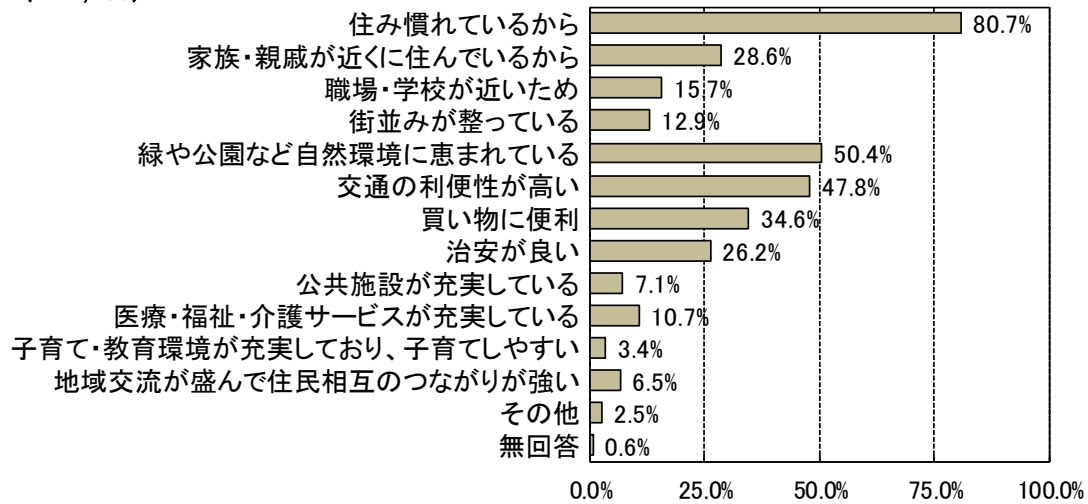


カテゴリー名	n	%
住み続けたい	722	55.3%
できれば住み続けたい	367	28.1%
できれば転出したい	49	3.8%
転出したい	10	0.8%
どちらでもない	139	10.7%
無回答	18	1.4%
全体	1305	100.0%

図表 問6 住み続けたい理由

<「1」又は「2」と答えた方は、その理由> (〇はいくつでも)

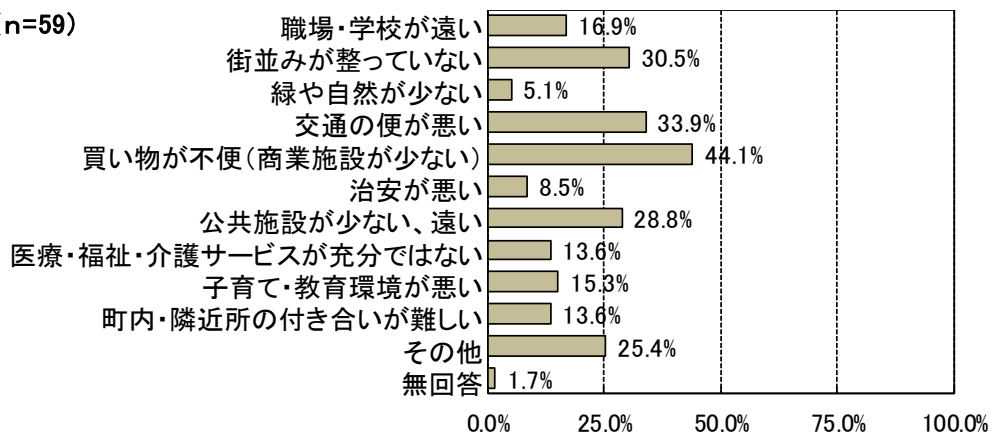
(n=1,089)



図表 問6 住み続けたくない理由

<「3」又は「4」と答えた方は、その理由> (〇はいくつでも)

(n=59)





## (2) 生活の心配事について

### 問7 困りごとの有無と相談先

全ての項目において、「気になっていない・困っていない」の回答が多くなっているが、中でも「気になっていない・困っていない」の回答が低いのは、「A自分や家族の健康上の問題」、「F自分や家族の介護のこと」、「I 老い支度、終活」で、相談先は家族・親戚とする回答が多くなっている。また公的機関を相談先とする割合が全体的に低くなっている。

図表 問7 現在、ご自身の暮らしの中で、次のA～Mの項目について、気になっていたり困っていたりしていますか。困っていない場合は「1」、困っている場合は、それぞれの相談先として想定しているものを「2～14」から選んでください。

#### A 自分や家族の健康上の課題

(n=1,305)

気になっていない・困っていない

相談先:相談先がわからない

相談先:家族・親せき

相談先:友人・知人

相談先:近所の人

相談先:自治会／民生・児童委員

相談先:かかりつけ医

相談先:保健所・学校などの保育・教育機関

相談先:地域ケアプラザ

相談先:緑区社会福祉協議会

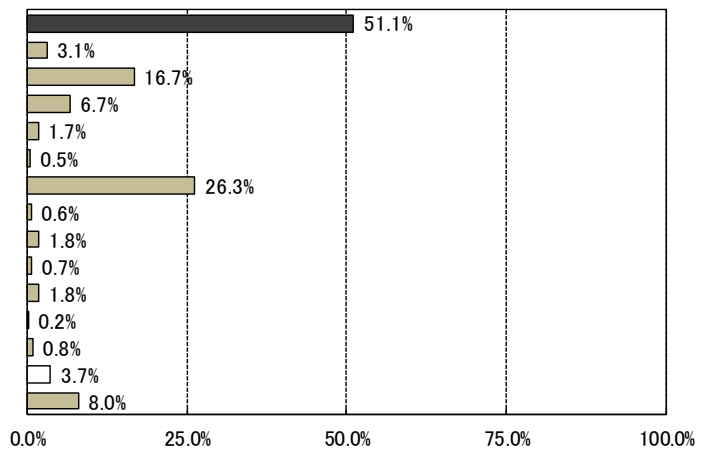
相談先:区役所

相談先:警察

相談先:その他

相談先:相談しない・自己完結

無回答



#### B 生活費のこと

(n=1,305)

気になっていない・困っていない

相談先:相談先がわからない

相談先:家族・親せき

相談先:友人・知人

相談先:近所の人

相談先:自治会／民生・児童委員

相談先:かかりつけ医

相談先:保健所・学校などの保育・教育機関

相談先:地域ケアプラザ

相談先:緑区社会福祉協議会

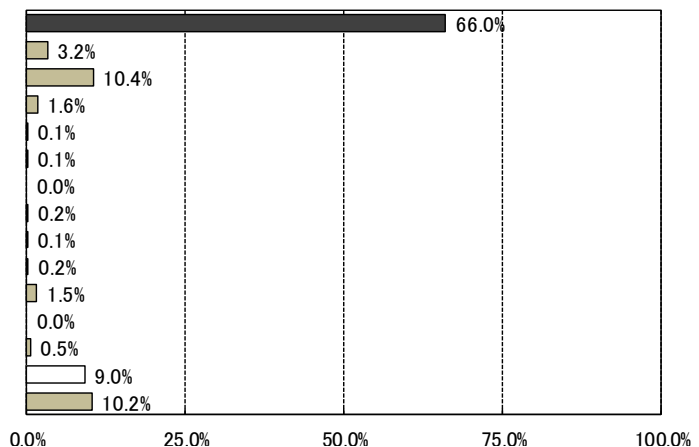
相談先:区役所

相談先:警察

相談先:その他

相談先:相談しない・自己完結

無回答



### C 求職活動のこと

(n=1,305)

気になっていない・困っていない

相談先:相談先がわからない

相談先:家族・親せき

相談先:友人・知人

相談先:近所の人

相談先:自治会／民生・児童委員

相談先:かかりつけ医

相談先:保健所・学校などの保育・教育機関

相談先:地域ケアプラザ

相談先:緑区社会福祉協議会

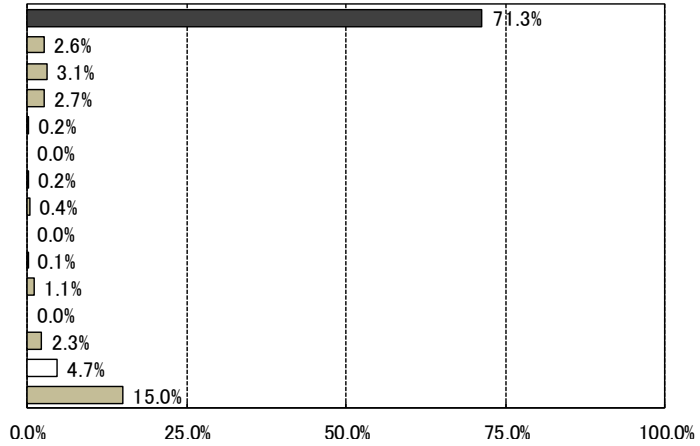
相談先:区役所

相談先:警察

相談先:その他

相談先:相談しない・自己完結

無回答



### D 乳幼児の子育てや預け先のこと

(n=1,305)

気になっていない・困っていない

相談先:相談先がわからない

相談先:家族・親せき

相談先:友人・知人

相談先:近所の人

相談先:自治会／民生・児童委員

相談先:かかりつけ医

相談先:保健所・学校などの保育・教育機関

相談先:地域ケアプラザ

相談先:緑区社会福祉協議会

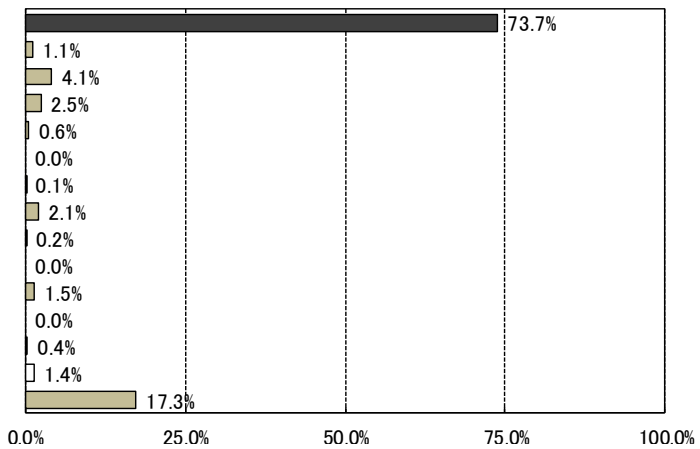
相談先:区役所

相談先:警察

相談先:その他

相談先:相談しない・自己完結

無回答



### E 教育や小・中学生の居場所のこと

(n=1,305)

気になっていない・困っていない

相談先:相談先がわからない

相談先:家族・親せき

相談先:友人・知人

相談先:近所の人

相談先:自治会／民生・児童委員

相談先:かかりつけ医

相談先:保健所・学校などの保育・教育機関

相談先:地域ケアプラザ

相談先:緑区社会福祉協議会

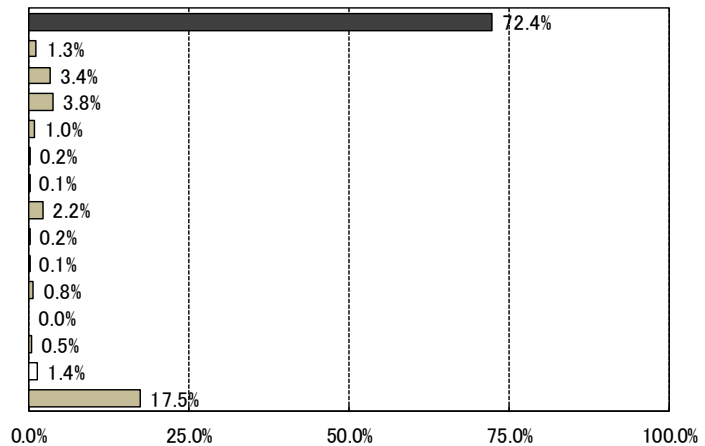
相談先:区役所

相談先:警察

相談先:その他

相談先:相談しない・自己完結

無回答



## F 自分や家族の介護のこと

(n=1,305)

気になっていない・困っていない

相談先:相談先がわからない

相談先:家族・親せき

相談先:友人・知人

相談先:近所の人

相談先:自治会／民生・児童委員

相談先:かかりつけ医

相談先:保健所・学校などの保育・教育機関

相談先:地域ケアプラザ

相談先:緑区社会福祉協議会

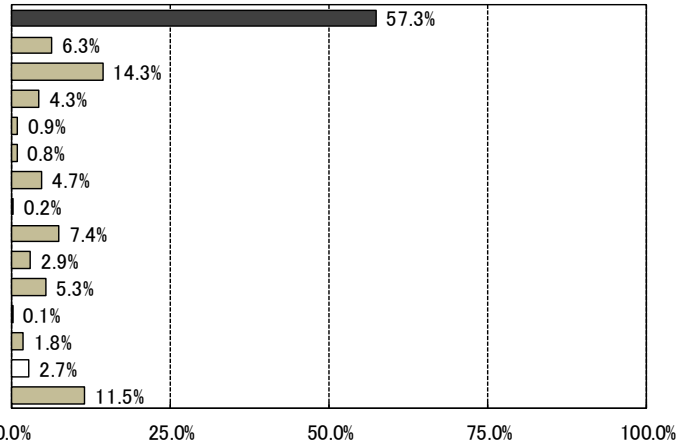
相談先:区役所

相談先:警察

相談先:その他

相談先:相談しない・自己完結

無回答



## G 自分や家族の障害のこと

(n=1,305)

気になっていない・困っていない

相談先:相談先がわからない

相談先:家族・親せき

相談先:友人・知人

相談先:近所の人

相談先:自治会／民生・児童委員

相談先:かかりつけ医

相談先:保健所・学校などの保育・教育機関

相談先:地域ケアプラザ

相談先:緑区社会福祉協議会

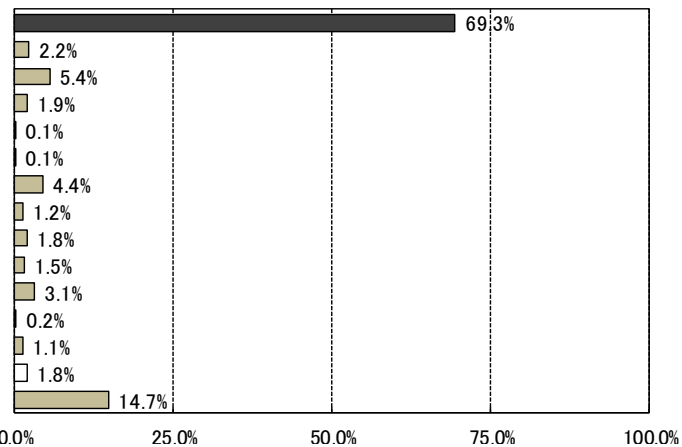
相談先:区役所

相談先:警察

相談先:その他

相談先:相談しない・自己完結

無回答



## H 自分や家族の生きがいや楽しみのこと

(n=1,305)

気になっていない・困っていない

相談先:相談先がわからない

相談先:家族・親せき

相談先:友人・知人

相談先:近所の人

相談先:自治会／民生・児童委員

相談先:かかりつけ医

相談先:保健所・学校などの保育・教育機関

相談先:地域ケアプラザ

相談先:緑区社会福祉協議会

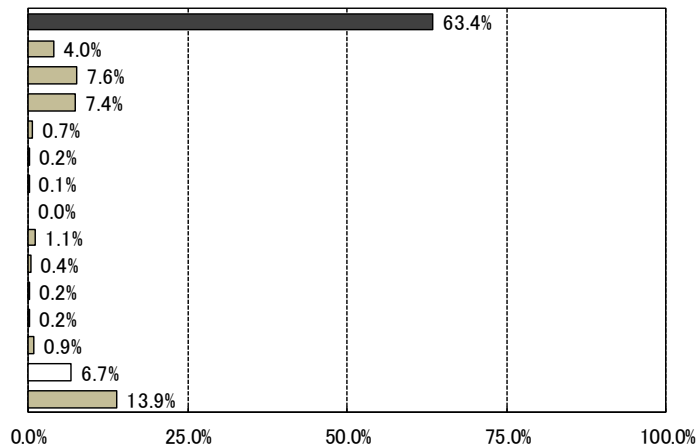
相談先:区役所

相談先:警察

相談先:その他

相談先:相談しない・自己完結

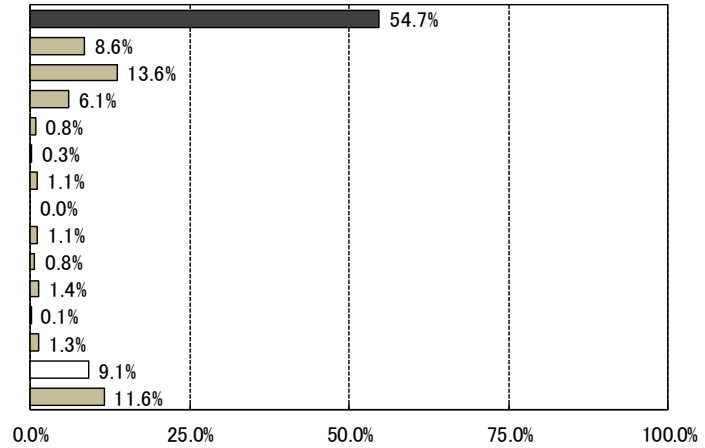
無回答



## I 古い支度・終活

(n=1,305)

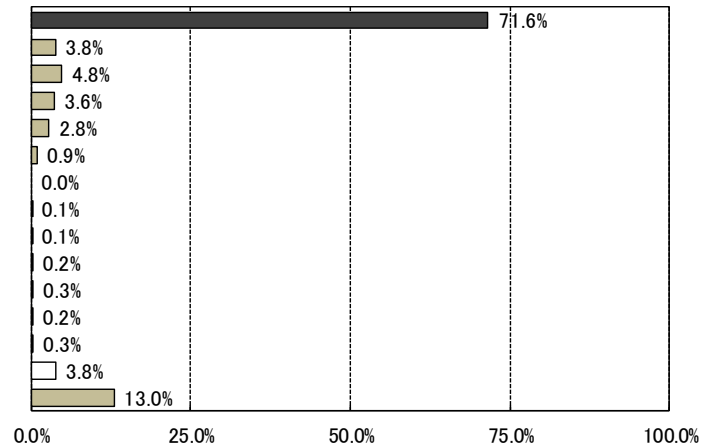
気になっていない・困っていない  
 相談先:相談先がわからない  
 相談先:家族・親せき  
 相談先:友人・知人  
 相談先:近所の人  
 相談先:自治会／民生・児童委員  
 相談先:かかりつけ医  
 相談先:保健所・学校などの保育・教育機関  
 相談先:地域ケアプラザ  
 相談先:緑区社会福祉協議会  
 相談先:区役所  
 相談先:警察  
 相談先:その他  
 相談先:相談しない・自己完結  
 無回答



## J 近所付き合いのこと

(n=1,305)

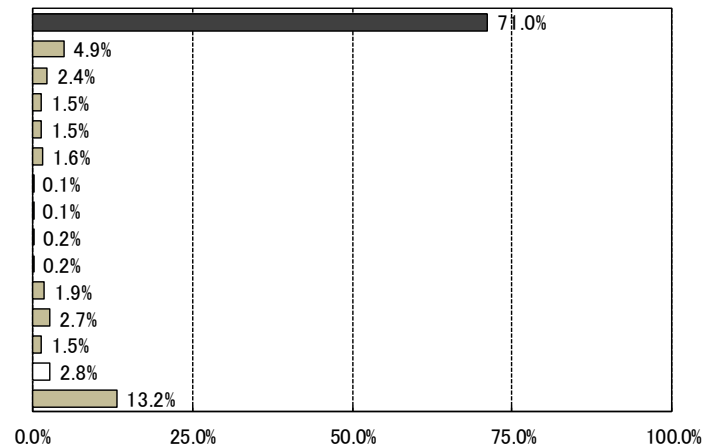
気になっていない・困っていない  
 相談先:相談先がわからない  
 相談先:家族・親せき  
 相談先:友人・知人  
 相談先:近所の人  
 相談先:自治会／民生・児童委員  
 相談先:かかりつけ医  
 相談先:保健所・学校などの保育・教育機関  
 相談先:地域ケアプラザ  
 相談先:緑区社会福祉協議会  
 相談先:区役所  
 相談先:警察  
 相談先:その他  
 相談先:相談しない・自己完結  
 無回答



## K 近隣からの悪臭・騒音、その他生活環境のこと

(n=1,305)

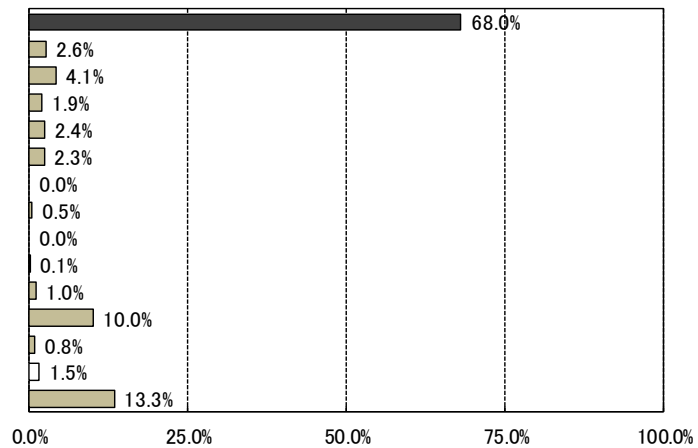
気になっていない・困っていない  
 相談先:相談先がわからない  
 相談先:家族・親せき  
 相談先:友人・知人  
 相談先:近所の人  
 相談先:自治会／民生・児童委員  
 相談先:かかりつけ医  
 相談先:保健所・学校などの保育・教育機関  
 相談先:地域ケアプラザ  
 相談先:緑区社会福祉協議会  
 相談先:区役所  
 相談先:警察  
 相談先:その他  
 相談先:相談しない・自己完結  
 無回答



## L 犯罪や防犯のこと（窃盗、詐欺等）

(n=1,305)

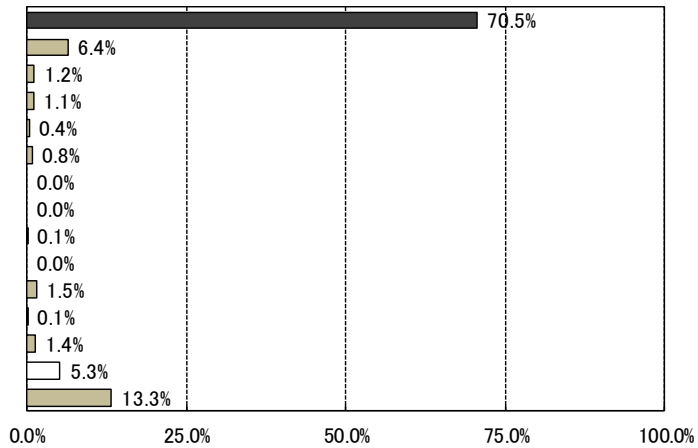
気になっていない・困っていない  
 相談先:相談先がわからない  
 相談先:家族・親せき  
 相談先:友人・知人  
 相談先:近所の人  
 相談先:自治会／民生・児童委員  
 相談先:かかりつけ医  
 相談先:保健所・学校などの保育・教育機関  
 相談先:地域ケアプラザ  
 相談先:緑区社会福祉協議会  
 相談先:区役所  
 相談先:警察  
 相談先:その他  
 相談先:相談しない・自己完結  
 無回答



## M 公共交通機関の利便性

(n=1,305)

気になっていない・困っていない  
 相談先:相談先がわからない  
 相談先:家族・親せき  
 相談先:友人・知人  
 相談先:近所の人  
 相談先:自治会／民生・児童委員  
 相談先:かかりつけ医  
 相談先:保健所・学校などの保育・教育機関  
 相談先:地域ケアプラザ  
 相談先:緑区社会福祉協議会  
 相談先:区役所  
 相談先:警察  
 相談先:その他  
 相談先:相談しない・自己完結  
 無回答



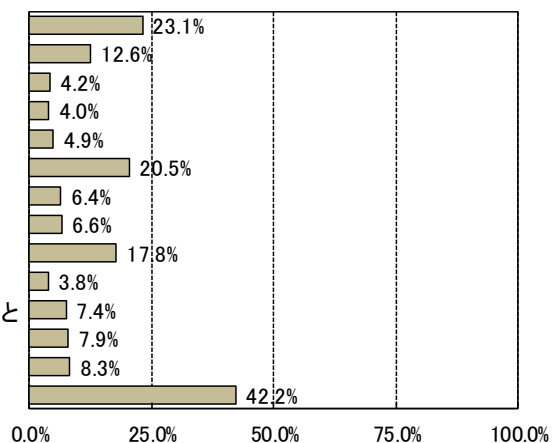
## 問8 特に気になっていること、困っていること

日常生活で特に気になっていること、困りごとをみると、「A自分や家族の健康上の問題」(23.1%)が最も多く、次いで「F自分や家族の介護のこと」(20.5%)、「I古い支度、終活」(17.8%)が高くなっている。また無回答は42.2%となっている。

図表 問8 問7の「A～M」の項目のうち、特に気になっていることや困っていることはどれですか。（該当する項目のアルファベットを3つまで記入）

(n=1,305)

A 自分や家族の健康上の課題  
 B 生活費のこと  
 C 求職活動のこと  
 D 乳幼児の子育てや預け先のこと  
 E 教育や小・中学生の居場所のこと  
 F 自分や家族の介護のこと  
 G 自分や家族の障害のこと  
 H 自分や家族の生きがいや楽しみのこと  
 I 古い支度・終活  
 J 近所付き合いのこと  
 K 近隣からの悪臭・騒音、その他生活環境のこと  
 L 犯罪や防犯のこと(窃盗、詐欺等)  
 M 公共交通機関の利便性  
 無回答



## 問9 地域で困っている方の手助け

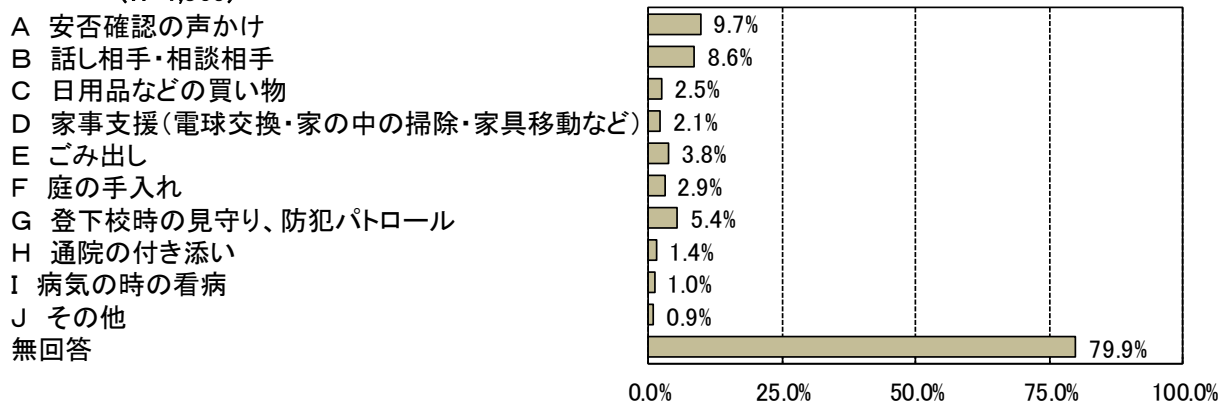
地域に困っている人がいる場合に、現在手助けしていることは、「A安否確認の声掛け」(9.7%)や「B話し相手・相談相手」(8.6%)が多くなっている。無回答は79.9%と多くなっている。

地域に困っている人がいる場合に、今後手助けできることは、「A安否確認の声掛け」(54.9%)が最も多く、「B話し相手・相談相手」(36.6%)、「C日用品などの買い物」(28.8%)、「Eごみ出し」(29.2%)は手助けできると答えた人が多くなっている。

図表 問9 あなたは、地域に困っている人がいる場合、手助けをできると思うことはありますか。

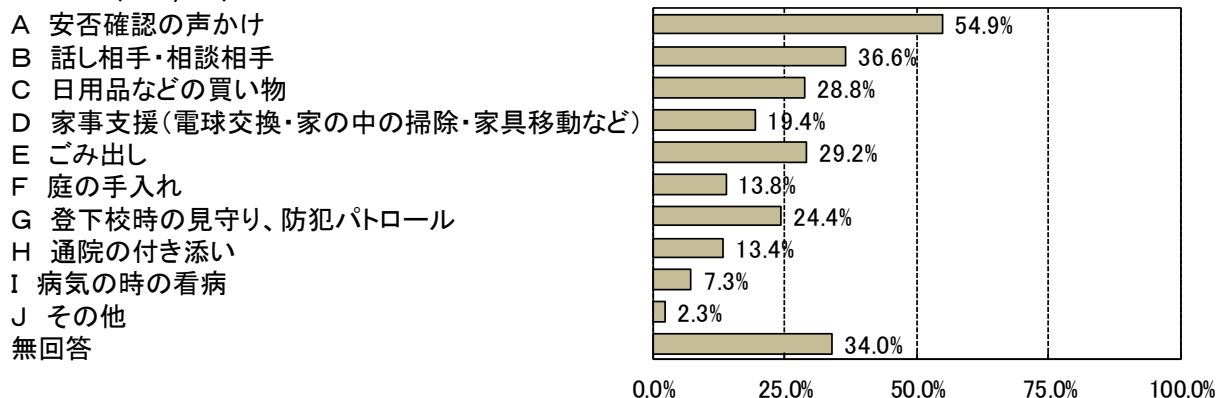
①「現在」すでに手助けをしていること（〇はいくつでも）

(n=1,305)



②「今後（または今後も）」手助けをできる、と思うことはありますか。（〇はいくつでも）

(n=1,305)

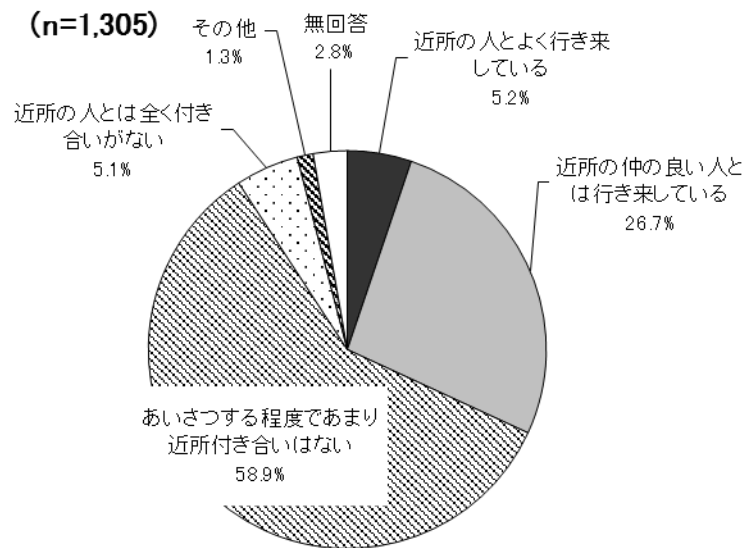


### (3) 地域でのつながりや活動のための機会・場について

#### 問10 近所付き合い

「近所の人とよく行き来している」(5.2%)と「近所の中の良い人とは行き来している」(26.7%)に比べて、「あいさつする程度であまり近所付き合いはない」(58.9%)と「近所の人とは全く付き合いがない」(5.1%)が多くなっており、近所付き合いの頻度が少ない人たちの割合が、適度に近所付き合いをしている人たちの割合の約2倍となっている。

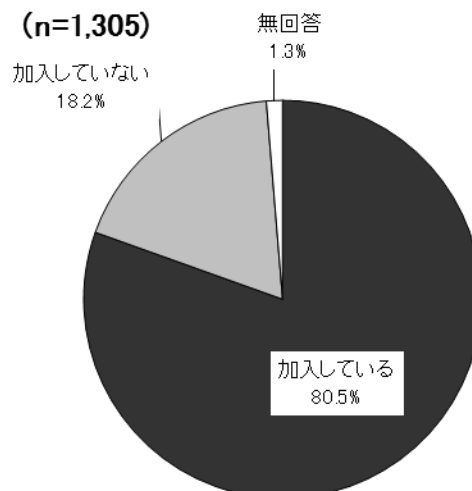
図表 問10 あなたご自身は、どのようなご近所付き合いをしていますか。(〇は1つ)



#### 問11 自治会への加入

自治会へ加入している割合は80.5%、加入していない割合は18.2%となっている。

図表 問11 あなたご自身は、お住まいの地域の自治会に加入していますか。(〇は1つ)



## 問12 地域の活動への参加状況と今後の参加意向

地域活動への参加意向について、「A子どもから高齢者までが集える地域活動」や「H花植え・清掃活動」は、現在参加者または担い手として参加している方が多くなっている。

「A子どもから高齢者までが集える地域活動」や「B健康づくりの活動」、「H花植え・清掃活動」は、今後参加者として参加したいと思う割合が多くなっている。また「A子どもから高齢者までが集える地域活動」や「C高齢者を支援する活動」は、今後担い手として参加したいと思う割合が多くなっている。

図表 問12 あなたは、地域で行われている次のような取組に現在参加していますか。また、今後参加してみたいかについてもお答えください。(現在・今後ともに○はいくつでも)

n=1,305

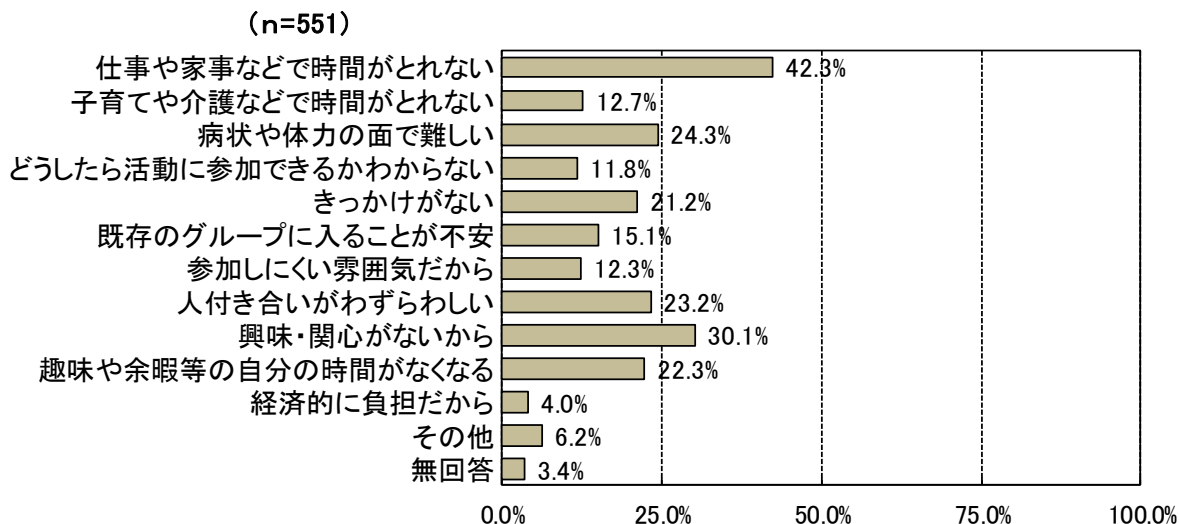
カテゴリー名	現在				今後				無回答
	参加者として参加している	担い手として参加している	参加していない	活動自体を知らない	参加者として参加したいと思う	担い手として参加したいと思う	参加したいと思わない	わからない	
A 子どもから高齢者までが集える地域活動 (お祭りや運動会、集いの場など)	25.1%	7.4%	49.4%	9.0%	29.3%	10.3%	19.2%	28.8%	7.1%
B 健康づくりの活動 (ウォーキングや体操など)	8.4%	1.2%	59.3%	17.2%	28.6%	4.0%	21.2%	30.3%	8.7%
C 高齢者を支援する活動 (見守りや食事会、交流の場など)	3.8%	2.5%	58.5%	20.9%	11.9%	10.6%	22.5%	40.1%	9.0%
D 小・中学生の居場所づくりや交流の機会	2.2%	1.7%	54.7%	24.5%	9.3%	8.4%	23.8%	38.9%	12.5%
E 子育てを支援する活動 (子育て講座や子どもの世話のお手伝いなど)	2.0%	1.5%	57.2%	21.7%	10.0%	8.7%	25.7%	36.6%	12.7%
F 障害児・者との交流の活動 (障害児の放課後の居場所づくりや夏休み中のイベント、障害者施設との合同のお祭りなど)	1.8%	1.3%	55.1%	25.3%	7.7%	7.6%	22.8%	42.6%	12.4%
G 外国人との交流の機会 (日本語教室、日本の文化に触れる機会など)	0.5%	0.7%	53.0%	29.0%	13.9%	9.7%	21.6%	37.3%	12.2%
H 花植え・清掃活動	15.2%	2.9%	52.0%	15.7%	23.0%	8.0%	18.9%	32.5%	9.9%
I 上記以外の福祉や保健の取組	0.8%	1.0%	26.9%	14.3%	1.8%	1.8%	10.2%	28.6%	52.4%



### 問13 地域活動に今後参加したいと思わない理由

地域活動に参加したいと思わない理由をみると、「仕事や家事などで時間がとれない」(42.3%)が最も多く、次いで「興味・関心がないから」(30.1%)、「病状や体力の面で難しい」(24.3%)が高くなっている。

図表 問13 問12の「A～I」について、1つ以上、「今後『参加したいと思わない』」に○をつけた方におたずねします。参加したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

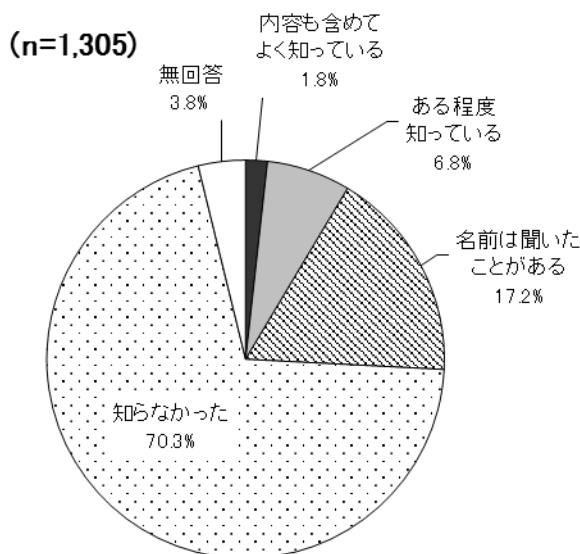


### (4) 福祉保健に関する情報について

#### 問14 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度

『みどりのわ・ささえ愛プラン』の認知度をみると、「知らなかった」が約7割(70.3%)を占めており、認知度は高いとはいえない。「名前は聞いたことがある」も17.2%にとどまっている。

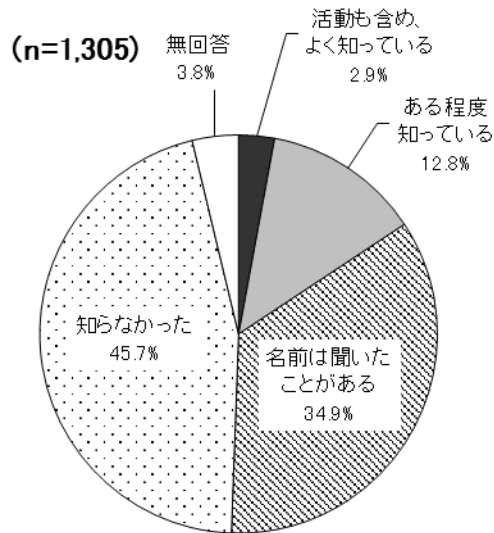
図表 問14 あなたは、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」について知っていますか。(○は1つ)



### 問 15 「緑区社会福祉協議会」の認知度

『緑区社会福祉協議会』の認知度をみると、「知らなかった」が約5割（45.7%）となっている。「活動を含め、良く知っている」（2.9%）と「ある程度知っている」（12.8%）を合わせて15.7%で、「名前は聞いたことがある」は34.9%となっている。

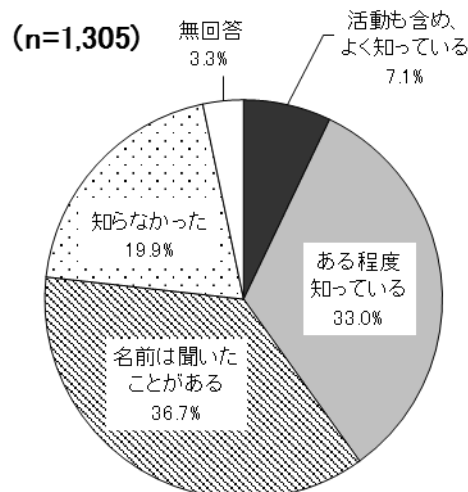
図表 問 15 あなたは、「緑区社会福祉協議会」について知っていますか。（○は1つ）



### 問16 「緑区内の地域ケアプラザ」の認知度

『緑区内の地域ケアプラザ』の認知度をみると、「活動を含め、良く知っている」（7.1%）と「ある程度知っている」（33.0%）を合わせて40.1%で、「名前は聞いたことがある」は36.7%となっている。「知らなかった」は約2割（19.9%）となっている。

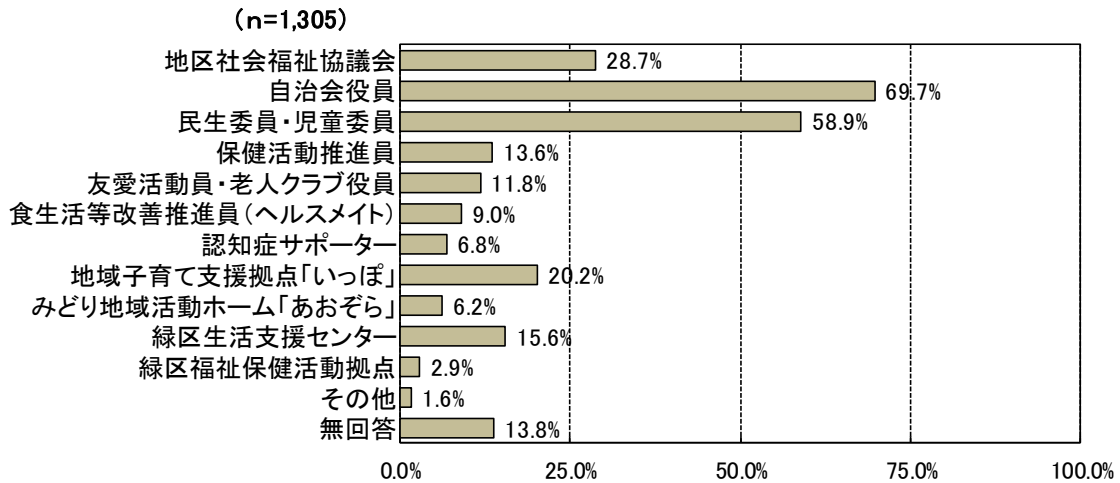
図表 問16 あなたは、「緑区内の地域ケアプラザ」について知っていますか。（○は1つ）



### 問 17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知度

地域の福祉保健に関する施設・団体・委員で知っているものとして、「自治会役員」(69.7%)、「民生委員・児童委員」(58.9%)の回答がいずれも約6割で、とくに認知度が高くなっており、「地区社会福祉協議会」(28.7%)や「地域子育て支援拠点「いっぽ」」(20.2%)がそれに次いでいる。

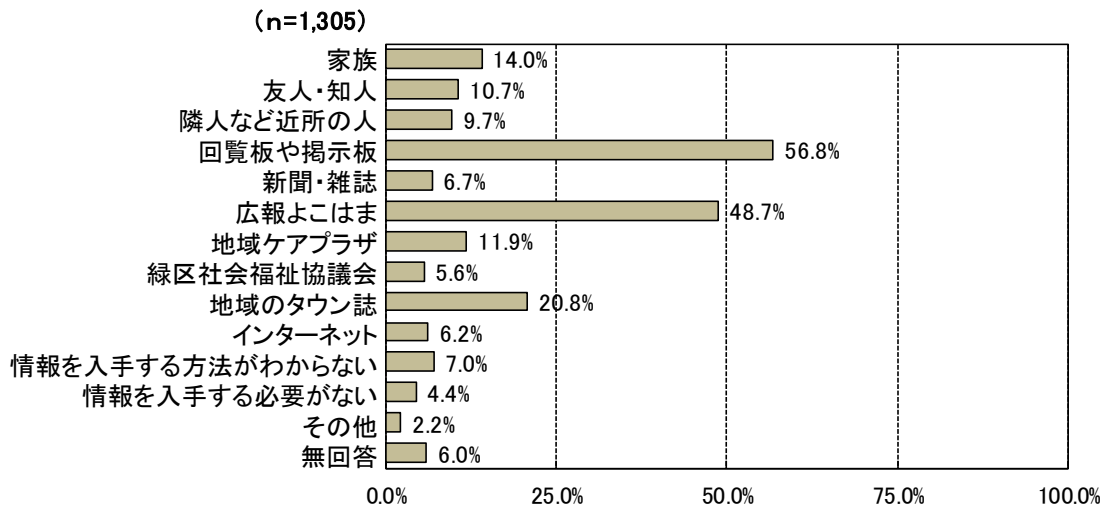
図表 問17 地域の福祉に関する施設・団体・委員として、あなたが知っているものは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)



### 問 18 福祉保健に関する情報の入手先

福祉保健に関する情報の入手先として、「回覧板や掲示板」を6割近く(56.8%)の人が回答し、次いで「広報よこはま」(48.7%)、「地域のタウン誌」(20.8%)が多くなっている。

図表 問18 あなたは、地域の福祉保健に関する活動の情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)



(5) 安全・安心・健康について

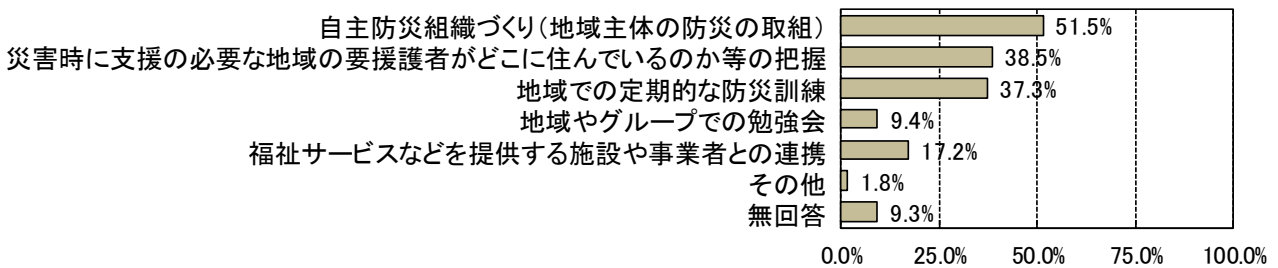
問19 「災害時に住民が支えあう地域づくり」のために日頃から必要な取組

防災に関して、地域で必要な取組については、「自主防災組織づくり」が51.5%で最も多く、「災害時に支援の必要な要援護者がどこに住んでいるか等の把握」(38.5%)と「地域での定期的な防災訓練」(37.3%)がそれに次いでいる。

図表 問19 あなたは「災害時に住民が支え合う地域づくり」に日頃からどのような取組が必要だと思いますか。その中でも、特に重要だと思うものを2つ選んでください。

(○は2つまで)

(n=1,305)

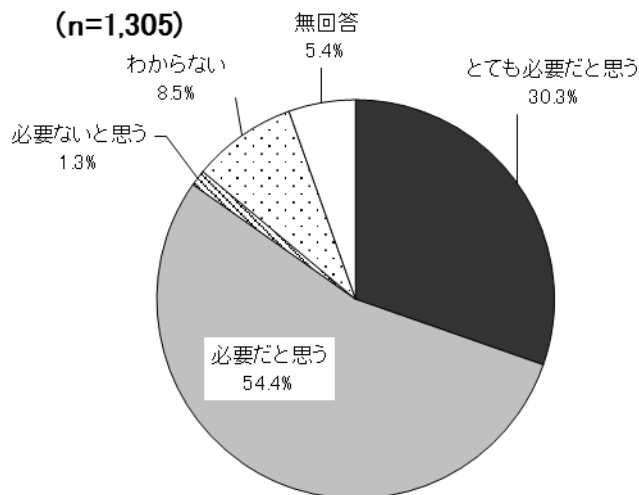


問20 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性

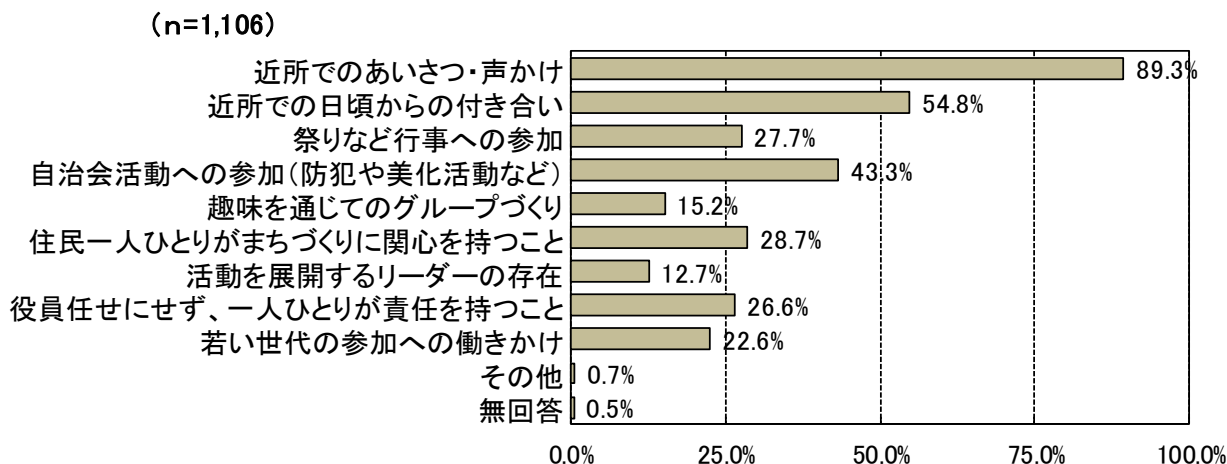
災害時に顔の見える関係づくりは「必要」という回答について、「とても必要だと思う」が30.3%、「必要だと思う」が54.4%と多くなっている。

顔の見える関係づくりのために必要なことは、「近所でのあいさつ・声がけ」(89.3%)や「近所での日頃からの付き合い」(54.8%)、「自治会活動への参加」(43.3%)への回答が多くなっている。

図表 問20 災害時に地域での助け合いが上手くいくためには、問19で選択したもの以外に、日頃からお互いを気に掛け合うなど、顔の見える関係づくりに取り組むことは必要だと思いますか。(○は1つ)



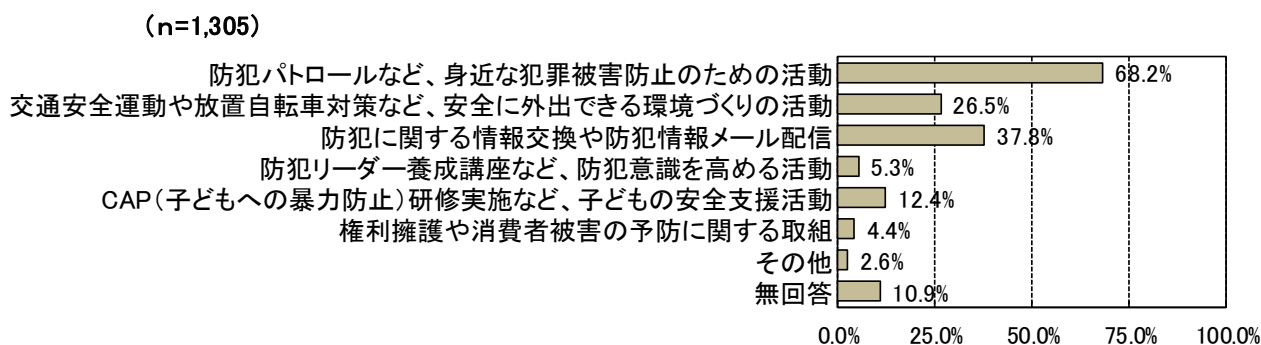
図表 問20-1 地域で「顔の見える関係」を築いていくためには何が必要だと思いますか。  
 <問20で「とても必要だと思う」、「必要だと思う」と答えた方> (〇はいくつでも)



### 問21 「地域における防犯活動」として重要な取組

防犯に関して必要な取組としては、「防犯パトロールなど犯罪被害の防止のための活動」(68.2%)が最も多くなっている。次いで、「防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信」(37.8%)と「交通安全運動や放置自転車対策など安全に外出できる環境づくりの活動」(26.5%)が多くなっている。

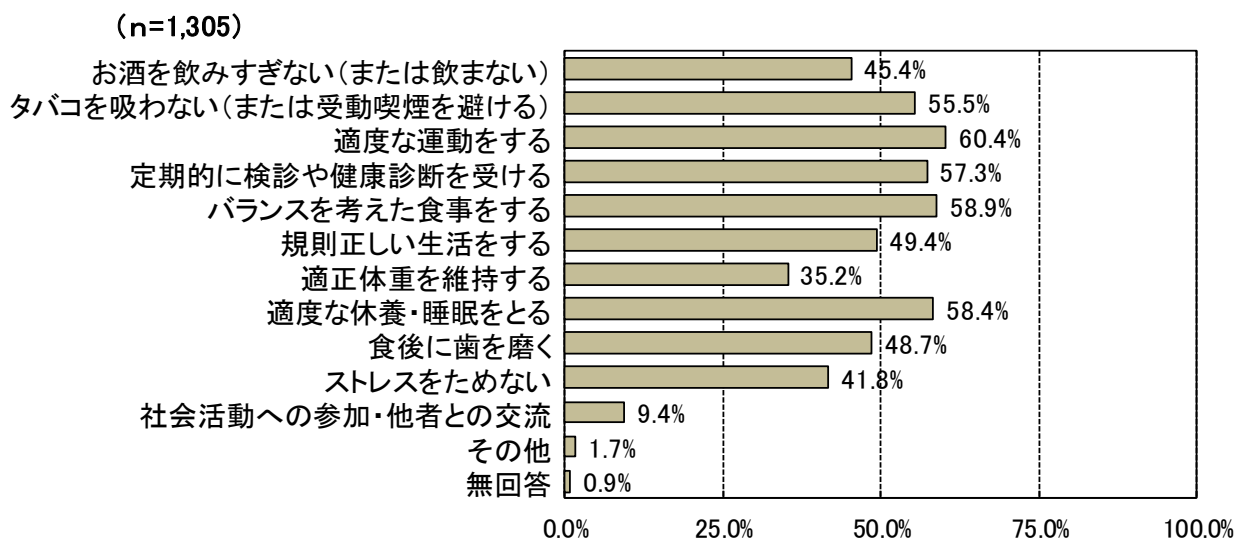
図表 問21 あなたは「地域における防犯活動」として、日頃からどのような取組が必要だと思いますか。その中でも特に重要だと思うものを2つ選んでください。(〇は2つまで)



## 問 22 健康のために心がけていること

日頃から健康のために心がけていることをみると、「適度な運動をする」(60.4%)をはじめ、「バランスを考えた食事をする」(58.9%)、「適度な休養・睡眠をとる」(58.4%)、「定期的に検診や健康診断を受ける」(57.3%)、「タバコを吸わない(受動喫煙を避ける)」(55.5%)などの項目で5割以上の回答があり、回答者は健康のため多くのことを心がけていることが分かる。

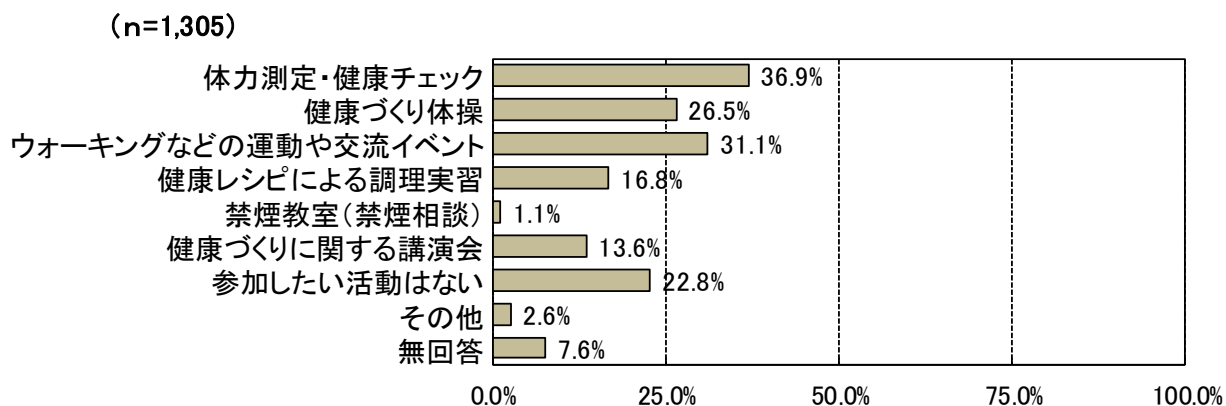
図表 問22 あなたが日頃から、健康のために心がけていることはありますか。  
(〇はいくつでも)



## 問 23 健康のために参加したい活動

自身の健康のために参加したいと思う活動をみると、「体力測定・健康チェック」(36.9%)が最も多く、それに続いて「ウォーキングなどの運動や交流イベント」(31.1%)や「健康づくり体操」(26.5%)など体を動かす活動についての回答が多くなっている。

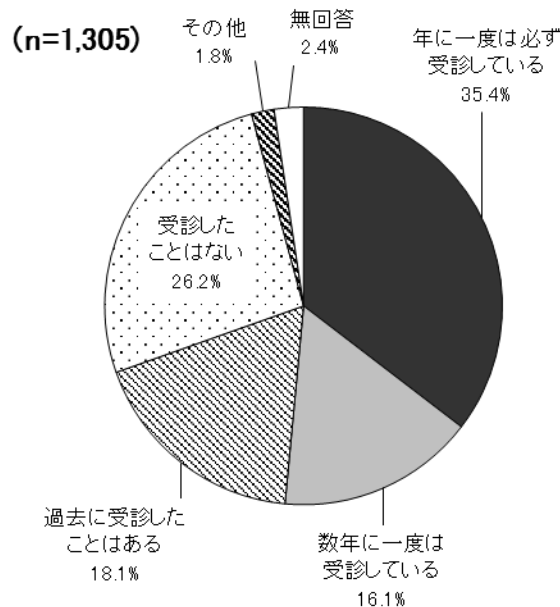
図表 問23 健康のために、身近にどのような活動があれば参加したいと思いますか。  
(〇はいくつでも)



## 問 24 人間ドック・特定健診・がん検診等の受診

人間ドック・特定健診・がん検診等の受診について、「年に一度は必ず受診している」は35.4%と最も多くなっているものの、「受診したことはない」が26.2%とそれに次いでいる。

図表 問24 疾病や早期発見のために、あなたは、学校や会社等がおこなう健康診断以外に、人間ドックや特定健診、がん検診等を受診していますか。（〇は1つ）



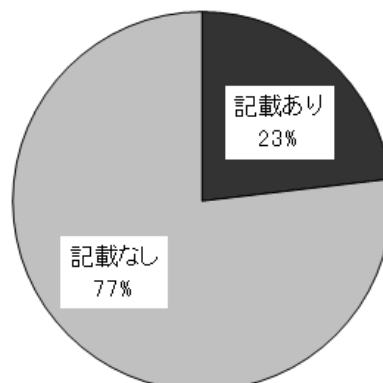
## (6) 緑区の福祉保健全般について

### 問 25 地域をよくするための意見・次期計画に期待すること

自由記入では、全体の23%から記載があった。（内容は第6章参照）

図表 問25 お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案や、次期計画に期待することがございましたら、ご記入ください。（自由記入の記載）

(n=1,305)







## 第4章 クロス集計結果

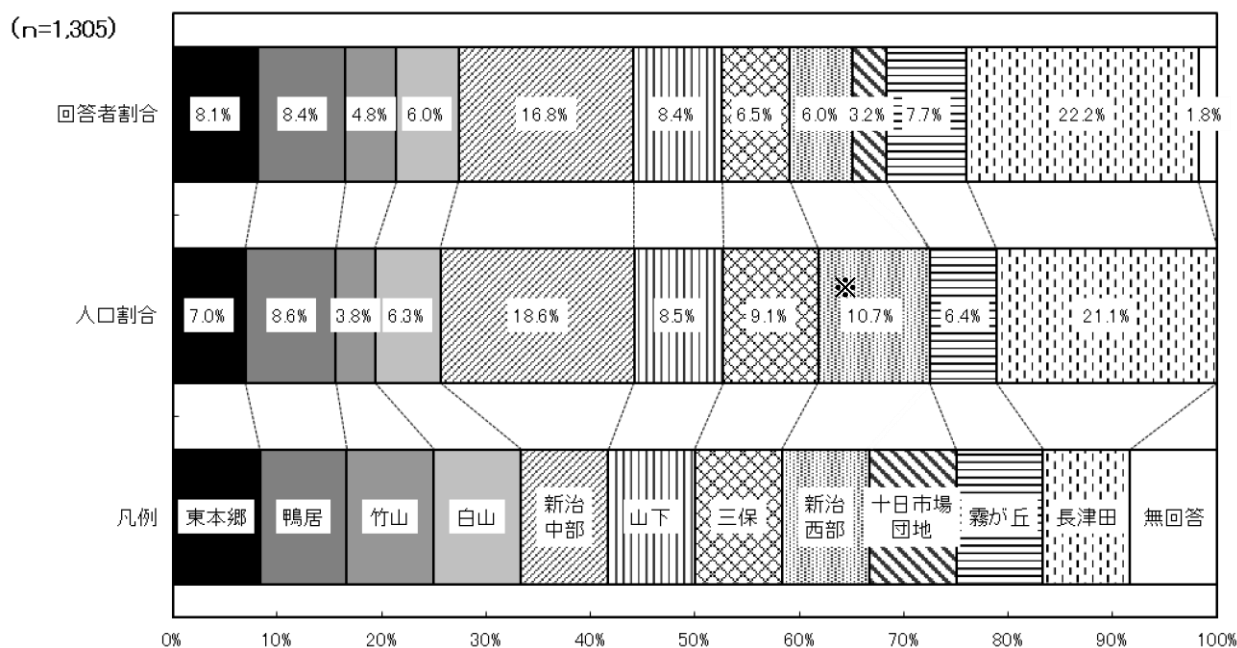
地域福祉保健計画の地区別計画の区域と同じく 11 地区ごとの各設問の回答状況について集計を行った。

### (1) 地区別クロス集計結果

#### 問1 居住地区

本調査では、「みどりのわ・ささえ愛プラン」の地区別計画と同じく 11 地区で集計した。

図表 問1 あなたのお住まいの町はどちらですか



地区名	回答者 (人)	回答者割合 (%)	人口** (人)	人口割合 (%)
東本郷地区	106	8.1%	12,600	7.0%
鴨居地区	110	8.4%	15,604	8.6%
竹山地区	63	4.8%	6,798	3.8%
白山地区	78	6.0%	11,352	6.3%
新治中部地区	219	16.8%	33,520	18.6%
三保地区	110	8.4%	15,306	8.5%
山下地区	85	6.5%	16,483	9.1%
新治西部地区	78	6.0%	19,319	10.7%
十日市場団地地区	42	3.2%		
霧が丘地区	101	7.7%	11,538	6.4%
長津田地区	290	22.2%	38,171	21.1%
無回答 (不明含む)	23	1.8%	-	-
全体	1,305	100.0%	180,691	100.0%

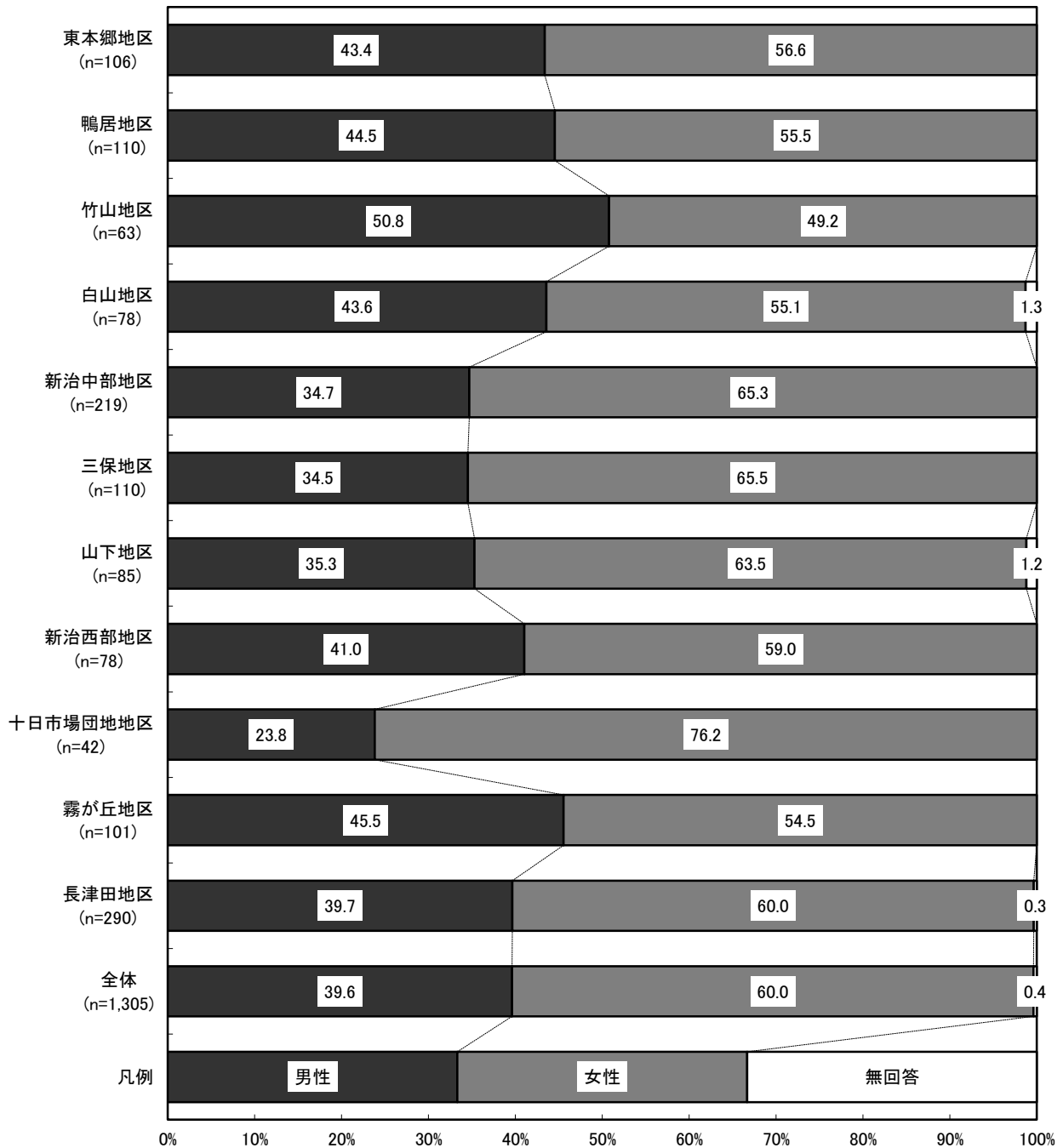
※人口出典は、横浜市統計情報ポータル『年齢、男女別人口-町丁 (平成31年3月31日現在)』

## 問2 性別・年齢・世帯構成

### <性別>

回答者の性別は、全体で見ると女性 60.0%、男性 39.6%で女性がやや多い。地区別集計をみると、全体では女性の回答者割合が多いのに対し、竹山地区は男性の回答者割合が多くなっている。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。  
<性別>(○は1つ)

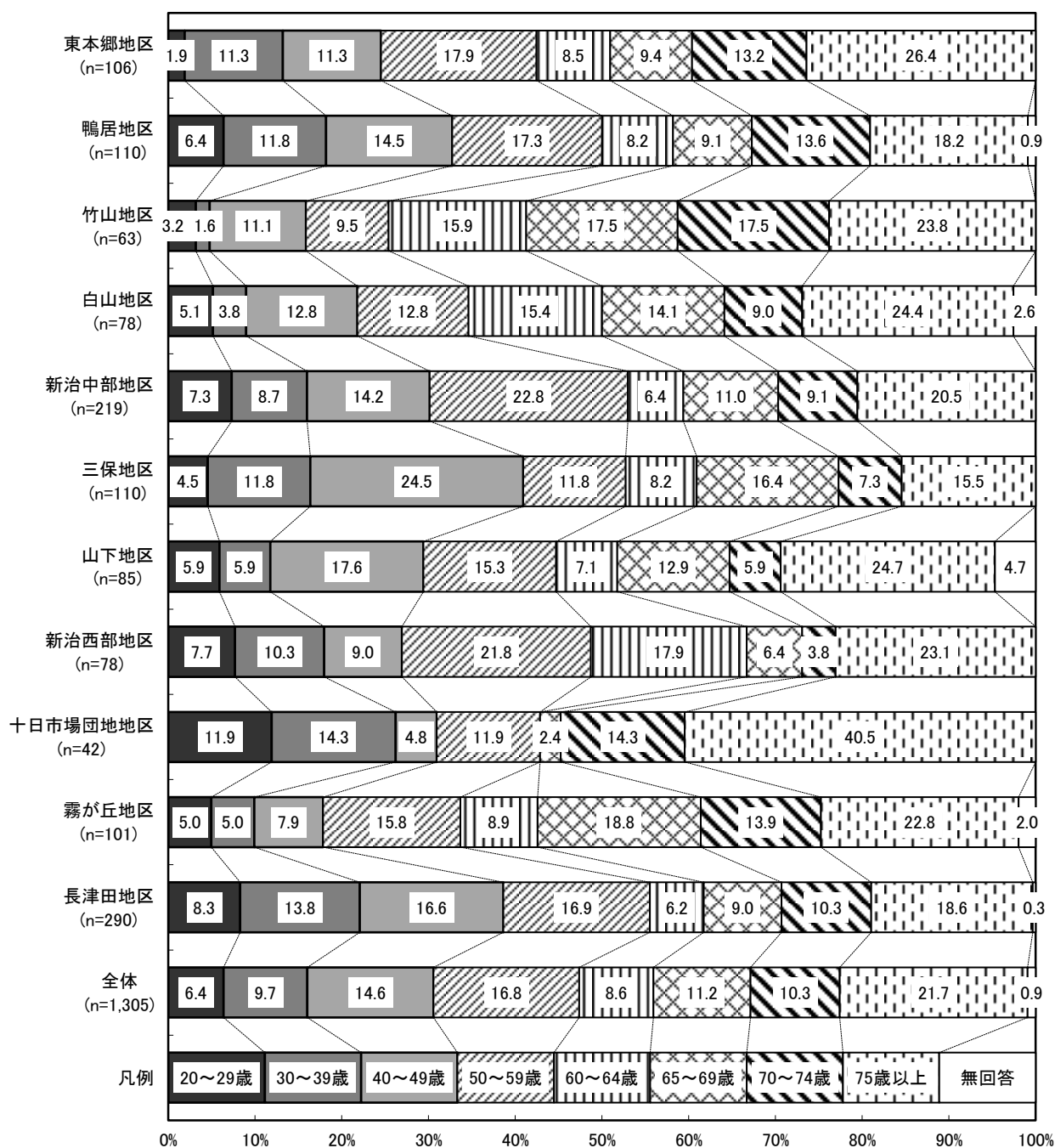


## <年齢>

回答者の年齢構成は、全体では75歳以上が21.7%で最も多く、50歳代（50歳～59歳）が16.8%、40歳代（40歳～49歳）が14.6%でこれに次いでいる。地区別集計をみると、20歳代（20歳～29歳）は、十日市場団地地区（11.9%）が多く、40歳代（40歳～49歳）は、三保地区（24.5%）が多くなっている。また65歳以上の回答は、竹山地区（58.8%）や十日市場団地地区（57.2%）、霧が丘地区（55.5%）の割合が多くなっている。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。

<年齢>(○は1つ)

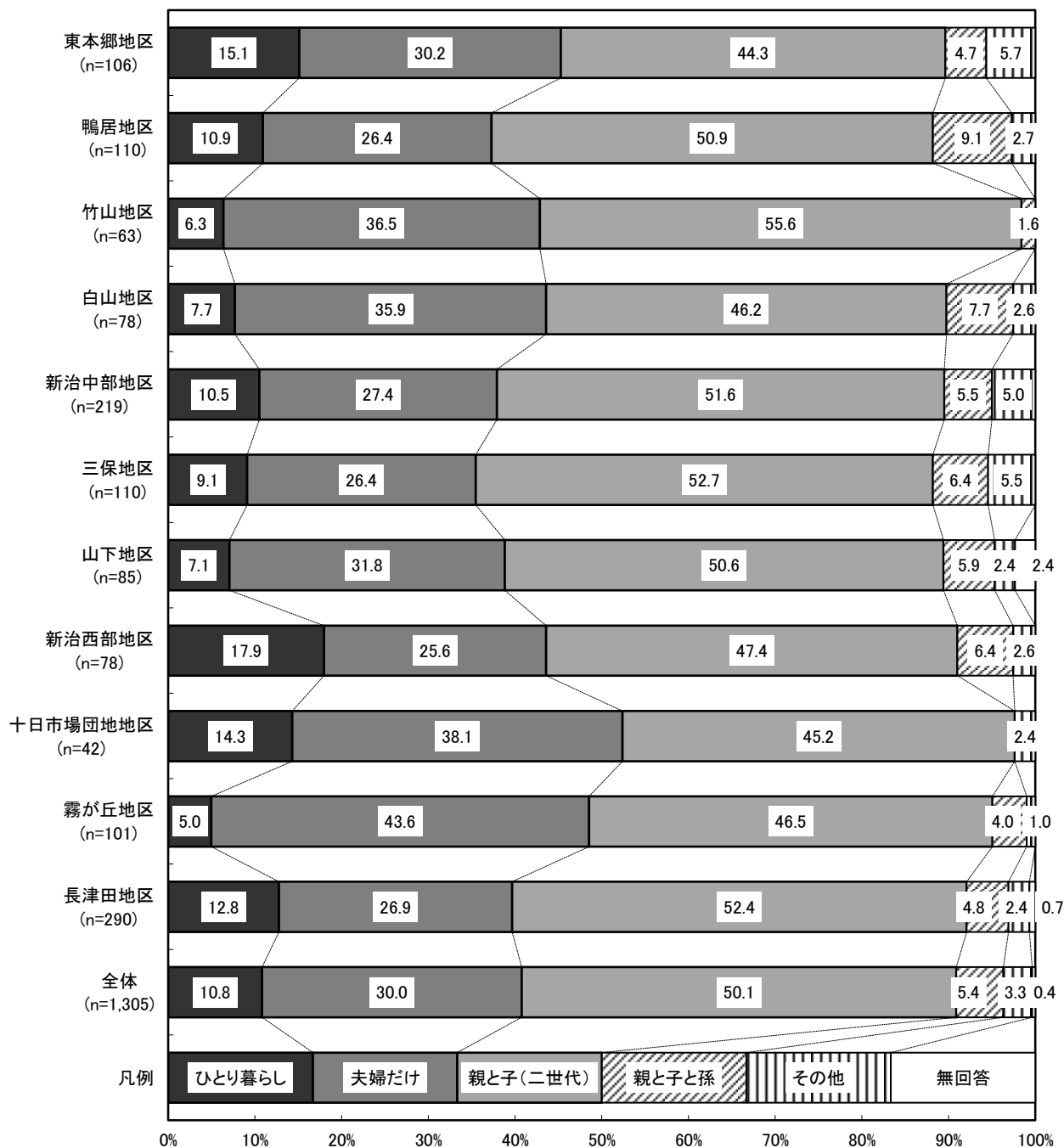


## <世帯構成>

回答者の世帯構成は、全体で見ると、「親と子（二世代）」（50.1%）が最も多く、「夫婦だけ」（30.0%）がそれに次いでいる。地区別集計をみると、全体と比べて、「一人暮らし」の割合は、新治西部地区（17.9%）や東本郷地区（15.1%）、十日市場団地地区（14.3%）、長津田地区（12.8%）、鴨居地区（10.9%）が多くなっている。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。

<世帯構成> (○は1つ)

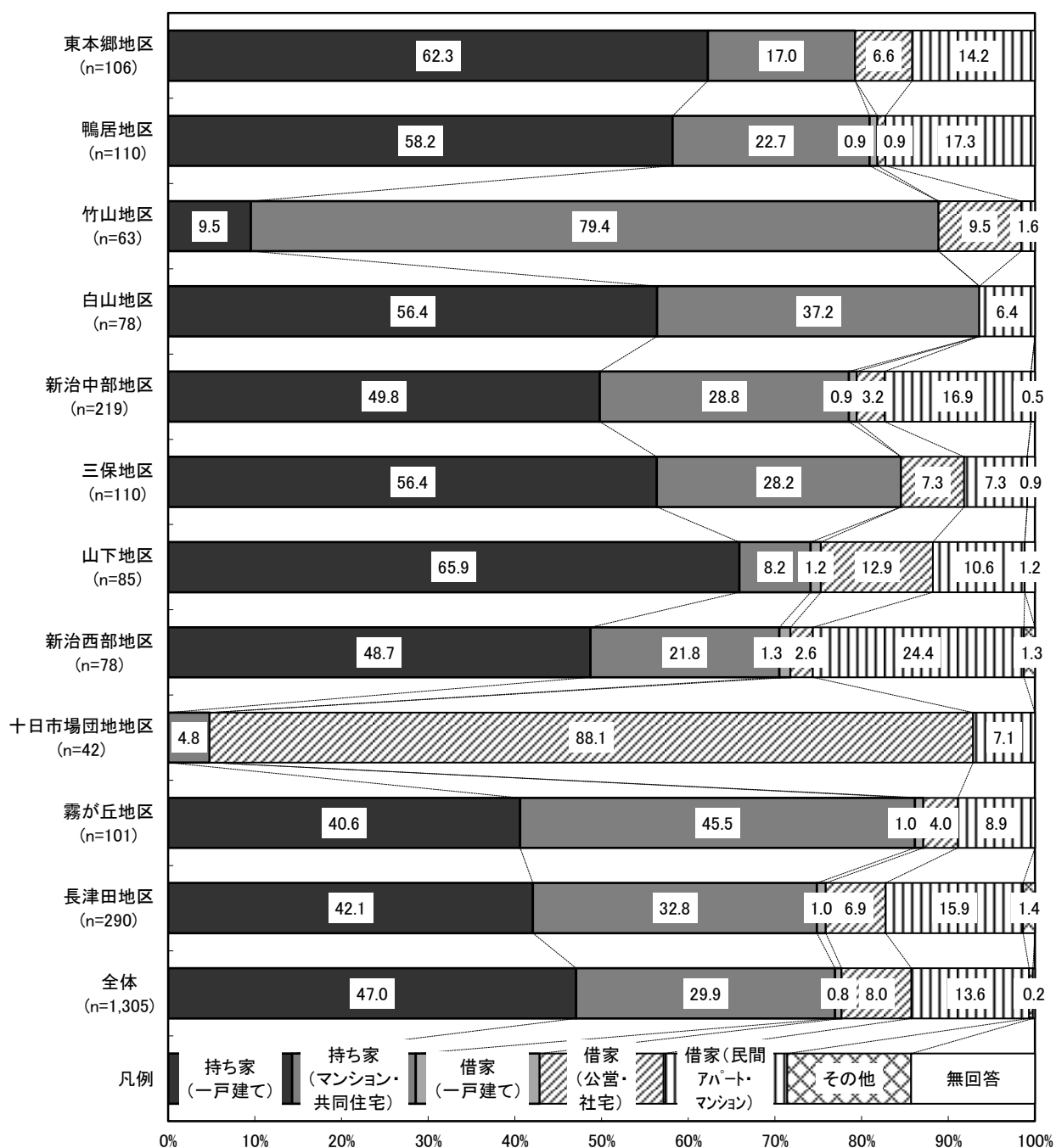


### 問3 住まいの種類

回答者の住まいの種類は、全体をみると、「持ち家（一戸建て）」が5割近く（47.0%）で最も多く、「持ち家（マンション・共同住宅）」（29.9%）がそれに次いでいる。

地区別集計をみると、全体と比べて、東本郷地区や山下地区などは、「持ち家（一戸建て）」の割合が多く、竹山地区や霧が丘地区などは「持ち家（マンション・共同住宅）」の割合が多くなっている。また、新治西部地区は、「借家（民間アパート・民間賃貸マンション）」が多くなっている。

図表 あなたの現在暮らしているお住まいはどれに該当しますか。（○は1つ）



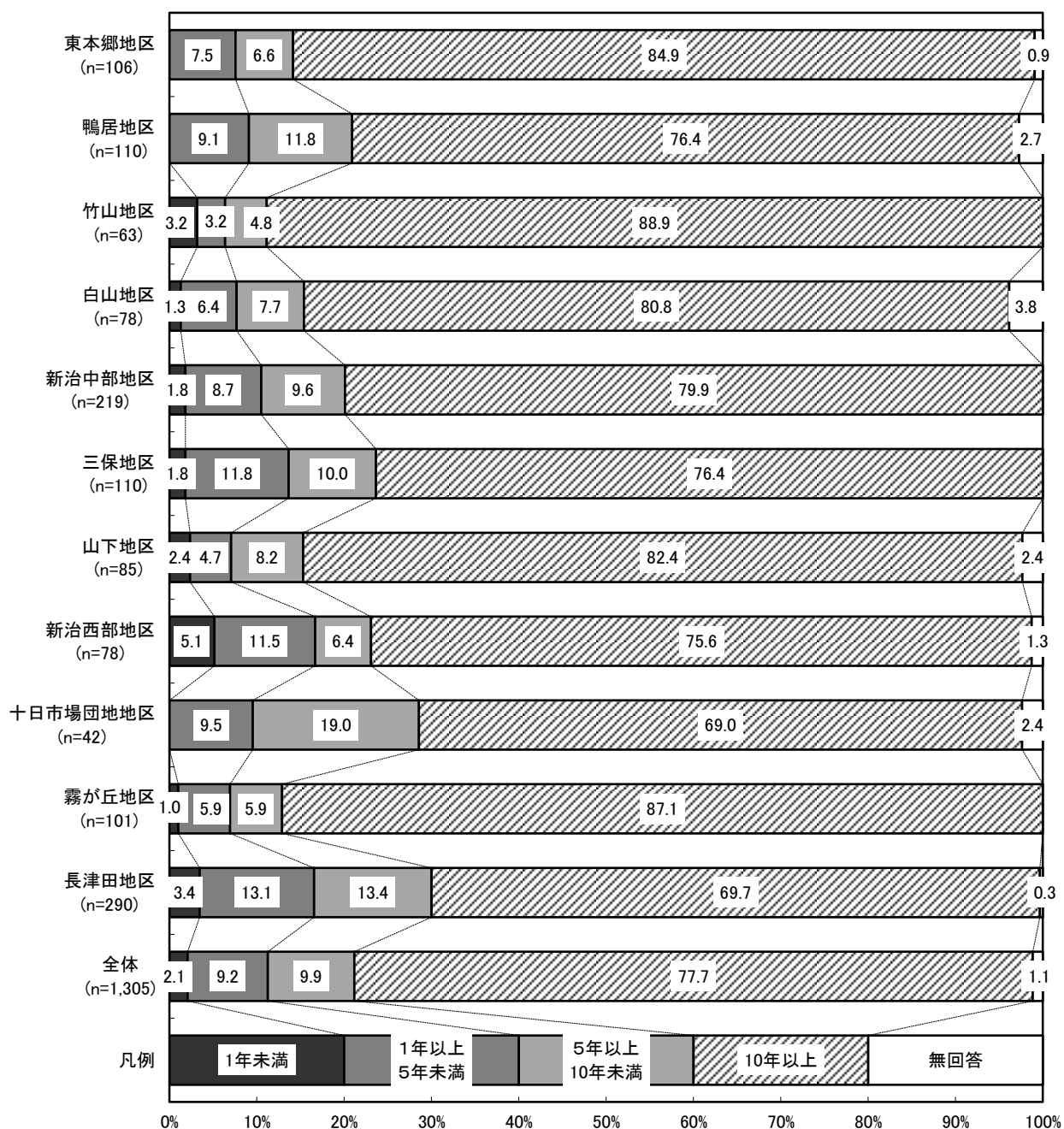
## 問5 居住年数

居住年数は、全体では「10年以上」が77.7%を占めている。次いで「5年以上～10年未満」が9.9%、「1年以上～5年未満」が9.2%となっている。

地区別では、全地区とも、緑区の居住年数は「10年以上」が最も多くなっているが、中でも竹山地区は、「10年以上」が88.9%で、居住年数の長い住民が多い。

十日市場団地地区や長津田地区は居住年数10年未満の回答が他地区と比べて多く、居住年数の浅い住民の割合が多い。

図表 問5 あなたは緑区にお住まいになって何年になりますか。(〇は1つ)



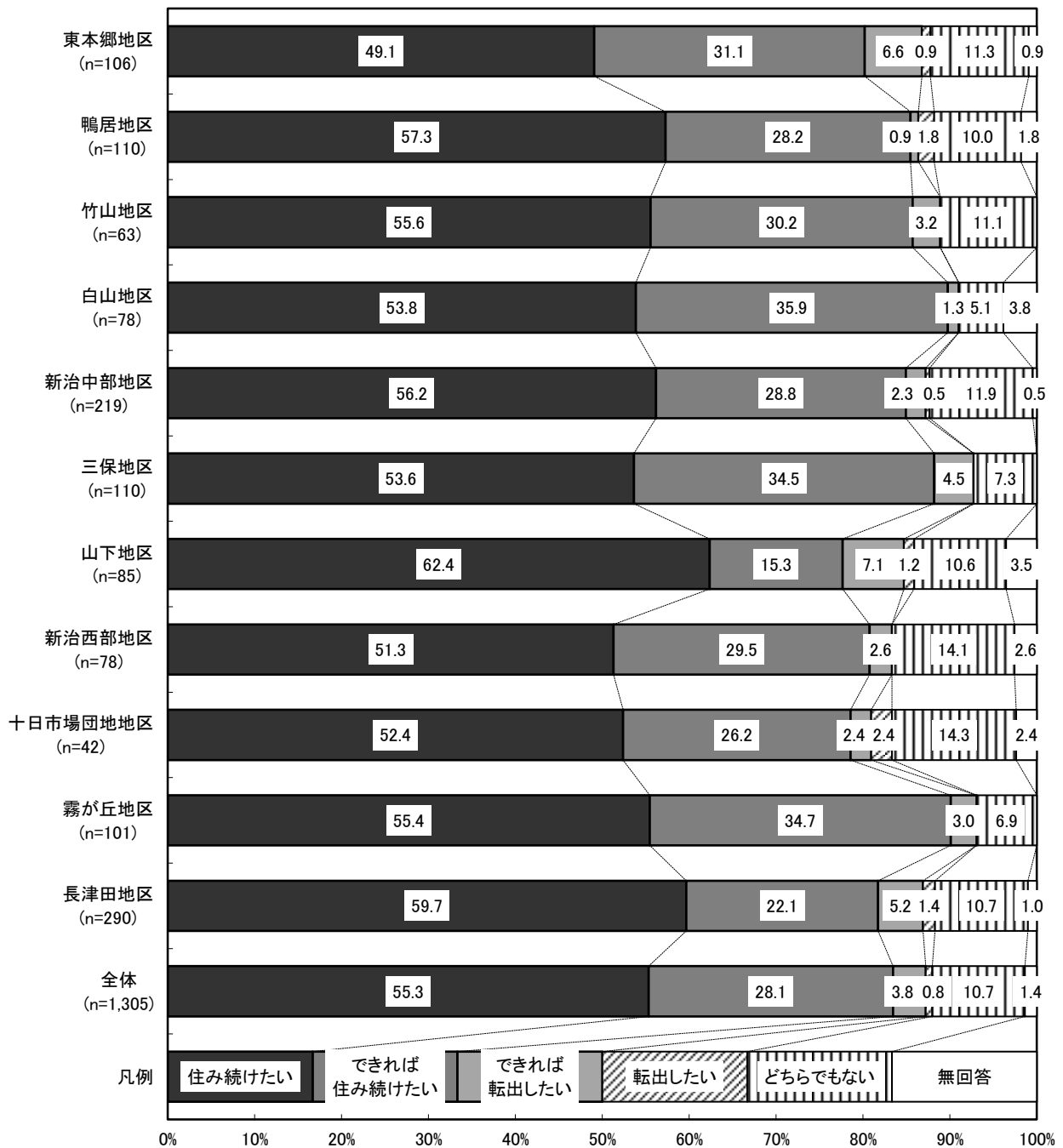
## 問6 居住意向

居住意向は、全体では「住み続けたい」が55.3%と最も多く、「できれば住み続けたい」の28.1%と合わせると、83.4%が住み続けたい意向となっている。

地区別では、全地区とも、概ね全体と同じ傾向ではあるが、山下地区は、「住み続けたい」が62.4%と最も多い一方で、「転出したい」及び「できれば転出したい」（合計8.3%）の回答もやや多くなっている。

また新治西部地区や十日市場団地地区は、「どちらでもない」の回答が多くなっている。

図表 問6 あなたはこれからも緑区に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

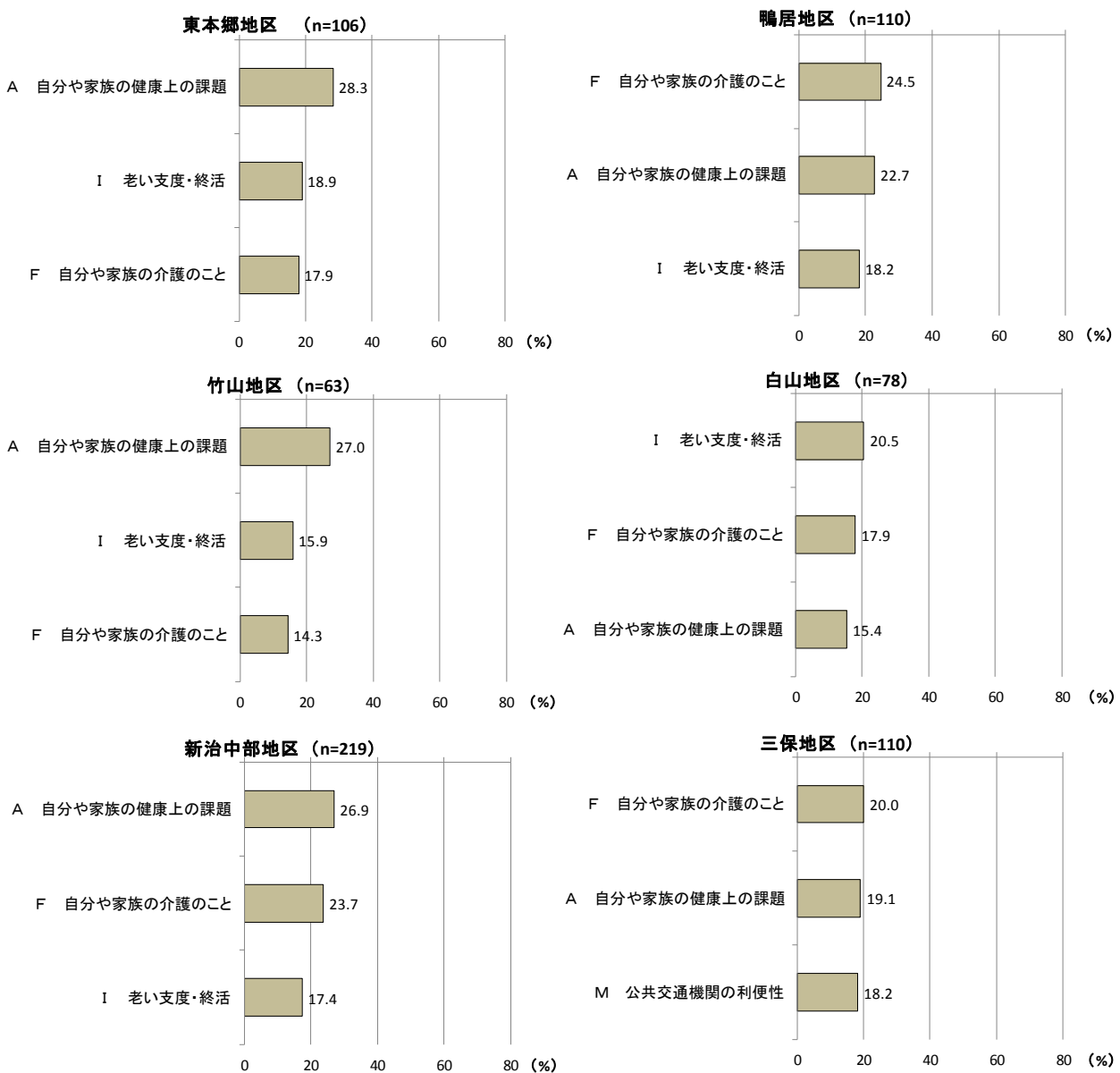


## 問8 特に気になっていること、困っていること

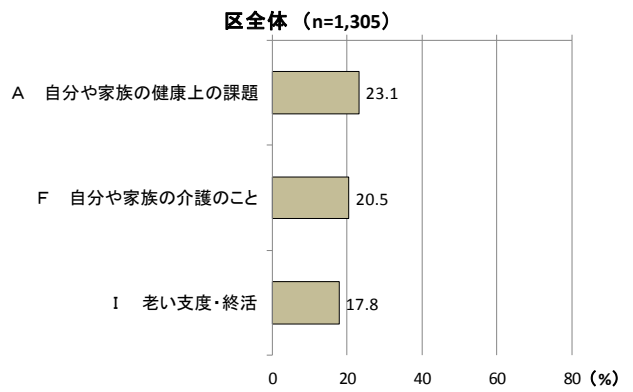
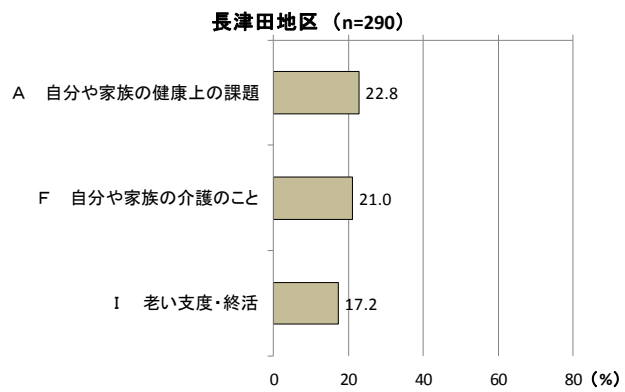
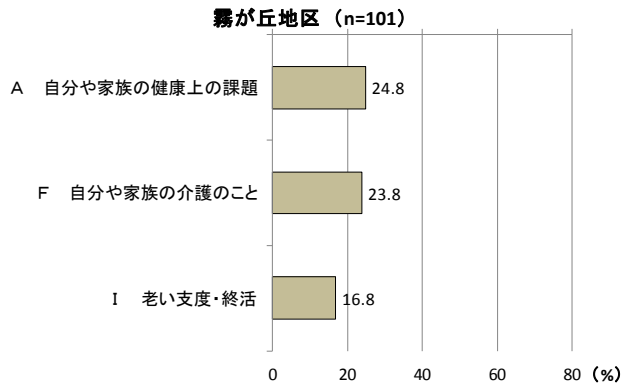
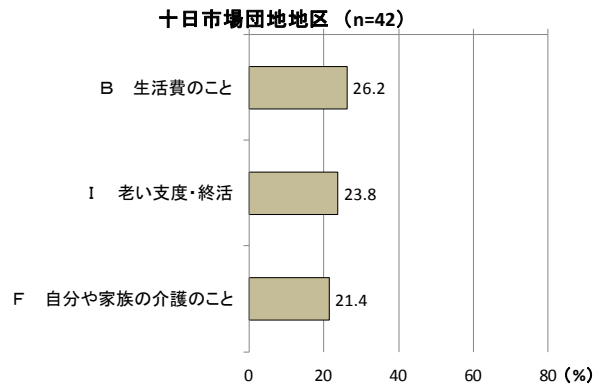
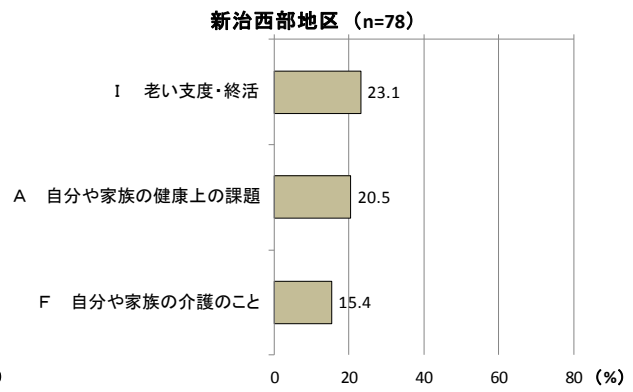
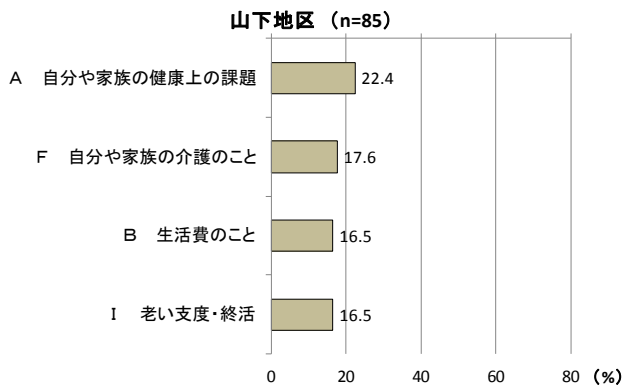
日常生活で特に気になっていること、困りごとは、全体では「A自分や家族の健康上の問題」(23.1%)が最も多く、次いで「F自分や家族の介護のこと」(20.5%)、「I老い支度、終活」(17.8%)が高くなっている。

地区別では、全地区とも、概ね全体と同じ傾向ではあるが、十日市場団地地区や山下地区は、他地区と比べて「B生活費のこと」が多くなっている。また三保地区では「M公共交通機関の利便性」(18.2%)が多くなっている。

図表 問8 問7の「A～M」の項目のうち、特に気になっていることや困っていることはどれですか。(該当する項目のアルファベットを3つまで記入)







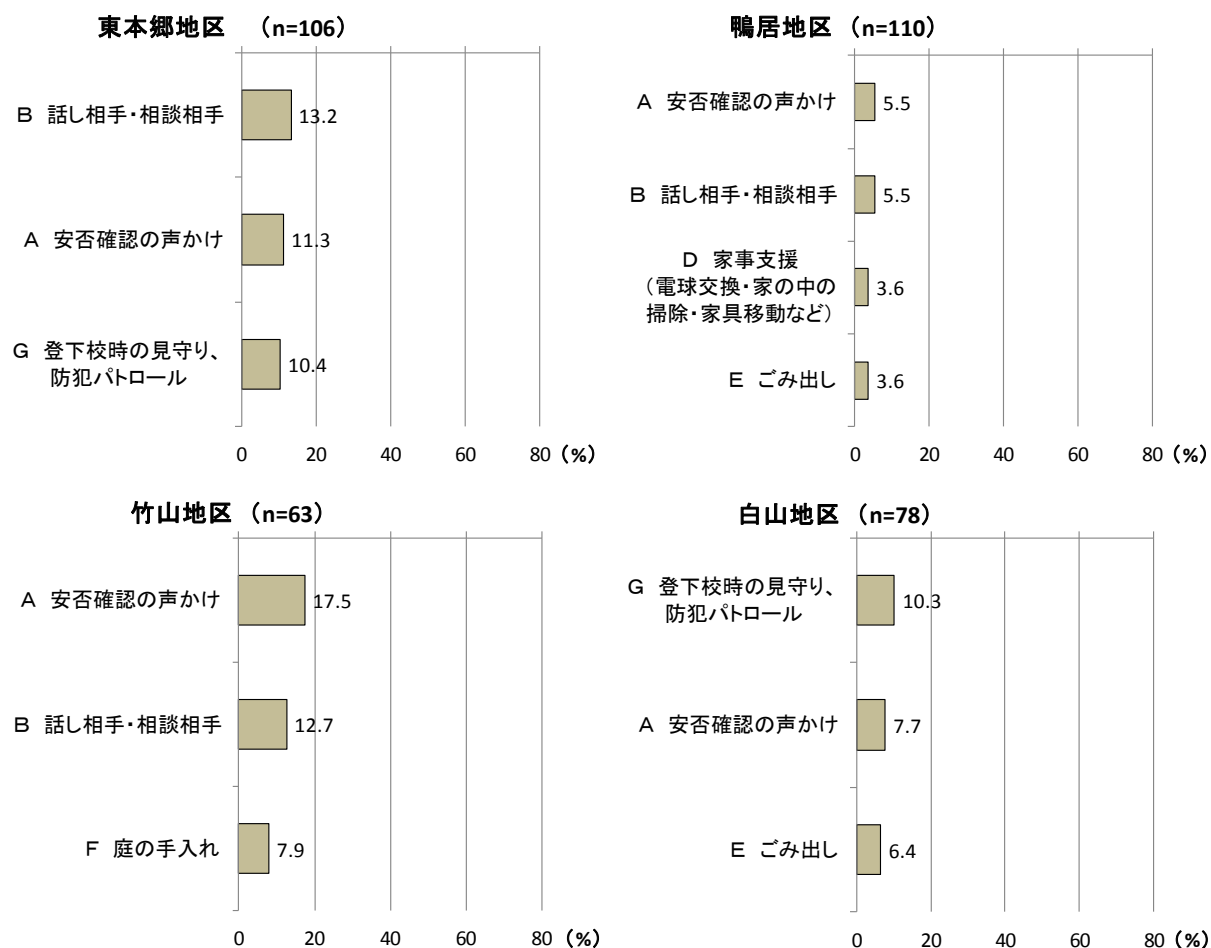
## 問9 地域で困っている方の手助け

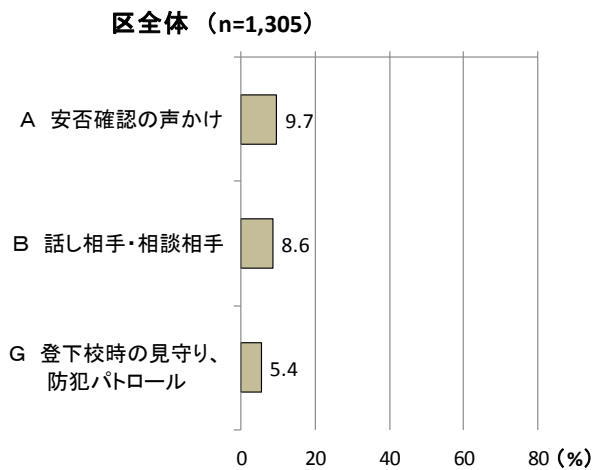
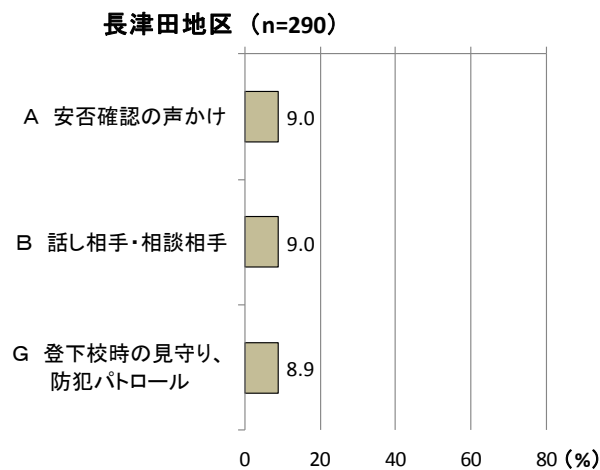
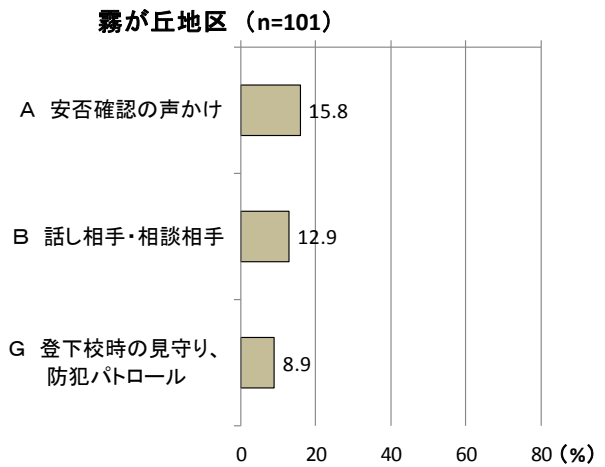
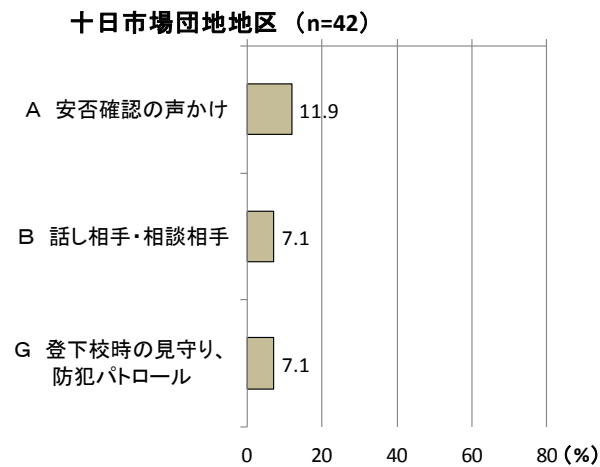
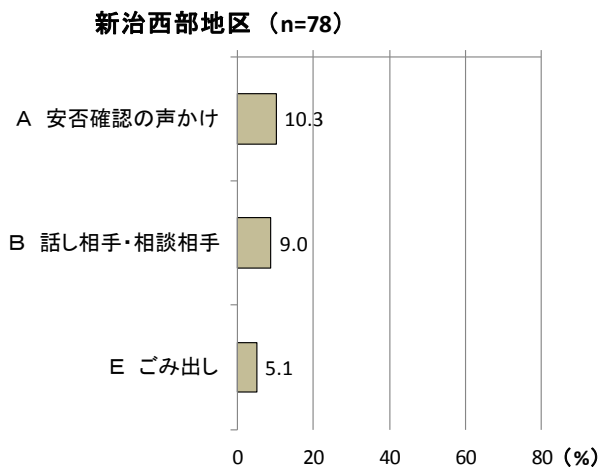
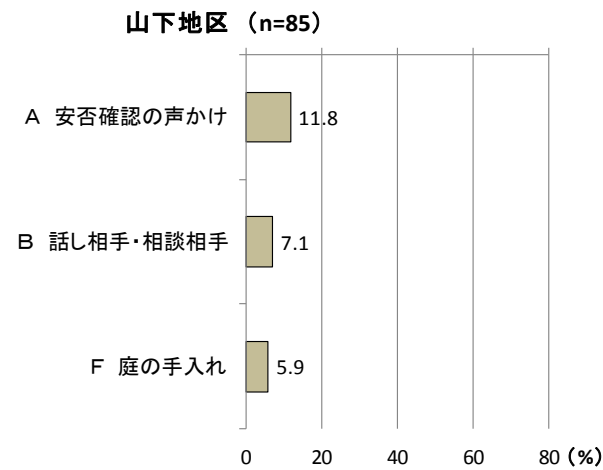
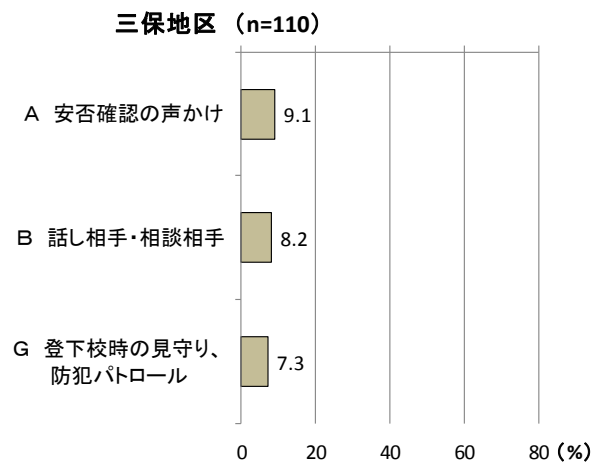
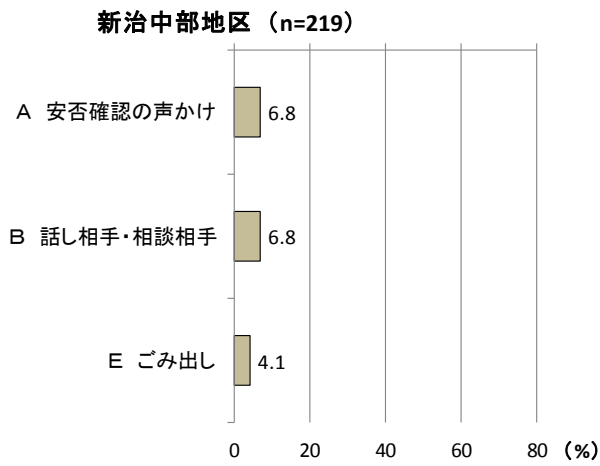
地域に困っている人がいる場合に、現在手助けしていることは、全体では「A安否確認の声かけ」(9.7%)が最も多くなっている。また今後手助けできることは、「A安否確認の声かけ」(54.9%)が最も多くなっている。

地区別では、全地区とも概ね全体と同じ傾向ではあるが、現在手助けしていることで、白山地区や東本郷地区は、他地区と比べて「G登下校時の見守り、防犯パトロール」が多くなっている。また今後手助けできることでは、鴨居地区や三保地区、山下地区、長津田地区は、「C日用品などの買い物」が多く、白山地区は「G登下校時の見守り、防犯パトロール」(34.6%)が他地区と比べて多くなっている。

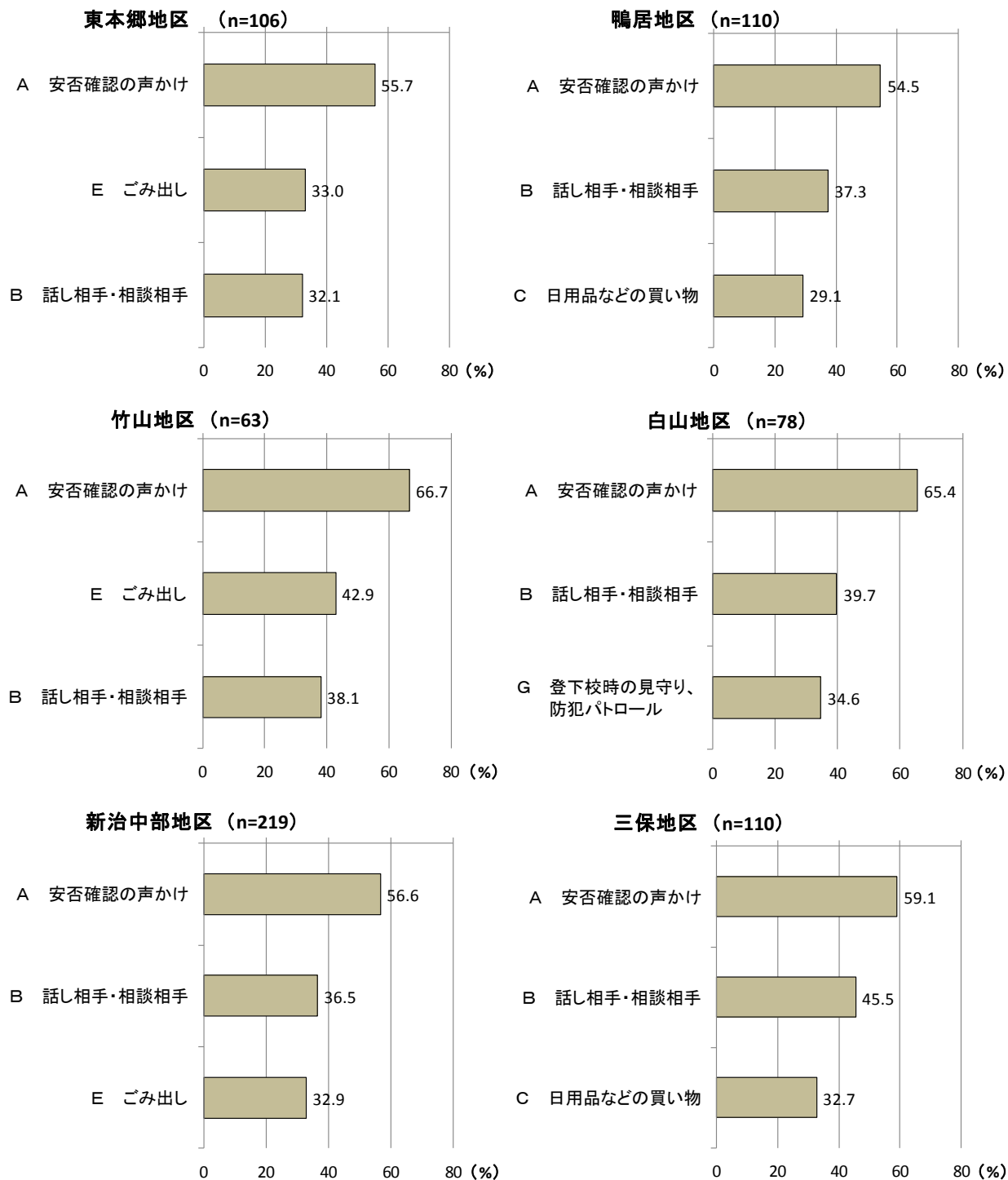
図表 問9 あなたは、地域に困っている人がいる場合、手助けをできると思うことはありますか。

①「現在」すでに手助けをしていること（〇はいくつでも）

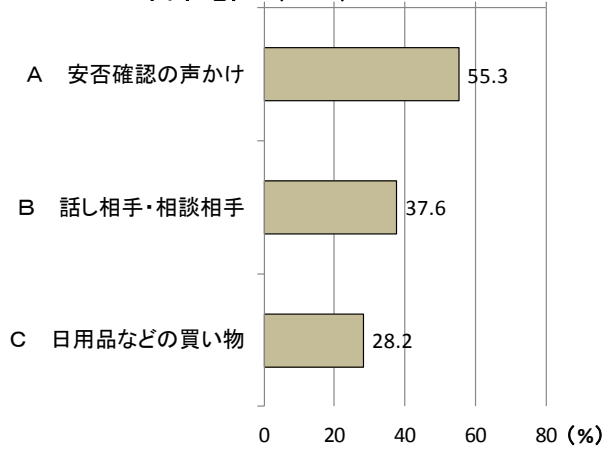




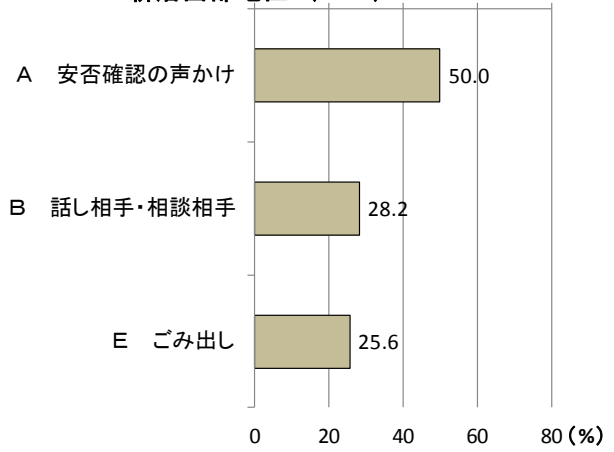
②「今後（または今後も）」手助けをできる、と思うことはありますか。（〇はいくつでも）



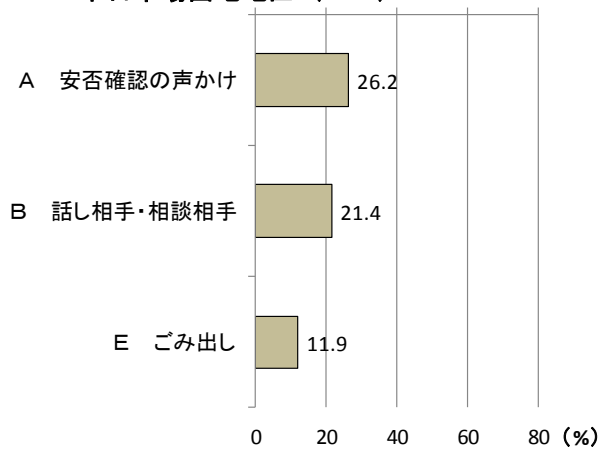
山下地区 (n=85)



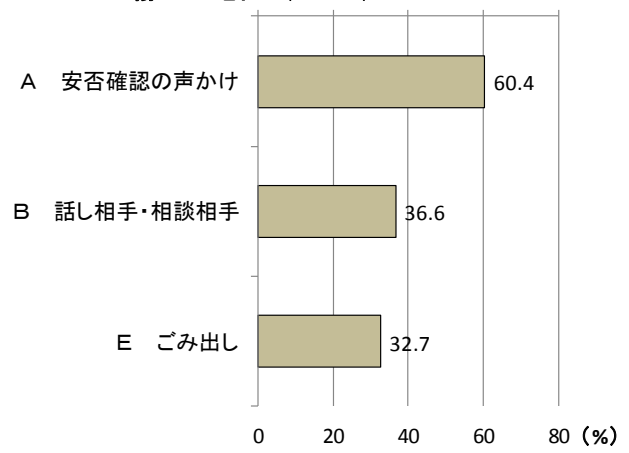
新治西部地区 (n=78)



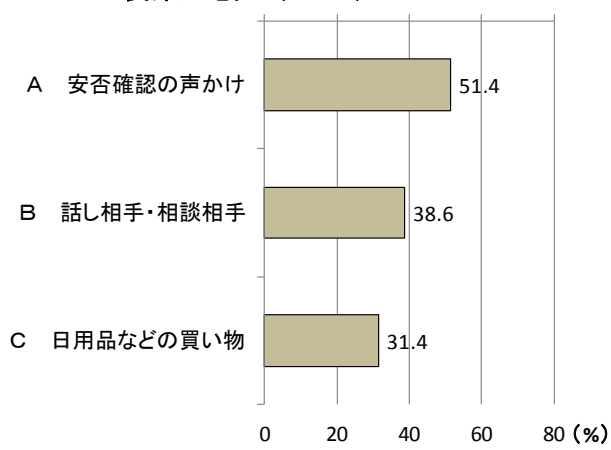
十日市場団地地区 (n=42)



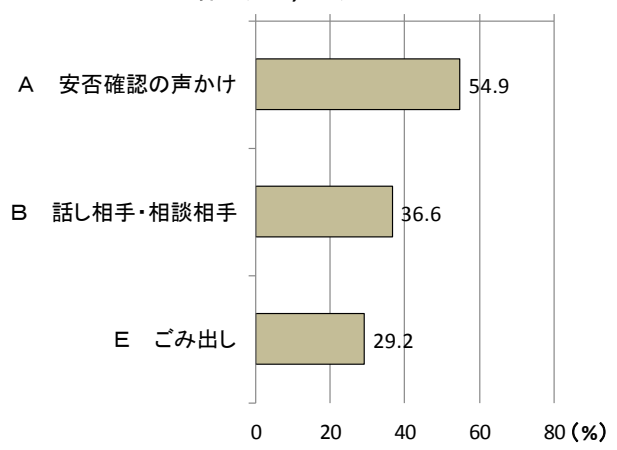
霧が丘地区 (n=101)



長津田地区 (n=290)



区全体 (n=1,305)

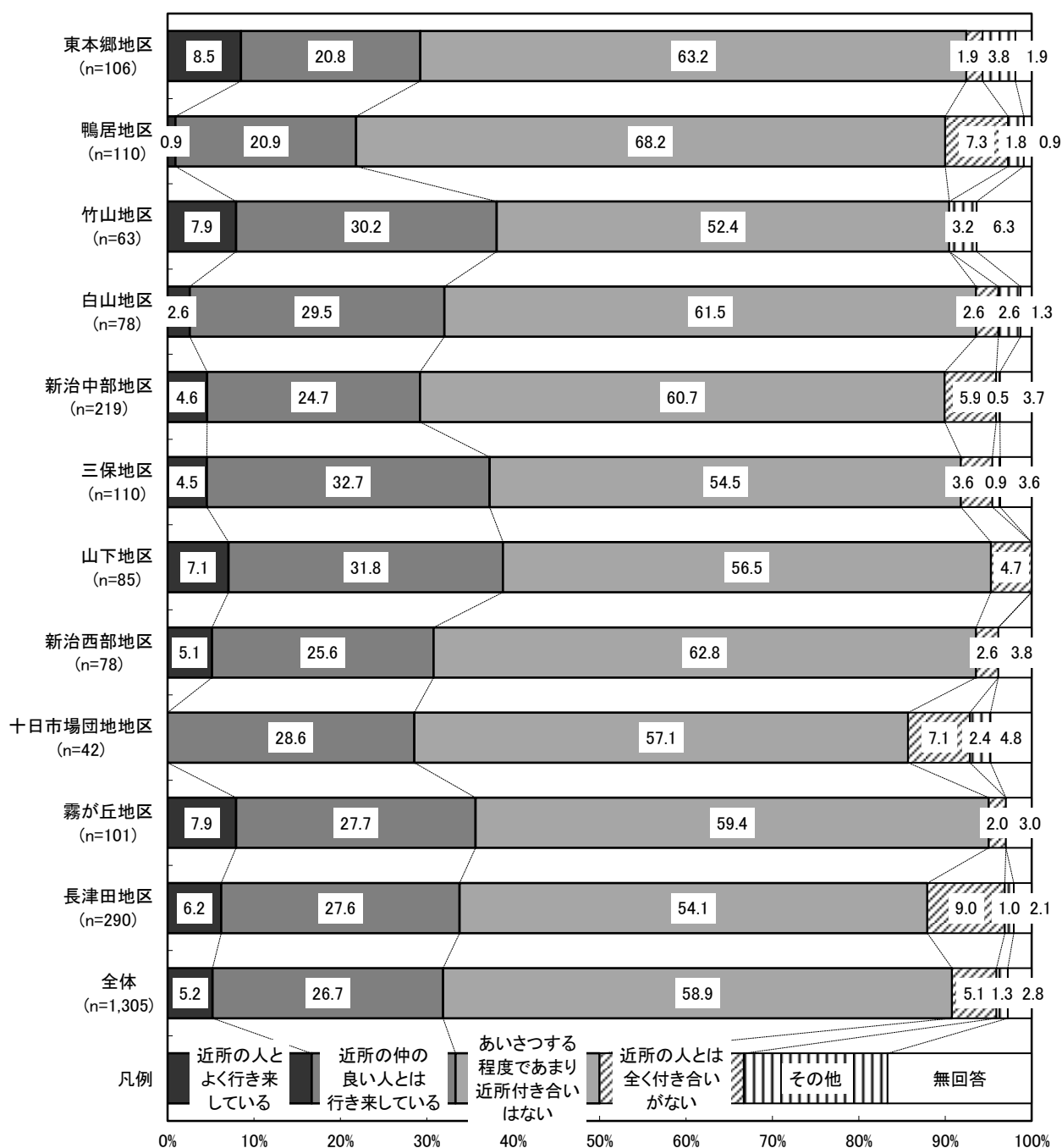


## 問 10 近所付き合い

近所付き合いをみると、全体では「あいさつする程度であまり近所付き合いはない」が 58.9%と多くなっている。

地区別では、全地区とも、概ね全体と同じ傾向ではあるが、鴨居地区は、他地区と比べて「あいさつする程度であまり近所付き合いはない」(68.2%)が多くなっている。また十日市場団地地区や鴨居地区は「近所の人とよく行き来している」が 1%未満と低くなっている。

図表 問10 あなたご自身は、どのようなご近所付き合いをしていますか。(〇は1つ)



## 問 12 地域の活動への参加状況と今後の参加意向

地域活動への参加意向について、全地区で「A子どもから高齢者までが集える地域活動」や「H花植え・清掃活動」は、現在参加者または担い手として参加している方が多くなっている。また「A子どもから高齢者までが集える地域活動」や「B健康づくりの活動」、「H花植え・清掃活動」は、地区によって今後参加者として参加したいと思う割合が多くなっている。

また竹山地区は、「A子どもから高齢者までが集える地域活動」(20.6%)や「C高齢者を支援する活動」(17.5%)などで、今後担い手として参加したいと思う割合が多くなっている。十日市場団地地区は「G外国人との交流の機会」(16.7%)で、今後担い手として参加したいと思う割合が多くなっている。

図表 問12 あなたは、地域で行われている次のような取組に現在参加していますか。

また、今後参加してみたいかについてもお答えください。(現在・今後ともに○はいくつでも)

### A 子どもから高齢者までが集える地域活動（お祭りや運動会、集いの場など）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
東本郷地区(n=106)	27.4%	23.6%	8.5%	8.5%
鴨居地区(n=110)	19.1%	25.5%	4.5%	6.4%
竹山地区(n=63)	38.1%	31.7%	15.9%	20.6%
白山地区(n=78)	24.4%	28.2%	10.3%	9.0%
新治中部地区(n=219)	24.2%	25.1%	6.4%	9.1%
三保地区(n=110)	25.5%	30.9%	10.0%	11.8%
山下地区(n=85)	18.8%	28.2%	9.4%	11.8%
新治西部地区(n=78)	26.9%	30.8%	3.8%	11.5%
十日市場団地地区(n=42)	16.7%	16.7%	4.8%	2.4%
霧が丘地区(n=101)	29.7%	34.7%	6.9%	11.9%
長津田地区(n=290)	26.6%	36.6%	6.6%	11.7%
全体(n=1,305)	25.1%	29.3%	7.4%	10.3%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
東本郷地区(n=106)	51.9%	21.7%	6.6%	34.0%	7.5%
鴨居地区(n=110)	62.7%	29.1%	11.8%	34.5%	1.8%
竹山地区(n=63)	31.7%	9.5%	1.6%	23.8%	11.1%
白山地区(n=78)	46.2%	21.8%	9.0%	24.4%	6.4%
新治中部地区(n=219)	52.5%	22.4%	7.3%	33.3%	5.9%
三保地区(n=110)	49.1%	15.5%	9.1%	27.3%	6.4%
山下地区(n=85)	57.6%	15.3%	5.9%	31.8%	9.4%
新治西部地区(n=78)	42.3%	14.1%	17.9%	29.5%	10.3%
十日市場団地地区(n=42)	54.8%	35.7%	2.4%	23.8%	16.7%
霧が丘地区(n=101)	46.5%	16.8%	4.0%	24.8%	8.9%
長津田地区(n=290)	46.2%	15.5%	12.8%	24.8%	5.2%
全体(n=1,305)	49.4%	19.2%	9.0%	28.8%	7.1%

B 健康づくりの活動（ウォーキングや体操など）

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
東本郷地区(n=106)	14.2%	31.1%	1.9%	4.7%
鴨居地区(n=110)	6.4%	25.5%	0.9%	2.7%
竹山地区(n=63)	6.3%	23.8%	1.6%	6.3%
白山地区(n=78)	5.1%	32.1%	1.3%	1.3%
新治中部地区(n=219)	7.8%	27.9%	0.9%	3.2%
三保地区(n=110)	5.5%	31.8%	0.9%	1.8%
山下地区(n=85)	11.8%	34.1%	2.4%	3.5%
新治西部地区(n=78)	6.4%	29.5%	0.0%	2.6%
十日市場団地地区(n=42)	4.8%	9.5%	2.4%	2.4%
霧が丘地区(n=101)	13.9%	38.6%	3.0%	7.9%
長津田地区(n=290)	8.6%	26.6%	0.7%	5.5%
全体(n=1,305)	8.4%	28.6%	1.2%	4.0%

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
東本郷地区(n=106)	66.0%	24.5%	8.5%	28.3%	6.6%
鴨居地区(n=110)	65.5%	30.9%	20.0%	32.7%	4.5%
竹山地区(n=63)	63.5%	19.0%	7.9%	27.0%	15.9%
白山地区(n=78)	60.3%	19.2%	17.9%	28.2%	11.5%
新治中部地区(n=219)	61.2%	24.2%	14.6%	32.9%	7.8%
三保地区(n=110)	62.7%	19.1%	19.1%	30.0%	5.5%
山下地区(n=85)	57.6%	12.9%	14.1%	32.9%	10.6%
新治西部地区(n=78)	57.7%	23.1%	21.8%	26.9%	14.1%
十日市場団地地区(n=42)	57.1%	28.6%	14.3%	28.6%	16.7%
霧が丘地区(n=101)	56.4%	11.9%	11.9%	27.7%	7.9%
長津田地区(n=290)	54.1%	21.0%	23.4%	30.0%	6.9%
全体(n=1,305)	59.3%	21.2%	17.2%	30.3%	8.7%



Ｃ 高齢者を支援する活動（見守りや食事会、交流の場など）

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
東本郷地区(n=106)	6.6%	11.3%	8.5%	13.2%
鴨居地区(n=110)	0.9%	5.5%	1.8%	9.1%
竹山地区(n=63)	0.0%	4.8%	4.8%	17.5%
白山地区(n=78)	2.6%	17.9%	3.8%	5.1%
新治中部地区(n=219)	5.0%	11.4%	1.4%	9.1%
三保地区(n=110)	1.8%	8.2%	0.9%	10.9%
山下地区(n=85)	7.1%	17.6%	0.0%	9.4%
新治西部地区(n=78)	0.0%	12.8%	1.3%	10.3%
十日市場団地地区(n=42)	4.8%	2.4%	0.0%	7.1%
霧が丘地区(n=101)	6.9%	19.8%	4.0%	13.9%
長津田地区(n=290)	3.8%	13.8%	2.4%	11.7%
全体(n=1,305)	3.8%	11.9%	2.5%	10.6%

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
東本郷地区(n=106)	66.0%	27.4%	13.2%	36.8%	6.6%
鴨居地区(n=110)	64.5%	31.8%	27.3%	46.4%	4.5%
竹山地区(n=63)	68.3%	17.5%	4.8%	39.7%	17.5%
白山地区(n=78)	62.8%	21.8%	19.2%	38.5%	5.1%
新治中部地区(n=219)	59.4%	25.1%	19.6%	42.9%	7.8%
三保地区(n=110)	54.5%	23.6%	26.4%	38.2%	10.0%
山下地区(n=85)	62.4%	12.9%	16.5%	42.4%	11.8%
新治西部地区(n=78)	55.1%	19.2%	28.2%	43.6%	10.3%
十日市場団地地区(n=42)	61.9%	28.6%	9.5%	28.6%	19.0%
霧が丘地区(n=101)	59.4%	15.8%	13.9%	38.6%	8.9%
長津田地区(n=290)	51.7%	21.4%	26.9%	37.6%	7.9%
全体(n=1,305)	58.5%	22.5%	20.9%	40.1%	9.0%

D 小・中学生の居場所づくりや交流の機会

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
東本郷地区(n=106)	1.9%	8.5%	2.8%	5.7%
鴨居地区(n=110)	0.9%	9.1%	0.9%	2.7%
竹山地区(n=63)	3.2%	7.9%	1.6%	7.9%
白山地区(n=78)	1.3%	12.8%	0.0%	5.1%
新治中部地区(n=219)	1.8%	5.0%	2.7%	9.6%
三保地区(n=110)	2.7%	12.7%	0.9%	7.3%
山下地区(n=85)	2.4%	8.2%	1.2%	7.1%
新治西部地区(n=78)	1.3%	9.0%	0.0%	7.7%
十日市場団地地区(n=42)	2.4%	4.8%	0.0%	4.8%
霧が丘地区(n=101)	3.0%	11.9%	2.0%	14.9%
長津田地区(n=290)	3.1%	11.4%	2.4%	11.4%
全体(n=1,305)	2.2%	9.3%	1.7%	8.4%

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
東本郷地区(n=106)	65.1%	29.2%	18.9%	38.7%	9.4%
鴨居地区(n=110)	61.8%	32.7%	30.0%	43.6%	6.4%
竹山地区(n=63)	57.1%	17.5%	12.7%	39.7%	22.2%
白山地区(n=78)	61.5%	26.9%	21.8%	30.8%	14.1%
新治中部地区(n=219)	50.2%	25.6%	24.7%	41.6%	13.2%
三保地区(n=110)	50.0%	23.6%	31.8%	36.4%	10.0%
山下地区(n=85)	62.4%	17.6%	18.8%	49.4%	12.9%
新治西部地区(n=78)	52.6%	17.9%	25.6%	42.3%	19.2%
十日市場団地地区(n=42)	52.4%	28.6%	14.3%	26.2%	26.2%
霧が丘地区(n=101)	55.4%	18.8%	21.8%	33.7%	12.9%
長津田地区(n=290)	51.0%	22.8%	28.3%	37.2%	8.6%
全体(n=1,305)	54.7%	23.8%	24.5%	38.9%	12.5%

Ｅ 子育てを支援する活動（子育て講座や子どもの世話のお手伝いなど）

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
東本郷地区(n=106)	1.9%	9.4%	3.8%	9.4%
鴨居地区(n=110)	0.9%	7.3%	0.0%	2.7%
竹山地区(n=63)	0.0%	7.9%	1.6%	7.9%
白山地区(n=78)	0.0%	14.1%	1.3%	2.6%
新治中部地区(n=219)	2.7%	5.5%	0.9%	12.8%
三保地区(n=110)	3.6%	10.9%	0.9%	12.7%
山下地区(n=85)	1.2%	7.1%	0.0%	8.2%
新治西部地区(n=78)	3.8%	10.3%	0.0%	2.6%
十日市場団地地区(n=42)	2.4%	4.8%	0.0%	7.1%
霧が丘地区(n=101)	3.0%	6.9%	1.0%	8.9%
長津田地区(n=290)	1.4%	16.2%	3.1%	10.7%
全体(n=1,305)	2.0%	10.0%	1.5%	8.7%

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
東本郷地区(n=106)	65.1%	29.2%	17.0%	35.8%	10.4%
鴨居地区(n=110)	65.5%	36.4%	25.5%	43.6%	6.4%
竹山地区(n=63)	63.5%	17.5%	9.5%	41.3%	22.2%
白山地区(n=78)	61.5%	26.9%	21.8%	34.6%	14.1%
新治中部地区(n=219)	55.3%	23.7%	20.5%	40.6%	14.2%
三保地区(n=110)	50.0%	25.5%	30.0%	30.9%	10.9%
山下地区(n=85)	64.7%	23.5%	15.3%	41.2%	14.1%
新治西部地区(n=78)	60.3%	25.6%	16.7%	38.5%	19.2%
十日市場団地地区(n=42)	45.2%	33.3%	21.4%	16.7%	26.2%
霧が丘地区(n=101)	54.5%	23.8%	21.8%	37.6%	12.9%
長津田地区(n=290)	54.1%	24.1%	25.2%	32.8%	8.3%
全体(n=1,305)	57.2%	25.7%	21.7%	36.6%	12.7%

## F 障害児・者との交流の活動

(障害児の放課後の居場所づくりや夏休み中のイベント、障害者施設との合同のお祭りなど)

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
東本郷地区(n=106)	2.8%	6.6%	2.8%	12.3%
鴨居地区(n=110)	0.9%	6.4%	2.7%	3.6%
竹山地区(n=63)	3.2%	7.9%	1.6%	7.9%
白山地区(n=78)	0.0%	6.4%	1.3%	3.8%
新治中部地区(n=219)	4.1%	7.3%	0.5%	10.5%
三保地区(n=110)	0.9%	11.8%	0.9%	6.4%
山下地区(n=85)	4.7%	7.1%	0.0%	5.9%
新治西部地区(n=78)	0.0%	9.0%	1.3%	3.8%
十日市場団地地区(n=42)	0.0%	2.4%	0.0%	4.8%
霧が丘地区(n=101)	2.0%	7.9%	2.0%	9.9%
長津田地区(n=290)	0.7%	8.6%	1.4%	8.3%
全体(n=1,305)	1.8%	7.7%	1.3%	7.6%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
東本郷地区(n=106)	65.1%	21.7%	19.8%	44.3%	9.4%
鴨居地区(n=110)	61.8%	31.8%	28.2%	47.3%	6.4%
竹山地区(n=63)	63.5%	17.5%	7.9%	41.3%	20.6%
白山地区(n=78)	55.1%	23.1%	28.2%	43.6%	14.1%
新治中部地区(n=219)	55.3%	23.7%	21.5%	42.5%	13.2%
三保地区(n=110)	49.1%	20.9%	32.7%	40.0%	10.0%
山下地区(n=85)	61.2%	20.0%	17.6%	47.1%	14.1%
新治西部地区(n=78)	53.8%	19.2%	28.2%	46.2%	17.9%
十日市場団地地区(n=42)	47.6%	21.4%	21.4%	33.3%	26.2%
霧が丘地区(n=101)	53.5%	19.8%	24.8%	41.6%	11.9%
長津田地区(n=290)	51.0%	23.8%	31.0%	40.3%	9.3%
全体(n=1,305)	55.1%	22.8%	25.3%	42.6%	12.4%

G 外国人との交流の機会（日本語教室、日本の文化に触れる機会など）

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
東本郷地区(n=106)	0.0%	15.1%	1.9%	12.3%
鴨居地区(n=110)	0.0%	19.1%	0.9%	3.6%
竹山地区(n=63)	0.0%	3.2%	0.0%	9.5%
白山地区(n=78)	1.3%	19.2%	2.6%	6.4%
新治中部地区(n=219)	1.4%	11.9%	1.4%	11.9%
三保地区(n=110)	0.9%	17.3%	0.9%	11.8%
山下地区(n=85)	0.0%	12.9%	0.0%	5.9%
新治西部地区(n=78)	0.0%	14.1%	0.0%	9.0%
十日市場団地地区(n=42)	0.0%	4.8%	0.0%	16.7%
霧が丘地区(n=101)	1.0%	12.9%	0.0%	12.9%
長津田地区(n=290)	0.0%	15.5%	0.0%	9.3%
全体(n=1,305)	0.5%	13.9%	0.7%	9.7%

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
東本郷地区(n=106)	63.2%	25.5%	24.5%	36.8%	9.4%
鴨居地区(n=110)	57.3%	26.4%	34.5%	40.9%	5.5%
竹山地区(n=63)	61.9%	19.0%	12.7%	42.9%	22.2%
白山地区(n=78)	51.3%	21.8%	32.1%	29.5%	14.1%
新治中部地区(n=219)	50.7%	21.5%	28.3%	40.2%	11.9%
三保地区(n=110)	44.5%	20.9%	38.2%	31.8%	10.0%
山下地区(n=85)	60.0%	20.0%	22.4%	41.2%	14.1%
新治西部地区(n=78)	52.6%	19.2%	29.5%	37.2%	19.2%
十日市場団地地区(n=42)	50.0%	23.8%	21.4%	23.8%	23.8%
霧が丘地区(n=101)	52.5%	20.8%	24.8%	32.7%	12.9%
長津田地区(n=290)	51.0%	20.3%	32.8%	38.6%	9.0%
全体(n=1,305)	53.0%	21.6%	29.0%	37.3%	12.2%

## H 花植え・清掃活動

カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
東本郷地区(n=106)	17.0%	27.4%	4.7%	10.4%
鴨居地区(n=110)	15.5%	20.0%	0.9%	5.5%
竹山地区(n=63)	25.4%	34.9%	7.9%	14.3%
白山地区(n=78)	5.1%	12.8%	0.0%	3.8%
新治中部地区(n=219)	10.5%	19.2%	1.4%	8.2%
三保地区(n=110)	11.8%	24.5%	2.7%	6.4%
山下地区(n=85)	15.3%	25.9%	1.2%	3.5%
新治西部地区(n=78)	3.8%	12.8%	0.0%	5.1%
十日市場団地地区(n=42)	28.6%	14.3%	7.1%	9.5%
霧が丘地区(n=101)	33.7%	40.6%	2.0%	10.9%
長津田地区(n=290)	15.2%	23.4%	5.2%	10.0%
全体(n=1,305)	15.2%	23.0%	2.9%	8.0%

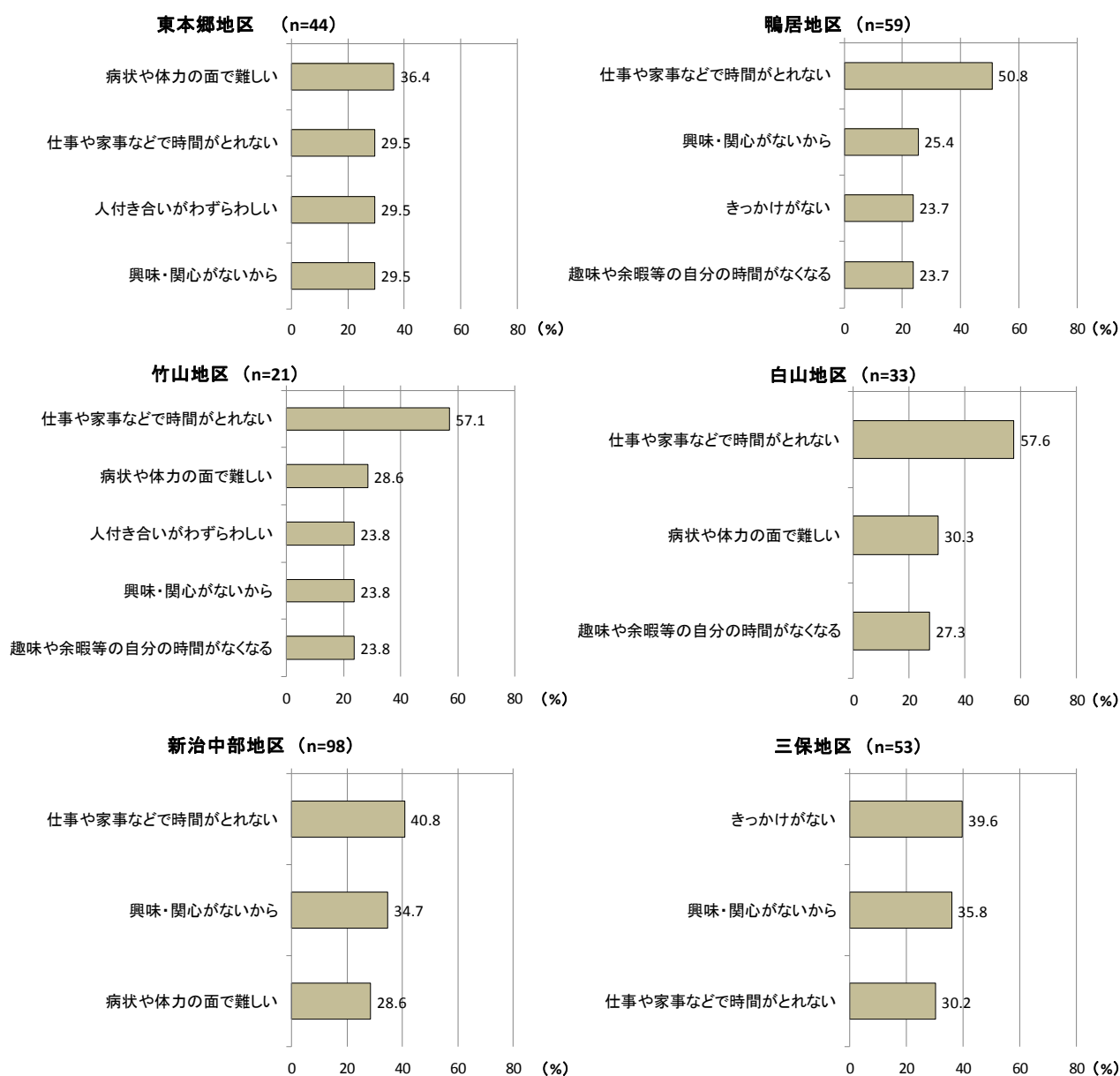
カテゴリ一名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
東本郷地区(n=106)	56.6%	17.9%	14.2%	33.0%	7.5%
鴨居地区(n=110)	56.4%	22.7%	19.1%	41.8%	4.5%
竹山地区(n=63)	47.6%	9.5%	0.0%	20.6%	15.9%
白山地区(n=78)	66.7%	21.8%	15.4%	35.9%	14.1%
新治中部地区(n=219)	58.9%	23.7%	11.9%	32.9%	10.5%
三保地区(n=110)	47.3%	23.6%	23.6%	26.4%	9.1%
山下地区(n=85)	56.5%	15.3%	12.9%	37.6%	12.9%
新治西部地区(n=78)	55.1%	17.9%	20.5%	41.0%	17.9%
十日市場団地地区(n=42)	40.5%	19.0%	7.1%	21.4%	14.3%
霧が丘地区(n=101)	43.6%	10.9%	5.0%	20.8%	6.9%
長津田地区(n=290)	46.2%	18.3%	22.1%	33.1%	6.2%
全体(n=1,305)	52.0%	18.9%	15.7%	32.5%	9.9%

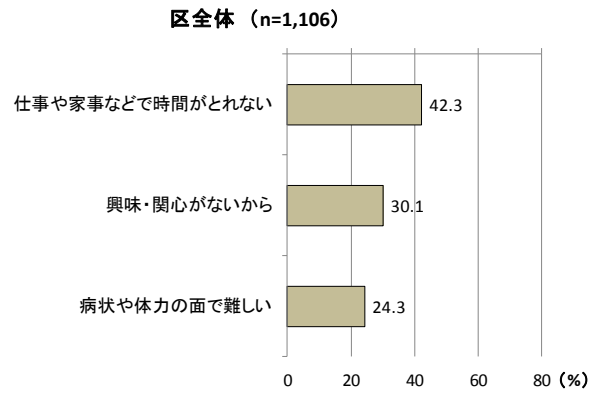
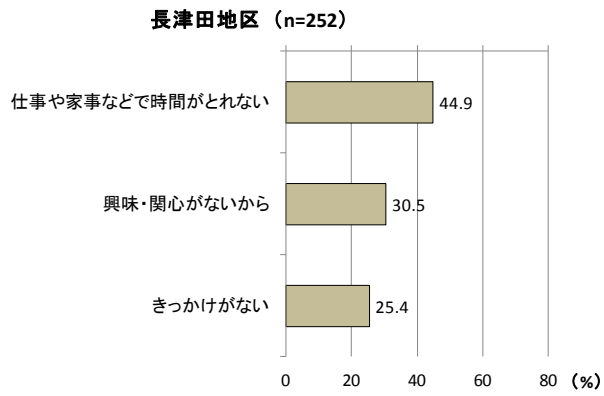
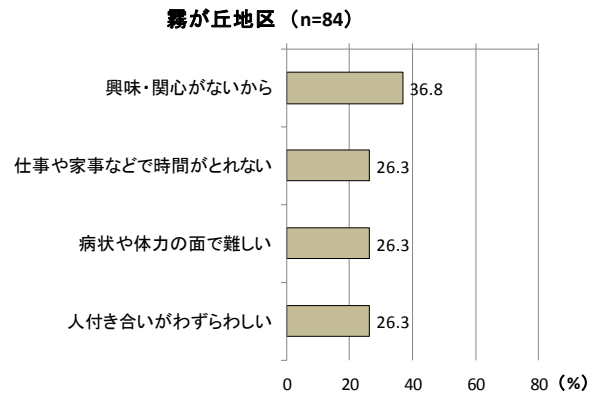
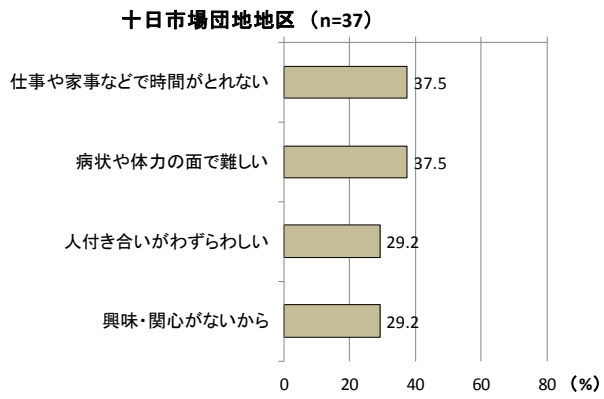
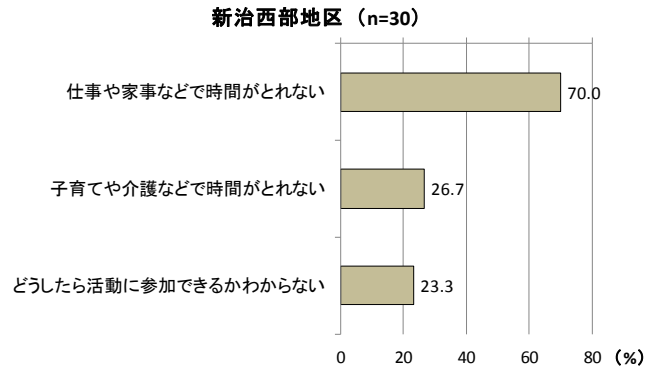
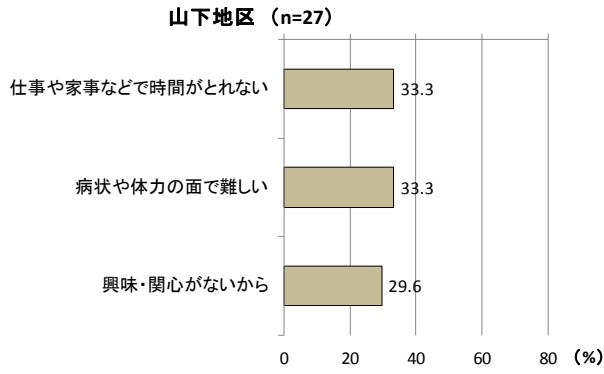
### 問 13 地域活動に今後参加したいと思わない理由

地域活動に参加したいと思わない理由をみると、全体では、「仕事や家事などで時間がとれない」(42.3%)が最も多く、次いで「興味・関心がないから」(30.1%)、「病状や体力の面で難しい」(24.3%)が高くなっている。

地区別では、全地区とも「仕事や家事などで時間がとれない」という理由が多く、概ね全体と同じ傾向ではあるが、三保地区や鴨居地区など「きっかけがない」が多く理由に挙げられ、「人付き合いがわずらわしい」や「趣味や余暇等の自分の時間がなくなる」と理由に挙がっている地区もある。

図表 問13 問12の「A～I」について、1つ以上、「今後『参加したいと思わない』」に○をつけた方におたずねします。参加したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)





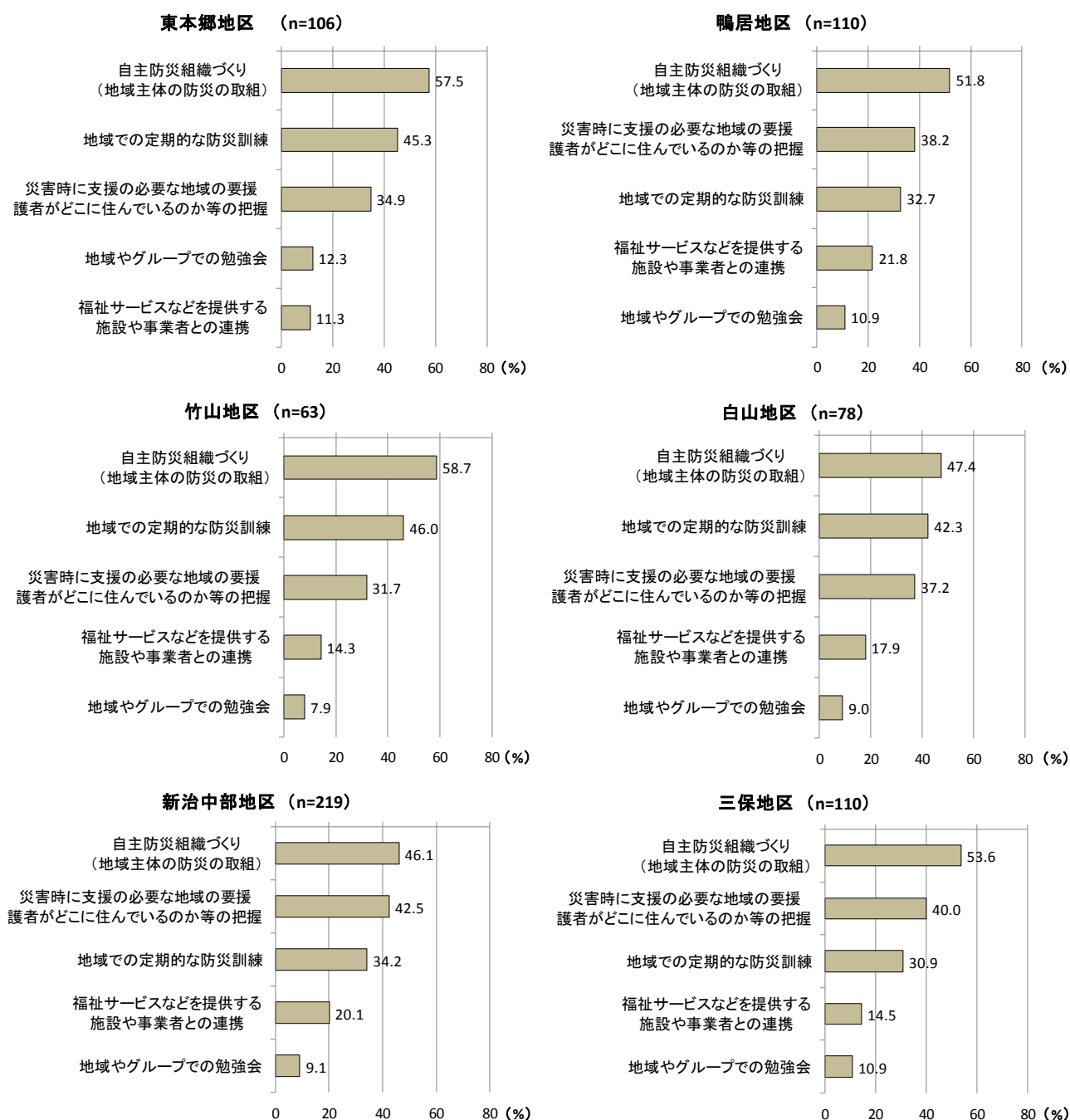


### 問 19 「災害時に住民が支えあう地域づくり」のために日頃から必要な取組

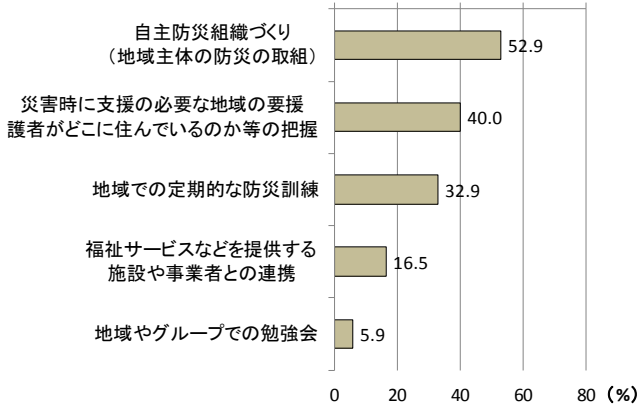
地域で必要な防災の取組について、全体では、「自主防災組織づくり」が 51.5%で最も多く、「災害時に支援の必要な要援護者がどこに住んでいるのか等の把握」(38.5%)と「地域での定期的な防災訓練」(37.3%)がそれに次いでいる。

地区別では、全地区とも概ね全体と同じ傾向ではあるが、十日市場団地地区や鴨居地区などは「福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携」の割合が全体と比べて多くなっている。

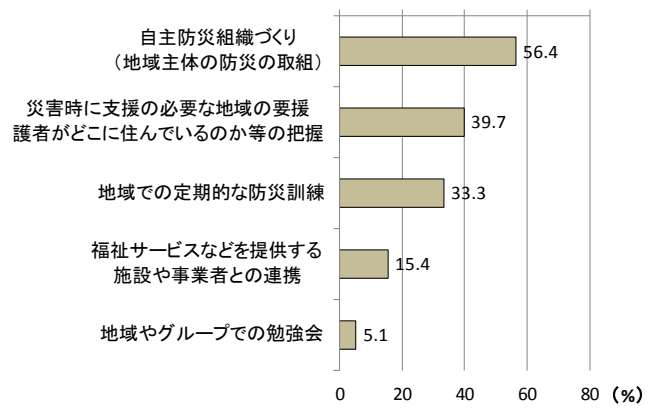
図表 問19 あなたは「災害時に住民が支え合う地域づくり」に日頃からどのような取組が必要だと思いますか。その中でも、特に重要だと思うものを2つ選んでください。(○は2つまで)



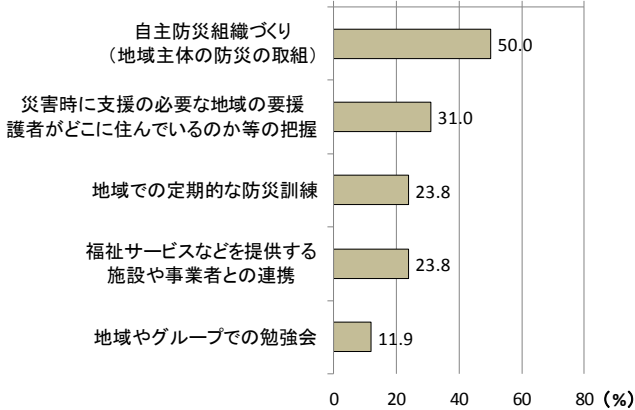
山下地区 (n=85)



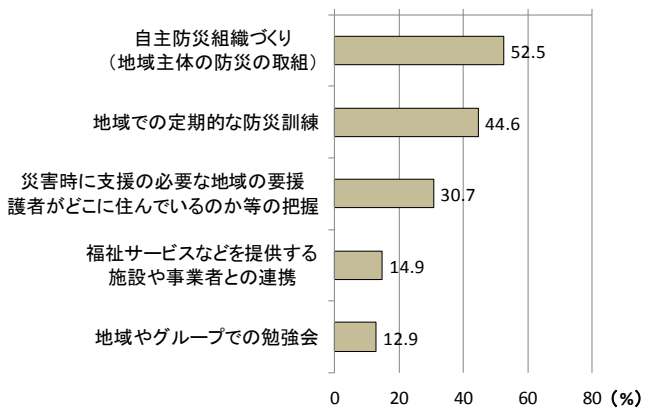
新治西部地区 (n=78)



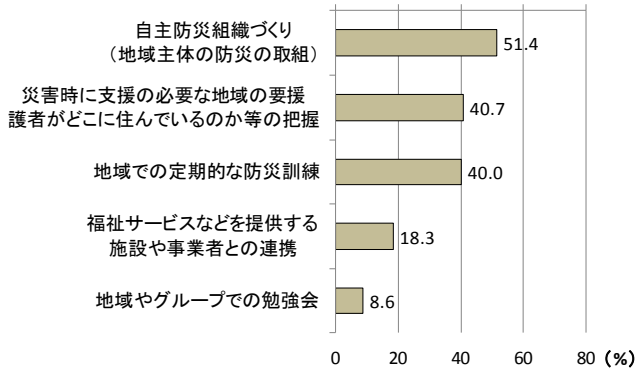
十日市場団地地区 (n=42)



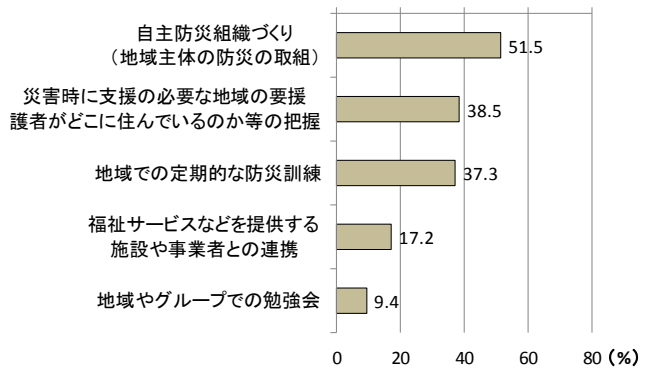
霧が丘地区 (n=101)



長津田地区 (n=290)



区全体 (n=1,305)



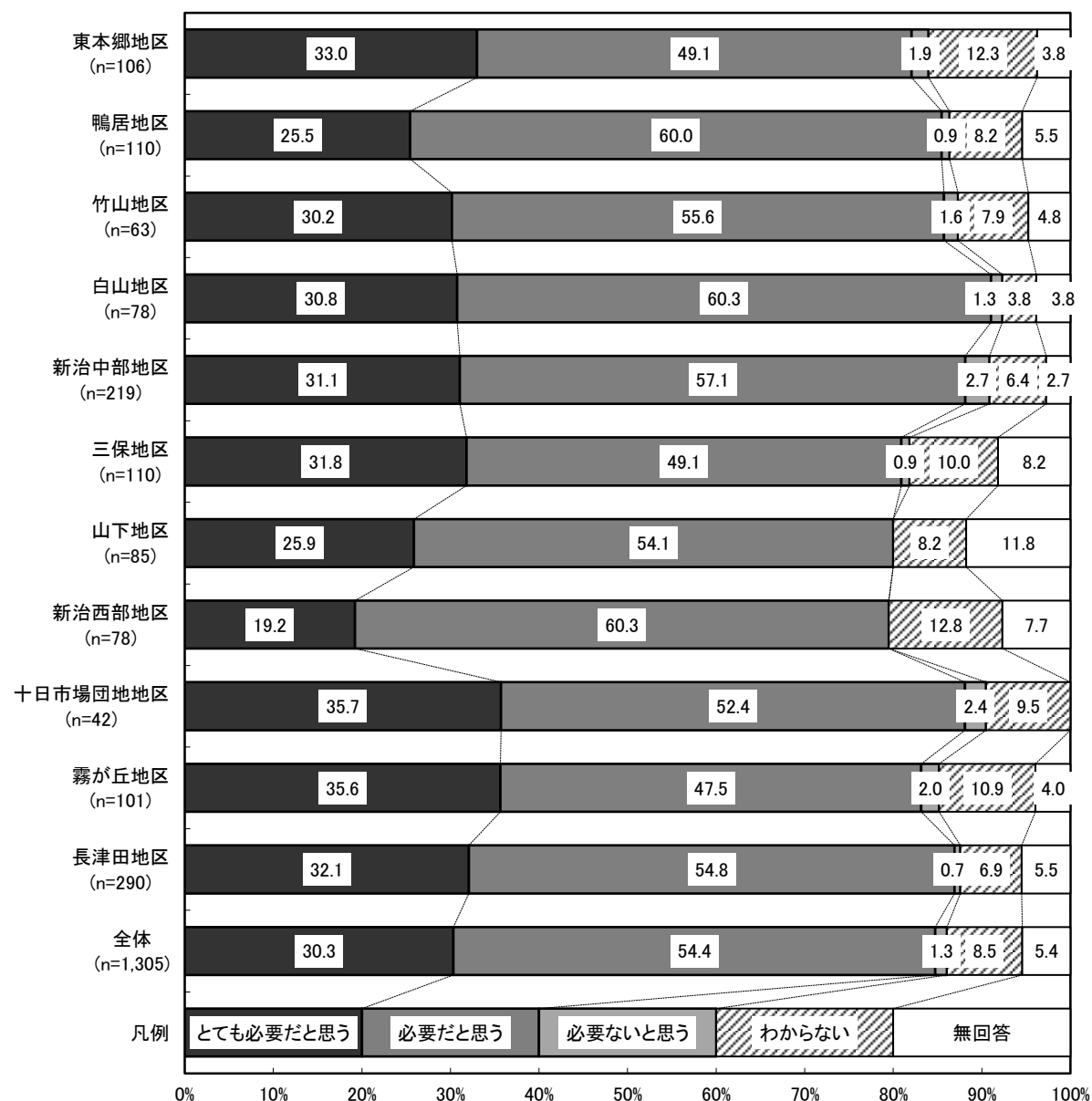
## 問 20 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性

災害時に顔の見える関係づくりについて、全体で見ると、「必要」という回答は、「とても必要だと思う」30.3%、「必要だと思う」は54.4%と多くなっている。

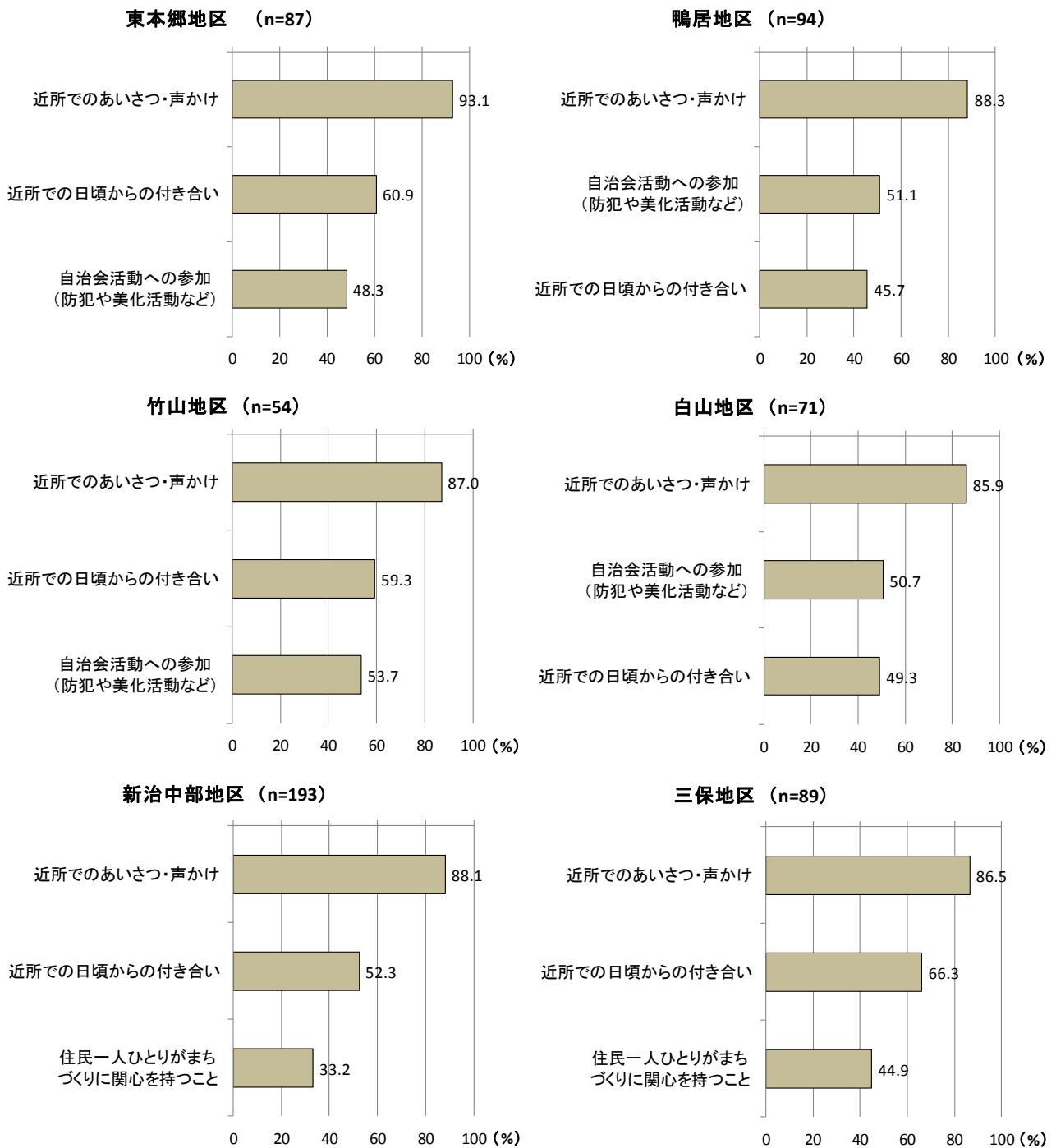
地区別では、新治西部地区は他地区と比べて、「とても必要だと思う」(19.2%) が低く、「わからない」(12.8%) が多くなっている。

顔の見える関係づくりのために必要なことは、全体では、「近所でのあいさつ・声がけ」(89.3%) や「近所での日頃からの付き合い」(54.8%)、「自治会活動への参加」(43.3%)、回答が多くなっている。地区別では、全地区とも概ね全体と同じ傾向ではあるが、新治中部地区や三保地区は「住民一人ひとりがまちづくりに関心を持つこと」の割合が多くなっている。

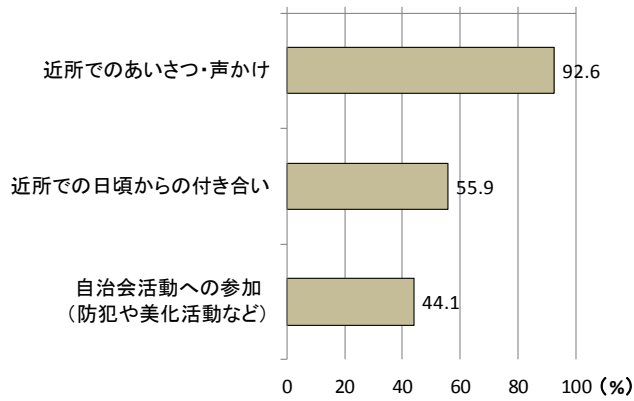
図表 問20 災害時に地域での助け合いが上手くいくためには、問19で選択したものの以外に、日頃からお互いを気に掛け合うなど、顔の見える関係づくりに取り組むことは必要だと思いますか。(○は1つ)



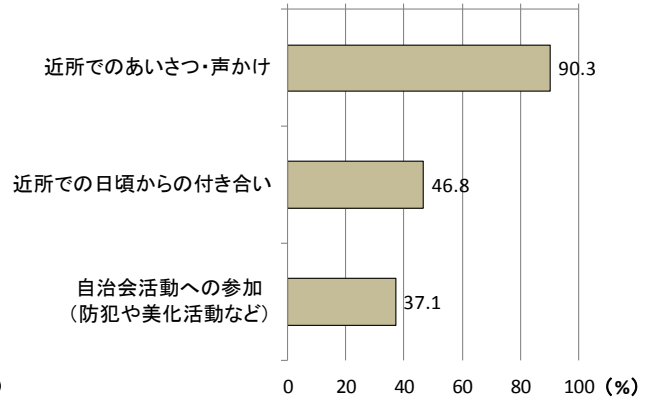
図表 問20-1 地域で「顔の見える関係」を築いていくためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



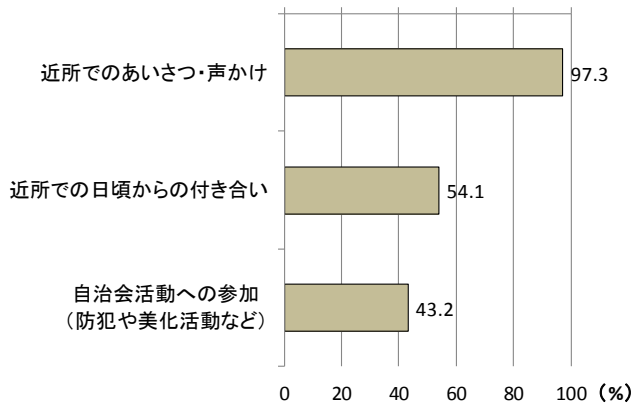
山下地区 (n=68)



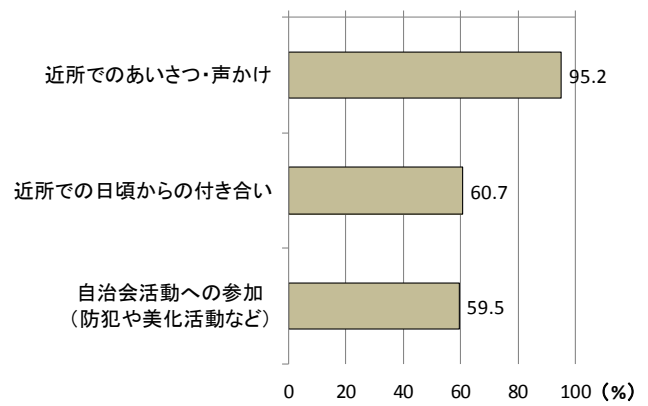
新治西部地区 (n=62)



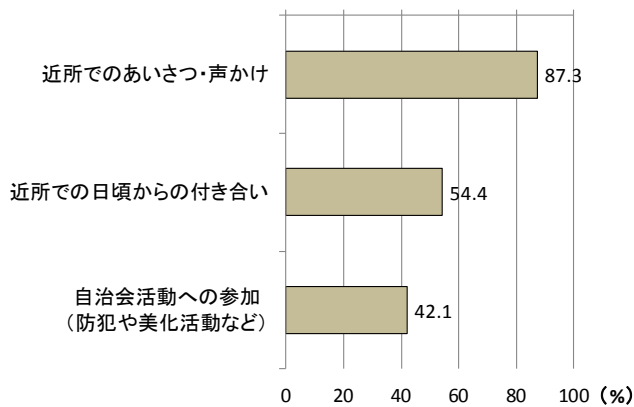
十日市場団地地区 (n=37)



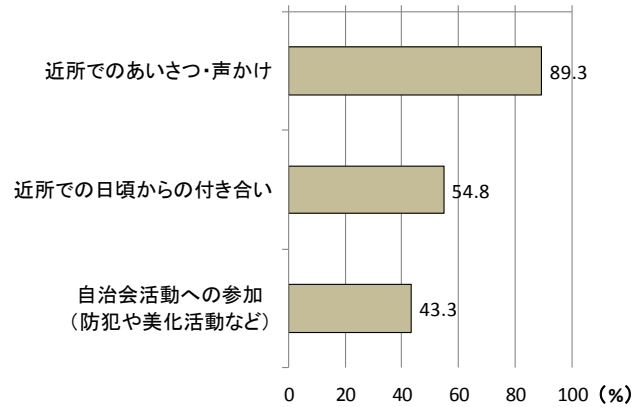
霧が丘地区 (n=84)



長津田地区 (n=252)



区全体 (n=1,106)





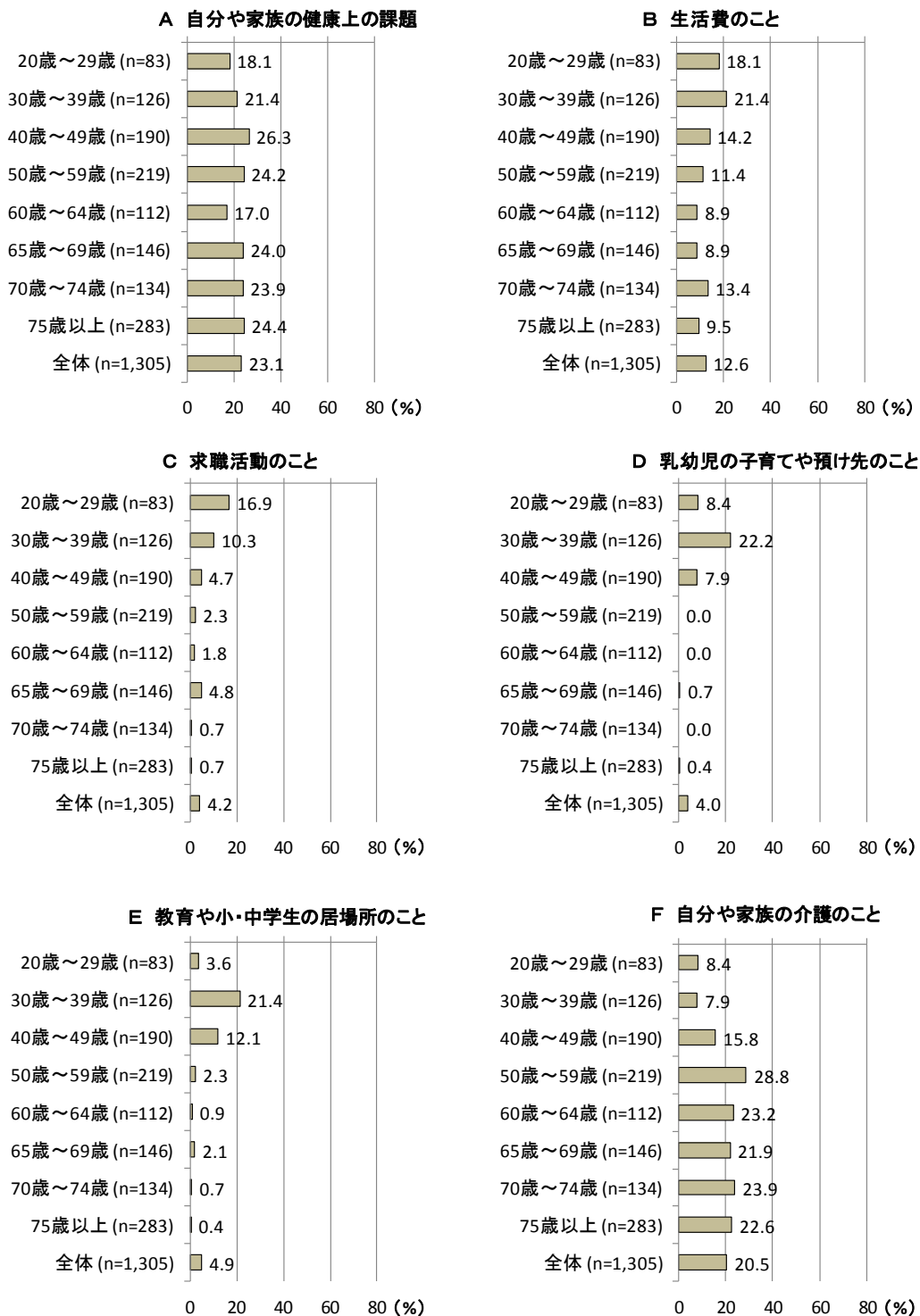
## (2) 性別・年齢別、質問間クロス集計結果

### <生活の心配事について>

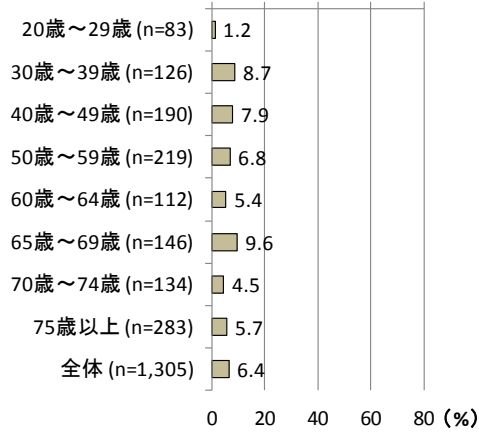
#### 問8 特に気になっていること、困っていること

日常生活で特に気になっていること、困りごとを年齢別で見ると、20歳代（20歳～29歳）は、「A自分や家族の健康上の課題」（18.1%）及び「B生活費のこと」（18.1%）の回答が多く、30歳代（30歳～39歳）は、「D乳幼児の子育てや預け先のこと」（22.2%）の回答が多く、50歳代（50歳～59歳）は、「F自分や家族の介護のこと」（28.8%）の回答が多くなっている。65歳以上は、「A自分や家族の健康上の課題」や「F自分や家族の介護のこと」、「I古い支度・終活」が多くなっている。

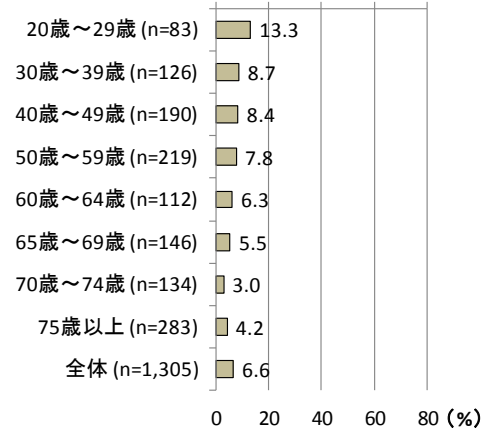
図表 年齢別 特に気になっていること、困っていること（問2×問8）



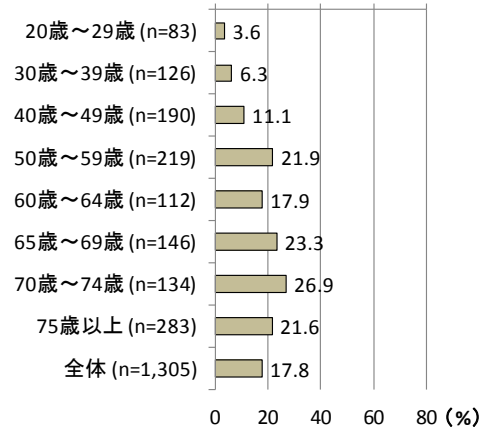
G 自分や家族の障害のこと



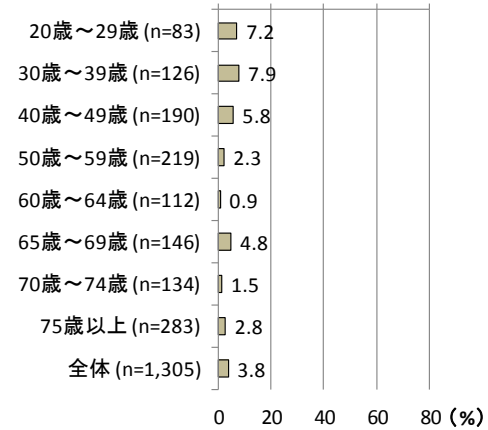
H 自分や家族の生きがいや楽しみのこと



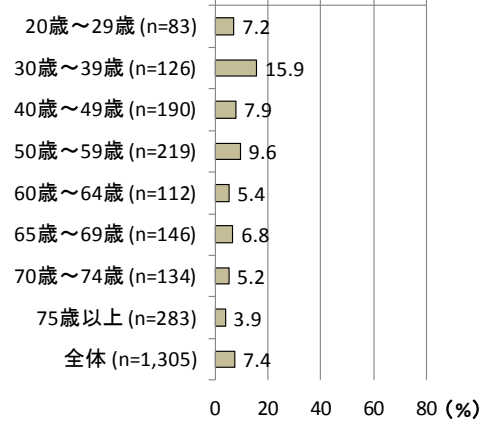
I 老い支度・終活



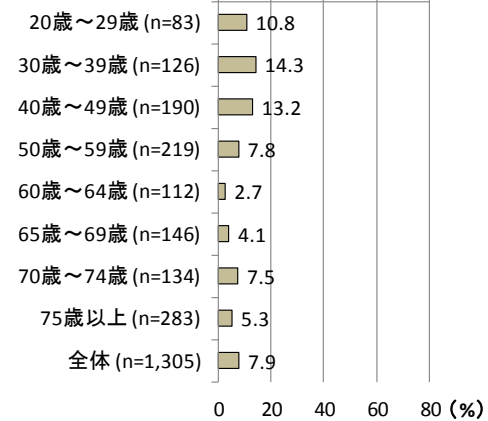
J 近所付き合いのこと



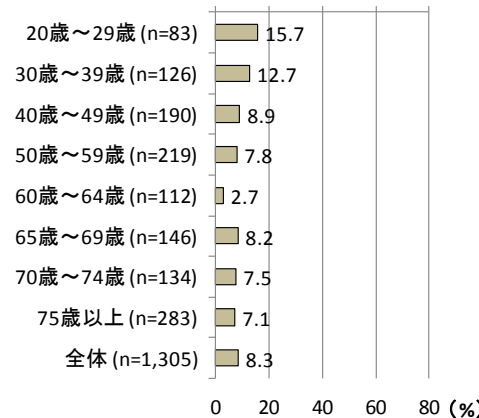
K 近隣からの悪臭・騒音、  
その他生活環境のこと



L 犯罪や防犯のこと(窃盗、詐欺等)



M 公共交通機関の利便性



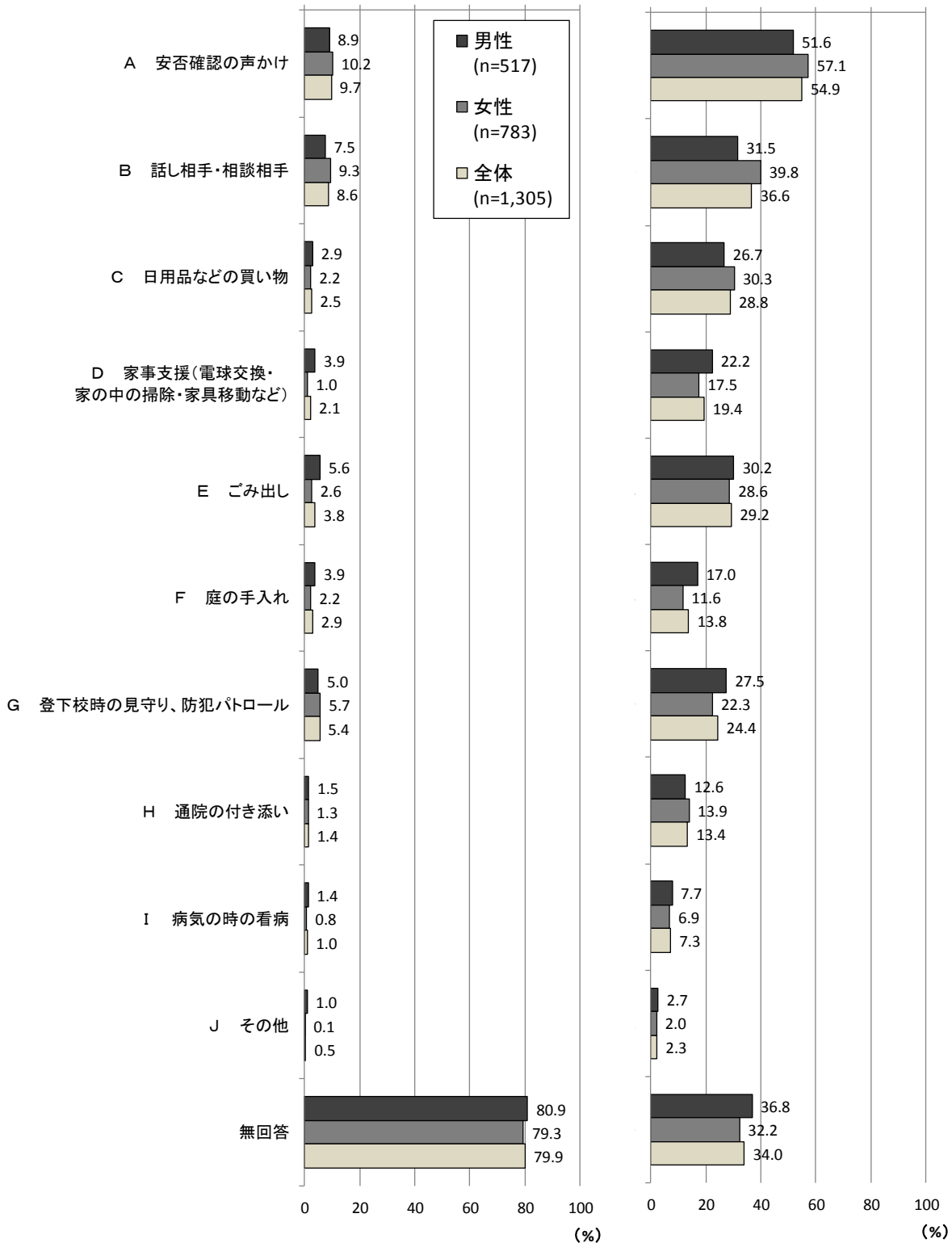


### 問9 地域で困っている方の手助け

地域に困っている人がいる場合に、現在手助けしていることを性別で見ると、男女とも概ね全体と同じ傾向となっている。

図表 性別  
現在手助けしていること  
(問2×問9)

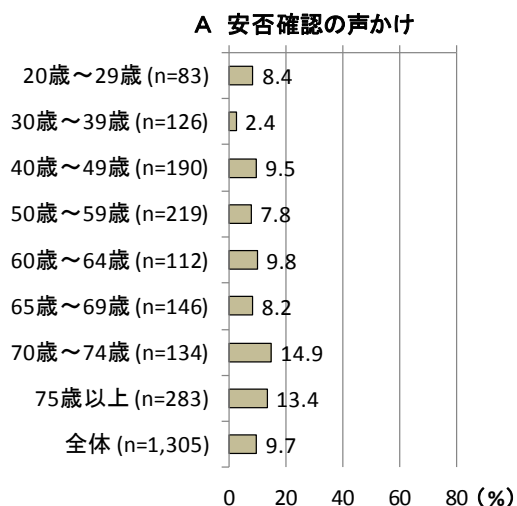
図表 性別  
今後手助けできること  
(問2×問9)



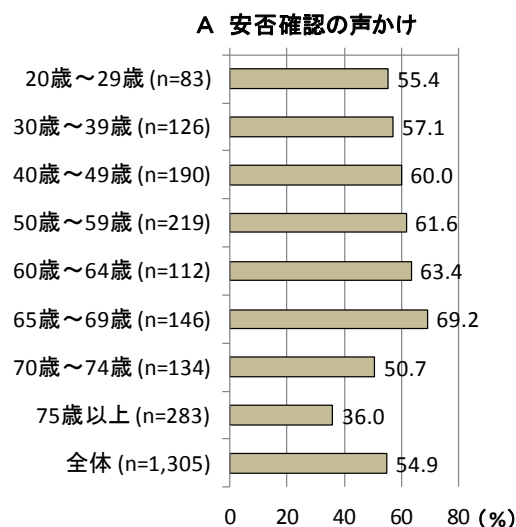
地域に困っている人がいる場合に、現在手助けしていることを年齢別で見ると、全ての年代で概ね全体と同じ傾向ではあるが、現在手助けしていることでは、全体と比べて70歳以上で「A安否確認の声掛け」や「B話し相手・相談相手」が多くなっている。

また今後手助けできることでは、20歳代から60歳代までは概ね全項目で全体よりも多くなっている一方で、70歳以上は全体よりも低くなっている。

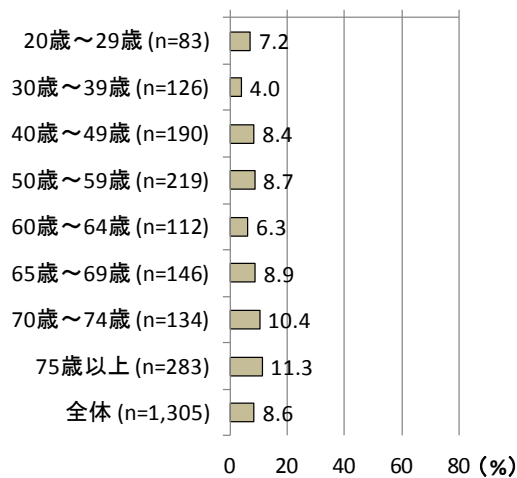
図表 年齢別  
現在手助けしていること（問2×問9）



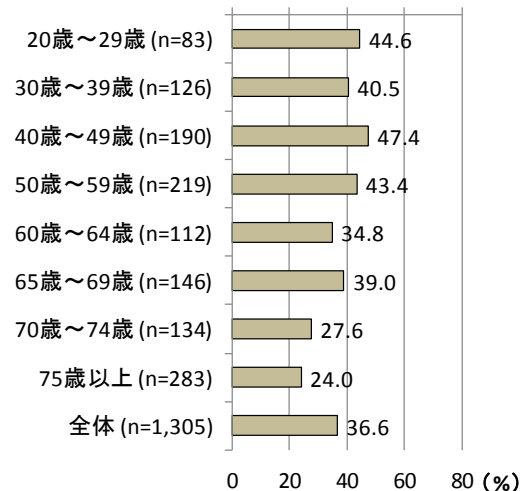
図表 年齢別  
今後手助けできること（問2×問9）



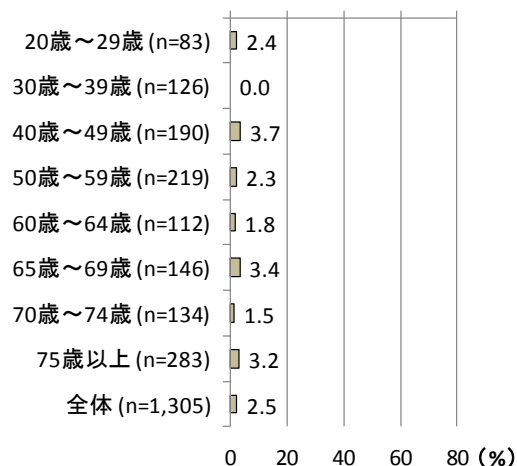
**B 話し相手・相談相手**



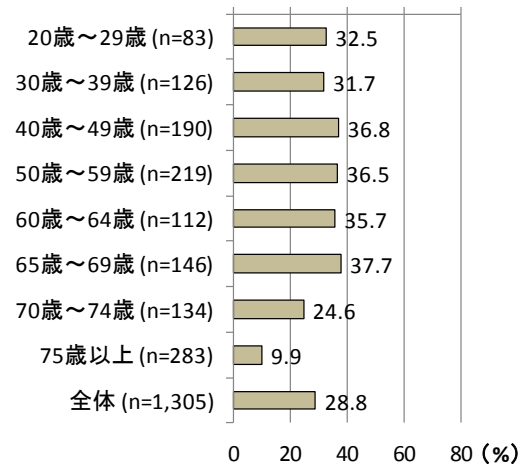
**B 話し相手・相談相手**



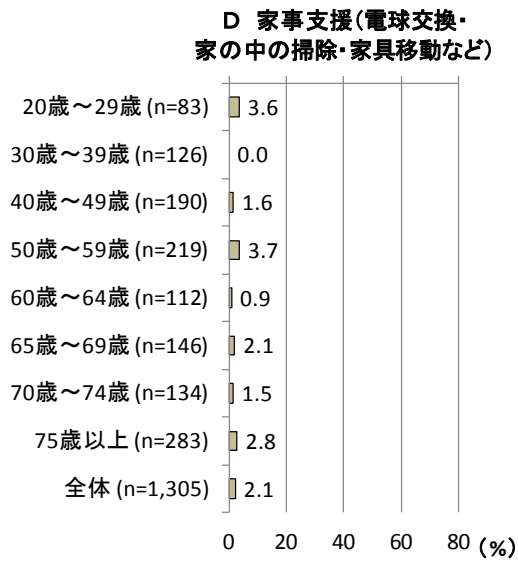
**C 日用品などの買い物**



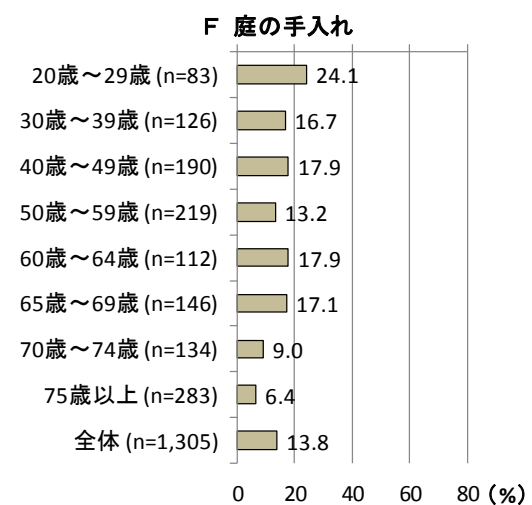
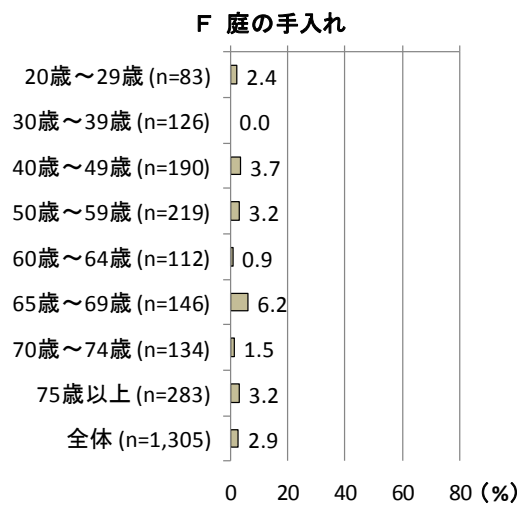
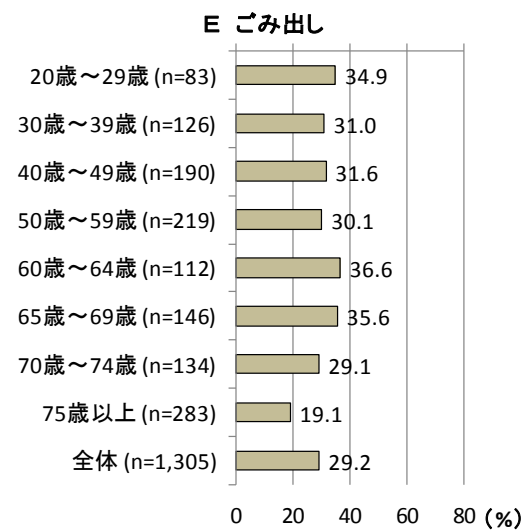
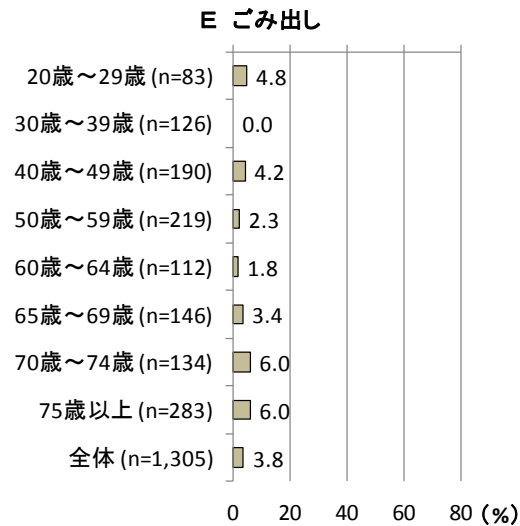
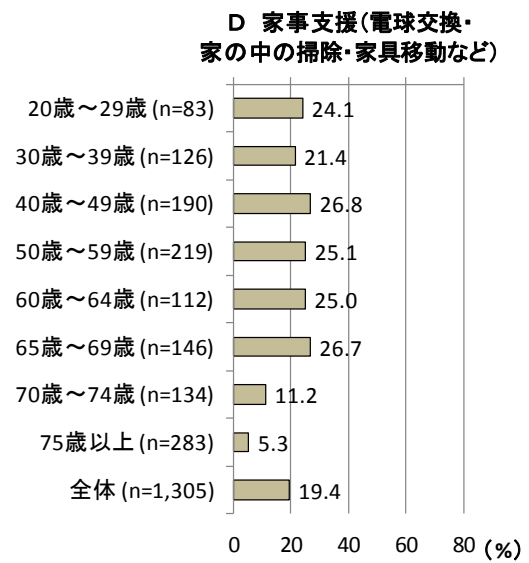
**C 日用品などの買い物**



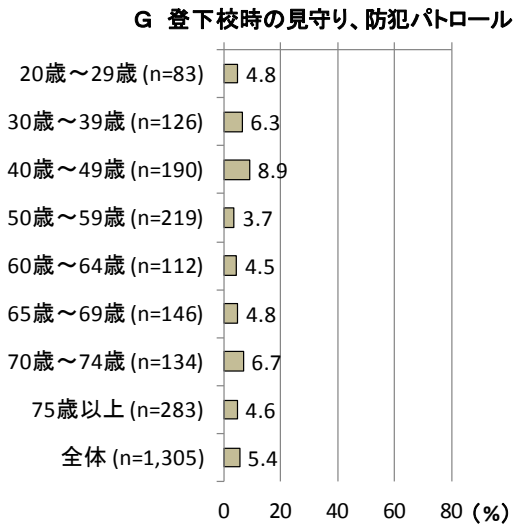
図表 年齢別  
現在手助けしていること (問2×問9)



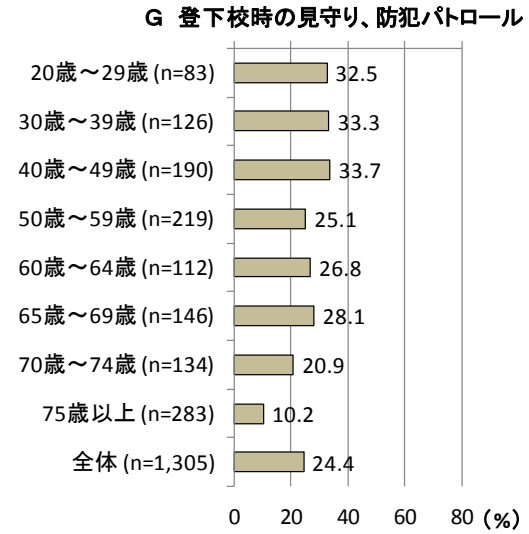
図表 年齢別  
今後手助けできること (問2×問9)



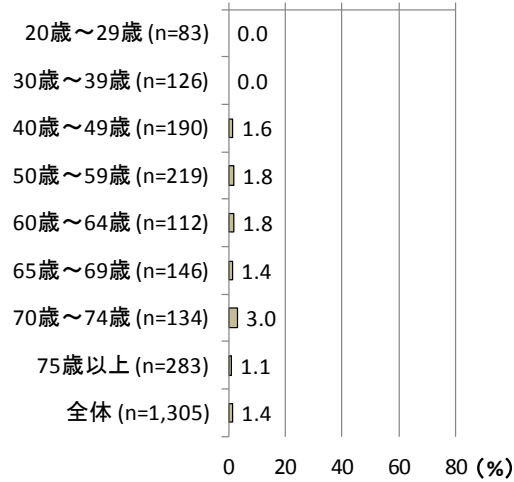
図表 年齢別  
現在手助けしていること (問2×問9)



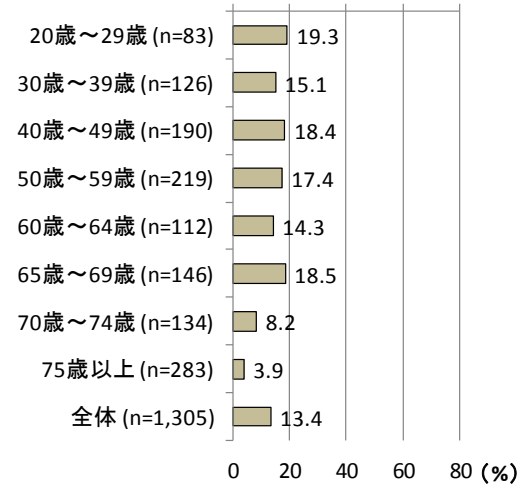
図表 年齢別  
今後手助けできること (問2×問9)



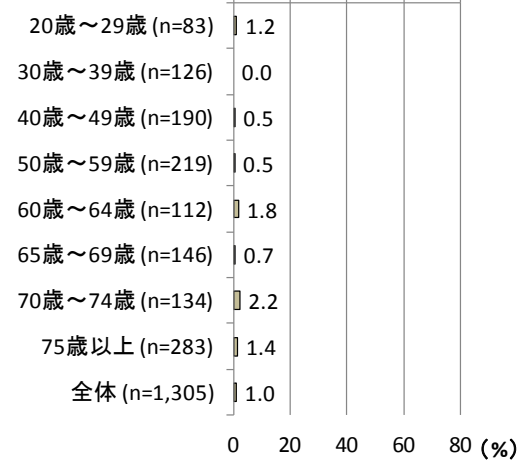
**H 通院の付き添い**



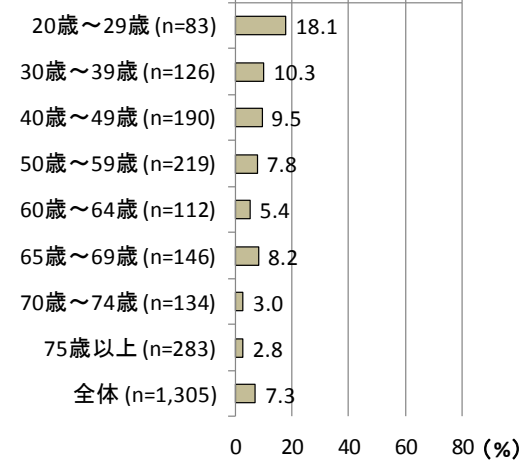
**H 通院の付き添い**



**I 病気の時の看病**



**I 病気の時の看病**



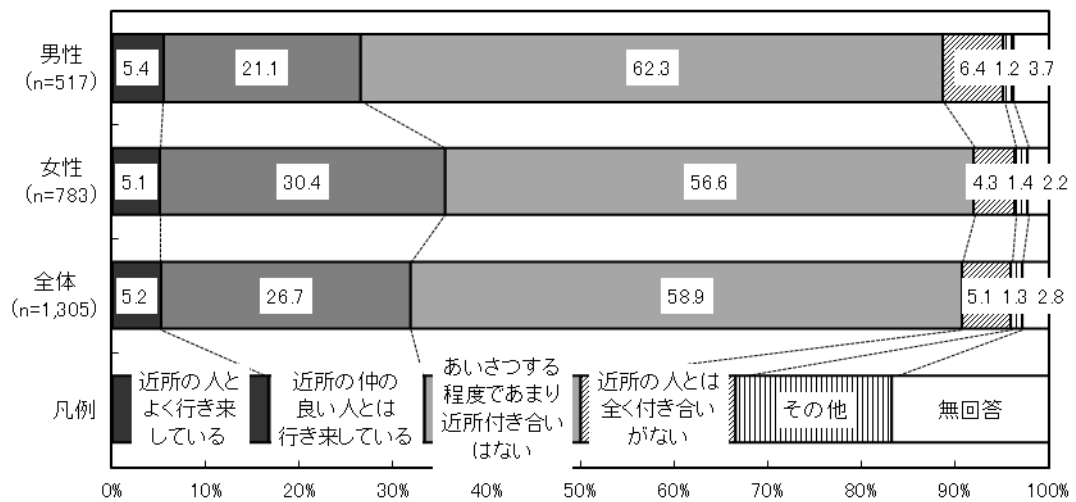
<地域でのつながりや活動のための機会・場について>

問 10 近所付き合い

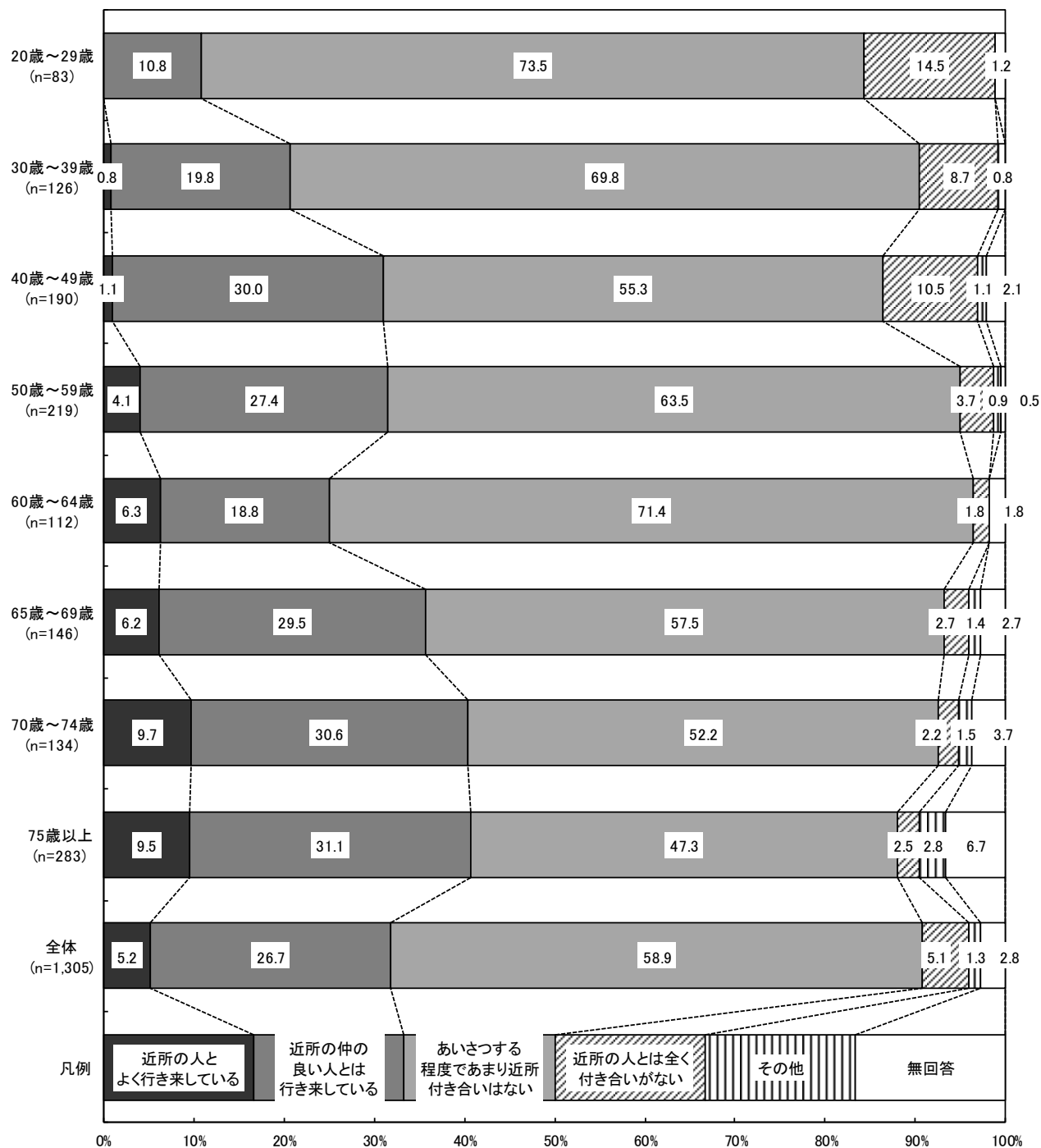
地域でのつながりや活動のための機会・場についてを性別で見ると、男性より女性の方が近所付き合いは頻繁であることが伺える。

年齢別で見ると、70歳以上が「近所の人とよく行き来している」と「近所の仲の良い人とは行き来している」の回答が他の年代に比べて多く、総じて年齢が上がるにつれて近所付き合いは頻繁になっている。

図表 性別 近所付き合い（問2×問10）

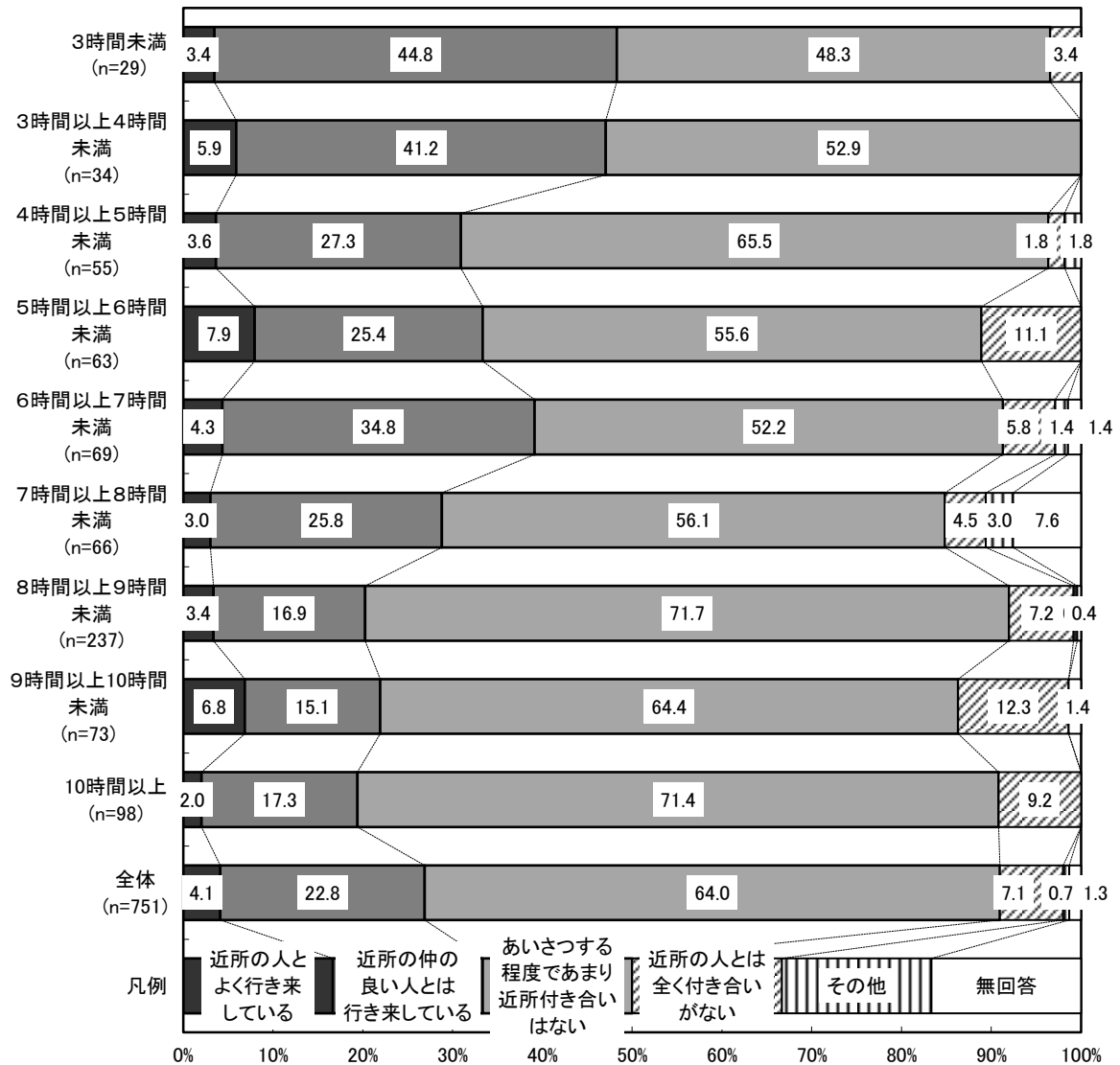


図表 年齢別 近所付き合い（問2×問10）



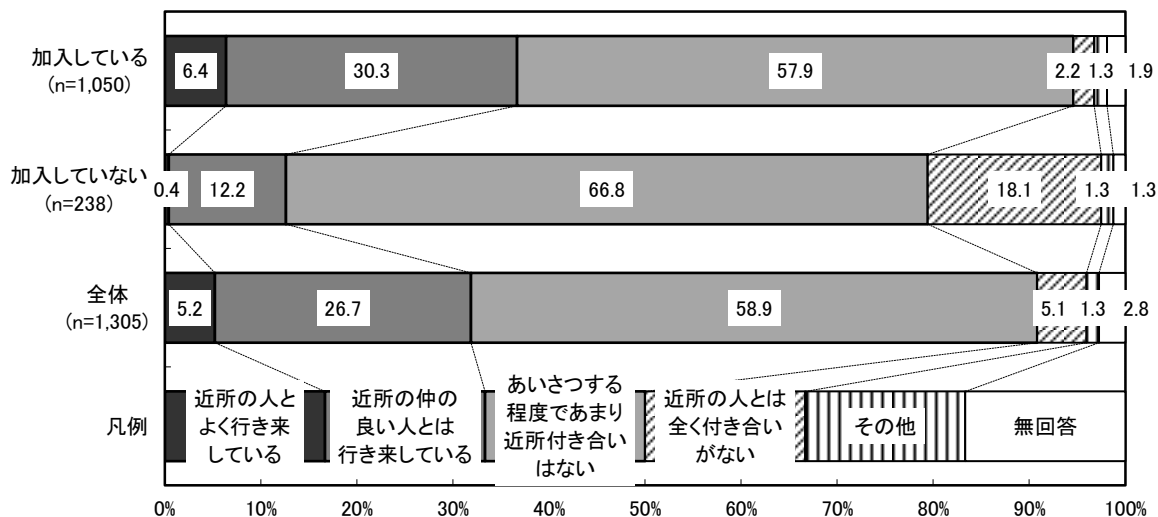
勤務(在学)時間別でみると、3時間未満と3時間以上4時間未満が「近所の人とよく行き来している」と「近所の仲の良い人とは行き来している」の回答が他の時間に比べて多く、総じて勤務(在学)時間が短くなるにつれて近所付き合いは頻繁になっている。

図表 勤務(在学)時間別 近所付き合い (問4×問10)



自治会加入別でみると、自治会に「加入していない」(12.6%)より「加入している」(36.7%)方のほうが近所付き合いは頻繁であることが伺える。また自治会に加入していない方の「近所の人とは全く付き合いがない」は18.1%となっている。

図表 自治会加入別 近所付き合い (問11×問10)

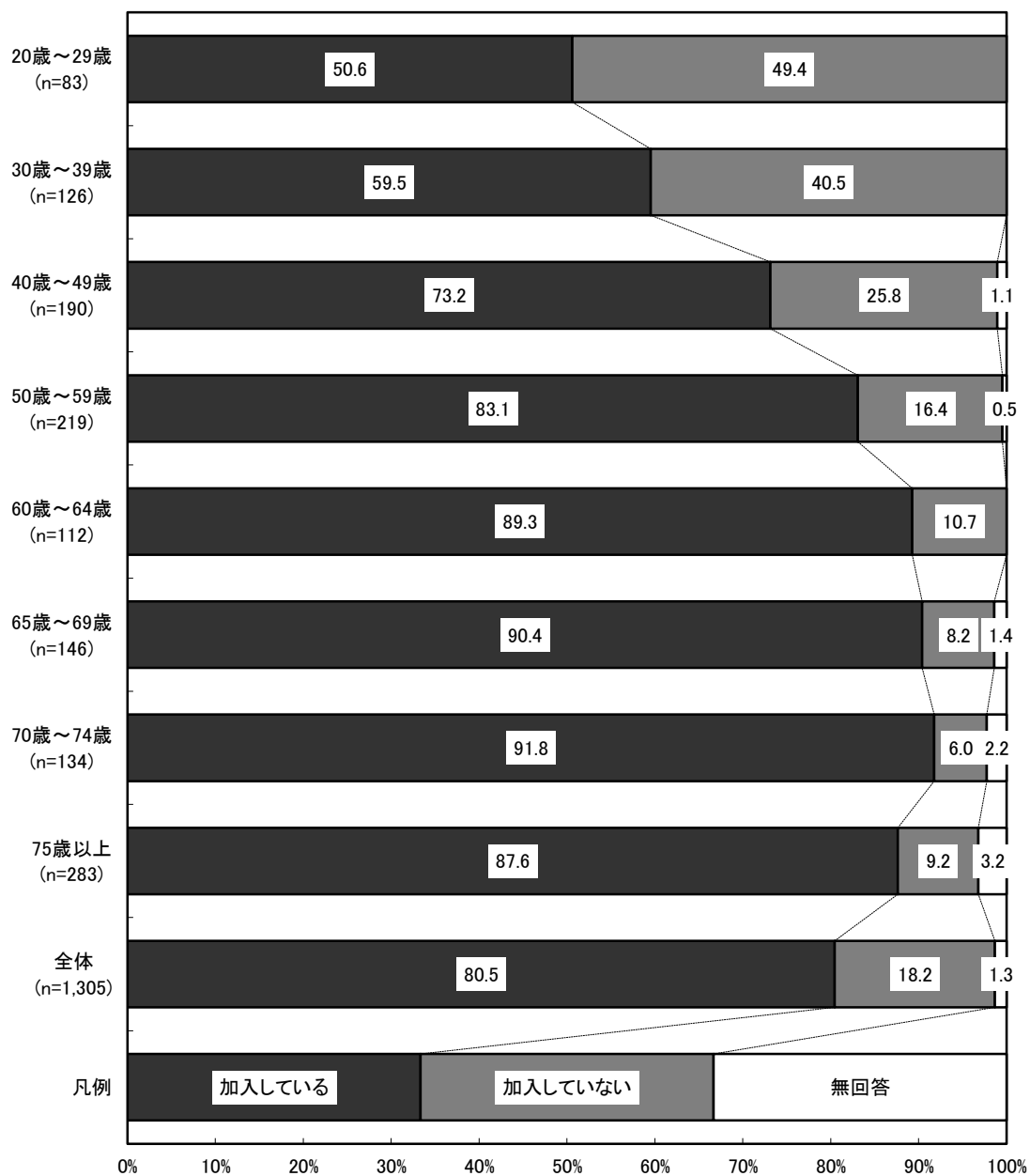




## 問 11 自治会への加入

自治会加入状況について、年齢別で見ると、「20歳～29歳」から「70歳～74歳」にかけて年齢が上がるにつれて自治会へ加入している割合が多くなっている。

図表 年齢別 自治会への加入（問2×問11）



問 12 地域の活動への参加状況と今後の参加意向

図表 年齢別 地域活動への参加（問2×問12）

A 子どもから高齢者までが集える地域活動（お祭りや運動会、集いの場など）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
20歳～29歳(n=83)	13.3%	26.5%	1.2%	6.0%
30歳～39歳(n=126)	31.7%	46.8%	4.8%	7.9%
40歳～49歳(n=190)	36.8%	37.9%	8.4%	14.7%
50歳～59歳(n=219)	19.2%	28.8%	8.2%	13.7%
60歳～64歳(n=112)	24.1%	25.0%	4.5%	5.4%
65歳～69歳(n=146)	20.5%	28.8%	11.6%	11.6%
70歳～74歳(n=134)	34.3%	33.6%	10.4%	11.9%
75歳以上(n=283)	21.6%	17.3%	6.7%	8.1%
全体(n=1,305)	25.1%	29.3%	7.4%	10.3%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
20歳～29歳(n=83)	55.4%	22.9%	20.5%	36.1%	1.2%
30歳～39歳(n=126)	37.3%	19.8%	22.2%	25.4%	0.0%
40歳～49歳(n=190)	42.6%	18.9%	12.6%	27.9%	3.2%
50歳～59歳(n=219)	59.4%	16.9%	11.0%	37.4%	1.8%
60歳～64歳(n=112)	58.9%	18.8%	7.1%	46.4%	0.0%
65歳～69歳(n=146)	52.7%	15.8%	5.5%	30.8%	7.5%
70歳～74歳(n=134)	49.3%	17.9%	0.7%	27.6%	5.2%
75歳以上(n=283)	43.8%	21.6%	2.5%	14.5%	22.6%
全体(n=1,305)	49.4%	19.2%	9.0%	28.8%	7.1%

B 健康づくりの活動（ウォーキングや体操など）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
20歳～29歳(n=83)	1.2%	12.0%	0.0%	3.6%
30歳～39歳(n=126)	2.4%	19.0%	0.0%	4.0%
40歳～49歳(n=190)	4.2%	25.3%	0.0%	4.2%
50歳～59歳(n=219)	3.2%	32.0%	0.9%	4.1%
60歳～64歳(n=112)	1.8%	37.5%	0.9%	1.8%
65歳～69歳(n=146)	11.6%	37.7%	2.1%	6.2%
70歳～74歳(n=134)	13.4%	41.0%	0.7%	3.7%
75歳以上(n=283)	19.1%	23.0%	3.2%	3.9%
全体(n=1,305)	8.4%	28.6%	1.2%	4.0%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
20歳～29歳(n=83)	53.0%	34.9%	38.6%	38.6%	1.2%
30歳～39歳(n=126)	55.6%	34.9%	36.5%	39.7%	0.0%
40歳～49歳(n=190)	59.5%	23.2%	30.0%	40.0%	3.2%
50歳～59歳(n=219)	72.1%	16.9%	16.9%	43.8%	1.4%
60歳～64歳(n=112)	75.0%	16.1%	14.3%	35.7%	1.8%
65歳～69歳(n=146)	61.0%	16.4%	11.0%	25.3%	6.8%
70歳～74歳(n=134)	66.4%	18.7%	6.0%	22.4%	9.0%
75歳以上(n=283)	42.4%	19.1%	3.2%	10.6%	27.9%
全体(n=1,305)	59.3%	21.2%	17.2%	30.3%	8.7%

C 高齢者を支援する活動（見守りや食事会、交流の場など）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
20歳～29歳(n=83)	0.0%	2.4%	0.0%	7.2%
30歳～39歳(n=126)	0.0%	8.7%	0.0%	9.5%
40歳～49歳(n=190)	0.0%	8.4%	0.5%	12.1%
50歳～59歳(n=219)	2.3%	12.8%	0.9%	13.7%
60歳～64歳(n=112)	0.9%	9.8%	3.6%	8.0%
65歳～69歳(n=146)	2.1%	16.4%	6.2%	15.1%
70歳～74歳(n=134)	5.2%	17.2%	5.2%	11.2%
75歳以上(n=283)	11.7%	13.4%	3.5%	7.1%
全体(n=1,305)	3.8%	11.9%	2.5%	10.6%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
20歳～29歳(n=83)	48.2%	31.3%	44.6%	49.4%	1.2%
30歳～39歳(n=126)	51.6%	31.0%	42.1%	47.6%	0.0%
40歳～49歳(n=190)	56.8%	27.4%	36.8%	46.3%	3.7%
50歳～59歳(n=219)	67.1%	16.9%	23.7%	52.1%	1.4%
60歳～64歳(n=112)	68.8%	20.5%	21.4%	50.9%	1.8%
65歳～69歳(n=146)	61.0%	15.1%	12.3%	40.4%	10.3%
70歳～74歳(n=134)	70.9%	22.4%	6.0%	37.3%	7.5%
75歳以上(n=283)	47.7%	21.6%	2.8%	17.7%	27.9%
全体(n=1,305)	58.5%	22.5%	20.9%	40.1%	9.0%

D 小・中学生の居場所づくりや交流の機会

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
20歳～29歳(n=83)	0.0%	7.2%	0.0%	12.0%
30歳～39歳(n=126)	4.0%	29.4%	0.8%	9.5%
40歳～49歳(n=190)	5.3%	13.7%	3.2%	11.1%
50歳～59歳(n=219)	1.4%	8.7%	2.7%	12.8%
60歳～64歳(n=112)	0.0%	7.1%	2.7%	7.1%
65歳～69歳(n=146)	1.4%	8.2%	1.4%	6.2%
70歳～74歳(n=134)	2.2%	4.5%	2.2%	9.0%
75歳以上(n=283)	2.1%	2.8%	0.4%	2.8%
全体(n=1,305)	2.2%	9.3%	1.7%	8.4%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
20歳～29歳(n=83)	56.6%	31.3%	34.9%	42.2%	1.2%
30歳～39歳(n=126)	50.0%	27.0%	38.9%	32.5%	0.0%
40歳～49歳(n=190)	53.7%	22.1%	32.6%	44.7%	3.2%
50歳～59歳(n=219)	65.3%	22.4%	25.1%	48.4%	1.8%
60歳～64歳(n=112)	62.5%	26.8%	30.4%	48.2%	1.8%
65歳～69歳(n=146)	55.5%	19.2%	21.2%	46.6%	14.4%
70歳～74歳(n=134)	65.7%	27.6%	17.2%	41.8%	8.2%
75歳以上(n=283)	39.9%	21.9%	12.0%	19.8%	41.0%
全体(n=1,305)	54.7%	23.8%	24.5%	38.9%	12.5%

E 子育てを支援する活動（子育て講座や子どもの世話のお手伝いなど）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
20歳～29歳(n=83)	3.6%	10.8%	0.0%	8.4%
30歳～39歳(n=126)	9.5%	34.1%	1.6%	12.7%
40歳～49歳(n=190)	2.6%	13.7%	1.6%	11.1%
50歳～59歳(n=219)	1.8%	8.2%	2.7%	16.9%
60歳～64歳(n=112)	0.9%	7.1%	0.9%	5.4%
65歳～69歳(n=146)	0.0%	6.2%	0.7%	8.2%
70歳～74歳(n=134)	0.0%	5.2%	1.5%	6.0%
75歳以上(n=283)	0.4%	3.2%	1.1%	2.1%
全体(n=1,305)	2.0%	10.0%	1.5%	8.7%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
20歳～29歳(n=83)	48.2%	36.1%	41.0%	36.1%	1.2%
30歳～39歳(n=126)	51.6%	23.0%	28.6%	30.2%	0.0%
40歳～49歳(n=190)	62.1%	25.8%	27.4%	42.1%	3.7%
50歳～59歳(n=219)	68.5%	24.2%	21.5%	43.8%	1.8%
60歳～64歳(n=112)	67.0%	24.1%	26.8%	52.7%	1.8%
65歳～69歳(n=146)	58.2%	22.6%	19.2%	41.1%	17.1%
70歳～74歳(n=134)	65.7%	29.9%	17.2%	41.8%	9.7%
75歳以上(n=283)	42.0%	25.1%	11.0%	18.7%	39.9%
全体(n=1,305)	57.2%	25.7%	21.7%	36.6%	12.7%

F 障害児・者との交流の活動

(障害児の放課後の居場所づくりや夏休み中のイベント、障害者施設との合同のお祭りなど)

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
20歳～29歳(n=83)	1.2%	6.0%	0.0%	6.0%
30歳～39歳(n=126)	0.8%	11.9%	0.8%	11.1%
40歳～49歳(n=190)	2.6%	12.6%	1.1%	10.5%
50歳～59歳(n=219)	1.8%	9.6%	2.3%	12.3%
60歳～64歳(n=112)	0.9%	6.3%	0.0%	3.6%
65歳～69歳(n=146)	2.7%	6.2%	1.4%	7.5%
70歳～74歳(n=134)	3.0%	6.7%	2.2%	6.0%
75歳以上(n=283)	1.4%	3.9%	1.4%	3.5%
全体(n=1,305)	1.8%	7.7%	1.3%	7.6%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
20歳～29歳(n=83)	48.2%	31.3%	43.4%	47.0%	1.2%
30歳～39歳(n=126)	50.8%	27.0%	42.1%	46.8%	0.8%
40歳～49歳(n=190)	53.2%	25.3%	36.8%	44.2%	4.2%
50歳～59歳(n=219)	63.9%	17.8%	26.9%	53.9%	2.3%
60歳～64歳(n=112)	67.9%	25.0%	27.7%	55.4%	1.8%
65歳～69歳(n=146)	56.8%	18.5%	19.9%	45.9%	14.4%
70歳～74歳(n=134)	62.7%	23.9%	18.7%	47.8%	9.0%
75歳以上(n=283)	43.8%	21.6%	8.8%	19.1%	39.2%
全体(n=1,305)	55.1%	22.8%	25.3%	42.6%	12.4%

G 外国人との交流の機会（日本語教室、日本の文化に触れる機会など）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
20歳～29歳(n=83)	0.0%	15.7%	0.0%	12.0%
30歳～39歳(n=126)	0.8%	25.4%	0.0%	11.1%
40歳～49歳(n=190)	0.5%	20.5%	0.5%	13.2%
50歳～59歳(n=219)	0.5%	14.6%	0.9%	18.3%
60歳～64歳(n=112)	0.0%	13.4%	0.9%	5.4%
65歳～69歳(n=146)	0.0%	12.3%	0.0%	10.3%
70歳～74歳(n=134)	2.2%	13.4%	1.5%	8.2%
75歳以上(n=283)	0.0%	4.6%	1.1%	1.8%
全体(n=1,305)	0.5%	13.9%	0.7%	9.7%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
20歳～29歳(n=83)	48.2%	22.9%	47.0%	42.2%	1.2%
30歳～39歳(n=126)	46.8%	24.6%	46.0%	37.3%	0.0%
40歳～49歳(n=190)	48.4%	22.1%	44.2%	38.9%	4.2%
50歳～59歳(n=219)	61.2%	15.5%	32.9%	48.4%	1.8%
60歳～64歳(n=112)	65.2%	24.1%	30.4%	50.0%	0.9%
65歳～69歳(n=146)	57.5%	19.9%	21.2%	36.3%	15.1%
70歳～74歳(n=134)	62.7%	21.6%	18.7%	41.0%	8.2%
75歳以上(n=283)	42.0%	24.0%	11.7%	19.4%	39.2%
全体(n=1,305)	53.0%	21.6%	29.0%	37.3%	12.2%

H 花植え・清掃活動

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
20歳～29歳(n=83)	6.0%	16.9%	0.0%	6.0%
30歳～39歳(n=126)	5.6%	25.4%	0.8%	8.7%
40歳～49歳(n=190)	16.3%	26.3%	3.2%	10.0%
50歳～59歳(n=219)	13.7%	26.0%	3.2%	10.0%
60歳～64歳(n=112)	16.1%	23.2%	1.8%	6.3%
65歳～69歳(n=146)	15.1%	25.3%	3.4%	8.9%
70歳～74歳(n=134)	26.1%	30.6%	3.7%	8.2%
75歳以上(n=283)	17.0%	14.5%	4.2%	6.0%
全体(n=1,305)	15.2%	23.0%	2.9%	8.0%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
20歳～29歳(n=83)	55.4%	24.1%	31.3%	42.2%	1.2%
30歳～39歳(n=126)	54.0%	23.0%	32.5%	39.7%	0.8%
40歳～49歳(n=190)	49.5%	22.6%	24.2%	33.7%	4.2%
50歳～59歳(n=219)	60.3%	17.4%	18.3%	41.1%	1.8%
60歳～64歳(n=112)	62.5%	19.6%	12.5%	43.8%	0.9%
65歳～69歳(n=146)	56.2%	15.8%	6.8%	29.5%	12.3%
70歳～74歳(n=134)	53.0%	17.2%	8.2%	29.9%	4.5%
75歳以上(n=283)	39.2%	16.6%	5.3%	17.0%	31.1%
全体(n=1,305)	52.0%	18.9%	15.7%	32.5%	9.9%



図表 近所付き合い別 地域活動への参加（問10×問12）

A 子どもから高齢者までが集える地域活動（お祭りや運動会、集いの場など）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
近所の人とよく行き来している(n=68)	45.6%	29.4%	33.8%	23.5%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	37.1%	38.5%	11.5%	13.5%
あまり近所付き合いはない(n=769)	20.3%	27.2%	3.8%	7.8%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	3.0%	16.4%	0.0%	7.5%
その他(n=17)	17.6%	29.4%	11.8%	35.3%
全体(n=1,305)	25.1%	29.3%	7.4%	10.3%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
近所の人とよく行き来している(n=68)	20.6%	5.9%	1.5%	11.8%	11.8%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	40.5%	13.2%	2.3%	20.4%	8.3%
あまり近所付き合いはない(n=769)	58.4%	23.0%	10.1%	34.6%	4.0%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	40.3%	28.4%	40.3%	35.8%	7.5%
その他(n=17)	35.3%	17.6%	11.8%	17.6%	11.8%
全体(n=1,305)	49.4%	19.2%	9.0%	28.8%	7.1%

B 健康づくりの活動（ウォーキングや体操など）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
近所の人とよく行き来している(n=68)	29.4%	27.9%	11.8%	10.3%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	12.9%	37.1%	1.1%	4.6%
あまり近所付き合いはない(n=769)	4.9%	26.5%	0.4%	3.0%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	0.0%	16.4%	0.0%	7.5%
その他(n=17)	5.9%	29.4%	5.9%	5.9%
全体(n=1,305)	8.4%	28.6%	1.2%	4.0%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
近所の人とよく行き来している(n=68)	38.2%	2.9%	1.5%	19.1%	22.1%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	59.2%	17.2%	12.4%	23.3%	10.6%
あまり近所付き合いはない(n=769)	65.4%	25.1%	18.7%	35.1%	4.4%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	34.3%	26.9%	49.3%	37.3%	6.0%
その他(n=17)	52.9%	11.8%	0.0%	23.5%	23.5%
全体(n=1,305)	59.3%	21.2%	17.2%	30.3%	8.7%

C 高齢者を支援する活動（見守りや食事会、交流の場など）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
近所の人とよく行き来している(n=68)	23.5%	26.5%	20.6%	26.5%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	5.2%	14.4%	2.9%	12.6%
あまり近所付き合いはない(n=769)	1.4%	10.1%	0.9%	9.0%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	0.0%	7.5%	0.0%	4.5%
その他(n=17)	11.8%	17.6%	11.8%	23.5%
全体(n=1,305)	3.8%	11.9%	2.5%	10.6%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
近所の人とよく行き来している(n=68)	30.9%	5.9%	1.5%	13.2%	20.6%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	61.2%	21.3%	16.1%	35.3%	10.3%
あまり近所付き合いはない(n=769)	64.2%	24.8%	22.9%	45.6%	5.1%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	29.9%	29.9%	53.7%	44.8%	7.5%
その他(n=17)	47.1%	11.8%	5.9%	29.4%	11.8%
全体(n=1,305)	58.5%	22.5%	20.9%	40.1%	9.0%

D 小・中学生の居場所づくりや交流の機会

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
近所の人とよく行き来している(n=68)	11.8%	8.8%	16.2%	20.6%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	3.7%	12.1%	1.1%	10.3%
あまり近所付き合いはない(n=769)	1.0%	8.6%	0.8%	7.2%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	0.0%	9.0%	0.0%	4.5%
その他(n=17)	0.0%	11.8%	5.9%	5.9%
全体(n=1,305)	2.2%	9.3%	1.7%	8.4%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
近所の人とよく行き来している(n=68)	38.2%	10.3%	2.9%	19.1%	27.9%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	55.2%	20.4%	20.4%	34.5%	15.5%
あまり近所付き合いはない(n=769)	59.8%	26.8%	26.9%	43.4%	7.3%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	32.8%	32.8%	50.7%	41.8%	6.0%
その他(n=17)	52.9%	11.8%	5.9%	41.2%	29.4%
全体(n=1,305)	54.7%	23.8%	24.5%	38.9%	12.5%



## E 子育てを支援する活動（子育て講座や子どもの世話のお手伝いなど）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
近所の人とよく行き来している(n=68)	4.4%	10.3%	7.4%	20.6%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	2.6%	11.5%	2.0%	10.1%
あまり近所付き合いはない(n=769)	1.8%	9.8%	0.9%	7.9%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	0.0%	9.0%	0.0%	4.5%
その他(n=17)	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%
全体(n=1,305)	2.0%	10.0%	1.5%	8.7%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
近所の人とよく行き来している(n=68)	47.1%	8.8%	2.9%	20.6%	32.4%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	56.9%	22.7%	18.4%	32.5%	16.1%
あまり近所付き合いはない(n=769)	61.6%	28.7%	23.5%	40.8%	7.2%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	37.3%	34.3%	46.3%	37.3%	6.0%
その他(n=17)	64.7%	23.5%	0.0%	35.3%	23.5%
全体(n=1,305)	57.2%	25.7%	21.7%	36.6%	12.7%

## F 障害児・者との交流の活動

（障害児の放課後の居場所づくりや夏休み中のイベント、障害者施設との合同のお祭りなど）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
近所の人とよく行き来している(n=68)	7.4%	4.4%	10.3%	22.1%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	2.0%	9.2%	2.3%	8.0%
あまり近所付き合いはない(n=769)	1.6%	7.7%	0.3%	6.5%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	0.0%	6.0%	0.0%	6.0%
その他(n=17)	0.0%	11.8%	0.0%	11.8%
全体(n=1,305)	1.8%	7.7%	1.3%	7.6%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
近所の人とよく行き来している(n=68)	44.1%	8.8%	5.9%	26.5%	26.5%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	52.9%	20.7%	23.0%	38.5%	16.7%
あまり近所付き合いはない(n=769)	60.3%	25.1%	26.9%	47.5%	7.0%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	32.8%	28.4%	50.7%	43.3%	7.5%
その他(n=17)	64.7%	23.5%	0.0%	29.4%	23.5%
全体(n=1,305)	55.1%	22.8%	25.3%	42.6%	12.4%

### G 外国人との交流の機会（日本語教室、日本の文化に触れる機会など）

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
近所の人とよく行き来している(n=68)	0.0%	8.8%	4.4%	16.2%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	0.9%	17.8%	0.3%	12.1%
あまり近所付き合いはない(n=769)	0.3%	13.0%	0.5%	8.6%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	1.5%	14.9%	0.0%	6.0%
その他(n=17)	0.0%	17.6%	0.0%	11.8%
全体(n=1,305)	0.5%	13.9%	0.7%	9.7%

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
近所の人とよく行き来している(n=68)	47.1%	8.8%	8.8%	22.1%	32.4%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	52.6%	20.1%	26.1%	30.7%	15.8%
あまり近所付き合いはない(n=769)	57.0%	23.9%	31.5%	42.5%	6.4%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	34.3%	26.9%	49.3%	40.3%	7.5%
その他(n=17)	47.1%	17.6%	17.6%	29.4%	23.5%
全体(n=1,305)	53.0%	21.6%	29.0%	37.3%	12.2%

### H 花植え・清掃活動

カテゴリー名	現在	今後	現在	今後
	参加者として参加している	参加者として参加したいと思う	担い手として参加している	担い手として参加したいと思う
近所の人とよく行き来している(n=68)	33.8%	22.1%	14.7%	20.6%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	24.1%	29.3%	3.2%	9.8%
あまり近所付き合いはない(n=769)	10.9%	22.2%	1.8%	6.4%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	0.0%	10.4%	0.0%	9.0%
その他(n=17)	17.6%	17.6%	17.6%	11.8%
全体(n=1,305)	15.2%	23.0%	2.9%	8.0%

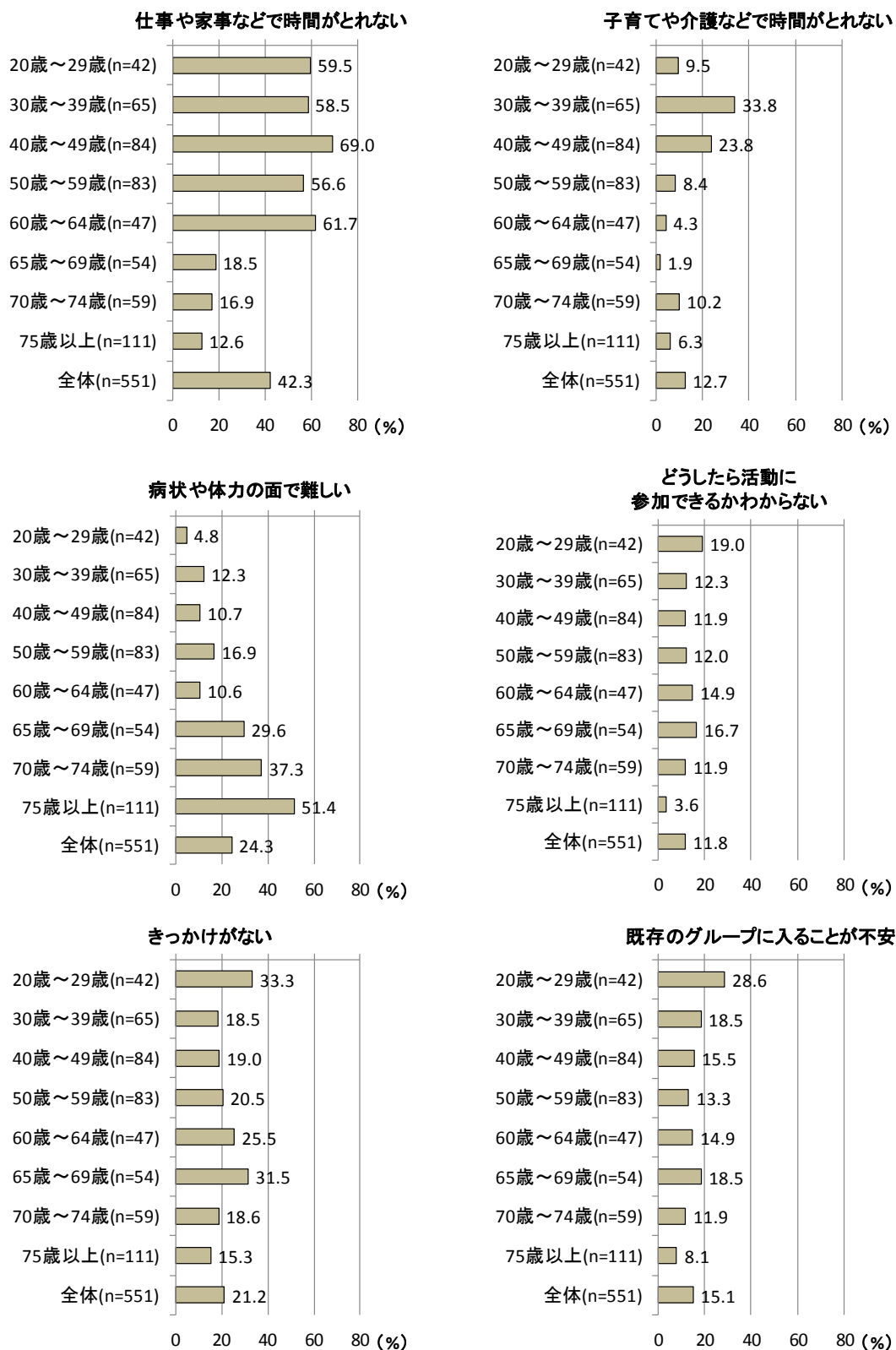
カテゴリー名	現在	今後	現在	今後	無回答
	参加していない	参加したいと思わない	活動自体を知らない	わからない	
近所の人とよく行き来している(n=68)	26.5%	7.4%	5.9%	16.2%	17.6%
仲の良い人とは行き来している(n=348)	48.0%	15.2%	8.9%	25.3%	12.4%
あまり近所付き合いはない(n=769)	59.0%	21.7%	17.4%	37.5%	6.1%
近所の人とは全く付き合いがない(n=67)	35.8%	26.9%	47.8%	41.8%	6.0%
その他(n=17)	41.2%	11.8%	5.9%	23.5%	17.6%
全体(n=1,305)	52.0%	18.9%	15.7%	32.5%	9.9%

### 問 13 地域活動に今後参加したいと思わない理由

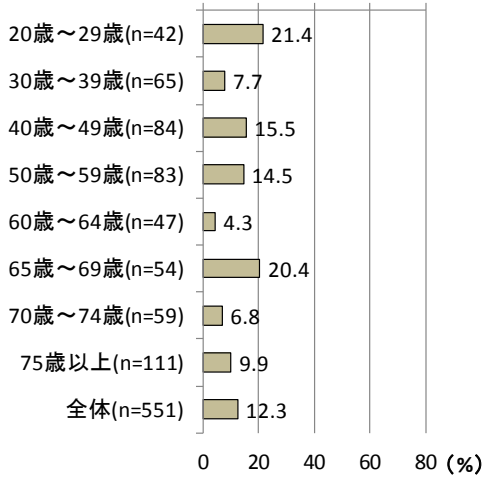
地域活動に今後参加したいと思わない理由を年齢別で見ると、年代を問わず「興味・関心がないから」という理由は高い傾向になっている。

64歳以下では「仕事や家事などで時間が取れない」との回答が多く、65歳以上では「病状や体力の面で厳しい」との回答が多くなっている。

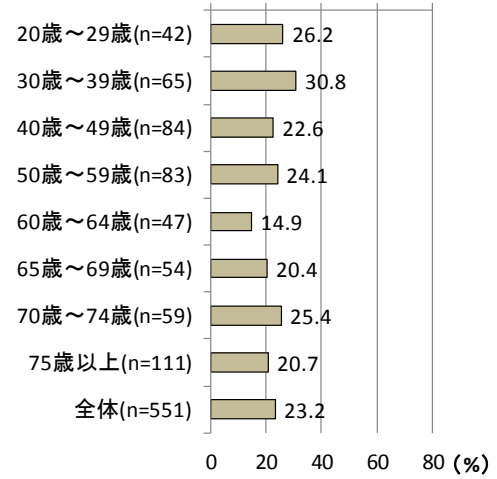
図表 年齢別 参加したいと思わない理由 (問2×問13)



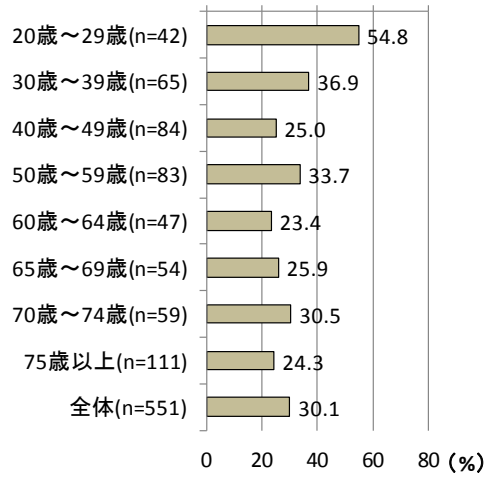
参加しにくい雰囲気だから



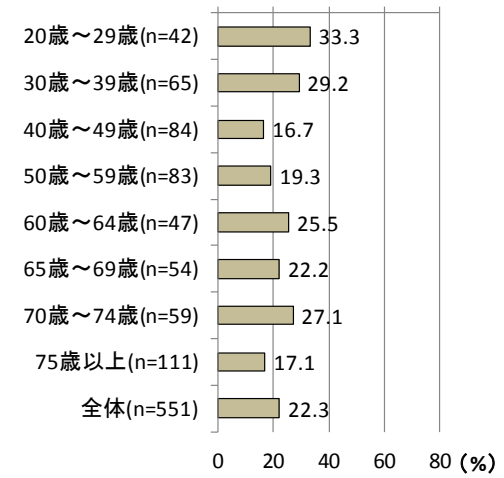
人付き合いがわずらわしい



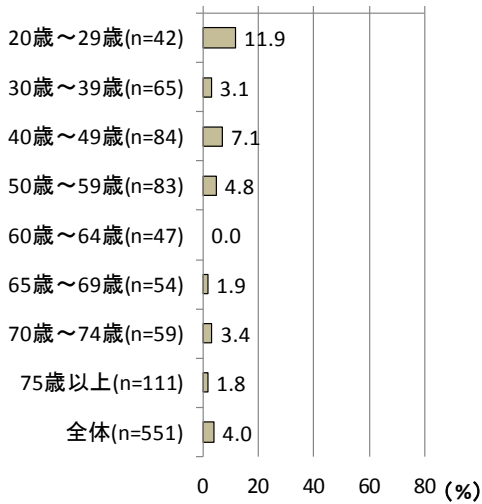
興味・関心がないから



趣味や余暇等の自分の時間がなくなる



経済的に負担だから

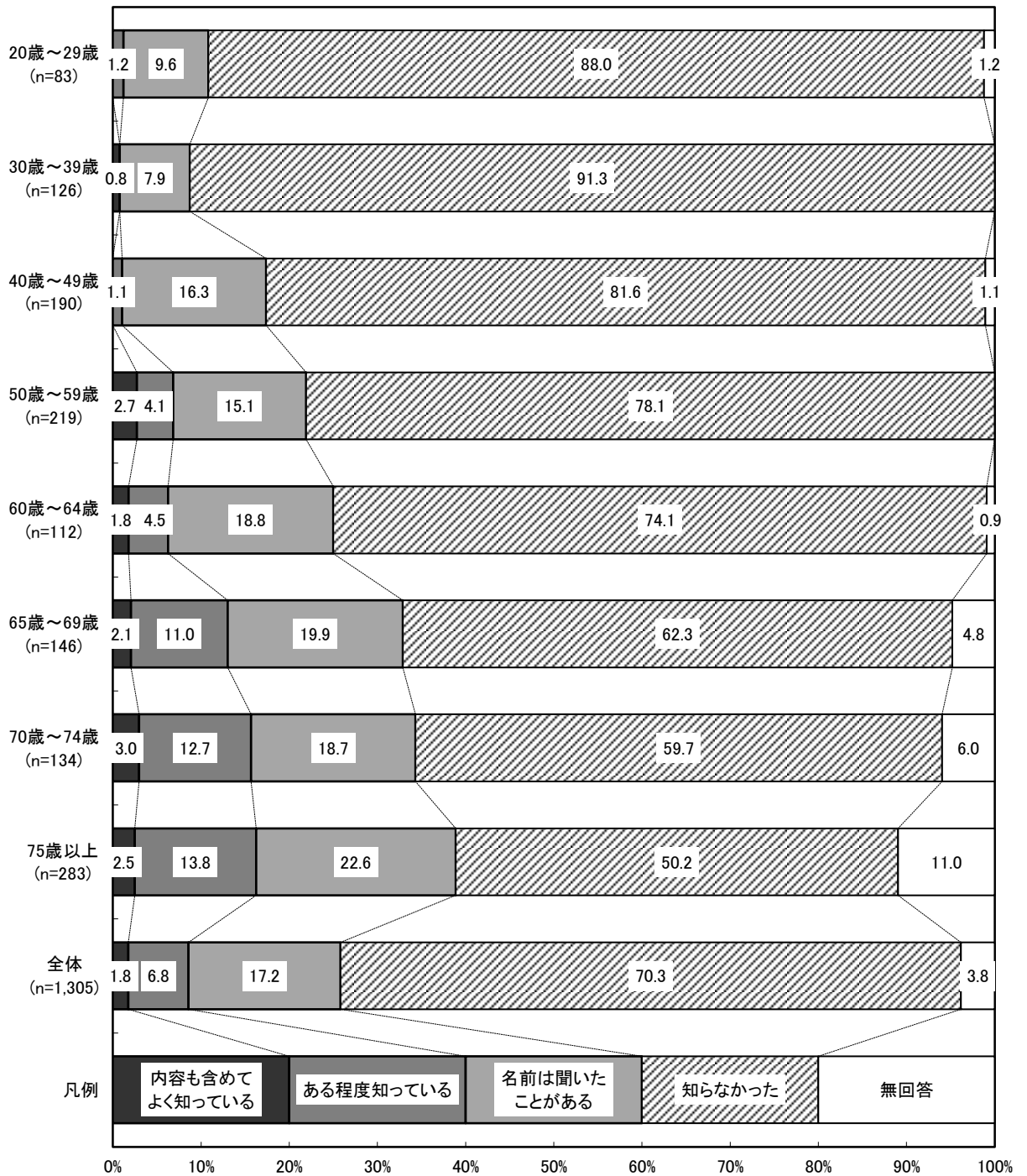


<福祉保健に関する情報について>

問 14 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度

「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度を年齢別でみると、20歳～29歳から75歳以上にかけて年齢が上がるにつれて、「みどりのわ・ささえ愛プラン」を認知している割合が多くなっている。

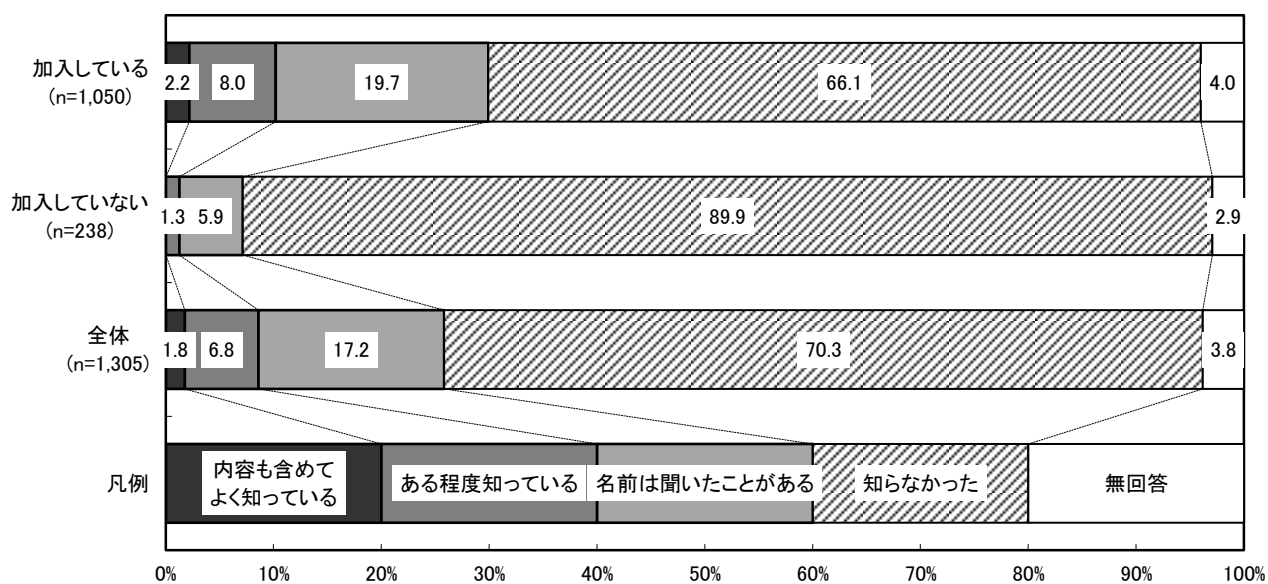
図表 年齢別 プランの認知度 (問2×問14)



「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度を自治会加入別で見ると、「内容も含めて良く知っている」と「ある程度知っている」の回答は、加入している方（合計10.2%）が、「みどりのわ・ささえ愛プラン」を認知していることが伺え、全体（8.6%）をやや上回っている。

また、加入していない方のうち、「みどりのわ・ささえ愛プラン」を知らなかったと回答している方は88.9%と多くなっている。

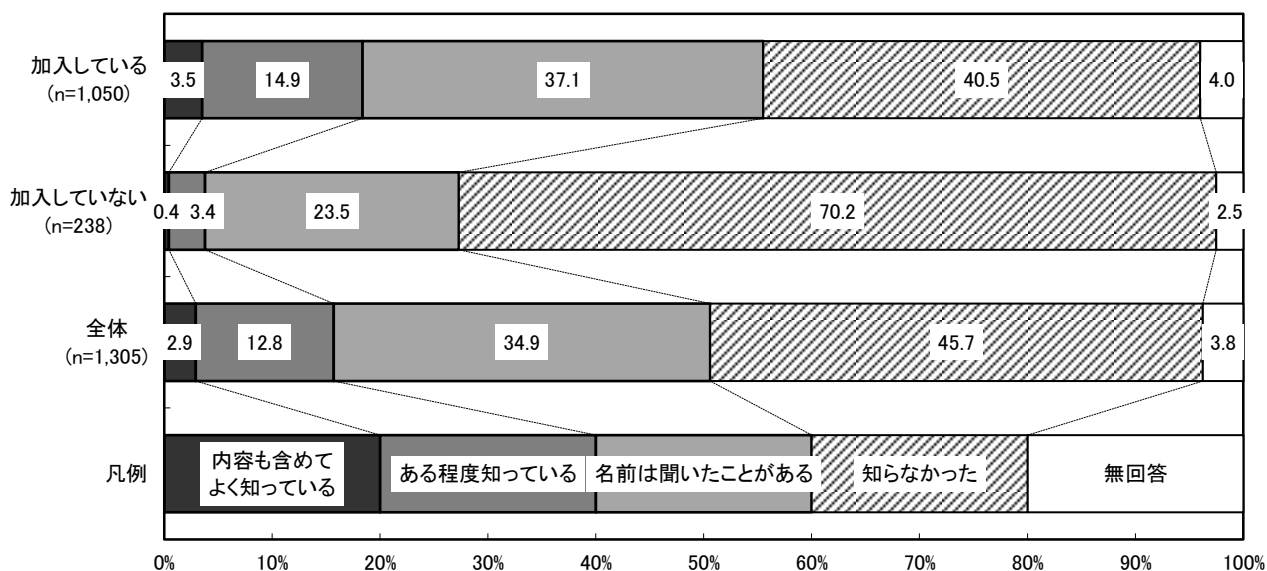
図表 自治会加入別 プランの認知度（問11×問14）



### 問 15 「緑区社会福祉協議会」の認知度

「緑区社会福祉協議会」の認知度を自治会加入別で見ると、「内容も含めて良く知っている」と「ある程度知っている」の回答は、自治会に加入している方（合計 18.4%）が、「緑区社会福祉協議会」を認知していることが伺え、全体（合計 15.7%）をやや上回っている。また加入していない方のうち、「緑区社会福祉協議会」を知らなかったと回答している方は 70.2%と 7 割を超えている。

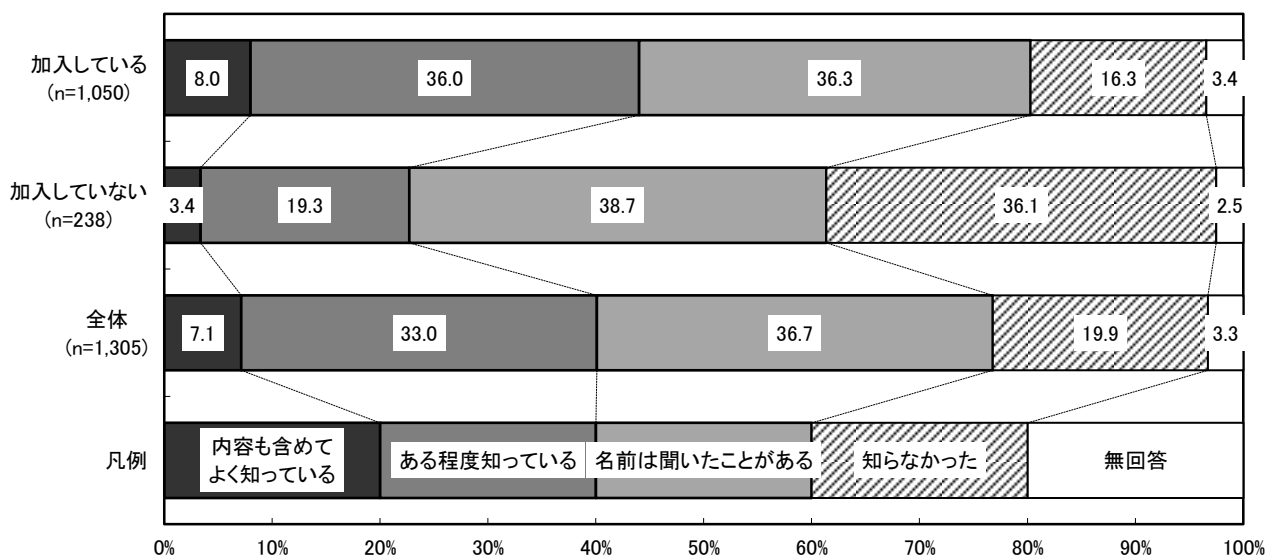
図表 自治会加入別 「緑区社会福祉協議会」の認知度（問11×問15）



### 問 16 「緑区内の地域ケアプラザ」の認知度

「緑区内の地域ケアプラザ」の認知度を自治会加入別で見ると、「内容も含めて良く知っている」と「ある程度知っている」の回答は、自治会に加入している方（合計 44.0%）が、「緑区内の地域ケアプラザ」を認知していることが伺え、全体（合計 40.1%）をやや上回っている。

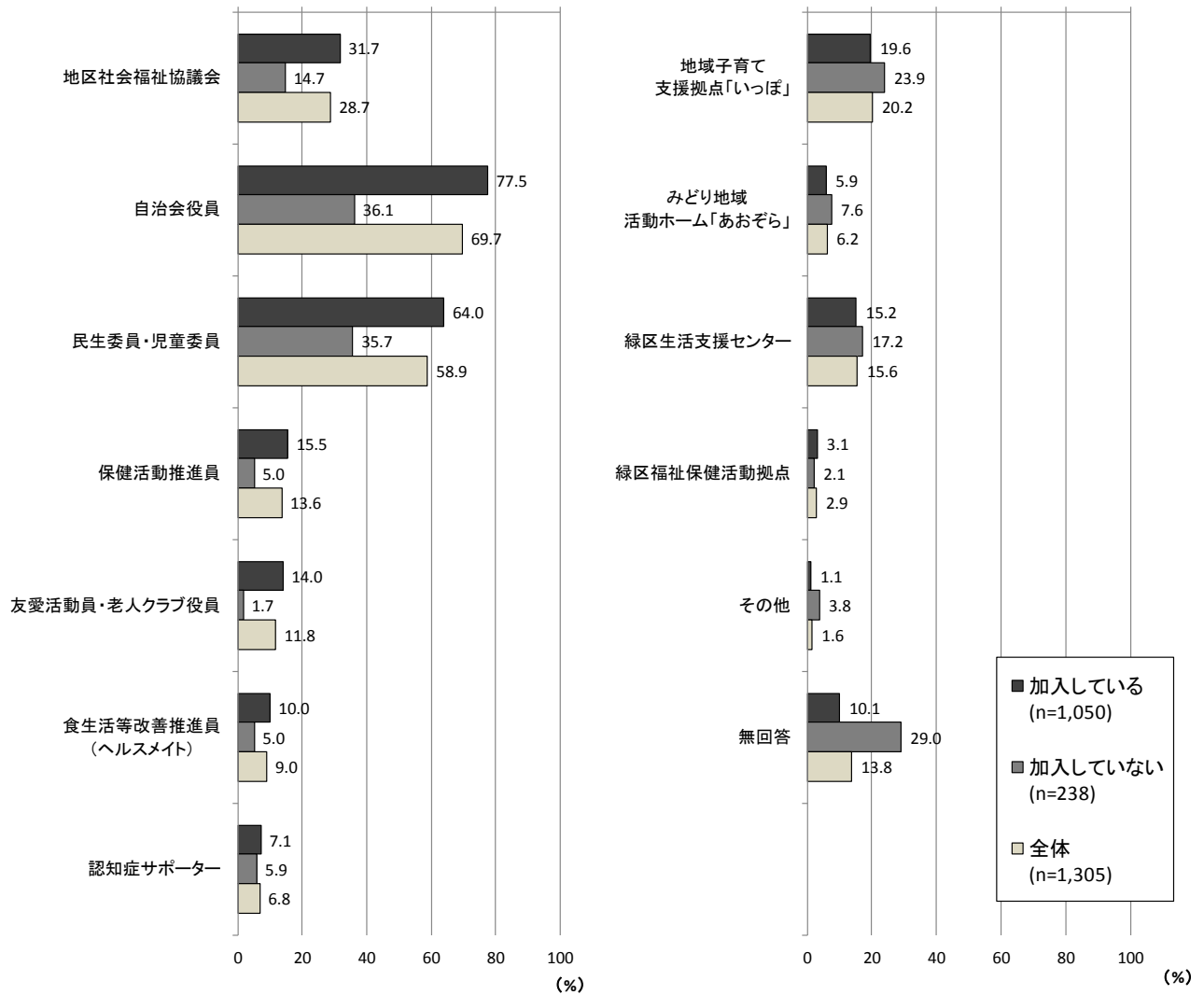
図表 自治会加入別 「緑区内の地域ケアプラザ」の認知度（問11×問16）



## 問 17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知度

地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知度を自治会加入別でみると、概ね加入している方の認知度が多くなっているが、「地域子育て支援拠点「いっぽ」」や「みどり地域活動ホーム「あおぞら」」、「緑区生活支援センター」は加入していない方の認知度が多くなっている。

図表 自治会加入別 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知度（問11×問17）

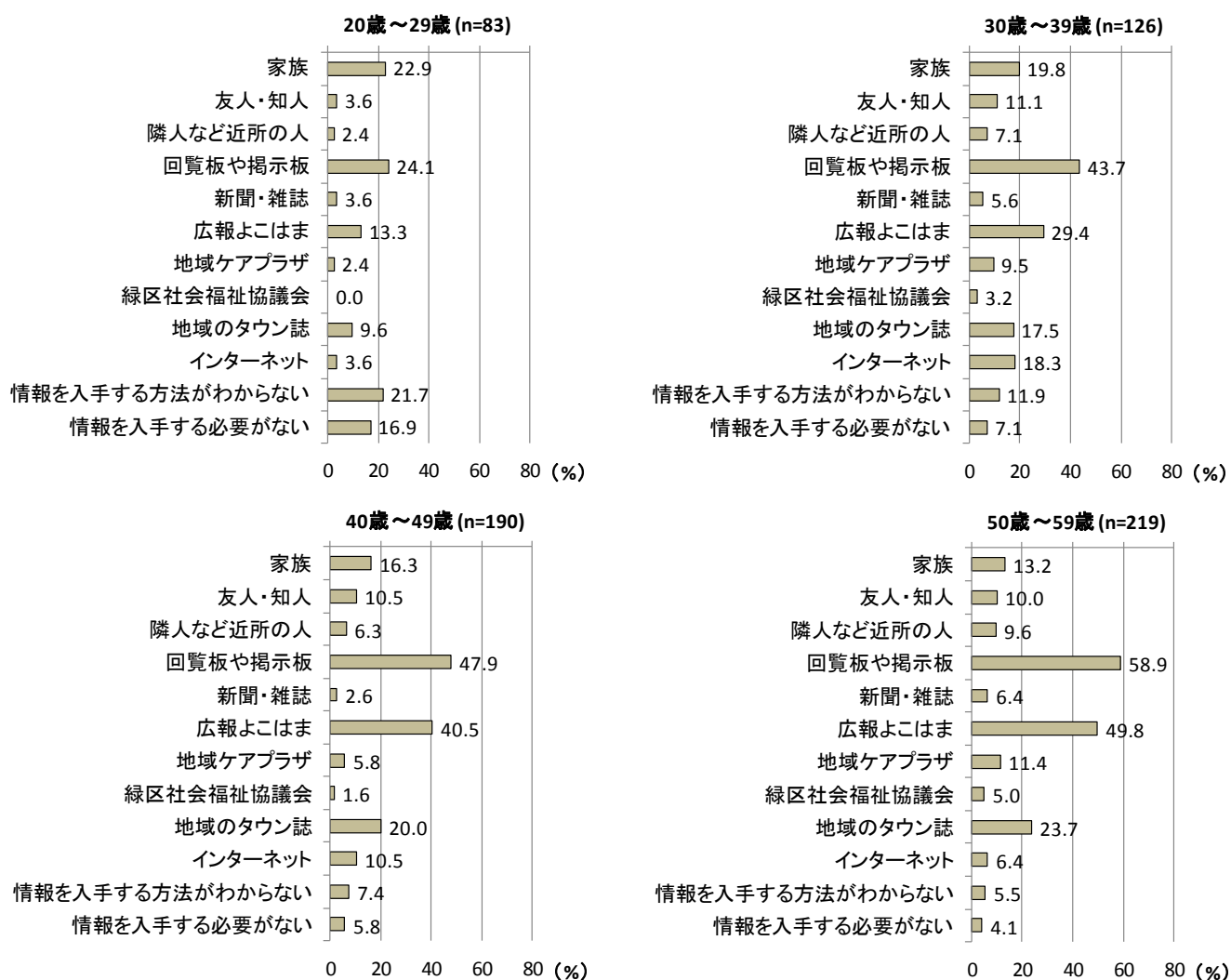


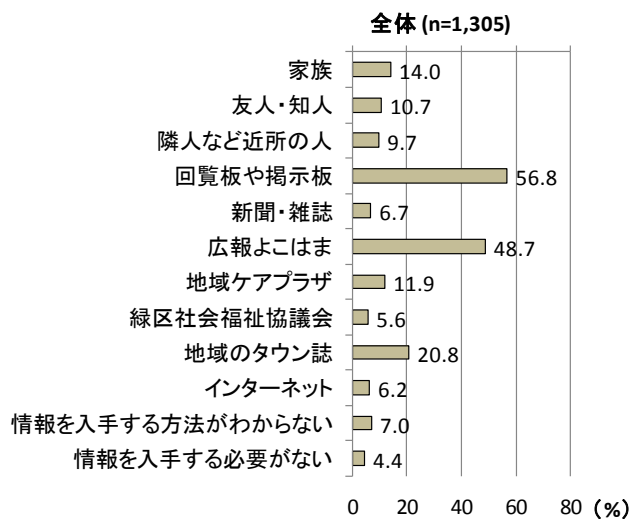
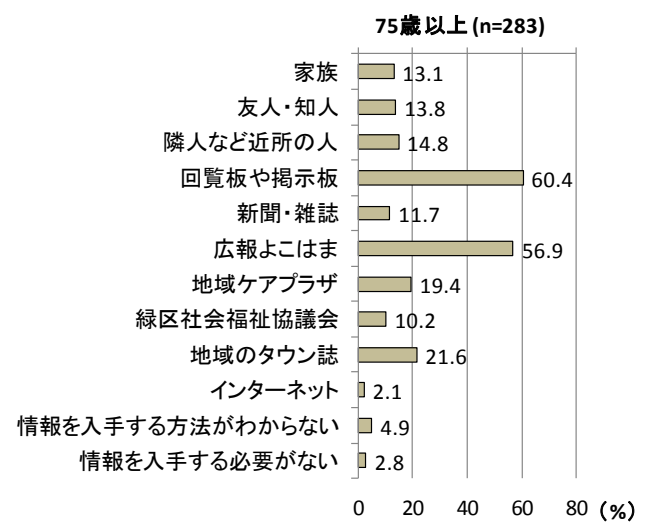
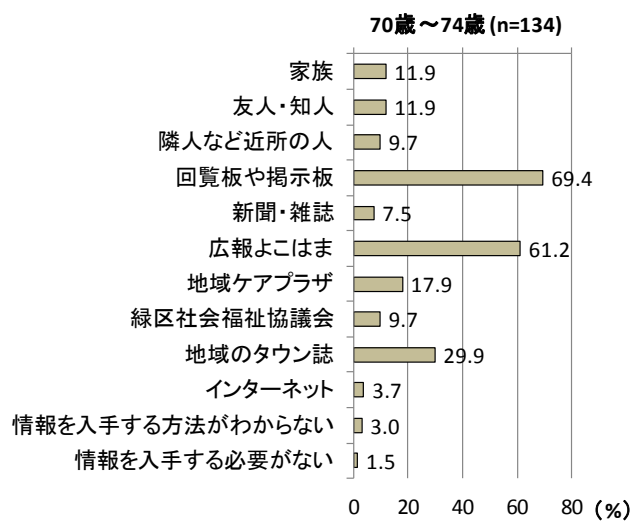
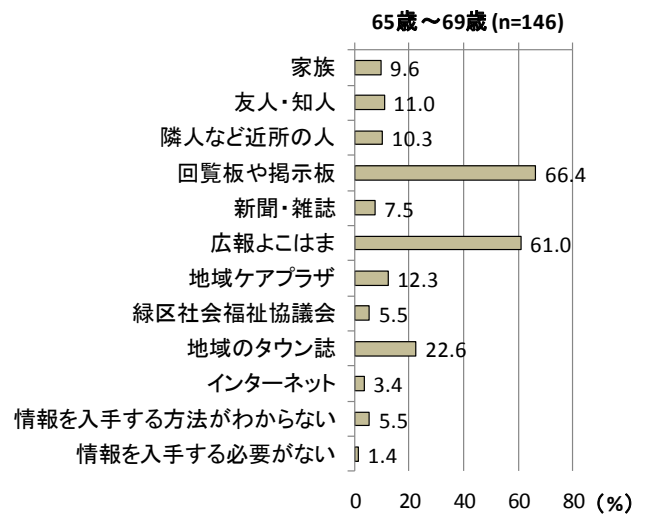
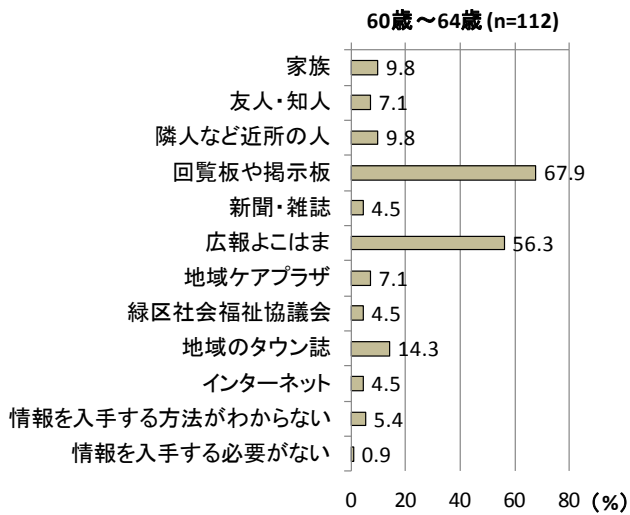


## 問 18 福祉保健に関する情報の入手先

福祉保健に関する情報の入手先を年齢別で見ると、他の年代と比べて、20歳代（20歳～29歳）は「家族」（22.9%）や「情報を入手する方法がわからない」（21.7%）、「情報を入手する必要がある」（16.9%）の回答が多く、30歳代（30歳～39歳）は「インターネット」（18.3%）の回答が多くなっている。65歳以上は「回覧板や掲示板」や「広報よこはま」、「地域のタウン誌」の回答が多くなっている。

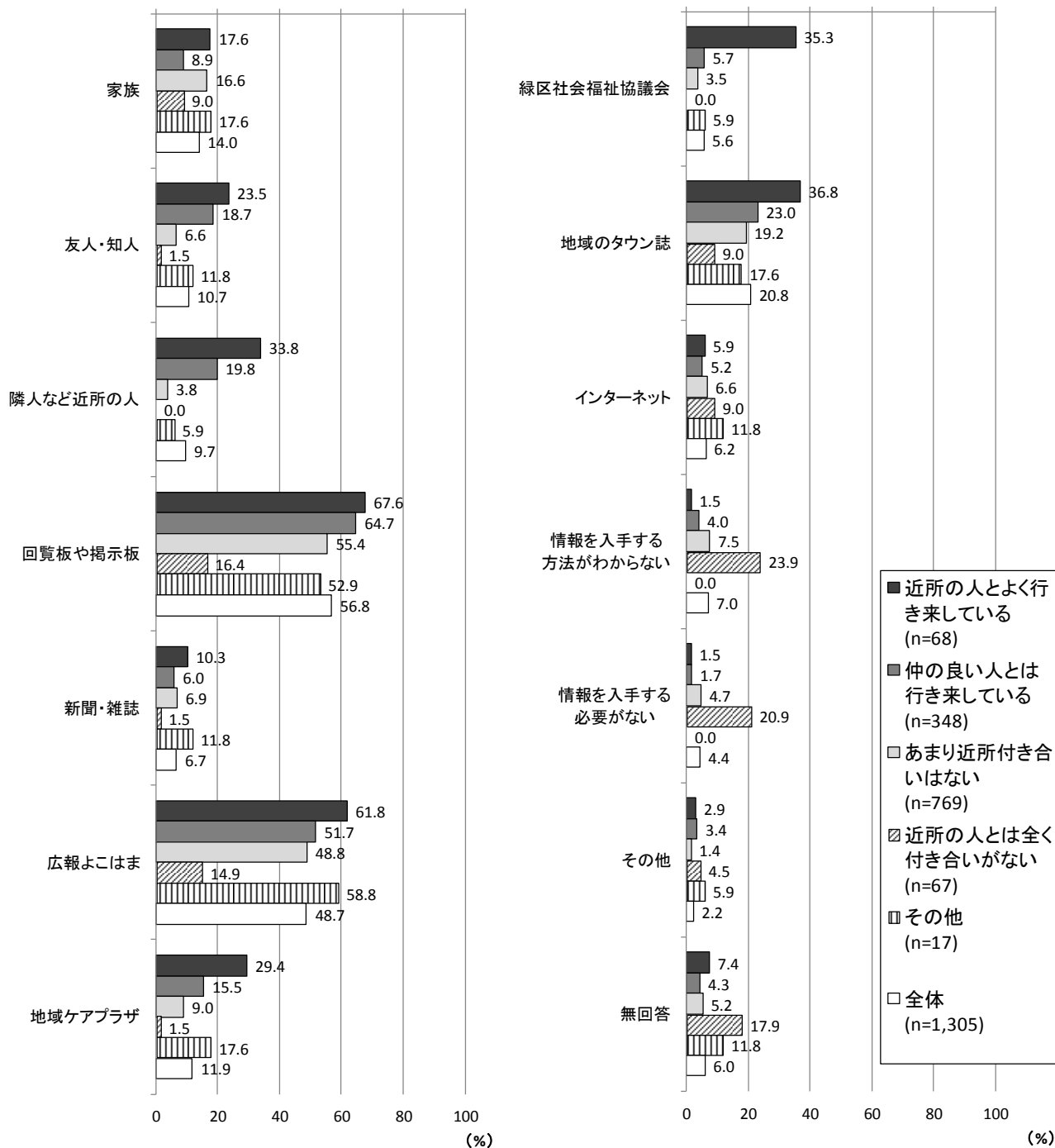
図表 年齢別 情報の入手先（問2×問18）





福祉保健に関する情報の入手先を近所付き合い別でみると、すべての項目で、概ね近所の人とよく行き来していると答えた方の回答が多くなっている一方、近所の人とは全く付き合いがないと答えた方は、「情報を入手する方法がわからない」（2.39%）や「情報を入手する必要がない」（20.9%）の回答が多くなっている。

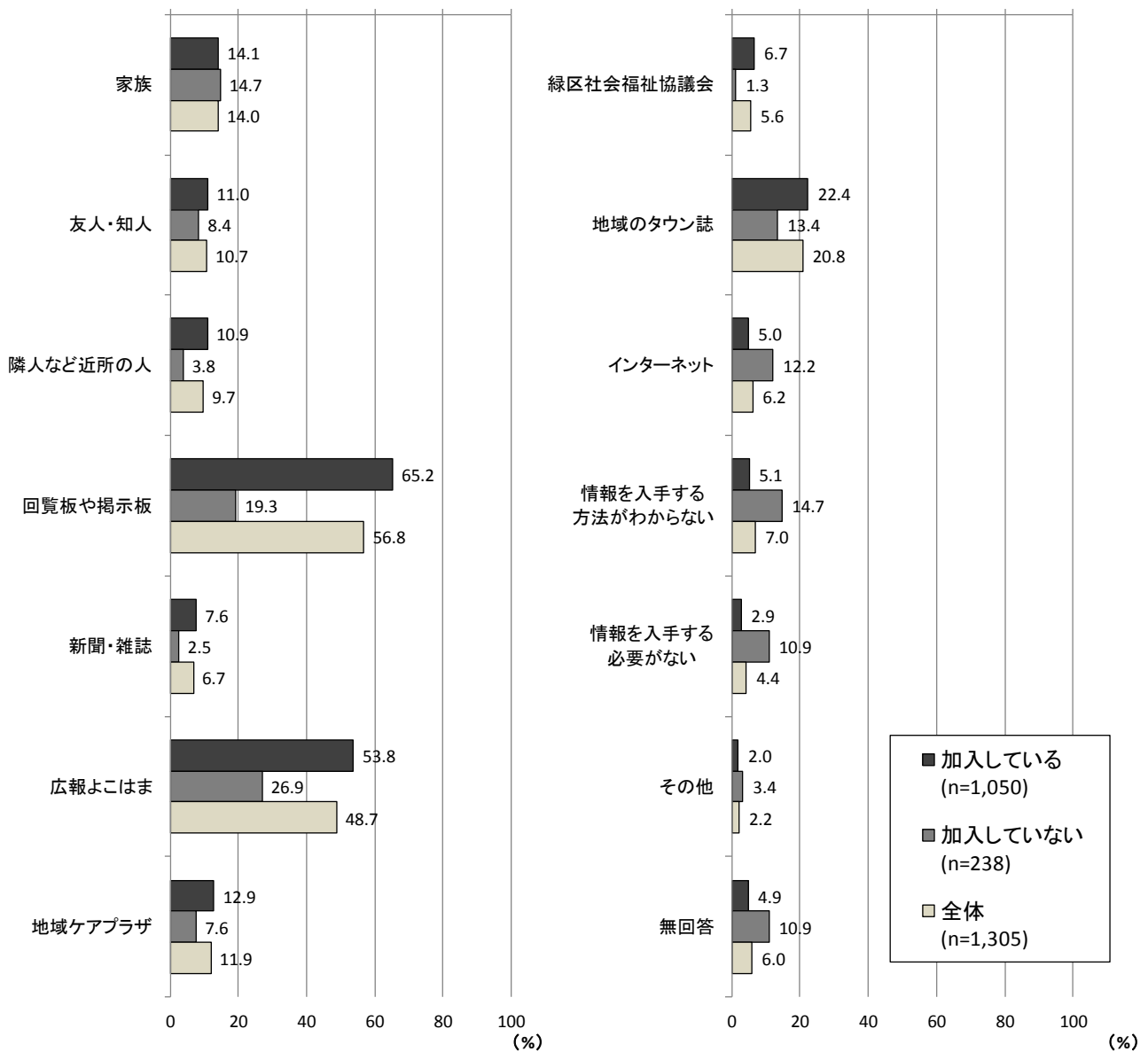
図表 近所付き合い別 情報の入手先（問11×問18）



福祉保健に関する情報の入手先を自治会加入別でみると、概ね自治会に加入している方は、「回覧板や掲示板」(65.2%)や「広報よこはま」(53.8%)を多く回答している。

また加入していない方は、「広報よこはま」(26.9%)、「回覧板や掲示板」(19.3%)に次いで、「情報を入手する方法がわからない」(14.7%)の回答が多くなっている。

図表 自治会加入別 情報の入手先 (問11×問18)



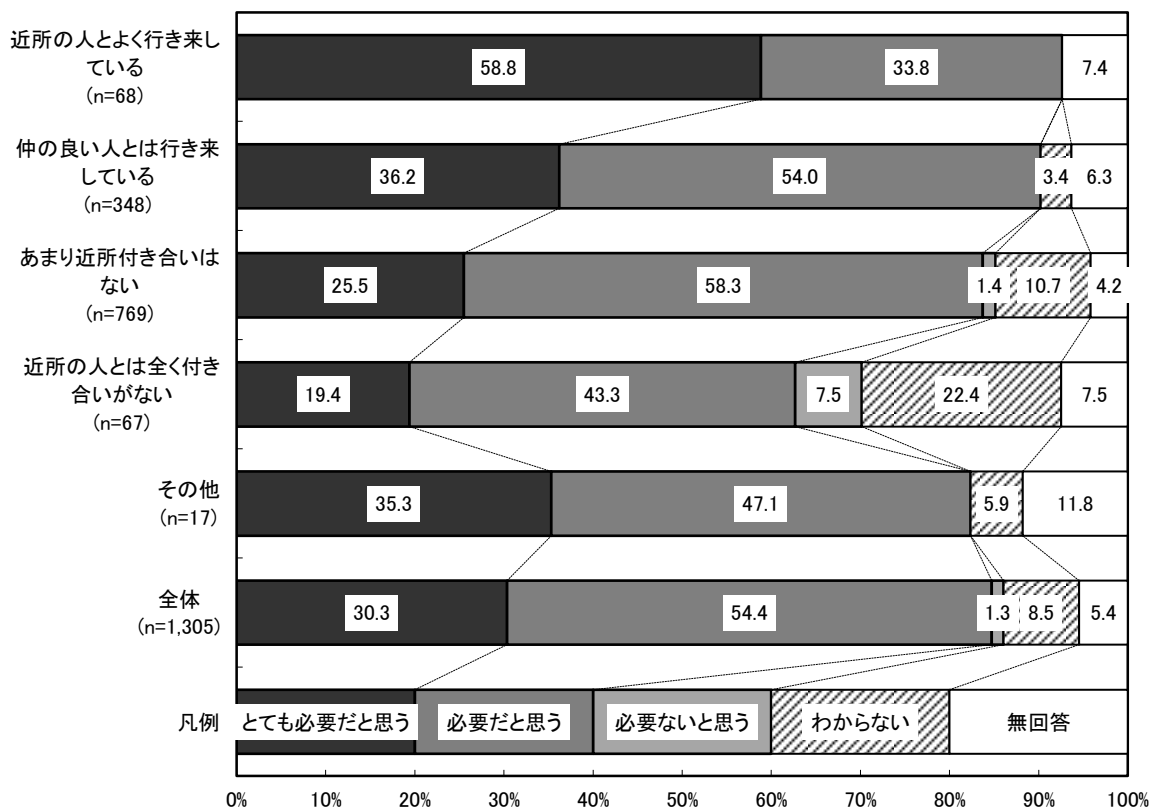
<安全・安心・健康について>

問 20 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性

「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性を近所付き合い別でみると、近所の人とよく行き来していると回答している方は、「とても必要だと思う」(58.8%)の回答が多くなっている。

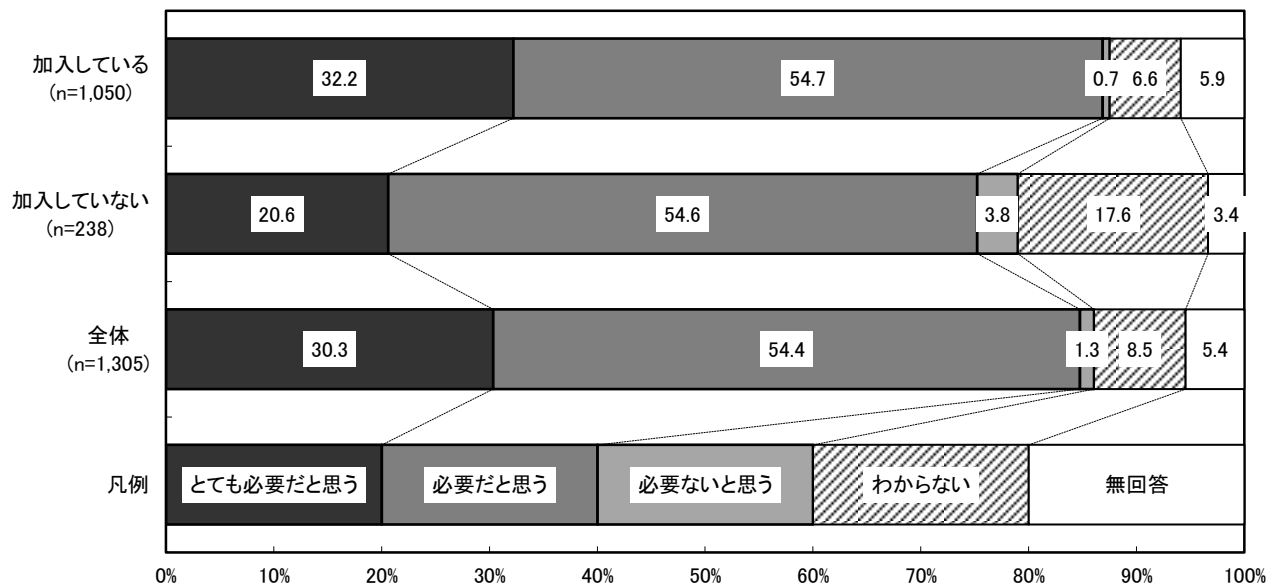
一方、近所の人とは全く付き合いがないと回答している方は、「必要ないと思う」(7.5%)の回答が多くなっている。

図表 近所付き合い別 顔の見える関係の必要性 (問10×問20)



「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性を自治会加入別で見ると、自治会に加入している方は、「とても必要だと思う」＋「必要だと思う」（合計 86.9%）と回答している方が多い。また加入していない方も、「とても必要だと思う」＋「必要だと思う」（合計 65.2%）と回答している方が多いものの、加入している方に比べて少ない回答となっている。

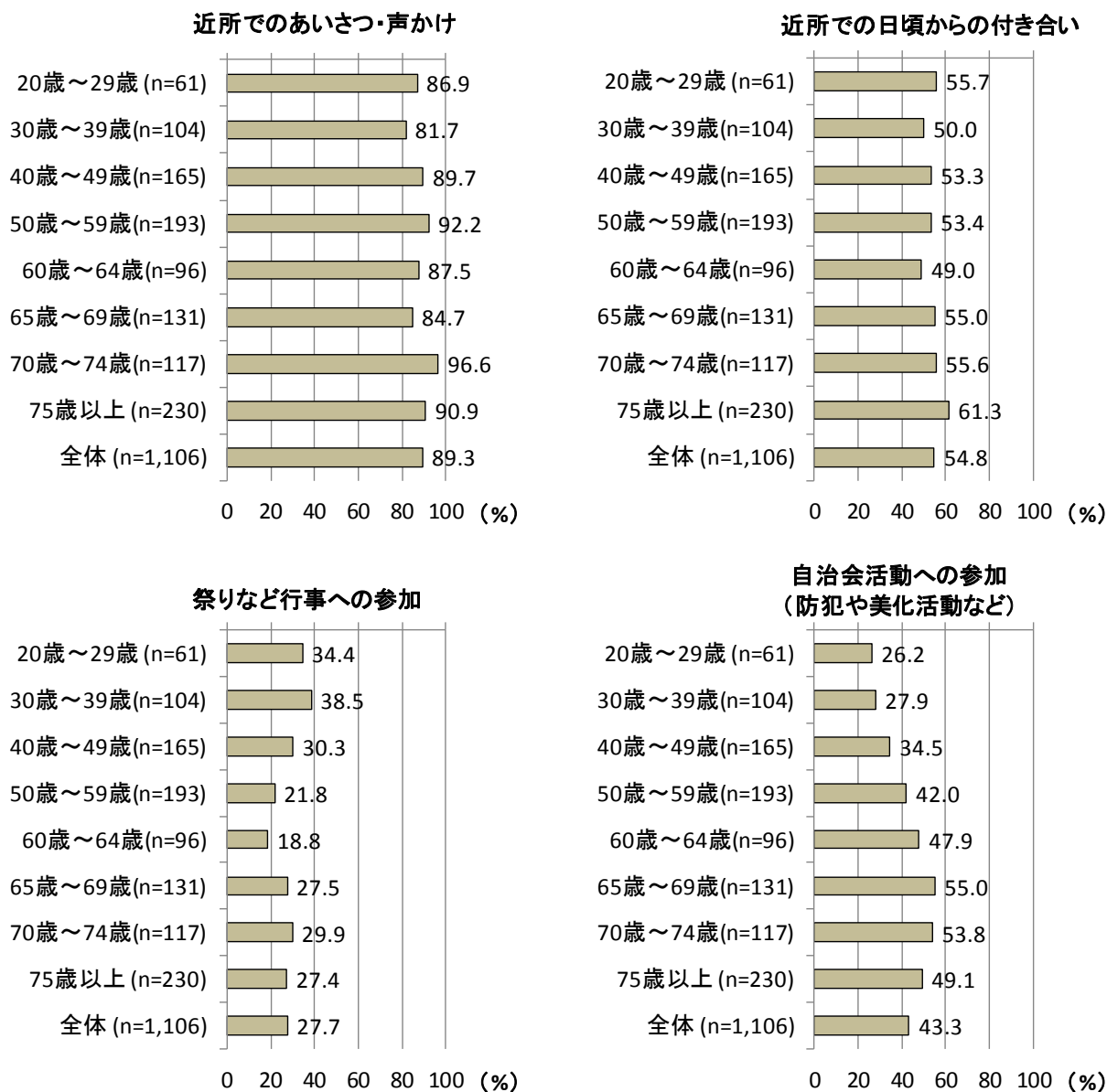
図表 自治会加入別 顔の見える関係の必要性（問11×問20）



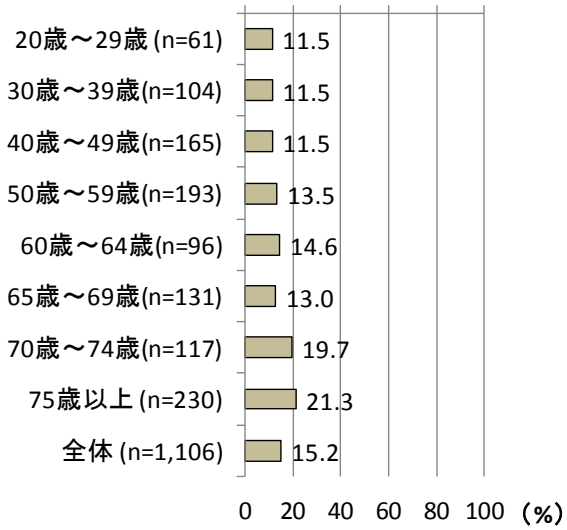
## 問 20-1 地域で「顔の見える関係づくり」を築くために必要なこと

地域で「顔の見える関係づくり」を築くために必要なことを年齢別でみると、全ての年代で「近所でのあいさつ・声かけ」や「近所での日頃からの付き合い」の回答が多くなっている。また、「若い世代の参加への働きかけ」は、20歳代（20歳～29歳）の回答（32.8%）が多く、「祭りなど行事への参加」は、30歳代（30歳～39歳）の回答（38.5%）が多くなっている。「近所での日頃からの付き合い」や「自治会活動への参加（防犯や美化活動など）」は、70歳以上の回答が多くなっている。

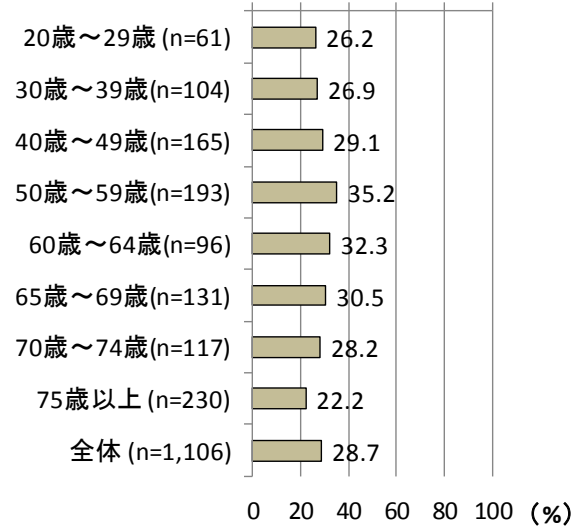
図表 年齢別 「顔の見える関係づくり」に必要なこと（問2×問20-1）



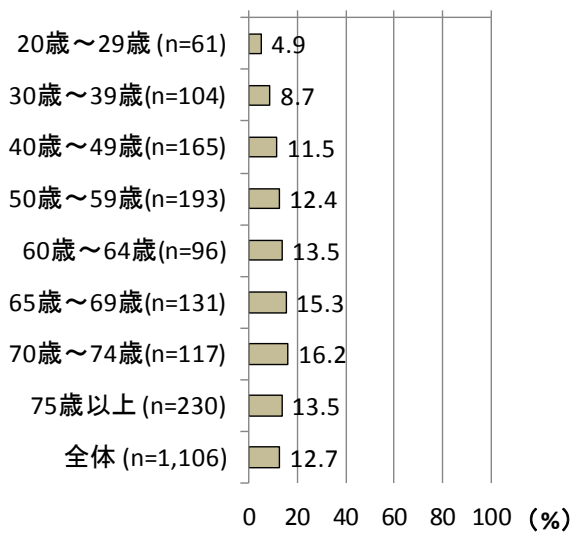
趣味を通じてのグループづくり



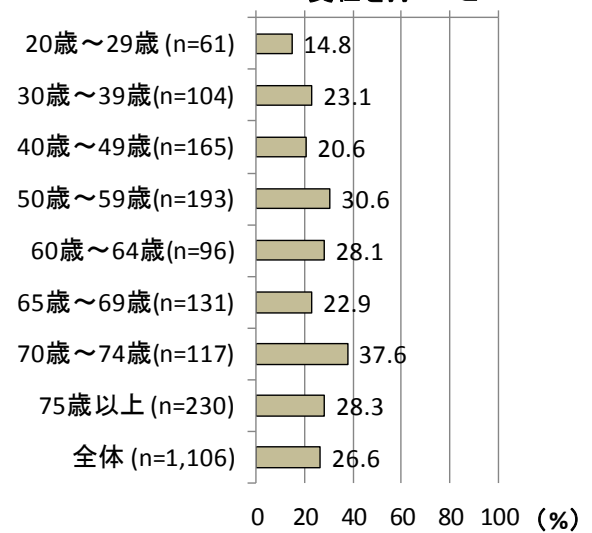
住民一人ひとりがまちづくりに  
関心を持つこと



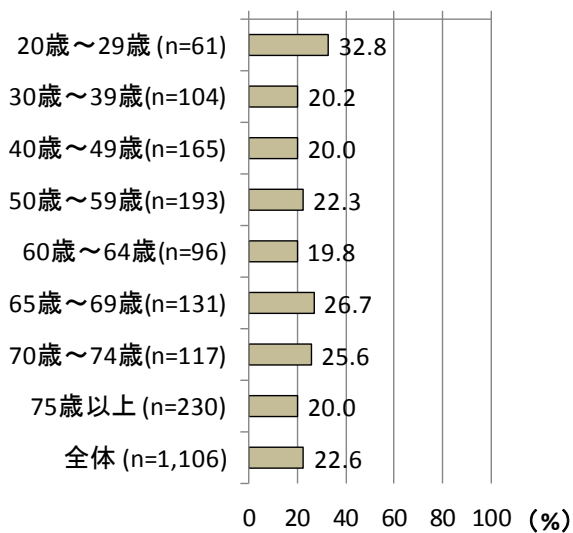
活動を展開するリーダーの存在



役員任せにせず、一人ひとりが  
責任を持つこと



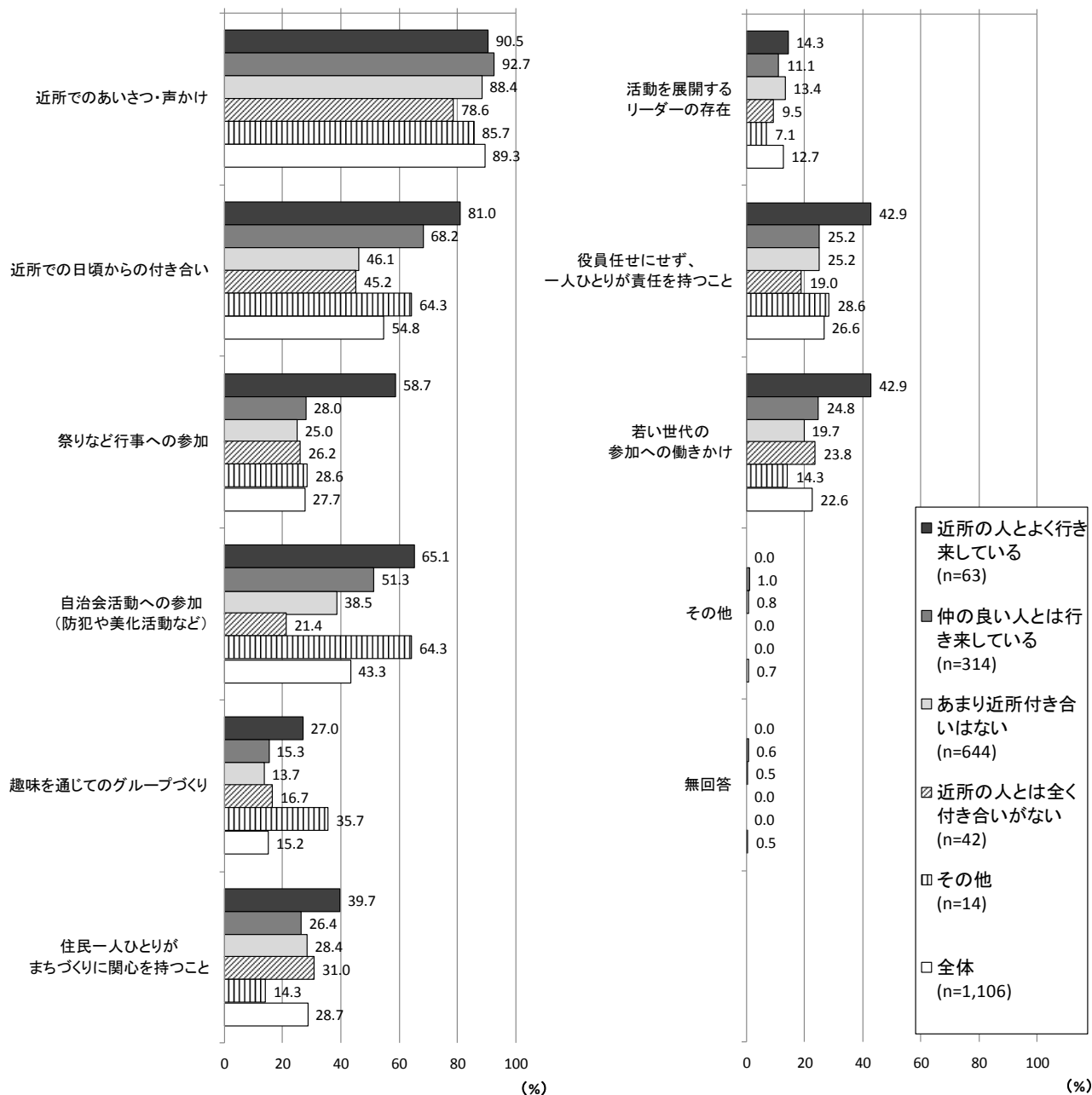
若い世代の参加への働きかけ





地域で「顔の見える関係づくり」を築くために必要なことを近所付き合い別でみると、「近所の人とよく行き来している」と回答した方は、各項目について概ね必要であると回答している。

図表 近所付き合い別 「顔の見える関係づくり」に必要なこと（問10×問20-1）

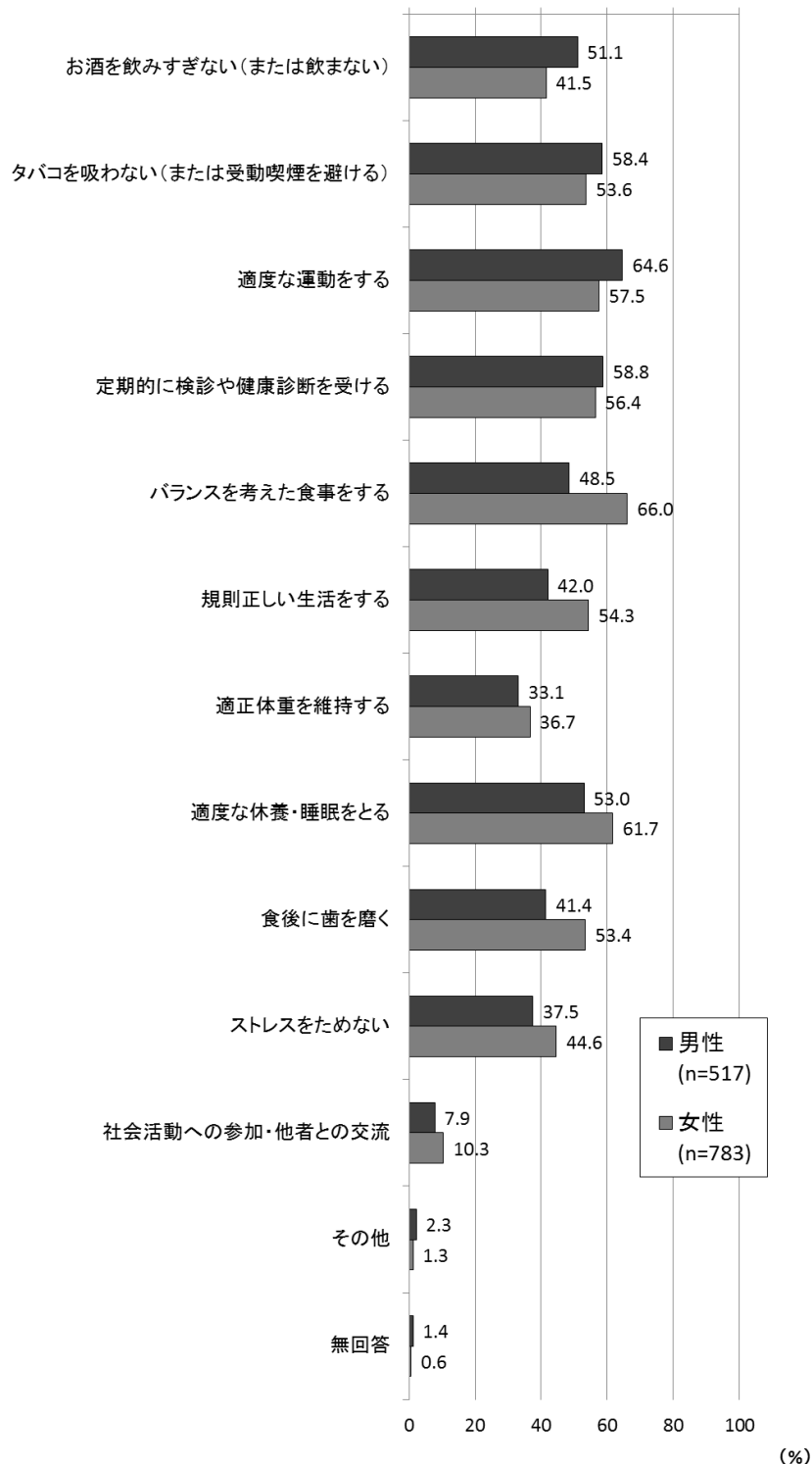


## 問 22 健康のために心がけていること

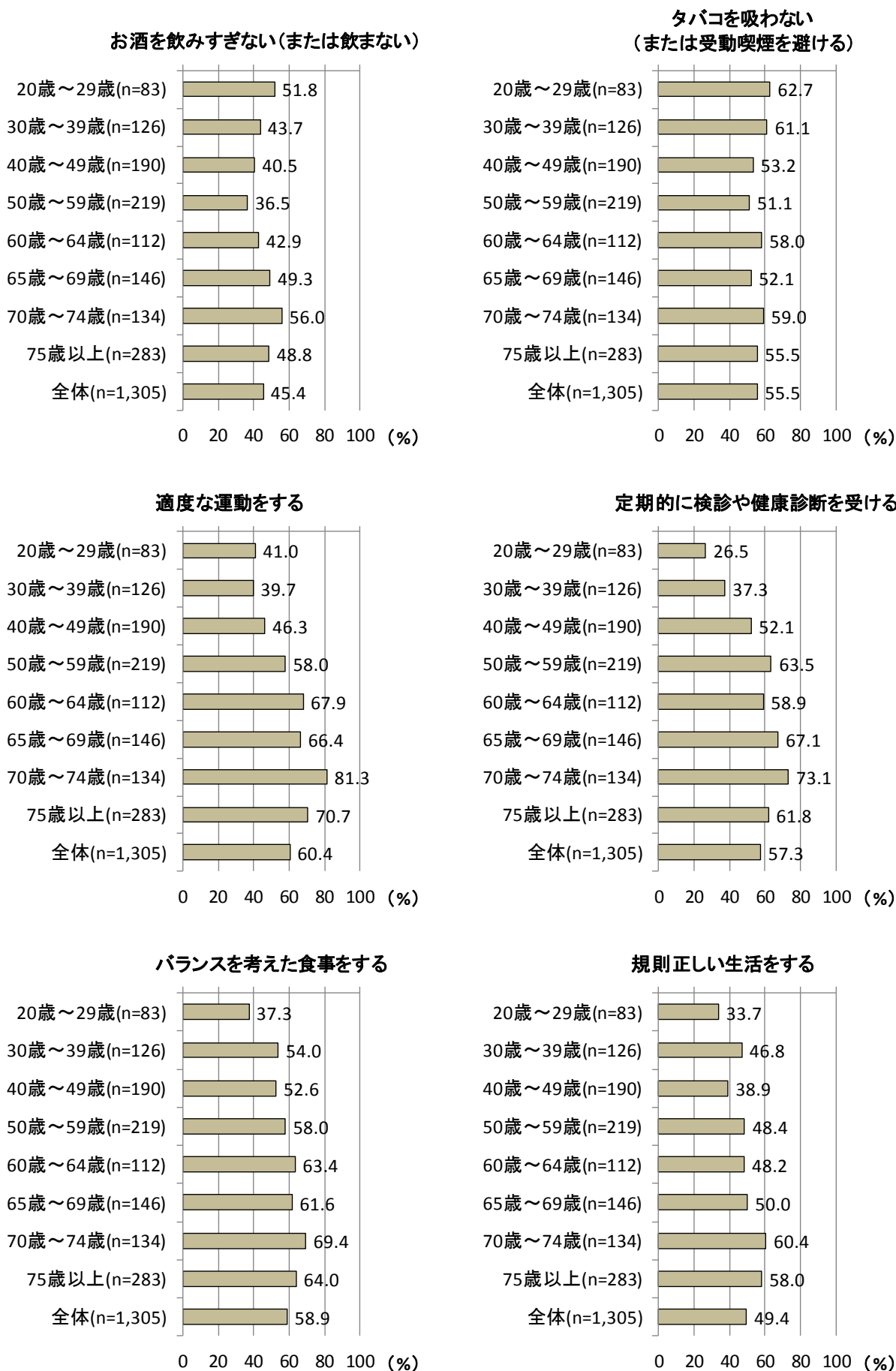
健康のために心がけていることを性別で見ると、男性は「適度な運動をする」(64.6%)や「お酒を飲みすぎない(または飲まない)」(51.1%)などの回答が多くなっており、女性は「バランスを考えた食事をする」(66.0%)や「規則正しい生活をする」(54.3%)などの回答が多くなっている。

年齢別で見ると、20歳代(20歳~29歳)や30歳代(30歳~39歳)は、「タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)」の回答が多く、70歳以上は、「適度な運動をする」や「バランスを考えた食事をする」などの回答が多くなっている。

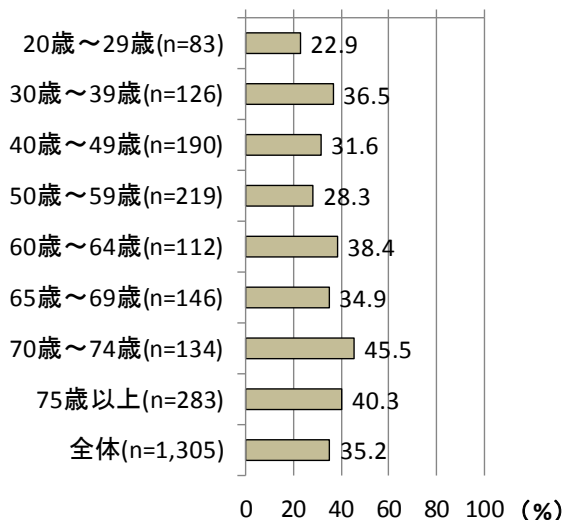
図表 性別 健康のために心がけていること (問2×問22)



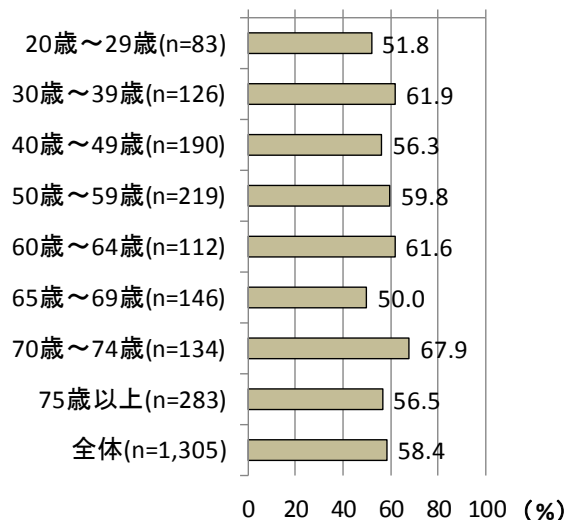
図表 年齢別 健康のために心がけていること（問2×問22）



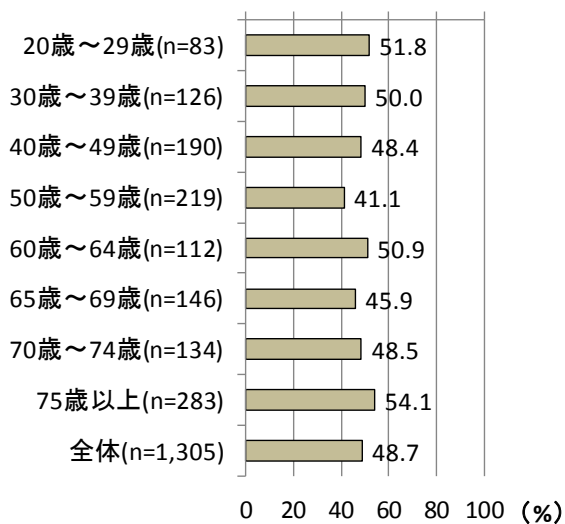
### 適正体重を維持する



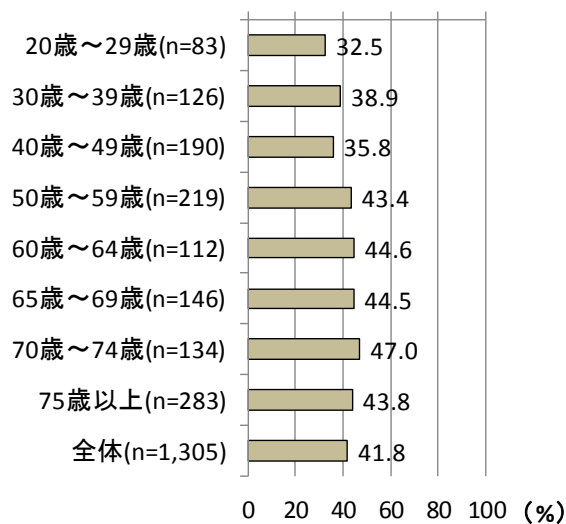
### 適度な休養・睡眠をとる



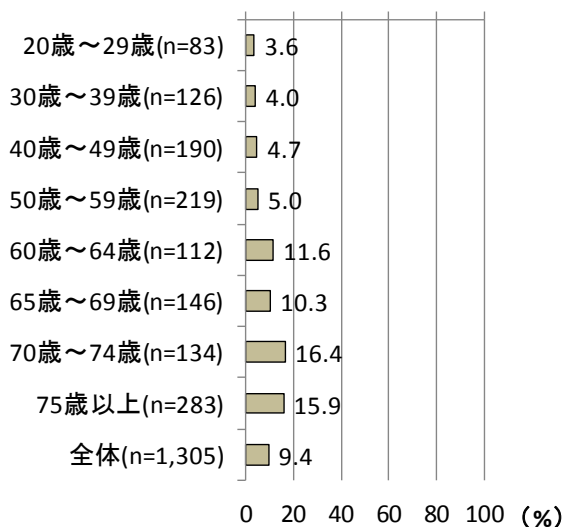
### 食後に歯を磨く



### ストレスをためない

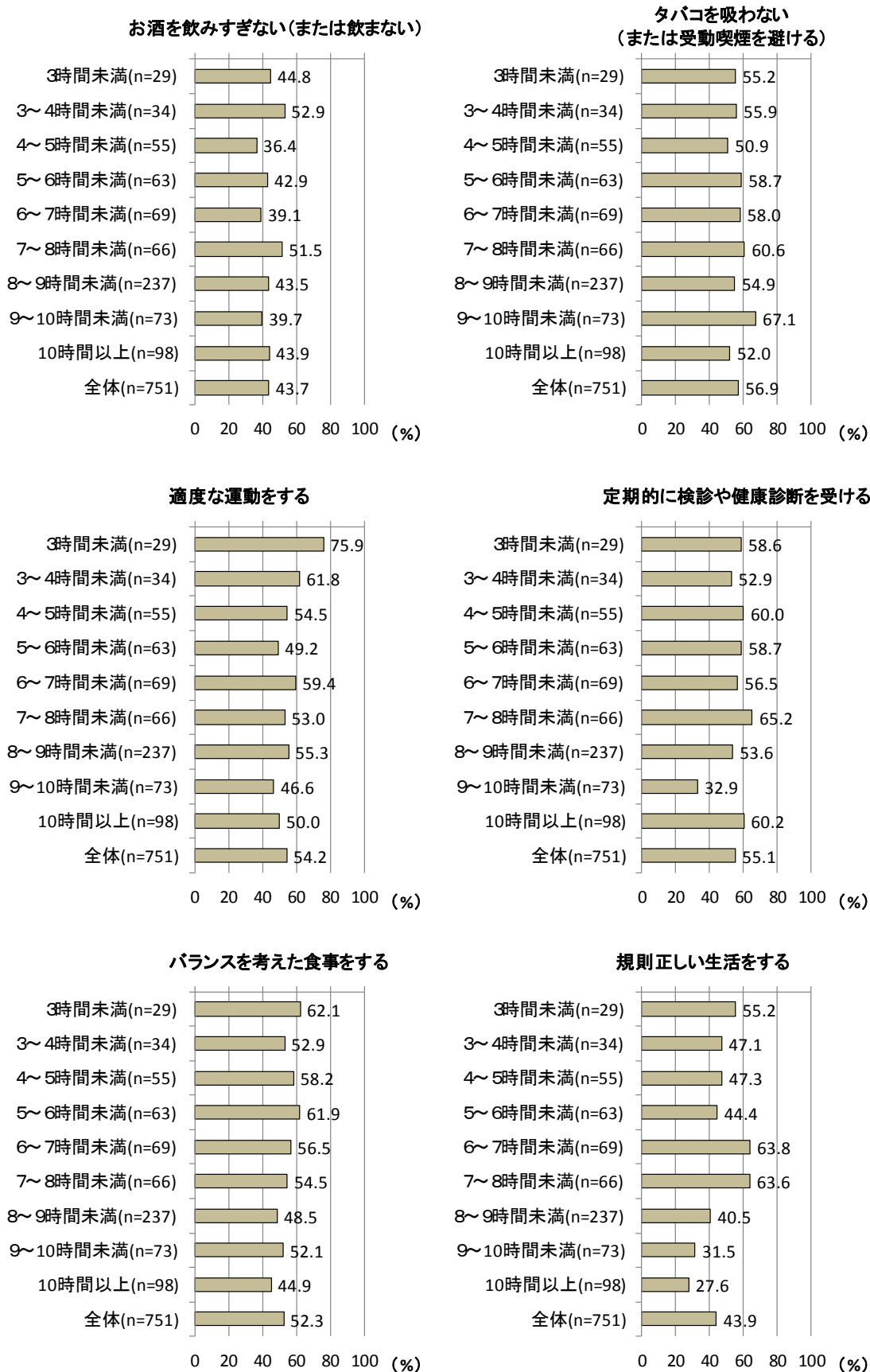


### 社会活動への参加・他者との交流

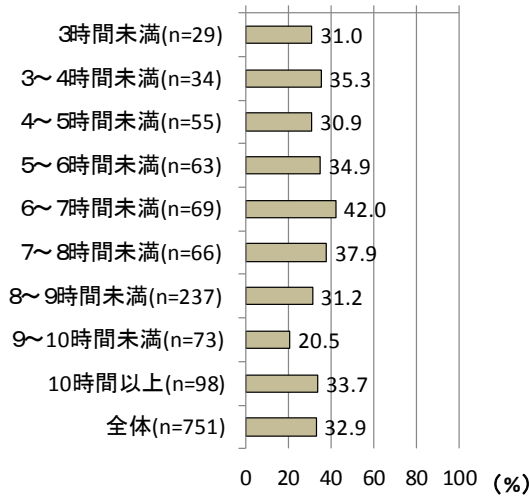


勤務(在学)時間別でみると、3時間未満の方は、「適度な運動をする」(75.9%)や「適度な休養・睡眠をとる」(65.5%)、「バランスを考えた食事をする」(62.2%)などの回答が多くなっている。

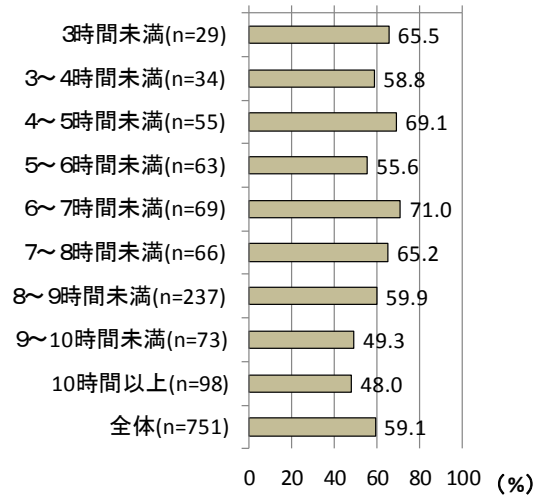
図表 勤務(在学)時間別 健康のために心がけていること(問4×問22)



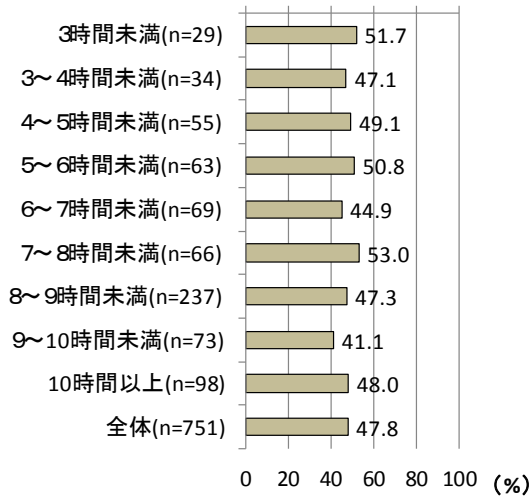
適正体重を維持する



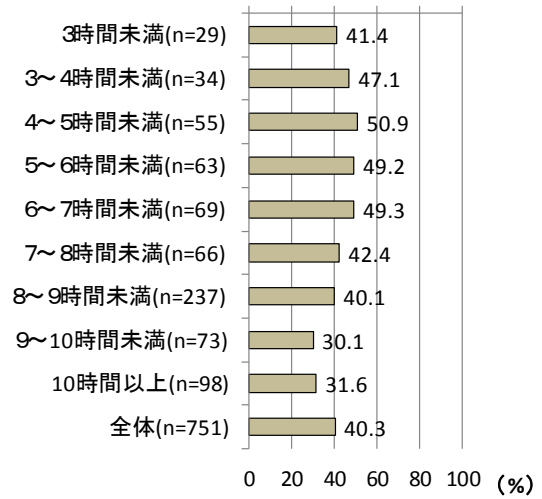
適度な休養・睡眠をとる



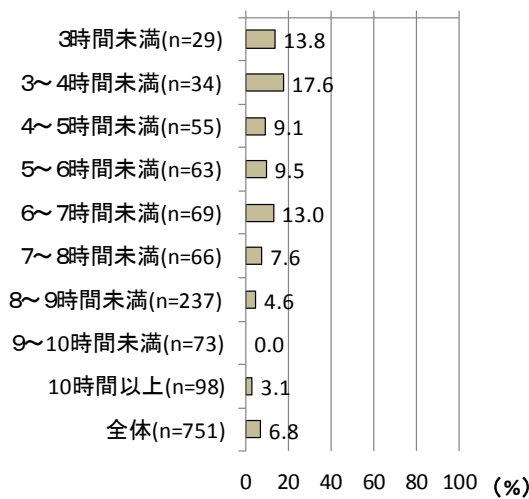
食後に歯を磨く



ストレスをためない

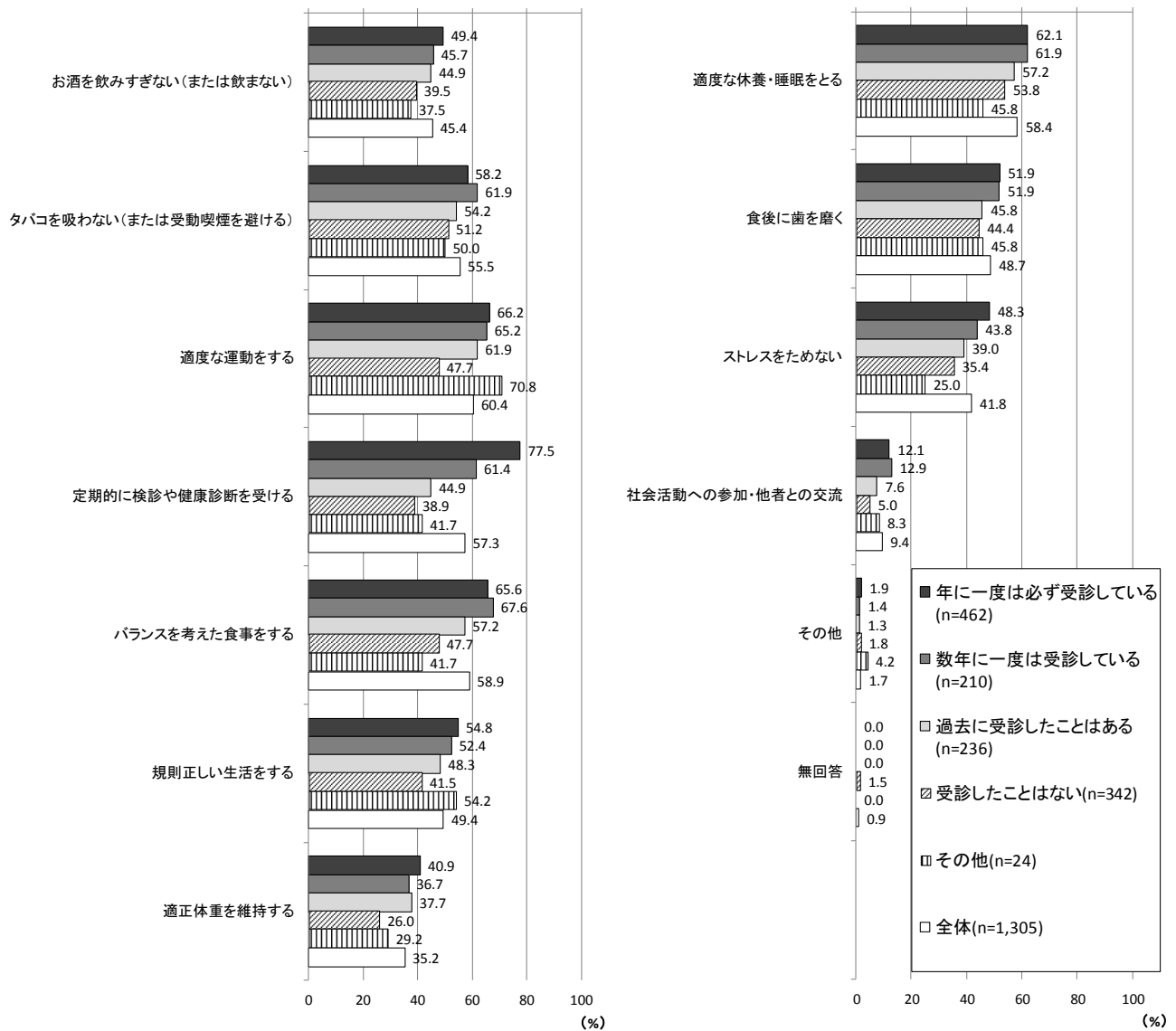


社会活動への参加・他者との交流



健診受診別でみると、受診したことはないと回答している方は、「適度な休養・睡眠をとる」(53.8%)や「タバコを吸わない」(51.2%)、「適度な運動をする」(47.7%)、「バランスを考えた食事をする」(47.7%)の回答が多くなっている。

図表 健診受診別 健康のために心がけていること (問24×問22)

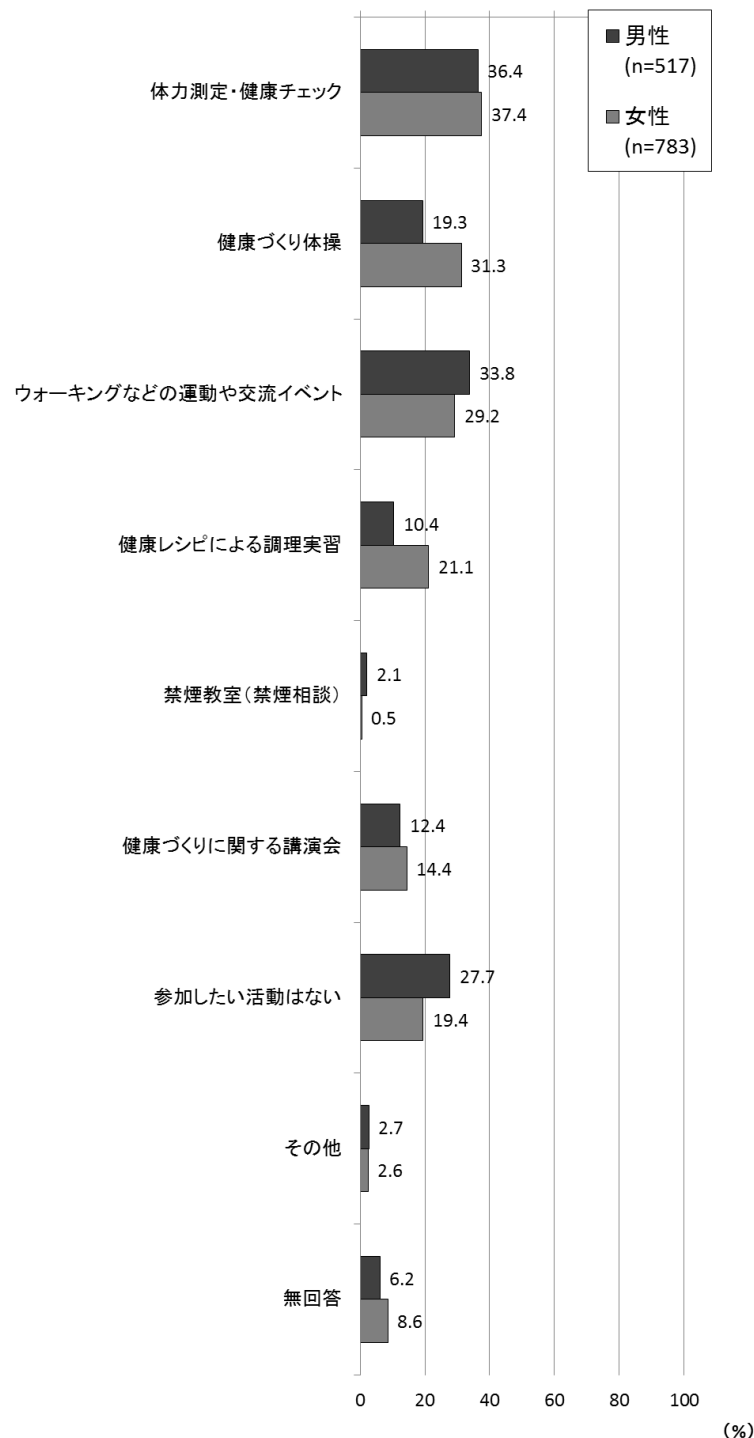


### 問 23 健康のために参加したい活動

健康のために参加したい活動を性別で見ると、男性は「体力測定・健康チェック」(36.4%)や「ウォーキングなどの運動や交流イベント」(33.8%)、「参加したい活動はない」(27.7%)の回答が多くなっており、女性は「体力測定・健康チェック」(37.4%)や「健康づくり体操」(31.3%)や「健康レシピによる調理実習」(21.1%)などの回答が多くなっている。

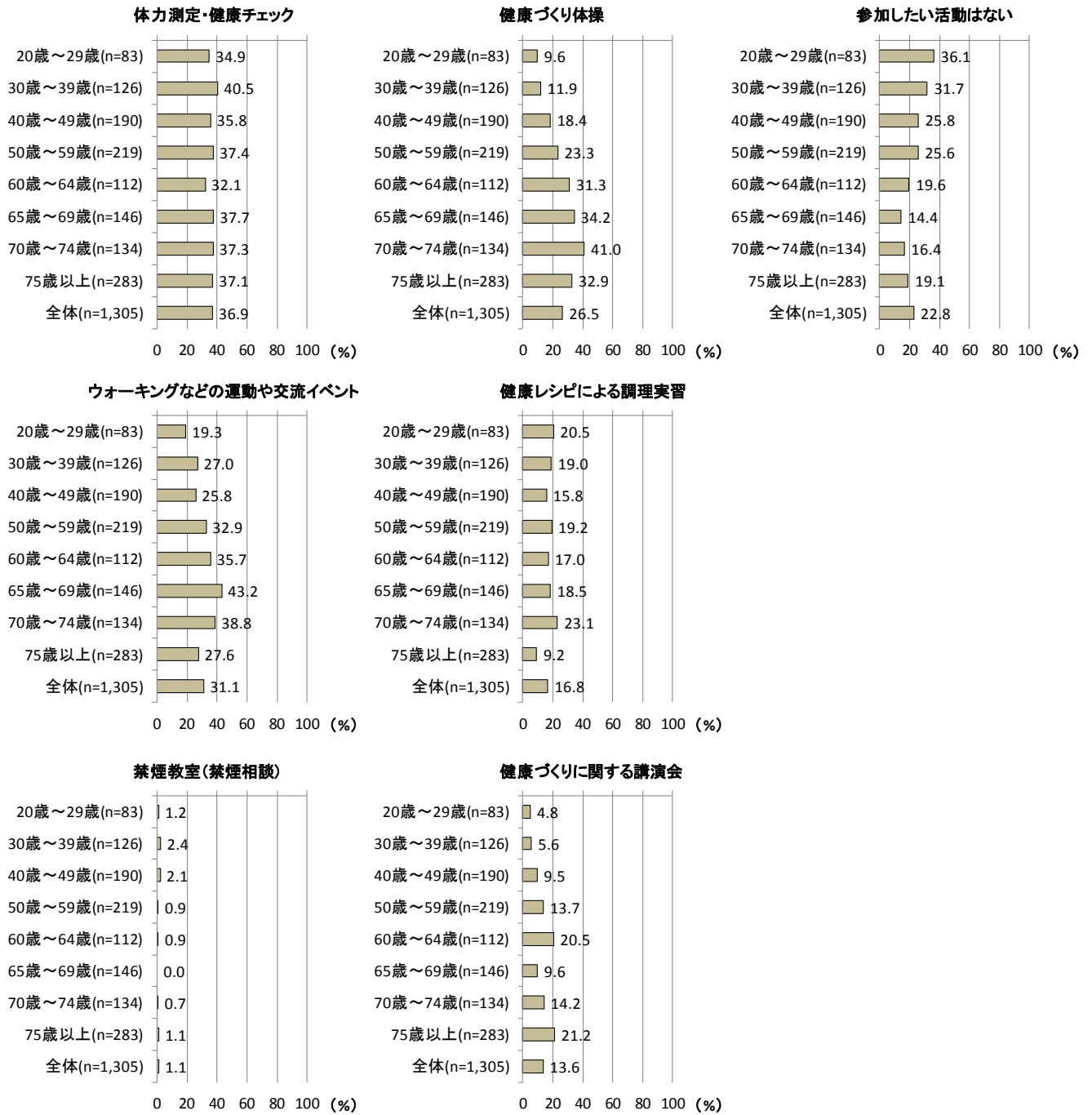
年齢別で見ると、20歳代(20歳～29歳)や30歳代(30歳～39歳)は、「参加したい活動はない」の回答が多く、65歳以上は、「体力測定・健康チェック」や「健康づくり体操」、「ウォーキングなどの運動や交流イベント」などの回答が多くなっている。

図表 性別 健康のために参加したい活動 (問2×問23)



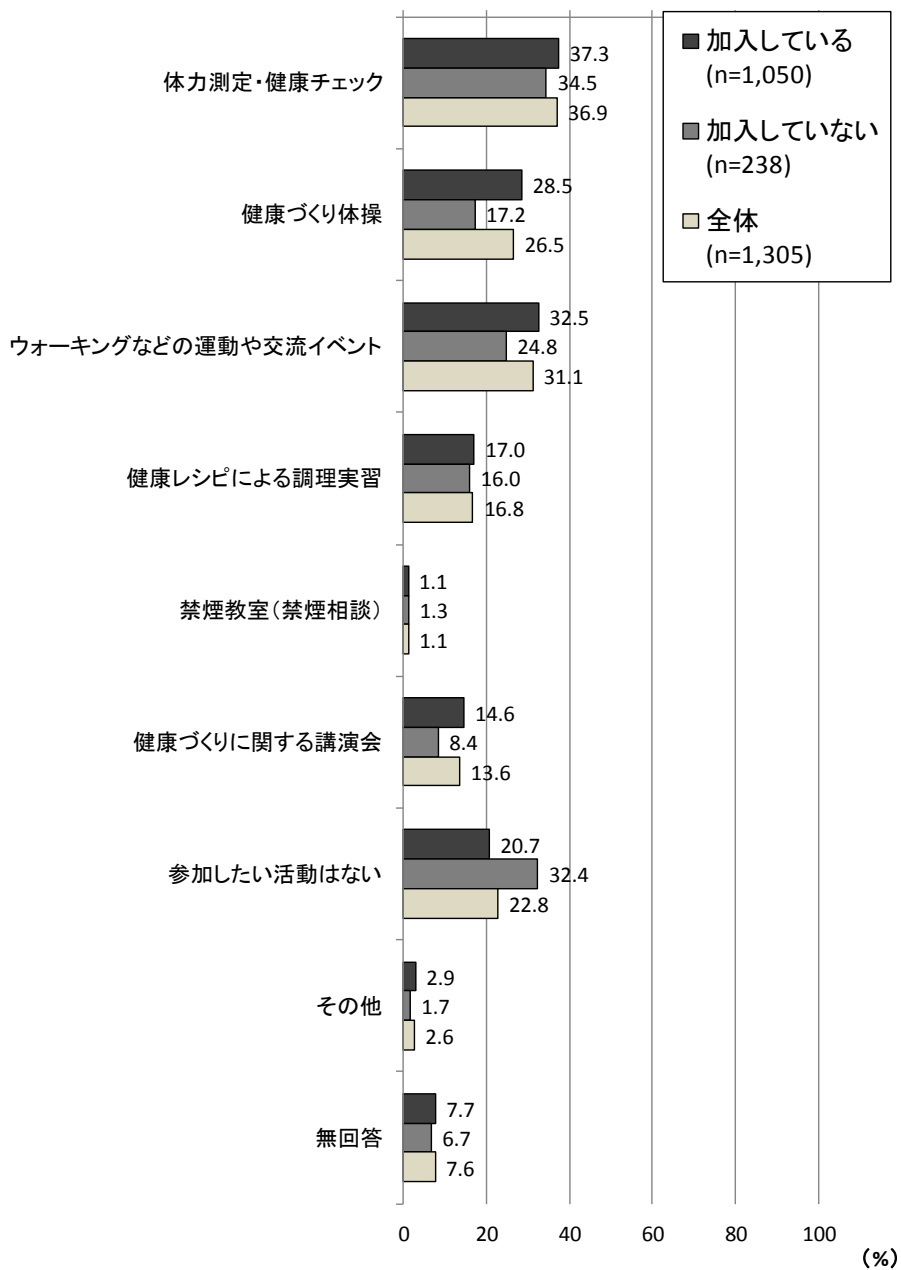


図表 年齢別 健康のために参加したい活動（問2×問23）



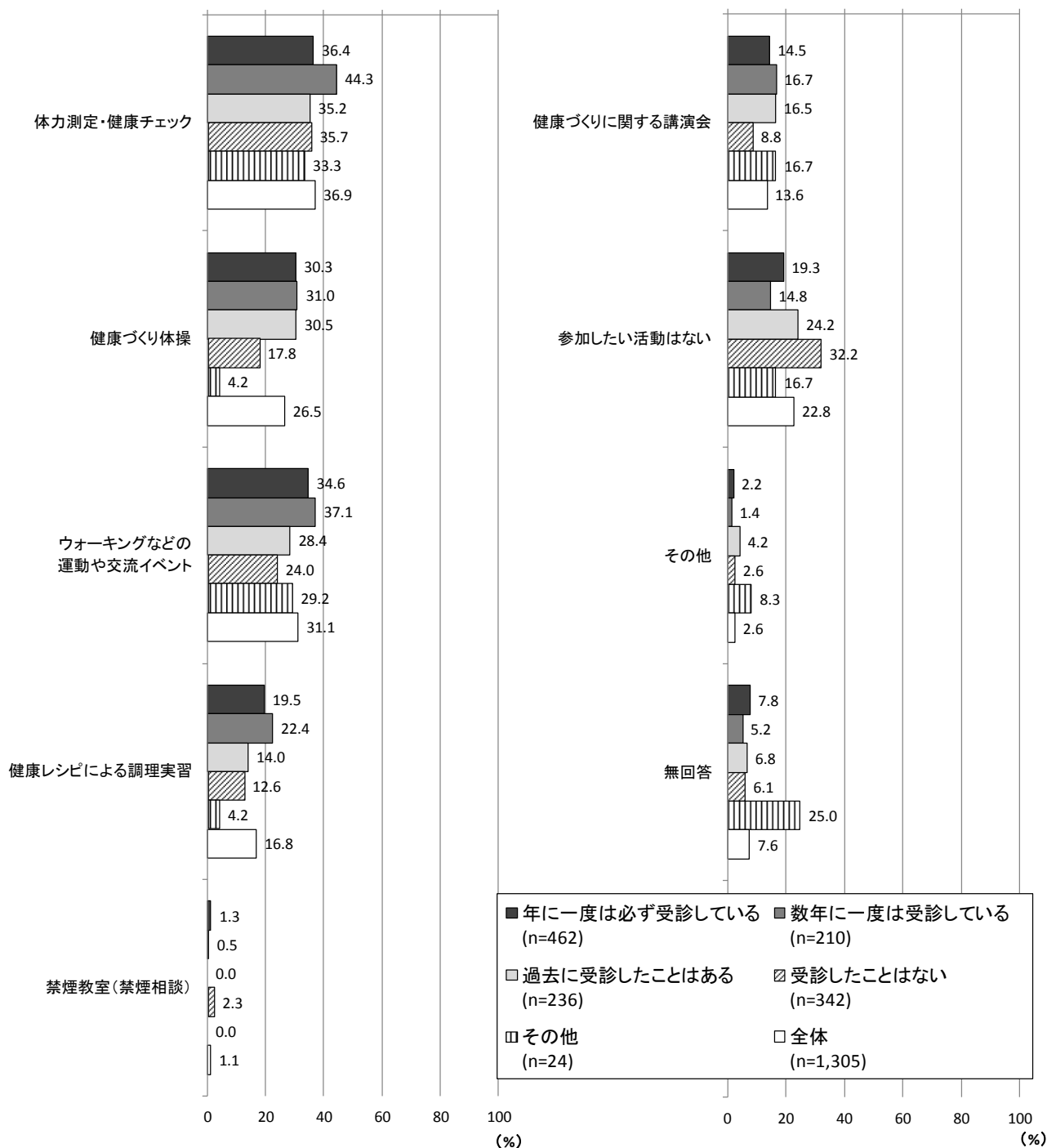
自治会加入別でみると、自治会に加入していない方と比べて、概ね自治会に加入している方の回答が多くなっている一方、自治会に加入していない方は、「参加したい活動はない」(32.4%)の回答が多くなっている。

図表 自治会加入別 健康のために参加したい活動 (問11×問23)



健診受診別でみると、受診したことはない方は、「体力測定・健康チェック」(35.7%)や「参加したい活動はない」(32.2%)の回答が多くなっている。

図表 健診受診別 健康のために参加したい活動(問24×問23)

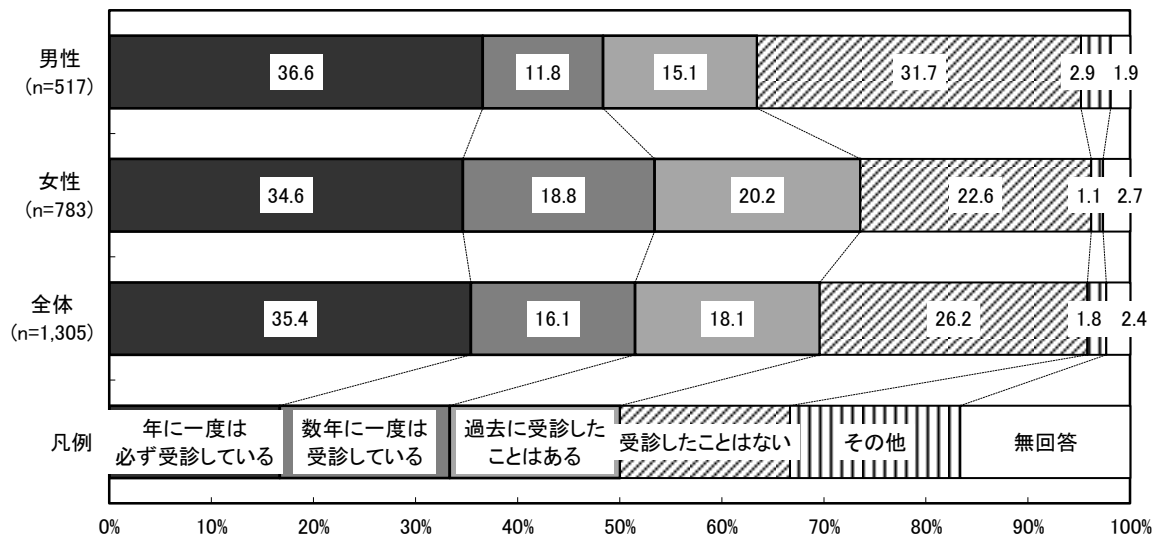


## 問 24 人間ドック・特定健診・がん検診等の受診

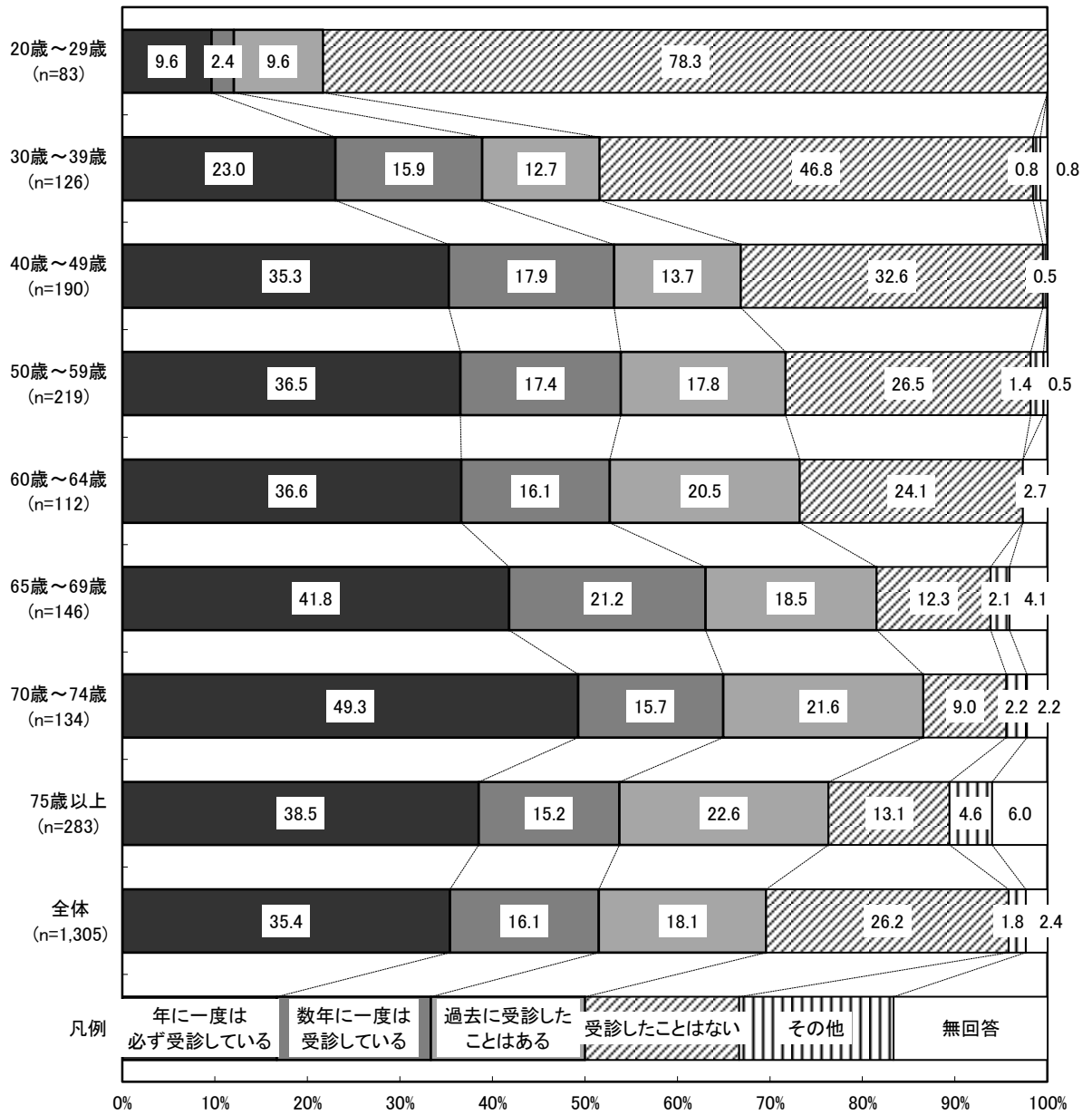
人間ドック・特定健診・がん検診等の受診を性別でみると、男性は「年に一度は必ず受診している」(36.6%)と「受診したことはない」(31.7%)の回答が多くなっており、両極端な結果となっている。

年齢別でみると、20歳～29歳から70歳～74歳にかけて年齢が上がるにつれて受診経験が多くなり、「受診したことはない」の回答が少なくなっている。特に「受診したことはない」は20歳～29歳(78.3%)の回答が多くなっている。

図表 性別 受診状況 (問2×問24)

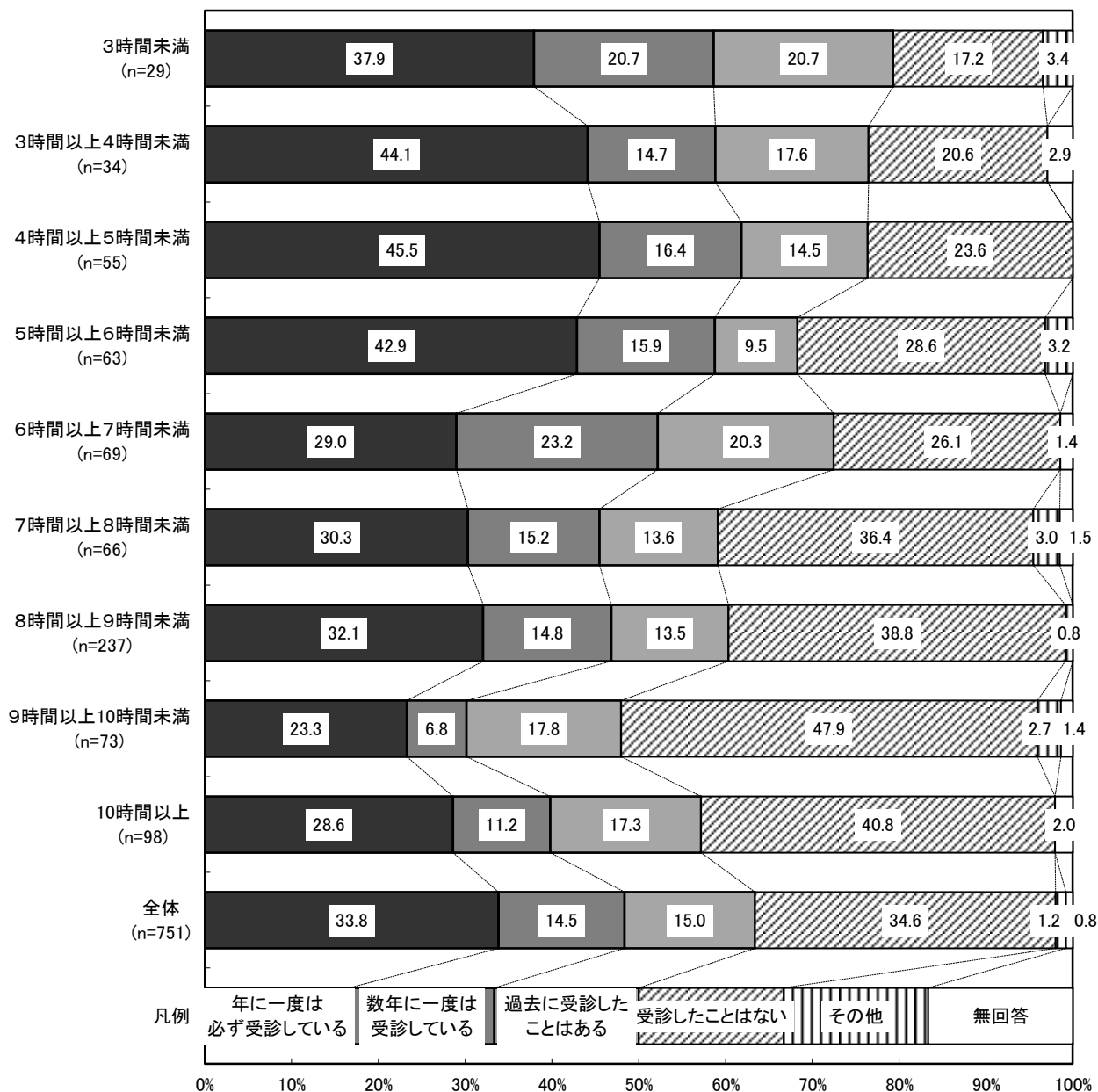


図表 年齢別 受診状況（問2×問24）



勤務(在学)時間別でみると、「受診したことはない」の回答割合は、「9時間以上10時間未満」(47.9%)が最も多く、次いで「10時間以上」(40.8%)が多くなっている。

図表 勤務(在学)時間別 受診状況 (問4×問24)



## 第5章 過去の調査との比較

緑区では、平成17年度に第1期緑区地域福祉保健計画策定のための区民アンケートを、平成21年度に第2期緑区地域福祉保健計画策定のための区民アンケートを、また平成26年度に第3期緑区地域福祉保健計画策定のための区民アンケートを実施している。

本調査と共通する設問について、比較を行った。

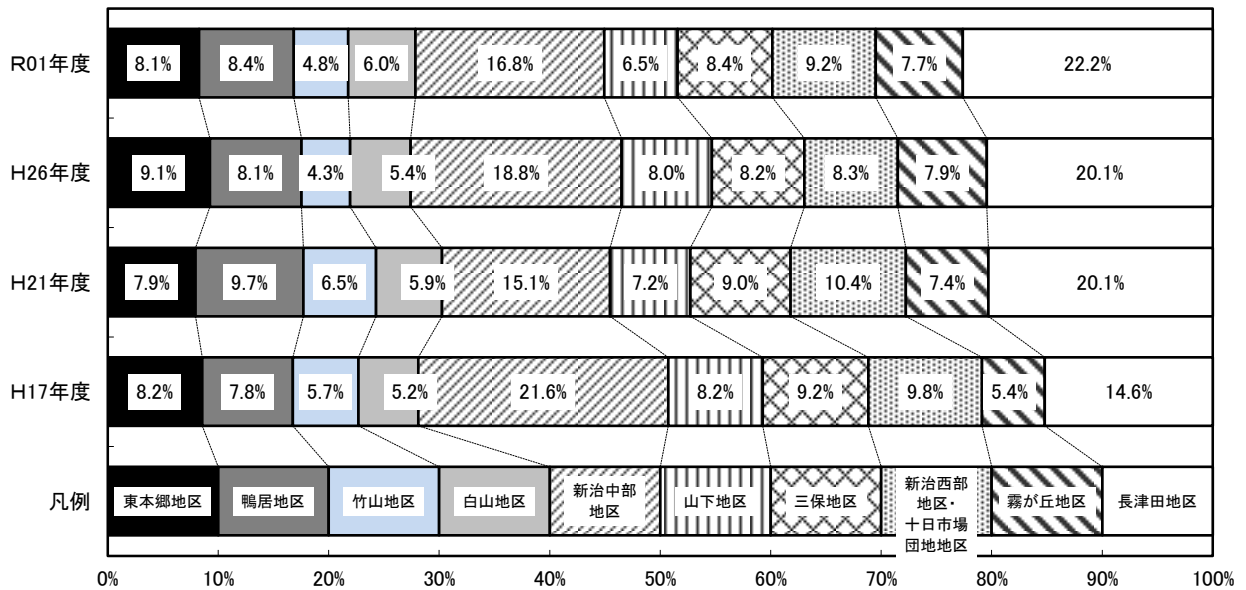
### (1) 回答者属性

#### 問1 居住地区

平成26年度調査と比較すると、新治西部・十日市場団地地区(9.2%)や長津田地区(22.2%)などの比率が高くなっている。一方で、東本郷地区(8.1%)や新治中部地区(16.8%)は比率が低くなっている。

なお、今回調査は、十日市場団地地区と新治西部地区については、地区別計画の地区と一致するよう地区を分割したが、過去の調査との比較のためここでは合算してグラフを表示している。

図表 あなたのお住まいの町はどちらですか

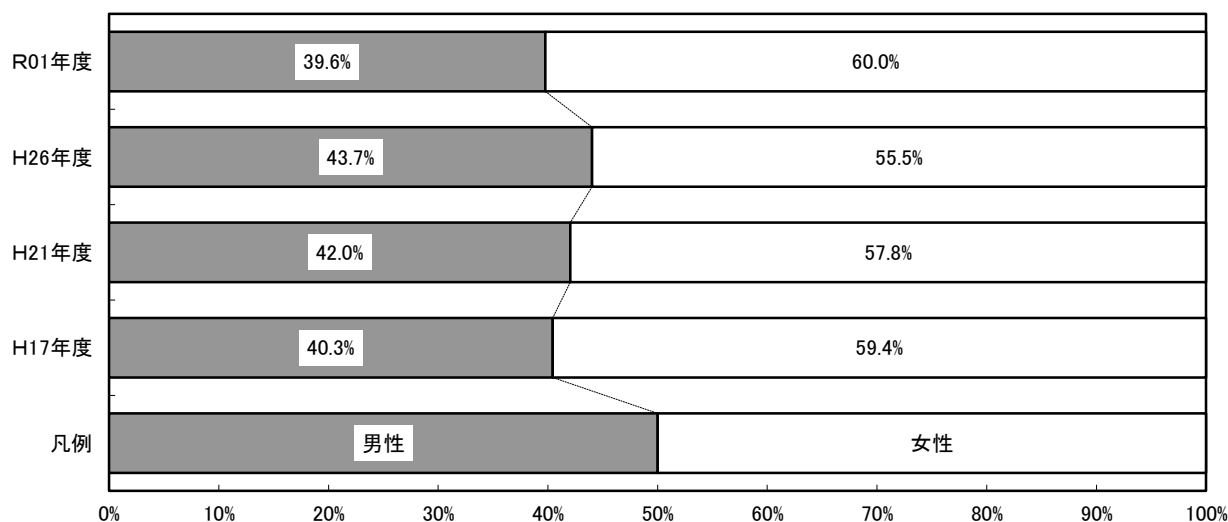


## 問2 性別・年齢・世帯構成

### <性別>

過去の調査と同様、女性（60.0%）が若干多く、男性（36.9%）の回答は4割を切っている。

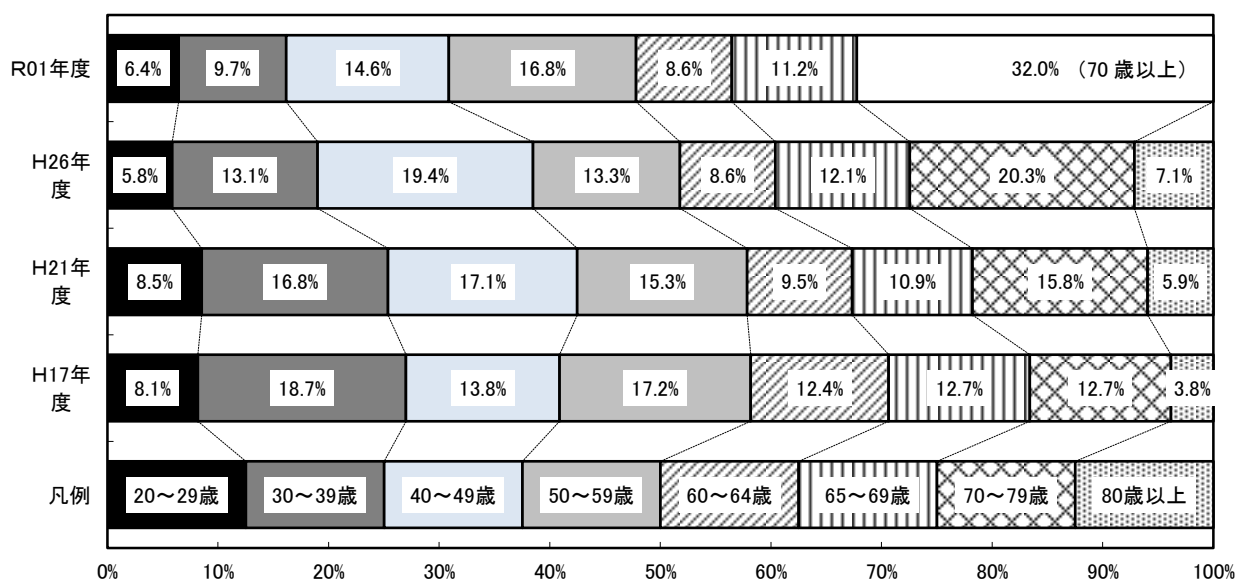
図表 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。<性別>（○は1つ）



### <年齢>

過去の調査に比べ、70歳以上（32.0%）の高齢者の比率が高くなり、20代（6.4%）、30代（9.7%）、40代（14.6%）の若い世代の比率が下がっている。一方で、減少傾向であった50代（16.8%）は平成26年度調査に比べて増えている。

図表 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。<年齢>（○は1つ）



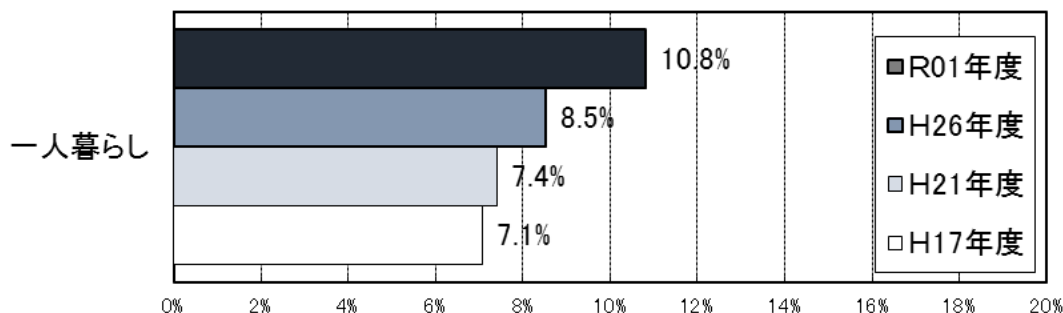
※平成26年度までは、70～79歳、80歳以上で分類していたが、令和元年度の調査から70歳以上としている。



### <世帯構成> (参考)

過去の調査と設問の形式を変えているため比較はできないが、「ひとり暮らし」(10.8%)は増加傾向にある。

図表 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。<世帯構成> (〇は1つ)

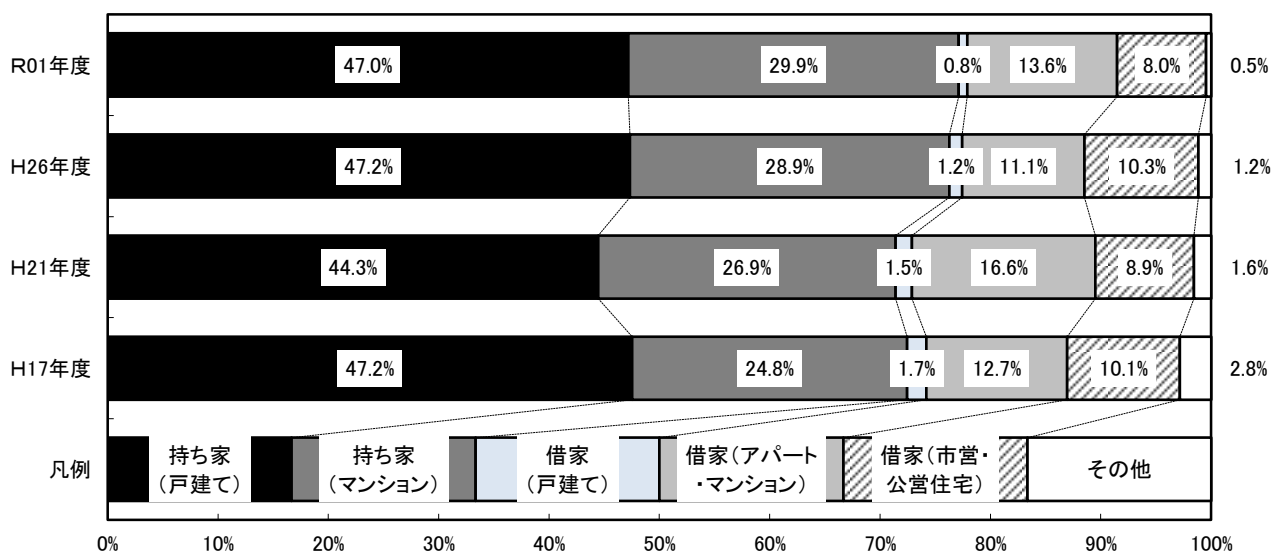


※H26年度までの調査では同居者の関係を質問していたが、令和元年度では世帯構成を質問しており、選択肢の一致する「ひとり暮らし」のみを比較した。

### 問5 住まいの種別

「持ち家(マンション)」(29.9%)と「借家(アパート・マンション)」(13.6%)が若干増えているが、全体にあまり変化はない。

図表 あなたの現在暮らしているお住まいはどれに該当しますか。(〇は1つ)



※借家(市営・公営住宅等)には、都市再生機構(旧公団)・県営住宅含む

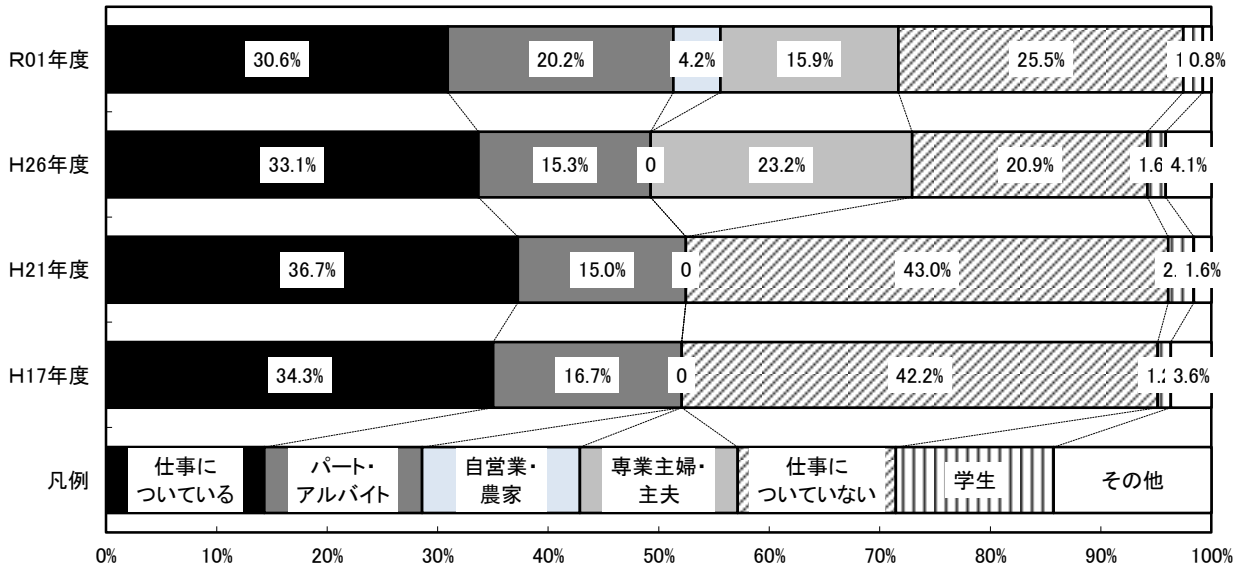
## 問6 仕事の状況

「仕事についている（常勤・フルタイム）」（30.6%）や「専業主婦・主夫」（15.9%）は減少している。

「仕事についていない」は、平成21年度調査から平成26年度調査にかけては大幅に減少に転じるが、平成26年度調査から令和元年度調査にかけては増えている。

なお、今回の令和元年度調査から「自営業・農家」（4.2%）を設けている。

図表 あなたのお仕事の状況はどれに該当しますか。（○は1つ）



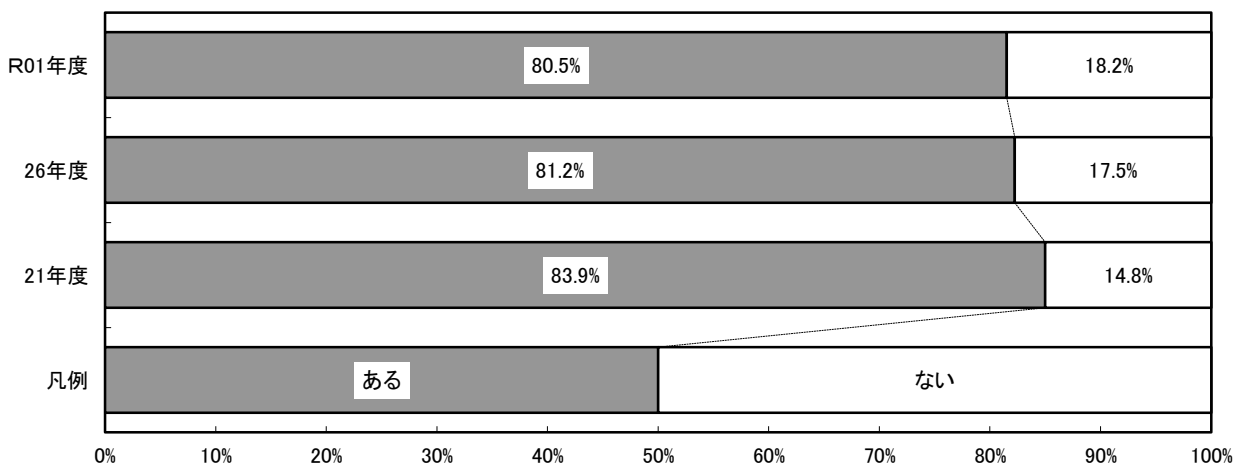
※「専業主婦・主夫」H26年度調査から、「自営業・農家」はR1年度調査から設けた選択肢

## (2) 地域とのかかわり

### 問11 自治会への加入

平成21年度調査から、自治会に「加入している」（80.5%）は、8割以上の回答であるものの、若干ではあるが減り続けている。

図表 あなたご自身は、お住まいの地域の自治会に加入していますか。（○は1つ）

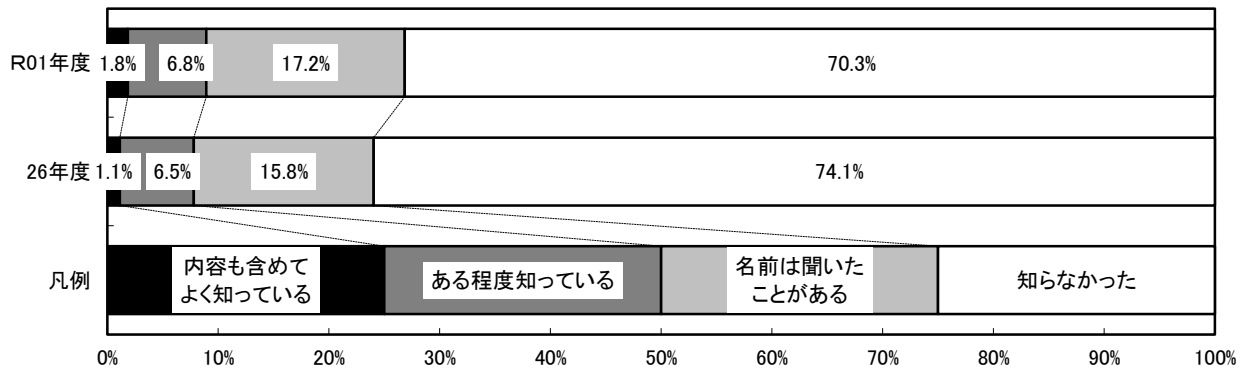


### (3) 福祉保健に関する情報について

#### 問 14 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度

平成 26 年度調査から、認知度の割合は若干であるが増えている。

図表 あなたは、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」について知っていますか。  
(○は1つ)

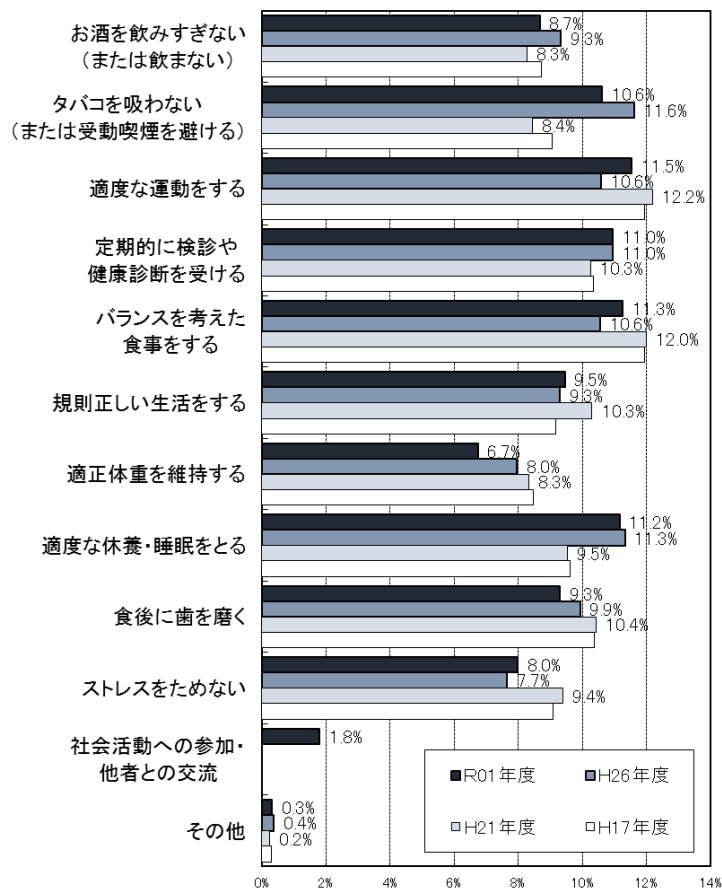


### (4) 安全・安心・健康について

#### 問 22 健康のために心がけていること

「適度な運動をする」(11.5%)や「バランスを考えた食事をする」(11.3%)、「規則正しい生活をする」(9.5%)、「ストレスをためない」(8.0%)は、平成 26 年度調査と比べて増えている。

図表 あなたが日頃から、健康のために心がけていることはありますか。(○はいくつでも)



## 第6章 自由記入

### 問25 地域をよくするための意見・次期計画に期待すること

図表 問25 お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案や、次期計画に期待することがございましたら、ご記入ください。

#### <自由意見をテーマ別に分類した一覧>

- 1 「地域活動全般」に関連する意見
- 2 「自治会活動」に関連する意見
- 3 「活動交流の場」に関連する意見
- 4 「見守り活動」に関連する意見
- 5 「防犯・防災」のまちづくりに関連する意見
- 6 「情報伝達」に関連する意見
- 7 「行政施策全般」に関連する意見
- 8 「行政施策（福祉）」に関連する意見
- 9 「道路・交通・まちづくり」に関連する意見
- 10 「公園・河川」に関連する意見
- 11 「生活環境」に関連する意見
- 12 「その他」

分類	問 25
地域活動全般	地域の高齢化が進む中で高齢者と若者、子供たちとの交流の場、機会があれば近所の高齢者とのつながりがありが自然とできてくると思う。
地域活動全般	地域の活動に参加のきっかけづくりの場を増やし、そこでグループ活動が生まれていくと新しい担い手も増え、地域の活動も活性化していくように思います。
地域活動全般	個々が責任を持った行動をするのが、基本で住民間同士の組織づくりは好ましくない。それぞれ個人の自由が尊重されるべき。行政が安全を守るルールを作り、それを人々が守る。
地域活動全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流</li> <li>・自助共助のための住民同士の顔の見える関係づくり</li> <li>・地域防犯パトロール</li> <li>・夜の中山駅で若者たちがたむろしている</li> <li>・中山駅前の道の混雑がひどい。特に路上駐車。中山駅は踏切りが隣接していて、1台の路上駐車が混雑を招くので解決してください。</li> </ul>
地域活動全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会の回覧板による行事には出来るだけ参加して近所の方々と交流するように努めています。</li> <li>・中山駅南口の再開発を、早くして欲しい！</li> </ul>
地域活動全般	子供がいる人単身などは、関わりがほぼないと思う。

地域活動全般	まず茶話会等色々な方(色々な世代)とお知り合いになり、ウォーキング・交流イベントに発展し、交流を深めることができるといいと思います。(昔あったラジオ体操をすとか)
地域活動全般	これからの人々が寄り添い助け合いながら健康で楽しい人生である事を願うのみです。
地域活動全般	子育て世代と高齢者が交流できるようなイベント等があればお互いに刺激があり輪が広がるのではと思います。
地域活動全般	地域全体の高齢化が進む中で福祉保健活動は、受ける側と支える側の年齢が近くなっていることから、世代交代と合せた新たな体制を作る必要がある。
地域活動全般	小中学校の学習支援、そして外国人、LGBTQ+等のマイノリティーとの多文化共生社会の実現を目指す活動に協力できれば幸いです。
地域活動全般	地域ネットワークを構築する仕組みづくりが必要。核家族化、個人情報保護等により近所のコミュニティ形成がしづらくなっているので行政として何らかの間に入ってネットワーク構築をし直すことが重要だと思います。
地域活動全般	若い人の活動をも支援しながら、地域の行事等に参加していただく事で、自治会の活動も明るいいきざしが見受けられます。これからの社会のために、若い人達の力を生かしてほしいと願っています。
地域活動全般	月曜～金曜は仕事が忙しく、現在は何も考えられないのですが、負担の少ない活動に参加登録しておいて、携帯で「この日は参加申請」などWEBで申請できるような福祉活動ならばできると思います。
地域活動全般	若い世代にもいろんな団体があること、入りやすい環境が必要だと思う。共働き、片親家庭でも気軽に参加しやすい活動内容にしてほしい。
地域活動全般	現在働いているので、行事等に参加できないのが現状です。今後少しずつ参加支援していきたいと思っています。
地域活動全般	何にでも参加できやすい状況を作る事
地域活動全般	行事参加者は毎度毎度同じメンバー。ボランティア活動然り。何事も参加への動機づけが肝要。
地域活動全般	区内に有る会社、工場等との連携した取組みも必要と思います。
地域活動全般	一人暮らしのお年寄りがこれから多くなると思いますので、食事のことが心配です。健康レシピの調理講習会や一人分料理などの元気になる活動を増やしてほしいです。
地域活動全般	高齢者の為、地域事業に協力出来ない事が残念です、益々の発展を祈念しております。有難うございます。
地域活動全般	地域を良くするためには、住人の地域活動に参加することにつきますと思います。私も子供が小学生の頃には、何となく行事に参加することがありましたが、自治会の理事となり、地元の問題点やいろいろなことの成り立ちなど知るにつけ、いろいろと考えるようになりましたし、役員の皆さんのご苦勞も分かるようになりました。幸いにも私たちの地域は自治会活動が活発に行われています。清掃活動やお祭りなど積極的に参加したいと思えます。
地域活動全般	型にはまった活動だけではなく、やれる人がやれる範囲で自由に地域に役に立つこと何でも自由に行う人が増えることを願う。通学路の煙草吸い殻拾いをしている。(月～金曜、単独で)

地域活動全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生きがいとなるイベント、子どもが楽しめるイベント</li> <li>・高齢者で技術を持っている方を集めたイベント</li> <li>・区主催のズーラシアツアー</li> <li>・黒沢スタジオ見学会</li> <li>・消防防犯イベント</li> <li>・イベント企画はアピタにあるコーナーを使って</li> <li>・老人施設と小中・保育園などと合唱</li> <li>・緑区全域スタンプラリー</li> <li>・英語イベント</li> <li>・テニスコートを貸し切ったイベント</li> <li>・敬老の日に子供たちがプレゼントを配る</li> <li>・キッリコランドの豆まき</li> </ul>
地域活動全般	家の近くに玄海田公園があります。週末に安く体操教室等を企画してくだされば参加したいです。
地域活動全般	四季の森公園を使ったイベントは大変良いと思います。今後も地域イベントの積極的活用をしたら良いと思います。四季の森公園のネックは駐車所が少ないこと。拡充の要望です。
地域活動全般	誰でも気楽に参加できる行事やイベントを多くする
地域活動全般	地区センター等の講座がもっとあるとよい。水彩画、高齢者でもOKなバレエ教室とか少し楽しく夢も感じる楽しい講座がありませんか。外国の方との交流会などあったら参加したいです。目下介護応援で東京まで行きあまり時間がありませんが私でお手伝い出来ることがあればしたいです。
地域活動全般	家計相談の要項募集があれば協力したいと思います。
地域活動全般	実家(横須賀)で社協のお手伝い(HP作成の無償ボランティア)をしています。自分が住んでいる地域でも同じような活動ができたと思うのですが、ありません。今回のアンケートを機に個人ボランティア登録会のようなことがあればと思います。また数年前自治会の班長をしていましたが、排他的というか、代々住まわれている方が強く、子供がいない我が家は、20年近く住んでいても地域との交流に壁を感じる事が多く残念です。
地域活動全般	様々な活動が平日に行われていることが多いですが、一般的なサラリーマンは時間確保が限定されます。役所の働き方を変えるなど抜本的な取り組みに期待しています。
地域活動全般	子供がいない共働きではなかなか活動内容が見えてこない。誰もが利用する駅やスーパーを利用しこんな活動をしている、こんな利用ができるなど見える化して欲しい。
地域活動全般	子育てが一段落した人(時間に余裕がある人)が参加しやすい、子育て支援する活動があると良いと思っています。
地域活動全般	日中は地元にはいない住民に対しての対策
地域活動全般	子供の貧困やシングルマザー家庭の支援をしたいと思っても年齢や金銭的な問題で踏み出せません。個人を傷つけない程度に情報をオープンにし誰もが少しずつ自分の出来る範囲で力を出して助け合えるゆるやかな場所があればと思います。
地域活動全般	地区センターで定期的に体力測定、健康チェックをやってほしい

自治会活動	東本郷自治会では、自治会と民生委員の交流があまりなく、老人会とも連携していません。自治会役員を経験してそう思います。現在は老人クラブのサポートをしていますが、これからの老後を考えると、もう少し横のつながりが欲しいのですが、どうすればよくなるのか分かりません。
自治会活動	若い世代が自治会に参加しない。地域交流責任があいまいになる。こうしたことをしたくない。
自治会活動	自治会活動は大切と感じる。防犯や防災にもかかすことが出来ない。日頃から家の前を通る子供や大人知らない人でも挨拶をしている。個々の考えだとは思いますが日頃の付き合いが生活を豊かにすると思う。
自治会活動	私の住んでいる長津田町、中村地区(自治会)は、お祭りや地域の掃除など参加される方が多く、そこらご近所の顔が分かり、挨拶や声掛けにつながった。高齢者が多いと感じる。班長などはまわってくるが、自治会役員の名前は一緒にやる人がいないのか心配になる。その人がいなくなってしまうたら分からなくなるのではと。また市街化調整区域から外れたため、新しい家が建ち、知らない顔が増えると防犯など不安になる。業者の人や調査の人が来て私有地に入り、写真など撮っていくので。その土地の方は売りたいかもしれないが、周りの人やどのようなものが建つなどの看板もないところもあり、見えていた富士山も見えなくなってしまった。どうして調整区域から外れてしまったのか理由を知りたい。
自治会活動	自治会活動、市営住宅の班長をしておりますが、仕事をしているので、活動自体が、とても負担になっていますし、何か人間トラブルがあった時の責任者がいない。そういった事を相談できる窓口を設けてほしい。この時代に、様々なイベントなどを自治会の人達で運営していくのは難しいと思います。
自治会活動	自治会に参加していない方が多くなってきました。活動はともかく加入だけでもしたら良いのですが、加入の推ししょうを役所でもしていただけるとありがたいです。
自治会活動	自治会は大切だと思います。でも、いやいや引き受ける人ばかりです。順番で回ってきたからという感じです。私もそうです。自治会役員になったら、何かメリットがあればいいなと思います。私がやりたいと思うような何かが。
自治会活動	自身に関連のある自治会活動について言及になりますが、仕事を自由に役員引き受けや行事参加を見合わせる声を聞きます。現状でもそれほど負担だとは私自身は感じないものの、より一層の「持ち回り感」でできる気楽な自治会づくりを目指していただければ。
自治会活動	高齢化していく中、自治会活動やイベントなどで若い力が足りないと感じています。行事を整理したり、子供や若い人たちが進んで地域の輪に入れる魅力ある自治会を作れたらと思います。
自治会活動	自治会や子供会などはやりたい人がやれば良いと思います。特に子供会に関しては、小学校の登校班で一家庭に1回など強制してることがありますが、強制でやらされるのは納得いきません。平日仕事をほとんどしているのに、土日まで取られてしまったら、家のこともできなくなります。時間のある人、もしくは暇な人がやれば良いと思います。時間まで作ってやることではないです。
自治会活動	自治会の活動に積極的に参加することは大切。

自治会活動	地域にとってふさわしい会長。ほかの意見を聞ける人。何事においても相談、平等に接する事の出来る人、好みだけの自治会だけではありません。明るい笑顔から良い自治会、挨拶が出来るようにと思っています。
自治会活動	後期高齢者の楽しみ等を地域(自治会)で計画して欲しい面を持っている
自治会活動	困ったことなど自治会他とにかく相談することにしています。
自治会活動	どこの町内も高齢の方が多くなり体力が弱っている人。病気を持っています。町内の理事のお仕事があつたりする事はつらい事です。良い方法はないものでしょうか。
自治会活動	地域交流も大切ですが、高齢化に伴い、自治会(町内会全体での行事も含み)での行事が多過ぎ大変負担になっています。自治会脱退または会費支払いのみの方が増えてきています。
自治会活動	学生ですので、自治会活動にあまり実感がありません。すみません！！
活動交流の場	高齢者や一人暮らしの方、障害を持っている方、小さい子供が住まいの近くで気軽に交流出来る場所があれば良いと思います。
活動交流の場	元気な70才以上の方いるのに、いこいの場がない様な気がする。
活動交流の場	霧が丘六丁目はまちづくり推進会をつくり活動している。佳人の災害時避難場所づくりや佳人が活かし合う場所や拠点づくりをめざし活動しているが・・・？
活動交流の場	団地の高齢化が進む中、元気に年を取ることが大切になっている。気軽に参加できる体力づくりや交流の場が必要になってくると思う。
活動交流の場	・子ども食堂(学校、家庭以外に子どもが行ける場所作り) ・幼老合わせた交流施設 ・老人が気軽に集える社交場(喫茶店でも食堂でも、老人が通える居場所作り) ・区役所内や付近で、キッチンスペースを設けたレンタルスペースを作って欲しい。何かの集まりの時、食事をとりながらというのはリラックスできると思うから。
活動交流の場	地域が高齢化していることは漠然と危惧しています。(空き家問題・・福祉保健とは関係しませんでした)自ら活動場所(健康体操、エアロビ・・等)を求めて白山地区センターや緑スポーツセンターへ出向こうともいます。住居地区のあちこちでそのような活動できる場所が欲しい。東本郷付近には少なすぎる。
活動交流の場	高齢者が多くなるので、いろんなところに娯楽があつたり、施設があつてもよいと思う。緑がたくさんある街づくりをしてもらいたい。
活動交流の場	「山の家」「海の家」等の区民利用施設を作っていただきたい。
活動交流の場	居住者が公共施設がある場所から離れているため、利用しにくい利用できない。
活動交流の場	スポーツクラブなど体を動かす活動や場所がもっとあるといい。また、将来起きる可能性のある首都直下型地震など大地震の際の対応が不安なため、訓練を行ったり、正しい行動について広めていく必要があると思います。若い世代が使いやすい施設(自習スペース、図書館など)がもっとあると良いと思います。
活動交流の場	もっと商業施設や子どもが遊べる所を増やしてほしい！！ 大きくて遊具の多い公園やじゃぶじゃぶ池など。
活動交流の場	近所の地区センターに高校、大学、就職試験まで大変お世話になりました。あの存在はとってもありがたかったです。おかげで乗り越えられました。
見守り活動	一人暮らしの人への声掛け。一人暮らしは寂しい。



見守り活動	一人暮らしの人への声かけ活動。何らかの形での安否確認が必須。
見守り活動	年配者が多い所なので家族が近くに居る方は、常に回りに声を掛けて、何かあれば連絡先などを近所の方々に通知してほしい！ ゴミ出しなどの身近な事が出来なくなっている方も少しではあるがいます。
見守り活動	多くの人たちがひきこもりの高齢者を引っ張り出そうと努力していますが、そういう人はしょうがない。必ずどこにもいる。と割り切ることも必要だと思います。
見守り活動	地域の方々が協力して意見しても(公共機関が声掛けしても)ご本人が受け入れない場合が多いのでは。その方の知り合いや親せきなど説得や協力。
顔の見える関係	声掛け等の程度が分からない。どのくらい声掛け
顔の見える関係	深い付き合いでなくても、気かけられるような地域になるとよいと思います。
顔の見える関係	近隣での声掛けが大切です。
顔の見える関係	近隣との交流。顔を知ること
顔の見える関係	在宅介護を受けています。近所に同様な家庭があれば介護家族が励まし合え、情報交換ができるかもしれないが、孤立感があります。
顔の見える関係	生活の多様化で各個人々の生活、価値観が重視される世の中で、地域の事に関心があまりなく生活を送っている人が多く残念です。社会福祉に目を向けて下さる方が一人でも多くいらっしやることを願っています。
顔の見える関係	住民の交流が希薄なのでせめて挨拶だけでも必ずしたいものです。
顔の見える関係	まずあいさつから
防犯・防災	現在は住み良い住宅地だと思っています。世間一般では、犯罪も多発しています。身近に降りかからないことを願っています。
防犯・防災	私の住んでいる所は高齢者の方がほとんどです。(70% 70才以上) この先災害その他の防災等生じた時にパニック状態になる事があると思います。現在高齢の方の一人住いの方が多分に居ります。心配です。
防犯・防災	今も今後も自宅で暮らすことを一番と考えているが、これから先、人の手を借りなければならなくなった時、色々な人が家の中に入ってくるすべての人がそうではないと思うが、自分が老いて、言えない、動けない、状態になっていたら、何をされても何もできない。どうしたらいいのか大変不安である。家庭がいなくなったら、なおそう思う。年老いて先の安心が見えない。安心して暮らせる日々の保障をお金のあるなしに関わらず望んでいる。介護施設に入っても同様と考える。年寄りが安心できる未来社会を願っている。災害時、TVラジオ等の情報だけでなく、急な地震などの場合、すぐに動き出せない。自治会で組織は作ってあるが、実際に起きた場合、その方が指揮どこまでできるのか。疑問である。確実なもの、今考えられることを示して把握しておきたい。
防犯・防災	自治会や連合自治会に頼らずに、役所の職員が積極的に地域に入り込んでまとめてください。または活動交付金を1世帯当たり5,000円くらいにして、防災対策を促すとよい。税金を職員の給与以外に使うこと。
防犯・防災	地域での防災訓練を行うと同時に防災グッズなどを無料配布してくれたら更に意識が高まると思う。準備しようと思ってもなかなか準備できない家庭もあると思うので。
防犯・防災	住宅地の数か所に(道路)防犯カメラを取り付けてほしいです。
防犯・防災	ぜひ防犯活動の在り方を再考していただければと思います。

防犯・防災	暴走族、暴走団を徹底的に排除。区役所土木課は暴力団に関わらないでほしい。
防犯・防災	防災防犯で安心して暮らせることを期待しています。皆で支え合う気持ちをお互いが持つてるといいと思います。
防犯・防災	新社会人として4月に長津田に引っ越してきました。終電で帰宅した際に、下半身を露出している男に家まで追いかけられましたが、警察のパトロールは月1あるかないか程度ですので、緑区長津田の防犯意識の低さを感じます。
防犯・防災	防犯カメラの設置増加を期待しています。
防犯・防災	防犯カメラの設置、防犯パトロールの強化。災害物資の配布。災害避難場所等の情報を多めに配信。健康に対する取り組みへの特典。緑を増やすために、定期的に花の鉢植えの配布。
防犯・防災	静かで住みやすいのですが空き巣の被害がよくあるので今後心配です。定期的なパトロール(有料でも可)や防犯カメラ設置などにより被害を防ぐような対策が必要かと思います。
情報伝達	近所のお祭りや活動など、子供がいるので子供会に参加してみたいとずっと思っています。緑区に越してきてすぐに自治会に入りたい旨の連絡をしましたが自治会加入等についての案内をしてもらえず加入しないままでした。同じ長津田内で転居したので今度こそはと思って自治会加入をし、回覧板が回ってくるようになりましたが、扉にかけておだけでそれにとまなう会話もありません。また子供会もなく、すぐそばの神社のお祭りにおみこし参加やごみ回収など、どうやって参加できるのか、一体どこで誰にお願いすれば参加できるのかがわからず近所に知り合いも出来ずという状況です。都会だからですかね。
情報伝達	私来春でサラリーマンを辞めようと思っています。辞めた後の社会活動等参加、応援の方法等を教えてくれる施設ありますか。
情報伝達	回答しているうちに、いまさらながら良く知らないと思いました。仕事を退職して1年くらい経ちましたが、自分から関心を持たなければ活動にも参加することができないと思います。掲示板とか広報とか特に広報誌は情報がいっぱいで見にくい。ですが、アンテナを持って参加していきたいと思っています。
情報伝達	・具体的な緊急時の避難先などを年1回リマインドする(回覧板等)。・認知症カフェなど地域の人にも知ってもらう工夫をする。
情報伝達	借家住まいなので、区についての情報を得られる場が少ない。区の活動や情報を知れる場がもっとあると良いと思う。
情報伝達	以前、介護の講演会に行った時に、高齢の方(独居や近くに子供が住んでいない)の情報源は、回覧板で非常に重要な役目があるとお聞きました。広報誌にもいろいろたくさんのお知らせがありますが、字も小さく量が多いので、今時でも回覧には、目を通すようです。また、ある期間で回覧が戻ってこなければ、自治会の各班長は、どこで止まっているか気にする必要があります。
情報伝達	福祉保健計画のことは知りませんでした。数年後は心配事が増えてくるだろうと漠然と思っていますが、これからは自治会の回覧板等をよく読んで知識を持っていこうと思います。

情報伝達	不審者や緊急でお知らせする事等を緑区の市民がメールを登録して把握できたら嬉しい。三保町市民が増えたが中学校は十日市場と遠すぎる。家を多く作る前に中学校を近くに作って欲しい。
情報伝達	私は耳が不自由です。情報提供を常に保障してほしい。どのイベントにも手話通訳者をつけられるかなど。
情報伝達	気軽に相談できるかかりつけ医、往診など在宅医療をやる病院の紹介をしてほしい。タウン誌等で。
情報伝達	福祉活動していると思いますが、どんな活動しているか分かりません。
情報伝達	福祉活動内容等知らない事が多い、PRについても検討して下さい。
情報伝達	今は元気で働けているので、あまりピンと来ることがありません。あと少し年を取って働かなくなった時にどんなことに参加できるのか。自分でも何ができるかをいつでも分かりやすく情報を発信していただけたらと思います。
情報伝達	高齢なので認知症についてとても心配しています。相談、病院、施設はどこへ行けばいいのか。それをまとめた冊子があると助かります。
情報伝達	若い世代(10~30代)の情報取得媒体は広報誌ではないため、情報発信者が意識しなければならない。(従来のやり方では人は集まらない)
情報伝達	空き家住宅の利用、情報の提供
情報伝達	・何かあったときにどこに言えばいいのか。どこで情報を得られるのか。 ・ネットやHPにもっと情報を載せてほしい。日中不在だと地域にあまり関わりない。
情報伝達	参加したいと思ってもなかなか生活スタイル、時間帯の問題で参加できない事が多いが情報は回覧板等で欲しいです。SNSやメールが発達しているが誤発信やチェーンメール等で余計に混乱するし今まで通り回覧や掲示板での情報提供を望みます。近所づきあいの基本になると思います。
情報伝達	自然がいっぱいの緑区が大好きです。もっと地域の行事やイベントなどの情報にアンテナをはろうと思いました。4,500人に選ばれて嬉しいです。
情報伝達	問12のような活動があることを知らなかったためもっと宣伝して欲しい。
情報伝達	地域ケアプラザと地区センターの利用方法の違いがわかりません。利用者に年齢条件があるのか・・・とか。
情報伝達	介護付き老人ホームがあれば知りたい。
情報伝達	市での健康補助など何があるのかわからないので対象者に通知して欲しい。
情報伝達	色々な活動はあるだろうが見えにくい参加しにくい(一住民として)センター的なところもとても遠いし活動やサポートなど身近と感じにくい
情報伝達	民生委員、児童委員等の活動が見えない。積極的にアピールしたほうが良いと思う。自治会役員等年齢期間を決めて交代制もよい。若い方の参加と組織の活性化が必要では
行政施策全般	高額なハマ弁の中止。インド人の住民が増えているので、相互のコミュニケーションが大事だと思う。一般市民への英会話教育。
行政施策全般	鶴見区にあるような「文化協令」なるものを緑区にも立ちあげただけだと有難いのです。講演会、コンサートなど近場でしたら高齢者でも話し合っ楽しむことができるのではないのでしょうか。みどりアートパーク、若い方でも行われているコンサート、講演会には

	楽しみに参加しております。
行政施策全般	子育て支援センターが少ないので増やして欲しい。小中学校の給食を自校式にして欲しい。無理であれば量を増やして美味しい給食にすることから始めて欲しい。行政サービス主張所を再開して欲しい。わざわざ区役所まで行くのが大変な人がたくさんいます。
行政施策全般	白山地区の地区センターの充実・図書館部分の増設または新設・体育館のエアコンの設置(特に高温化と高齢化に対処)
行政施策全般	市営住宅に住んでおりますがエレベーターをつけてもらおうと大変助かりますのでよろしく願いたいします。年を取ると階段が大変です。
行政施策全般	60歳以降の就労支援の強化が必要だと思います。
行政施策全般	手入れされていない土地、畑、田、家などチェックして持ち主が適切に対処するよう指導勧告する制度を作る
行政施策全般	ペットの汚物の放置に対して罰則を作してほしい。
行政施策全般	カジノは絶対やらないでほしい。中学校給食の実現をすぐ実施して、住民のために税金を使ってほしい。
行政施策全般	賃貸に住んでいるとまわりと交流がない。東本郷の川近くの畑で不法ゴミ捨てをみたので警察に連絡したが、取り合ってもらえなかった。公共の人の態度が悪いとこちらもやる気が出ない。
行政施策全般	行政全体の課題として、縦割りではすべて限界があり、これ以上の良い環境は望めな いと思います。住民に聞く前に、役所の方々の意見・提案をおしめし下さい。(トップの考 えではなく、そこで働く職員一人一人の)
行政施策全般	私学助成も受益者負担原則の適用に検討して欲しい。
行政施策全般	霧が丘の交番の方々をよく巡回してくれており助かっています。
行政施策全般	計画立案したことは、実現するよう区民皆が努力協力していかなければ住み良い社会 はできないと思います。役所の方もさらなる支援をお願いいたします。
行政施策全般	霧の里にて多目的ルームを使用させていただきました。(有料)受け付け全体の態度が 高圧的で使いづらく不快に思いました。子どものイベントでしたので、嫌がられたのでし ょうか。行政の施設でしたら疑問に思います。
行政施策全般	スクラップ&ビルドで活動して、安心安全の緑区にしてください。応援しています。
行政施策全般	役所の方がまちに出て、実情を把握した上で、様々な改善を行ってほしい
行政施策全般	旭区役所より緑区役所のほうが対応が良くていいです。
行政施策(福祉 保健)	福祉保健全般に従事してくれるプロを養成して欲しい。
行政施策(福祉 保健)	ゴミ屋敷になっている家への清浄及び費用の制度、相談窓口
行政施策(福祉 保健)	本人に障がいがあり、親が代理で記入しています。災害時、障がいのある人への対応 の取組みをしていただきたいと思います。親亡き後の障がい者の生活の場が整ってほ しいです。
行政施策(福祉 保健)	緑区長津田付近には、小児科が少ない。また保育園が少ない。

行政施策(福祉保健)	今は仕事中心の時間で過ごしています。地域活動に参加できませんが子育てや教育環境は整備(制度、内容)されているとは言えません。一つ一つの施設(保育所、学童など)の内容を質の向上を目指し利用者の立場を考えるものであってほしいと願います。
行政施策(福祉保健)	お年寄りや子どものコトをケアしていくこともとてもよいのですが、今現在、ひきこもっている子ども、大人のケアなどは考えているのですか？
行政施策(福祉保健)	保育園へ預ける条件が就労介護などあるが、今後条件なしを考えてほしいです。就労していても条件を満たさないと預けられないし、実際は就労していなくても証明書を出せばOKなのはおかしい。子どもの虐待防止の観点からも無条件での保育園入園は必要。
行政施策(福祉保健)	ケアプラザによって活動が活発なところと、あまり活動していないところがあります。鴨居ケアプラザはダンスなど教えてくれたりしますが、東本郷ケアプラザは地域に密着していない気がします。
行政施策(福祉保健)	経済的に厳しく今後生まれてくる子供をしっかり育てていけるか心配です。甘い考えですが、そんな家庭をサポートしていけるようなものがあると有難いです。
行政施策(福祉保健)	いままで通り治安が良く、高齢化社会に対する福祉の充実と、若い層の低収入層のお子様への教育が十分に受けられるように願います。
行政施策(福祉保健)	保育園の空きがなく困っています。シングルマザーなのにどうしたらいいんですか。
行政施策(福祉保健)	消極的なひきこもり等相談などできない人への役所やその人にあつた行政の人が直接アプローチしていく取組みがあつたらいいと思います。
行政施策(福祉保健)	障害者への支援を手厚くした方が良い。健常者の想像以上に生活は大変。年々障害者への支援は少なくなり、負担ばかり増えている。
行政施策(福祉保健)	高齢者の増加に伴う対策も必要かと思いますが、若い世代への支援を。これからどのような環境にするのが大切であり、活性化に繋がると思います。緑区の特徴は、農業従事者とサラリーマンの混在に伴う相互協力ではないでしょうか。
行政施策(福祉保健)	子育てについての支援を今以上に期待しています。
行政施策(福祉保健)	乳がん検診の対象年齢を30歳～、または35歳～にして欲しい。30代での乳がん患者が増えているため。
行政施策(福祉保健)	子育て世代に何かあると小さな子供がかわいそうなので30代でもがん検診や人間ドックが安く受診できるようになってほしい。
行政施策(福祉保健)	各種検診のフォローの工夫が必要。受診しない人が多いのでは？
行政施策(福祉保健)	高齢者よりも若者向けの国の未来を背負う世代へ、もっと検診や人間ドックをしてほしいと考える。高齢者よりも若者を大切にすべきではないか。更に妊婦などにも優しい区になってほしいと願う。
行政施策(福祉保健)	健康診査、健康づくり等に関心がありますが、参加することがおっくうになりました。もっと積極的に実行したいと思います。
行政施策(福祉保健)	無料のがん検診、安い老人ホーム

行政施策(福祉保健)	近くに内科医の良い先生がいないので困っています。かかりつけ医がいませんので不安です。民生委員も個性的で相談出来ません。中高年ひきこもりの支援必要
行政施策(福祉保健)	認知症予防の取り組みや今問題になっているひきこもりの対策等
行政施策(福祉保健)	福祉＝社会的弱者のようなイメージがあり低所得者にとってはますます生きづらくなり貧乏人と年寄り早く死んでくれみたいな風潮が納得いかない。中でもホームレスや生活保護者のみにくい特集などTVで流れているために全体に気持ちがふさがる。真面目に生きている人たちをもっと救ってほしい。そして上手く網目をくぐって悪いことしている人たちの対応も考えてほしいと思います。
行政施策(福祉保健)	20～50歳代までの若い中年世代に限定して計画書を作った方が効果的ではないでしょうか。高齢者はもう受けてですから、現況調査にしかありません。
行政施策(福祉保健)	子どもがもうすぐ生まれるので、子育てしやすいまちになってほしいです。
行政施策(福祉保健)	ウォーキングの駅を作ってみるのはどうか。道の駅みたいなものを。ここは〇〇から何キロとか。クリアウォーターに特化した自販機。道端に咲いている植物等の掲示板など
行政施策(福祉保健)	本当に良くしようと改善するのであれば期待はしようと思います。
行政施策(福祉保健)	各世帯の状況を細かく把握して孤独死等が発生しない仕組みが必要だと思います。
行政施策(福祉保健)	クリアファイルなどの広告物は不要です。その分福祉にあててください。
行政施策(福祉保健)	今のままで良いと思います。
道路・交通・まちづくり	三保グリーンハイツのそばに住んでいますが、急な坂なのにバスが上までこないのが残念です。高齢の方々が坂を自力でのぼれなくなったり、つらそうに荷物をさげのぼる姿を見ていると胸が痛みます。荷物を手助けしようと声をかけても気丈な方が多く断わられ、そのうち見えなくなったら、なくなっていたこともありました。高齢の方も多い8号棟まである住宅で、いつも気になっています。
道路・交通・まちづくり	霧が丘のバス便は良いのですが、バス停に至る歩道など目につきにくい段差、傾斜があり、要注意です。また学生が歩道に歩いて広がって歩くので、他の歩行者にとって危険なこともある。住民だけでなく、地域を利用する人、皆が少しずつ他者への思いやりを持つことが大切だと思います。
道路・交通・まちづくり	車道に細い道からの自転車の飛び出しが多いので(特に中学生位)学校での注意呼びかけ声掛けをして欲しいです。
道路・交通・まちづくり	長津田地区は坂が多く高齢者も増えコミュニティバス(マイクロバス)を希望します。
道路・交通・まちづくり	新治町は暗い道が多いので、街灯を増やしてほしい。新治町の交差点の高架下～寺の歩道の整備をしてほしい。子連れだと歩きにくく、通行量も多く危ない。

道路・交通・まちづくり	街灯を増やしてほしい。違法駐車を減らしてほしい。外で大声を出す人を何とかしてほしい。
道路・交通・まちづくり	・道路の改良、歩道の確保、道路の拡充、信号付きの横断歩道設置促進 ・交通安全、運転マナーの向上強化、不良行為が多過ぎる現状への対策 ・道徳社会マナー常識力を向上させる小中高での教育方法の改善。なぜ自己中の人間が多くなったのか。
道路・交通・まちづくり	高齢者ドライバーの交通事故が身近でないことを祈る。本人は近くに免許返納を予定。
道路・交通・まちづくり	・鴨居駅前の道路の慢性的渋滞の解消 ・JR横浜線の運転回数の増加とスピードアップ(東横線に比べて遅い)
道路・交通・まちづくり	中山駅前の南口周辺の道路整備を加速してほしい。歩道がなく、非常に危ない。
道路・交通・まちづくり	・ガードレール等の設置:車道と歩道間のガードレール等設置による歩行者の保護。 ・野良ネコが多いため、エサやりの禁止、もしくは飼いネコの制度の推進。以上よろしく願い致します。
道路・交通・まちづくり	長津田駅南のきらぼし銀行、セブンイレブン、交番、病院の所に信号をつけて頂くとよいかと思えます。横断歩道を渡らずにきらぼし銀行側からセブンイレブンの方に横断する人をよく見かけますがとてもあぶないなあと感じます。時々見かけると注意する事がありますがほとんど無視されます。ぜひ信号をつけて下さい。
道路・交通・まちづくり	道幅が狭い所がありますので広くしてもらいたいです。119系統のバスの便が1時間に1本もない時間や1本と少ない状況です。高齢化社会で免許返納の時、特に運行の改善をお願いしたいです。
道路・交通・まちづくり	福祉とは別に駅の混雑を避けるために、抜け道があるけど、土地はもう確保しているけど、いつ道ができるのか。あのまわりの住宅の方や歩行者はとても迷惑しているじゃないかと思えます。
道路・交通・まちづくり	コミュニティバスの運行
道路・交通・まちづくり	受動喫煙を避けるために歩道などに路上禁煙場所をつくってほしいです。
道路・交通・まちづくり	街灯を増やしてほしいです。住宅曲がり角のミラーを見易く(ガラスが曇ると見えにくい)してほしいです。
道路・交通・まちづくり	私はバスを多く利用しています。鴨居駅から東本郷ケアプラザ行きです。私の住んでいる第三団地は、昼のコースのみ運行で、平日は9:32が始発、鴨居駅からの最終が16:50です。始発と最終のバスの時間をもう少し広げて下さると便利です。例えば始発8:32、最終18:00頃など足腰がもっと弱くなったら、バスにも乗れなくなってしまうことが予想されますが、もう少し頑張って外に出ようと思っています。
道路・交通・まちづくり	グリーンラインの延長計画
道路・交通・まちづくり	歩道の充実、例えば、歩道がないような道路の解消、特に駅前。また歩道があるところは車いすの方が安全に動ける幅があり、段差など危険な状況がない等の確認とその実現。

道路・交通・まちづくり	長津田駅前のバスロータリーで人が歩道のないところを横断できないような仕組みを作ってほしいです。
道路・交通・まちづくり	東本郷の小型バスの増発と小川橋方面への延長
道路・交通・まちづくり	バス停をもっと増やしてほしい。駅から遠いので、大きな通りに出なくても、バスが循環してくれたら助かる。
道路・交通・まちづくり	長津田駅からのデッキに端まで屋根を付けてほしいです。
道路・交通・まちづくり	長津田駅北口周辺の朝の駐車と人の流れに問題があると思っています。長津田はとても良い街だと思っていますので、今後もよろしくお願いいたします。
道路・交通・まちづくり	道路、歩道の改善
道路・交通・まちづくり	雑草を放置しているアパート等のオーナー、不動産屋に清掃を自治体として働きかけてほしい。 きれいな街を目指すことで非常に障害がある。またハチの巣等の害虫の温床になる可能性もあるので、早めに対処してほしい。 長津田駅の開発をすべき、3路線乗り継ぎ駅に値しない。統一性のない建物建設が進んでいるが、古い地権者との話し合いを進め、総合的な開発を目指すべきである。たまプラザ、南町田をモデルにすべきである。
道路・交通・まちづくり	高齢者のマイカー運転事故や交通渋滞の緩和のため、公共機関を充実させる。中山発ふれあいバス(緑区、上山町)のバス本数が一日4本しかなく、利用者も多いので、一日の本数を増やしてほしい。
道路・交通・まちづくり	コミュニティバスのような公共交通機関があったらと思います。
道路・交通・まちづくり	鴨居駅から小机方面の道路が車の量が多い割に歩道がしっかりしていなく子供たちがいつも危険です。新しい活動を増やすより、区民が安全に生活できるよう歩道の見直しをして頂きたいです。
道路・交通・まちづくり	長津田駅前(南口)の早期整備を希望します。交通安全対策が極めて遅れていると思います。いつ重大な事故が起きても不思議ではないほど、ひどい状況にあると思います。
道路・交通・まちづくり	三保町は人口が多く、車の通行も多いのに住宅街の往来が秩序ない。一時停止箇所や一方通行を増やしてほしい。子どものそばを飛ばす車が目に余る。
道路・交通・まちづくり	中山駅南口の交通整備。路線バスのルート変更できたら、駅前の歩道が危なくないような気がします。
道路・交通・まちづくり	三保地区の歩道を広くする
道路・交通・まちづくり	マルエツ側の住宅区域に高齢化が進み、マルエツ自体遠くなり、困っている人が多いこと。飲食店の誘致が足りていない。
道路・交通・まちづくり	長津田駅前の整備



道路・交通・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十日市場ヒルタウンの街灯を増やしてほしい。夜は人通りも少ないので、明るくなるといい。</li> <li>・十日市場駅前のベンチのゴミ(たばこの吸い殻)ボランティアの方で毎回清掃していただいているが、特定の人が空缶等をそのまま放置して迷惑です。ベンチ撤去してはどうか。</li> </ul>
道路・交通・まちづくり	東急と協働でまちづくりを進めてほしい。町田市と東急と一緒に南町田を再開発を行うように、長津田駅の再開発を行い、田園都市線の色をもっと出してほしい。地主との開発は反対です。
道路・交通・まちづくり	中山駅南口の整備。駅前の混雑緩和のため信号機必要かも。人が優先過ぎる。
道路・交通・まちづくり	道路を広くするために電柱をなくしてほしい。鴨居の舗装はせまく斜めでベビーカーも押しにくい。改善してほしいです。
道路・交通・まちづくり	外出するたびに思うことは、とにかく街並み(ゴミが多いから)が汚い。交通ルールが悪い。
道路・交通・まちづくり	中山駅南口の商店街が狭く、歩行者が歩道にはみ出して危ない。ガードレール付きの歩道が欲しい。
道路・交通・まちづくり	森の台、むさし中山とかにバスが通るが、三保町にはない。坂があるので、足が痛いときはどうすれば駅に出られるか、住宅前から登り坂だが、バスを通してもらえればありがたい。
道路・交通・まちづくり	長津田駅南口のロータリーを整備してほしい。せっかく旧八千代銀行が移動したのに、タクシーの待合場所だけが広くなり、お迎えのマイカーが待機できる場所がない。以前よりひどくなった。
道路・交通・まちづくり	歩道を整備してほしい
道路・交通・まちづくり	幼稚園や学校付近のスクールゾーンや交通規制をしっかりと整えてほしい。
道路・交通・まちづくり	40系統のバスを利用者増加に合わせて、1時間2本からせめて3本に増やしてほしい。
道路・交通・まちづくり	駅から遠く、スーパーやATMが近くにない。バスは駅まで1時間に2本。地域に乗合タクシーがあるといいかも。用事がある場所、行きたい場所は、働いている人以外は決まっている。生活利便施設のある場所で降ろしてもらえれば高齢者も助かるのではないかと思う。
道路・交通・まちづくり	田園都市線の混雑をなんとかしてほしい。ダイヤ通り走ったためしがない。もう田園などほとんどないのでただの”都市線”に過ぎない。開発も行き過ぎ、長津田にタワーマンションは不要。非常に見苦しい建物。
道路・交通・まちづくり	鴨居駅前の道路交通渋滞を改善してほしい。
道路・交通・まちづくり	長津田駅北口の再整備を強く要望する。・人の動きに全く配慮されていない作りになっている。通勤時間帯に道路横断者が多く危険。・地域の車椅子使用者に配慮されていない作りになっている。エレベーターを利用するには、相当遠回りをせざるを得ない。

道路・交通・まちづくり	ガードレールをお願いします。
道路・交通・まちづくり	交通の便が悪い
道路・交通・まちづくり	長津田駅南口の再開発、早期実現、完遂。長津田みなみ台地区を中心としたコミュニティバスの運行。同地区への行政機関窓口の開設、銀行や郵便局の誘致、コンパクトシティの検討。
道路・交通・まちづくり	一時間の一回のバスを30分一台増加してほしい
道路・交通・まちづくり	中山駅(横浜線)にエレベーターを設置して欲しいです。改札に上がる為のファミリーマートのエレベーターはとても狭く、いつもお年寄りで溢れています。子育て世代にとって少し不便な駅だなと思います。
道路・交通・まちづくり	バスが走らない地区への小型コミュニティバス等の導入。
道路・交通・まちづくり	街灯を増やして頂きたい。(中山町796の住宅街全体)
道路・交通・まちづくり	歩道を広くしてほしい。
道路・交通・まちづくり	車で通るとき樹木がたれさがっていたり、木の枝が突き出したり見通しの悪い所が多く見受けられる。個人的には言えないので。
道路・交通・まちづくり	緑区は良い街だと思いますが坂が多いのがつらいですね。お年寄りも多いので大変だと思います。
道路・交通・まちづくり	バスが1時間に1本毎日交通に不便を感じています。
道路・交通・まちづくり	コンビニエンスストアを増やして欲しいです。またバスの本数を増やしてほしいです。
道路・交通・まちづくり	歩道を拡張した方が良いと思います。中山駅周辺エレベーターも少ないと思うので増やしていけると良いと思います。
道路・交通・まちづくり	高齢化、免許証返上者、身障者などに外出の機会を多くする主目的に団地、公園などを出発点として駅、スーパー等を巡回するコミュニティバスを実現して下さい。
道路・交通・まちづくり	地区センターをよく利用させて頂いているが、駅から遠く坂も多いため雨の日や暑い日に特に利用したいが少し不便である。全体的には子どもに優しい街だと感じます。ありがとうございます。長く住みたいけれど、駅周辺の物件は空きがなく…持ち家が欲しいが難しい。空家が見受けられるのでその辺りを整理して頂けると嬉しいです。
道路・交通・まちづくり	買物難民地域へのバス増発。商店街やスーパーからの宅配便の低価格化、もしくは無料化、小型トラックでの移動スーパー
道路・交通・まちづくり	高齢者が急坂を通行されているが、おそらく車を利用されていないので、坂の多い住まいの方が心配です。また自転車の無燈での夜間通行、スマホ通行がなくなってほしいです。

道路・交通・まちづくり	高齢者の運転事故等が増加する中、どう子供を守るかを考えていただきたいです。
道路・交通・まちづくり	終バスがもう少し遅くまでであるといい。自宅の周りの違法駐車が多く困っている。また空き巣も増えている。取り締まりを強化してほしい。
道路・交通・まちづくり	近年、車庫から車が道に出ていることが多い。どこに訴えればいいのか。また駐車違反と同じで良い。
道路・交通・まちづくり	歩道のない道や、車道が狭すぎるところが多い。児童や自転車が多い地域なので、車とどちらを優先するか再考してほしい。高齢者による自動車事故が増えているので区全体で対策してほしい。
道路・交通・まちづくり	歩きスマホの禁止。自転車運転中スマホの禁止。
道路・交通・まちづくり	高齢化が進みドライバーも高齢化が進むと思われるので子供や高齢者が安心して歩ける(歩道)を作って欲しい。
公園・河川	近所の川に蛍が見えるようになりました。川底清掃や草取りの参加募集があれば参加したいと思っています。
公園・河川	公園に簡易トイレがあったらと、老人性体質からも、切実に思うことがあります。
公園・河川	恩田川(堀之内橋～町田下水処理場間)の雑木及び川床が汚い。また川の道路上の草が伸びている。対岸の青葉区側は定期的に草刈りしているが、緑区側はまったく実施していない。住み良い環境づくりの一環として、定期的な草刈りを実施してほしい。
公園・河川	公園道路横の植え込みについて、雑草が伸びていてひどい。
公園・河川	公園などのメンテナンス、砂が道路に溜まって大変
公園・河川	調整池を住民が親しめる自然として活用できるように整備(池周囲の散歩道等)に開放してほしい。
公園・河川	鶴見川、恩田川の川沿い、特に恩田川沿いをもっと整備してきれいな川沿いにしてほしいです。ウォーキングや花見をしている人がたくさんいますし、他の区からも桜の木を見に来る人が増えると思います。緑区という自然が多いネーミングなので、自然の森や林、川などが美しく見える区にしてほしいです。何年もかかることだとは思いますが、商業施設を増やしていくよりも環境の良さを住み良いと思う人が増えてくると思います。
公園・河川	自由に散策出来る自然芝地の公園の整備。
公園・河川	公園の手入れやトイレの設備実施・定期清掃のお願い。子育て環境の整備。待機児童ゼロを是非躍進を遂げてほしい。我々は待機児童の問題もあり緑区を引越します。ありがとうございました。
公園・河川	里山ガーデンや四季の森公園をもっと設備して散歩などができるようにしてほしい。里山ガーデンに関しては、春・秋のイベントだけでなく常に開放してほしいし、もう少し全体的に整えて欲しい。
生活環境	アパートが多いので、この地域は良くなりません。
生活環境	・地域でAEDが設置してある場所、特に夜間でも使用できる場所(休日、時間帯も公表)を広く公表してほしい。又、今後も増やして行ってほしい。・長津田駅周辺に人気のある商業施設をもっと作ってほしい。(中央林間ぐらいの)

生活環境	<p>・住宅地の公園で高齢者が週3回もゲートボールし、音が響き、話し声もうるさい。迷惑を考えない在り方に疑問を感じる。もっと子供たちや午前中に使いたい方に解放してほしい。本当に迷惑している。</p> <p>・ここ数年の間に美意識が低下、まちを彩るつつじや花などを丸刈りや木々に穴をあけるような切り方が増え、とても美しいとはいえない。木々も生きていますから、春には花を咲かせてほしい。あまりにも思いやりのない植物への対応に心を痛めています。</p>
生活環境	<p>・地主さんが竹や木を燃やしてカス、煙が洗たく物について困っています。・竹や木も敷地から出て困っています。違法なのか分かりません。・近所にひきこもりの男性1人と子供キライの女性が居て子供を遊ばせるなど苦情がすごいです。・庭で遊ぶのもNGです。いつか事件になりそうで怖いです。</p>
生活環境	<p>まだ緑区に住んで6年ほどですが、もともと住んでいた「地」の強さを感じる事が多いです。良いところは残しつつ、時代や環境の変化にも柔軟に対応できる地域でありたいと思います。</p>
生活環境	<p>三保地区は、自然と住環境を守るために商業施設を設置しないようになっているが、高齢化が進む中では、買い物に不自由する世帯が増えていると思われる。スーパーが近くにあると大変助かるので考慮してほしい。</p>
生活環境	<p>雨水マスの所為か、夏場蚊の発生が著しい。できれば定期的にぼうふら対策をしていたら期待しています。個人的に市販のぼうふら駆除剤を撒いていますが、芳しくありません。雨水マスの中は一年中溜まり水があります。</p>
生活環境	<p>きれいごとの目標や大きな目標よりも、目の前にあるゴミを拾って捨てる(そもそもゴミを捨てない)人が多ければいいなと思っています。</p>
生活環境	<p>緑区に引っ越してから2年弱なので、交流がまだなく分からないが、長津田駅周辺に家族で過ごせる飲食店がほしい。</p>
生活環境	<p>転居してから2年たらずになりますが、道路のあちこちがとても汚いのびっくりしています。もっと徹底した公衆衛生ができないものでしょうか。</p>
生活環境	<p>白山一帯は緑が多く暮らしやすい。この緑をいつまでも維持されることを望む。</p>
生活環境	<p>ららぽーとのような施設に病院や高齢者、幼児子供が過ごすことのできる場所が必要だと思います。</p>
生活環境	<p>十日市場に大規模マンションが建設中ですが、人口増加に伴う買い物施設が不足しているように感じます。小中学校の子どもが増えると思うので、ファミリー層向けの商業施設をもう少し増やしてほしいです。</p>
生活環境	<p>スーパーや食事処を増やしてほしい。自販機を増やしてほしい。中山駅～ららぽーと横浜まで無料バスがほしい。</p>
生活環境	<p>ドトールなどのカフェを増やしてほしい。</p>
生活環境	<p>緑化、自然保護</p>
生活環境	<p>お年寄りが多いので商店街(中山地区)</p>
生活環境	<p>高齢者の住みやすい街作り。</p>
生活環境	<p>2,3か月前から近くの公園や家の近く、家の敷地内にBB弾が撃ち込まれていて、騒音とBB弾に迷惑しています。どう対処すれば分からずただ耐えています。どうすればいいのでしょうか。防犯パトロールをお願いします。</p>

生活環境	歩きタバコをする人の姿をよくみます。ルールを守って吸っている方たちがたくさんいる中で一部のマナー違反ですごく不快な思いをします。特に小さな子供を連れている時に臭いにも敏感になります。(また健康面でも。)全面的に歩きタバコを禁止にしきびしい罰則があってもいいと思います。それだけ吸わない人からすれば不愉快です。
生活環境	これからも安心して暮らし続けられる緑区でありますように、よろしくお願いいたします。
生活環境	歩きタバコを無くしてほしい。
生活環境	外国の方の居住が多く、たまに非常識な行動を行う場面を目にすることがあり、時に治安の不安を感じることがあります。転入の際には、自国では当たり前のことも非常識になる点を強調してもらい、気分よく暮らせるようにしてもらいたい。
生活環境	夏になると特に公園での飲酒、花火等に困っています。昨今、下手に注意することもできません。我慢するしかないのでしょうか。(真夜中に近い時間です。)
生活環境	鶴見川の河原で毎週末騒いでいるひとがいて、ゆっくり寝られないことが多いです。(ららぽーとに向かう橋の下のあたりです)小さいことですが、毎週となると大問題です。
生活環境	歩きタバコをするひとを中山駅周辺で見かけます。周りにいる人が迷惑しますし、子どもが危険なので、改善できるような対策をお願いします。
生活環境	地域に外国人が増え文化の違いや特に生活スタイルの違いで騒音など生活環境が変化した。好きだった町が変わった。言葉も通じず国民性の違いでグループ毎になり交流?この地域での「ささえ愛」は難しいかもしれない。外国人とどうしていくか課題では
生活環境	インド人や中国人とつき合いたい。車がほしい。メンタルクリニックが足りない。男女の出会いの場がほしい。コンビニが足りない。犬がかいたい。釣り堀り。たきび場、ドックラン 小川
生活環境	私の住むところは高級住宅だと思います。又若い方は働きげんきが一番だと思います。健康が第一だと思います。夜8時ころ散歩します。30分位。笑い声が聞こえます。まだ小さなお子様も多いと思う。又お母様亡くされ一人で住む50代の方もいます。勤めていらっしゃいます。
その他	私の住む地域は、神社、寺、水と緑と地形が残した歴史と文化があります。1年の暮らしの習わしを通して、笑顔に楽しむ好きなことに夢中になる、幸せは人と人をつなぎ和が生まれることが、自分も健康寿命を伸ばし、人はともに支えることができ、区のサポートを有効に生かせれば、自助共助公助となる。令和は命令の令であり、令息、令夫人などにも表現される。時間やルールを使っても心が大切です。
その他	一人暮らし等の老人の方等の弱者の方々に真心の優しさが生まれるような事案をよろしくお願いいたします。
その他	住まう人間の一人一人の気持が大切だと思います。自分ばかりでなく、他人のことも考えられる。
その他	住民全体の意識を向上させる様な指導が必要。地区社協や民生委員、自治会任せだと、客観性に欠ける時や方向性に偏りがあることもある気がする。
その他	1人1人のモラルの向上

その他	近くに北緑道があり、愛護会の方が掃除や草取りをしています。花ごころがある人たちが季節の花を楽しんでいます。困っていることは、幼稚園の通園バスの乗降所になっており、15～17時ころに遊んでいるのはいいのですが、花が無くなり、植木のツツジも踏みつけられ、保護者の方にお子さんをもっと見てくださいとお願いしても、子供に言うことは「叱られるからやめなさい」にはあきれます。
その他	今は職場が近いため、緑区に住んでいますが、横浜市は税金が高いため将来的には税金が安く、家族がもう少し地域に住みたいと思っています。緑区は高齢化がすごいので、色々と大変だと思います。
その他	老人介護で私も病弱で生きるのが精一杯。他を見る余裕がない、今後もさらに厳しくなるだろう。
その他	健康診断を出来る限り受けよ
その他	本人は知らない。というか分からないと思います。認知症で精神障害手帳1級の相手にこのようなアンケートを送ってくるのは税金の無駄使いだと思います。再考を。
その他	全く知らない。
その他	横浜線(八王子～東神奈川間)の中で購買力の少ないのは中山駅です。
その他	現在健康にも恵まれ、精神的弱者でもなく、個人で生活はそれなりにこなしており、回答していない部分があれば申し訳ない。
その他	すいません、よく分かりません。
その他	老人ホーム生活なので、協力は難しいです。
その他	不便は感じていません。
その他	ありません。
その他	本人は認知症で有り、ほとんど回答は出来ません。聞けば問1～4は答えられますが、他は推測や私(夫)が日頃認識している事を回答しています。本人の希望、私がそうすべき内容等です。健康面は週2回デイサービスにて、脳トレを含めた、機能訓練を実施しています。
その他	考えた事がなく、分らないです。
その他	特にございません。
その他	年齢的に積極的活動ができないのが残念です。自分の事は自分で・・・と周りの皆様に迷惑をおかけしない様努力します。お世話になります。
その他	老婆の私で何のお役にもたたず本当に申し訳ございません。

緑区地域福祉保健計画

## 『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート


緑区では、「誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして」を基本理念に、第3期緑区地域福祉保健計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』（計画期間平成28～令和2年度）を区民の皆様とともに推進しています。

今回のアンケートは、区民の皆様の地域福祉保健に関する意識と、『みどりのわ・ささえ愛プラン』に対するご意見を伺い、集計結果は令和3年度から始まる第4期計画を策定するための参考とさせていただきます。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解の上、回答及び返信にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年6月 緑区長 小野崎 信之

### ご記入にあたってのお願い

- この調査票は、20歳以上の区民の皆様4,500人を無作為に抽出し、お送りしています。
- この調査票は、お送りした **宛名のご本人様による回答**をお願いします。  
なお、ご本人様にご記入できない場合は、ご家族などご本人様の状況をご存知の方が代理でご記入をお願いします。
- ご記入にあたっては次の要領にご留意ください。
  - (1) 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
  - (2) 質問によっては、「○は1つ」、「○は2つ」、「○はいくつでも」、といった指定がありますので、回答にご注意ください。
  - (3) 回答が、「その他」にあてはまる場合には、( ) に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、**7月16日(火)【消印有効】**までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。**(切手は不要です)**
- インターネットからもご回答いただけます。  
次のURLから専用サイトにアクセスしてください。  
<https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/dform.do?id=1554343280469>  
右の二次元コードからもアクセスしていただけます。 
- 調査票についてご不明な点がありましたら次の担当までお問い合わせください。
- お答えいただいた内容は、本調査の目的以外には使用いたしません。また、個人の内容を公表することは一切ありません。

〈問い合わせ先〉 緑区役所 福祉保健課 事業企画担当

TEL 930-2304、2305 FAX 930-2355 E-mail: [md-fukuhoplan@city.yokohama.jp](mailto:md-fukuhoplan@city.yokohama.jp)

開庁時間：平日（月～金曜日）、8時45分～17時00分

同封の「緑区制50周年記念」クリアファイルは、ぜひご活用ください。





# 「みどりのわ・ささえ愛プラン」 とは？

「誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして」  
を基本理念に、区民・団体・事業者・区社会福祉協議会、区役所等が  
一体となって協働で進めていく計画です。



みどりのわ・ささえ愛プラン 動画 [検索](#)

区民の皆様のご意見を反映した計画とするため、  
ぜひアンケート調査にご協力をお願いいたします。





# 『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート 調査票

- 質問は全部で25問あります。
- インターネットからもご回答いただけます。次のURLから専用サイトにアクセスしてください。  
<https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/dform.do?id=1554343280469>  
下の二次元コードからもアクセスしていただけます。



インターネットでご回答いただいた場合は、【封書での回答は不要】です。よろしくお願いいたします。

## ◆ 最初に、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたのお住まいの町はどちらですか。（番地は必要ありません）

横浜市緑区	(町)	丁目
-------	-----	----

問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。

<性別> (○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

<年齢>

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

<世帯構成> (○は1つ)

1 ひとり暮らし	2 夫婦だけ	
3 親と子 (二世帯)	4 親と子と孫 (三世帯以上)	5 その他

問3 あなたの現在暮らしているお住まいはどれに該当しますか。(○は1つ)

1 持ち家 (一戸建て)	2 持ち家 (マンション・共同住宅)
3 借家 (一戸建て)	4 借家 (公営・社宅)
5 借家 (民間アパート・マンション)	6 その他 ( )

問4 あなたのお仕事の状況はどれに該当しますか。(○は1つ)

また、1日あたりのおおよその勤務(在学)時間をお答えください。

1 常勤・フルタイム	2 パート・アルバイト	3 自営業・農家
4 専業主婦・主夫	5 学生	6 無職
7 その他 ( )		

<勤務(在学)時間>

約  時間/日

問5 あなたは緑区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 1年未満     | 2 1年～5年未満 |
| 3 5年～10年未満 | 4 10年以上   |

問6 あなたはこれからも緑区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)  
また、その理由を選んでください。

- |             |              |           |
|-------------|--------------|-----------|
| 1 住み続けたい    | 2 できれば住み続けたい |           |
| 3 できれば転出したい | 4 転出したい      | 5 どちらでもない |

<「1」又は「2」と答えた方は、その理由> (○はいくつでも)

- |                            |
|----------------------------|
| 1 住み慣れているから                |
| 2 家族・親戚が近くに住んでいるから         |
| 3 職場・学校が近い                 |
| 4 街並みが整っている                |
| 5 緑や公園など自然環境に恵まれている        |
| 6 交通の利便性が高い                |
| 7 買い物に便利                   |
| 8 治安が良い                    |
| 9 公共施設が充実している              |
| 10 医療・福祉・介護サービスが充実している     |
| 11 子育て・教育環境が充実しており、子育てしやすい |
| 12 地域交流が盛んで住民相互のつながりが強い    |
| 13 その他 ( )                 |

<「3」又は「4」と答えた方は、その理由> (○はいくつでも)

- |                       |
|-----------------------|
| 1 職場・学校が遠い            |
| 2 街並みが整っていない          |
| 3 緑や自然が少ない            |
| 4 交通の便が悪い             |
| 5 買い物が不便(商業施設が少ない)    |
| 6 治安が悪い               |
| 7 公共施設が少ない、遠い         |
| 8 医療・福祉・介護サービスが充分ではない |
| 9 子育て・教育環境が悪い         |
| 10 町内・隣近所の付き合いが難しい    |
| 11 その他 ( )            |

◆ あなたと身近な地域での生活の心配事についておたずねします。

問7 現在、ご自身の暮らしの中で、次のA～Mの項目について、気になっていたり困っていたりしていますか。困っていない場合は「1」、困っている場合は、それぞれの相談先として想定しているものを「2～14」から選んでください。

記入例	困っていない・困っていない	困っている場合の相談先 (〇はいくつでも)													
		相談先がわからない	家族・親戚	友人・知人	近所の人	自治会／民生・児童委員	かかりつけ医	教育機関	保育所・学校などの保育・	地域ケアプラザ	緑区社会福祉協議会	区役所	警察	その他	相談しない・自己完結
A 自分や家族の健康上の課題	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
B 生活費のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
C 求職活動のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
D 乳幼児の子育てや預け先のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
E 教育や小・中学生の居場所のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
F 自分や家族の介護のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
G 自分や家族の障害のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
H 自分や家族の生きがいや楽しみのこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
I 老い支度・終活	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
J 近所付き合いのこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
K 近隣からの悪臭・騒音、その他生活環境のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
L 犯罪や防犯のこと(窃盗、詐欺等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
M 公共交通機関の利便性	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	

問8 問7の「A～M」の項目のうち、特に気になっていることや困っていることはどれですか。(該当する項目のアルファベットを3つまで記入)

問9 あなたは、地域に困っている人がいる場合、

①「現在」すでに手助けをしていること、②「今後（または今後も）」手助けをできる、と思うことはありますか。（○はいくつでも）

記入例		
手助けの内容	①【現在】すでに手助けしていること	②【今後（または今後も）】手助けできること
A 安否確認の声かけ	○	○
B 話し相手・相談相手		○

手助けの内容	①【現在】すでに手助けしていること	②【今後（または今後も）】手助けできること
A 安否確認の声かけ		
B 話し相手・相談相手		
C 日用品などの買い物		
D 家事支援（電球交換・家の中の掃除・家具移動など）		
E ごみ出し		
F 庭の手入れ		
G 登下校時の見守り、防犯パトロール		
H 通院の付き添い		
I 病気の時の看病		
J その他 ( )		

**◆ 地域でのつながり及び活動の機会・場についておたずねします。**

問10 あなたご自身は、どのようなご近所付き合いをしていますか。（○は1つ）

1 近所の人とよく行き来している	2 近所の仲の良い人とは行き来している
3 あいさつする程度であり近所付き合いはない	
4 近所の人とは全く付き合いがない	5 その他( )

問11 あなたご自身は、お住まいの地域の自治会に加入していますか。（○は1つ）

1 加入している	2 加入していない
----------	-----------

問12 あなたは、地域で行われている次のような取組に現在参加していますか。  
また、今後参加してみたいかについてもお答えください。

※「担い手」とは、事前の準備や当日の受付など、主体的に活動に関わることを意味します。		現在 (○はいくつでも)				今後 (○はいくつでも)			
		参加者として参加している	担い手として参加している	参加していない	活動自体を知らない	参加者として参加したいと思う	担い手として参加したいと思う	参加したいと思わない	わからない
<b>記入例</b>									
A	子どもから高齢者までが集える地域活動（お祭りや運動会、集いの場など）	①	2	3	4	①	②	3	4
B	健康づくりの活動（ウォーキングや体操など）	1	2	③	4	1	2	3	④
A	子どもから高齢者までが集える地域活動（お祭りや運動会、集いの場など）	1	2	3	4	1	2	3	4
B	健康づくりの活動（ウォーキングや体操など）	1	2	3	4	1	2	3	4
C	高齢者を支援する活動（見守りや食事会、交流の場など）	1	2	3	4	1	2	3	4
D	小・中学生の居場所づくりや交流の機会	1	2	3	4	1	2	3	4
E	子育てを支援する活動（子育て講座や子どもの世話のお手伝いなど）	1	2	3	4	1	2	3	4
F	障害児・者との交流の活動（障害児の放課後の居場所づくりや夏休み中のイベント、障害者施設との合同のお祭りなど）	1	2	3	4	1	2	3	4
G	外国人との交流の機会（日本語教室、日本の文化に触れる機会など）	1	2	3	4	1	2	3	4
H	花植え・清掃活動	1	2	3	4	1	2	3	4
I	上記以外の福祉や保健の取組 (具体的に：_____)	1	2	3	4	1	2	3	4

問13 問12の「A～I」について、1つ以上、「今後『参加したいと思わない』」に○をつけた方におたずねします。参加したいと思わない理由は何ですか。  
(○はいくつでも)

1 仕事や家事などで時間がとれない	2 子育てや介護などで時間がとれない
3 病状や体力の面で難しい	4 どうしたら活動に参加できるかわからない
5 きっかけがない	6 既存のグループに入ることが不安
7 参加しにくい雰囲気だから	8 人付き合いがわずらわしい
9 興味・関心がないから	10 趣味や余暇等の自分の時間がなくなる
11 経済的に負担だから	12 その他 ( _____ )

◆ 福祉保健に関する情報についておたずねします。

問14 あなたは、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」について知っていますか。(○は1つ)

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1 内容も含めてよく知っている | 2 ある程度知っている |
| 3 名前は聞いたことがある   | 4 知らなかった    |

問15 あなたは、「緑区社会福祉協議会」について知っていますか。(○は1つ)

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1 活動を含め、よく知っている | 2 ある程度知っている |
| 3 名前は聞いたことがある   | 4 知らなかった    |

問16 あなたは、「緑区内の地域ケアプラザ」について知っていますか。(○は1つ)

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1 活動を含め、よく知っている | 2 ある程度知っている |
| 3 名前は聞いたことがある   | 4 知らなかった    |

問17 地域の福祉に関する施設・団体・委員として、あなたが知っているものは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1 地区社会福祉協議会        | 2 自治会役員             |
| 3 民生委員・児童委員        | 4 保健活動推進員           |
| 5 友愛活動員・老人クラブ役員    | 6 食生活等改善推進員(ヘルスメイト) |
| 7 認知症サポーター         | 8 緑区地域子育て支援拠点「いっぽ」  |
| 9 みどり地域活動ホーム「あおぞら」 | 10 緑区生活支援センター       |
| 11 緑区福祉保健活動拠点      | 12 その他( )           |

問18 あなたは、地域の福祉保健に関する活動の情報をどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 家族               | 2 友人・知人         |
| 3 隣人など近所の人         | 4 回覧板や掲示板       |
| 5 新聞・雑誌            | 6 広報よこはま        |
| 7 地域ケアプラザ          | 8 緑区社会福祉協議会     |
| 9 地域のタウン誌          | 10 インターネット      |
| 11 情報を入手する方法がわからない | 12 情報を入手する必要がない |
| 13 その他( )          |                 |

あと2ページです。



◆ 安全・安心・健康についておたずねします。

問19 あなたは「災害時に住民が支え合う地域づくり」に日頃からどのような取組が必要だと思えますか。その中でも、特に重要だと思えるものを2つ選んでください。

(○は2つまで)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1 自主防災組織づくり（地域主体の防災の取組）        |
| 2 災害時に支援の必要な要援護者がどこに住んでいるか等の把握 |
| 3 地域での定期的な防災訓練                 |
| 4 地域やグループでの勉強会                 |
| 5 福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携      |
| 6 その他（ )                       |

問20 災害時に地域での助け合いが上手くいくためには、問19で選択したもの以外に、日頃からお互いを気に掛け合うなど、顔の見える関係づくりに取り組むことは必要だと思えますか。(○は1つ)

1 とても必要だと思う	3 必要ないと思う
2 必要だと思う	4 わからない

問20で「1 とても必要だと思う」または「2 必要だと思う」に○をつけた方のみ、問20-1にご回答ください。

問20-1 地域で「顔の見える関係」を築いていくためには何が必要だと思えますか。

(○はいくつでも)

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1 近所でのあいさつ・声かけ   | 2 近所での日頃からの付き合い         |
| 3 祭りなど行事への参加     | 4 自治会活動への参加（防犯や美化活動など）  |
| 5 趣味を通じてのグループづくり | 6 住民一人ひとりがまちづくりに関心を持つこと |
| 7 活動を展開するリーダーの存在 | 8 役員任せにせず、一人ひとりが責任を持つこと |
| 9 若い世代の参加への働きかけ  | 10 その他（ )               |

問21 あなたは「地域における防犯活動」として、日頃からどのような取組が必要だと思えますか。その中でも特に重要だと思えるものを2つ選んでください。(○は2つまで)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 防犯パトロールなど、身近な犯罪被害防止のための活動         |
| 2 交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動 |
| 3 防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信              |
| 4 防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動           |
| 5 CAP(子どもへの暴力防止)研修実施など、子どもの安全支援活動   |
| 6 権利擁護や消費者被害の予防に関する取組               |
| 7 その他（ )                            |

問22 あなたが日頃から、健康のために心がけていることはありますか。

(○はいくつでも)

- |                           |                              |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 お酒を飲み過ぎない<br>(または 飲まない) | 2 タバコを吸わない<br>(または 受動喫煙を避ける) |
| 3 適度な運動をする                | 4 定期的に検診や健康診断を受ける            |
| 5 バランスを考えた食事をする           | 6 規則正しい生活をする                 |
| 7 適正体重を維持する               | 8 適度な休養・睡眠をとる                |
| 9 食後に歯を磨く                 | 10 ストレスをためない                 |
| 11 社会活動への参加・他者との交流        | 12 その他 ( )                   |

問23 健康のために、身近にどのような活動があれば参加したいと思いますか。

(○はいくつでも)

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1 体力測定・健康チェック        | 2 健康づくり体操      |
| 3 ウォーキングなどの運動や交流イベント | 4 健康レシピによる調理実習 |
| 5 禁煙教室(禁煙相談)         | 6 健康づくりに関する講演会 |
| 7 参加したい活動はない         | 8 その他 ( )      |

問24 疾病や早期発見のために、あなたは、学校や会社等がおこなう健康診断以外に、人間ドックや特定健診、がん検診等を受診していますか。(○は1つ)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1 年に一度は必ず受診している | 2 数年に一度は受診している |
| 3 過去に受診したことはある  | 4 受診したことはない    |
| 5 その他 ( )       |                |

◆ 緑区の福祉保健全般についておたずねします。

問25 お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案や、次期計画に期待することがございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れていただき、【令和元年7月16日(火)※消印有効】までにポストにご投函ください。

